

令和2年度 老人保健事業推進費等補助金  
老人保健健康増進等事業

認知症地域支援推進員の質の評価と  
向上のための方策及び認知症の人等  
の社会参加活動の体制整備に関する  
調査研究事業  
報告書

社会福祉法人浴風会

認知症介護研究・研修東京センター

令和3（2021）年3月



# 目次

本調査研究事業の要旨 .....	1
第1章 研究事業概要 .....	3
第2章 調査研究の構造と方法 .....	8
1. 調査研究の全体構造 .....	8
2. 調査研究の方法と経過 .....	9
第3章 全国調査 .....	10
1. 全国調査の目的・方法 .....	10
2. 全国調査の回収数(回収率) .....	11
3. 【都道府県調査】の結果 .....	12
4. 【市区町村調査】の結果 .....	30
5. 【推進員調査】の結果 .....	57
第4章 推進員活動の質の評価のあり方と質の向上のあり方の検討 .....	99
第5章 社会参加活動推進のための推進員活動のあり方の検討と手引きの作成 .....	108
第6章 研究成果報告会の開催 .....	115
第7章 まとめ .....	117
巻末資料 全国調査調査票及び回答結果 .....	119
1. 単純集計結果 .....	119
【都道府県調査】の結果 .....	119
【市区町村調査】の結果 .....	138
【推進員調査】の結果 .....	168
2. 都道府県別データ集約 .....	198
都道府県別【市区町村調査】結果 .....	199
都道府県別【推進員調査】結果 .....	201

## 本調査研究事業の要旨

**1. 事業目的：**認知症地域支援推進員（以下、推進員とする。）は全市区町村に配置されており、その質の向上とそのための質の評価が重要な課題となっている。また、認知症の人等の社会参加活動のための体制整備の取り組みは推進員の重要な役割であるが、現状においては情報や具体策が不足している状況である。そのため、本研究では以下の2点を目的に事業を実施した。①全国の推進員活動に関する実態調査等を実施し、推進員活動の質の評価と質の向上のあり方を検討し提言を行う。②認知症の人等の社会参加活動に資する推進員活動の方策について検討し、自治体や地域の実情に応じた推進員活動を通じて、認知症の人の多様な社会参加の創出につながる手引き等を作成し配布する。

### 2. 事業内容

1) **推進員活動検討委員会及びワーキングチームの設置・開催：**それぞれ10名の委員で構成し、委員会、ワーキングチーム検討会を各3回開催した。委員会では、事業全体の方針、調査内容や結果、提言に関する検討、ワーキングチームでは、調査や手引き等のあり方、内容に関する具体的な検討を行った。

2) **認知症地域支援推進員活動全国調査の実施：**都道府県及び市区町村の認知症施策担当者、推進員を対象に悉皆調査を行った。調査内容は、推進員活動の質に関する実態と課題を明らかにするため、ドナベディアン<sup>®</sup>の質評価モデル（活動環境・体制、プロセス、結果）を中心に構成し、三者共通の構造とした。調査票を都道府県を通じメールで市区町村、推進員に送付し回答は各自から直接メール返信とした。回答数（率）は、都道府県47（100.0%）、市区町村1,161（66.7%）、推進員3,402（48.8%）であった。

3) **認知症地域支援推進員活動の質の評価と質の向上のあり方の検討**

4) **社会参加活動推進の手引きの作成、5) 報告会の開催、6) 報告書の作成**

### 3. 事業の主な結果

1) **推進員活動全国調査の結果：**推進員調査結果より活動プロセス37項目平均をみると「日常的にやっている」13.8%、「時々やっている」が23.1%、「やりたいがあまりやれていない」が50.2%、「考えていない」が11.0%であった。推進員活動の結果29項目平均では「昨年度より質量拡充」が3.0%、「中身充実」が15.0%、「数増加」が10.9%、「今年度から成果あり」が3.9%、「まだない」が64.8%であった。地域共生の進捗2項目の平均は「年々拡充」が27.0%、「少しずつ進みつつある」が42.8%、「今年度から動きだしている」が3.5%、「来年度から予定」が16.3%、「動きも予定もない」が32.3%であった。地域共生の進捗と以下の項目で関係が確認された。

**活動環境・体制：**配置年数、推進員の意見を市区町村の計画/予算に反映、行政担当者と推進員とのビジョン・活動の焦点・方針の共有、活動のしやすさへの行政担当者の配慮、推進員同士のつながる機会作り、異動せず継続的に活動できる調整等。

**活動プロセス：**本人が思いや望みを表せる関わり方、一人と継続的に関わり得られたことを地域に広げる、社会参加活動の機会や体制整備の企画・調整、初期の総合的支援等。都道府県調査結果及び市区町村調査結果ともに、推進員活動の環境・体制整備を（具体的に）進めている自治体と（あまり）していない自治体の2極分化の傾向がみられ、その状況が推進員活動のプロセス及び結果に関係していた。課題に関しては、都道府県、市区町村、推進員ともに、推進員活動の今後の焦点の明確化が9割を超えていた。

なお、調査結果は都道府県別に市区町村データセットおよび推進員データセットを全国データと照合できる形で作成し、各都道府県にフィードバックを行った。

2) 認知症地域支援推進員活動の質の評価の方策と質の向上に向けた7つの提言: 推進員活動の質の評価の方策(基本的考え方、質の評価の進め方、活かし方等)をまとめ、推進員・市区町村・都道府県が質の評価を共に活かしながら質の向上をはかっていくための提言(7つの鍵)を集約した。これらの普及をはかり質の評価と質の向上への取組みを促進していくための普及版のリーフレットを作成した。

3) 社会参加活動推進の手引き(DVD 付き)の作成: 推進員の活動事例及び全国調査結果をもとに、推進員の機能や立場を活かして認知症の人の社会参加活動を日常的に推進していくためのステップとポイントを集約し、平易な手引き「社会参加活動推進ガイド」及びその普及版のリーフレットをまとめた。また認知症の人の社会参加活動にまだ取組んだことがなかったり、社会参加活動への本人自身や関係者の理解・協力を得ることに困難を感じている推進員が多い現状から、社会参加活動の魅力や実行可能性をリアルに感じ推進員と本人及び関係者がともに社会参加活動に取組み始めるための動機付けとして、推進員が関与して社会参加活動を推進している事例の記録(写真)をもとにしたDVD(約7分)を作成した。手引き等は前述の推進員活動の質の評価と質の向上の提言内容とリンクした内容とし社会参加活動の推進を通じて推進員活動自体の質の向上を図っていくことも企図した内容とした。

4) 報告会の開催(令和3年3月12日、Zoom): 1,087名が参加。調査結果及び推進員活動の質の評価の概要、社会参加活動に取組む3名の推進員(行政職、委託型地域包括支援センター職員、介護事業者)が実践報告を行った(1名は認知症の本人と共に報告)。視聴者から寄せられた全質問について報告者の協力を得てQ&A集を作成し、当日報告資料とともに当センターのホームページDCnet上に掲載した。

4. まとめ: 全国調査を通じ、推進員の約3割は自治体の認知症施策を質的な面から推進する多彩な機能を実際に果たし、認知症本人や地域に多様な成果を生み出し地域共生の進捗に寄与していることが確認された。一方、活動をやりたくてもできない推進員が約半数を占め自治体の環境整備の課題が具体的に明らかになった。推進員活動の質を把握・評価する明確な方策がこれまでなく、事業の実施回数等の事業実績等で把握されていたため、自治体や関係者、推進員自身も活動の本質や価値、やりがいの理解や共有、配置を活かした活動展開が不十分であった。今回の事業を通じて①活動を質の三則面(活動の環境・体制、プロセス、結果)から体系的に把握できることが確認され、調査結果をもとに推進員活動の質の評価のあり方と質の評価と質の向上に向けた提言(7つの鍵)としてまとめることができた。また②認知症施策が目指す地域共生のための焦点テーマが社会参加活動であることが確認され、社会参加活動を日常的に推進していくための推進員活動のステップとポイントが抽出された。以上をわかりやすく普及するために作成した手引きやリーフレットを、都道府県、市区町村、推進員及び関係者の研修や多職種が集まり、HP等を通じて幅広く周知し利活用促進を図ることで、推進員活動の質の評価と向上が具体的に推進され、全国の自治体での地域共生社会づくりが加速されることが期待される。今後は、調査結果で推進員活動や地域共生の動きがまだあまり進んでいない自治体や推進員とともに推進員活動の質の評価と向上の取組を試行し、効果を経年的に検証していくことが課題である。

今年度の調査結果をベースラインデータとして活かし、全国的・自治体単位で継続的に調査することを通じて、推進員活動の質の向上及び地域共生の進捗状況の数量的なモニタリングも可能と考えられる。各自治体が効果的に推進員活動を展開し実質的成果をあげていくために都道府県・市区町村に向け中期的な視野にたった情報提供や地域特性に応じたバックアップを行う体制強化が課題である。

## 第1章 研究事業概要

### 1. 研究事業の目的

平成28年度から認知症地域支援推進員（以下、推進員とする。）が全市町村に配置となり、令和元年度の「認知症施策推進大綱（以下、大綱とする。）においては、『推進員の質の評価や向上のための方策について検討する』ことが示され、推進員の質の評価と向上は重要な課題となっている。

また、令和元年度から認知症地域支援推進員の取組として、新たに社会参加活動のための体制整備が地域支援事業に位置付けられ、推進員の重要な役割として期待が高まっているが、その役割機能を果たしていく上での情報や具体策が不足している現状にある。

そのため、本研究では以下の2点を目的とする。

- 目的1. 全国の推進員の活動に関する実態調査を実施し、推進員の質の評価手法や質の向上のための方策を検討し提言を行う。
- 目的2. 認知症の人等の社会参加活動の体制整備に取り組んでいる自治体と未実施自治体に関する調査を実施し、取組み上の課題解決策に資する推進員活動の方策について検討し、自治体や地域の実情に応じた推進員活動を通じて、認知症の人の多様な社会参加の創出につながる手引き等を作成し配布する。

### 2. 研究事業の方法と内容

#### 1) 検討委員会及びワーキングチームの設置

##### 【検討委員会の設置】

##### (1) 設置目的

本事業の実施に関し、事業全体の方向性、調査の方法と結果の検討、成果物等に関する討議を行い助言、提言を行うことを目的に、検討委員会を設置した。

##### (2) 検討委員会委員

推進員の質の評価と向上及び社会参加活動の体制整備に関して、地域や推進員活動の実情を踏まえた具体的な検討・提言がなされ、かつ提言が全国の自治体で実際に活かされていくことを企図して、推進員活動の実際についての豊富な知見を有する以下の立場の計10名を委員とした。

- 認知症地域支援推進員（配置組織の種類が異なる人）
- 市の認知症施策の担当者（推進員を兼務している人も含む）
- 県の認知症施策の担当者
- 推進員の人材育成及び研究に関わる者

検討委員一覧（敬称略、五十音順）

委員	稲垣 康次	富士宮市保健福祉部福祉企画課	課長
委員	岡田 眞理	広島市西部認知症疾患医療センター	元認知症地域支援推進員
委員	上村 佐和子	兵庫県健康福祉部健康局健康増進課認知症対策室	認知症対策班長
委員	谷口 泰之	御坊市市民福祉部介護福祉課地域支援係	係長
委員	中川 由紀代	大崎市社会福祉課地域包括ケア推進室	技術主幹係長
委員長	永田 久美子	認知症介護研究・研修東京センター	副センター長
委員	橋本 佳子	山口県健康福祉部長寿社会課地域包括ケア推進班	保健師
委員	速水 陽一	釧路市福祉部介護高齢課高齢福祉担当	専門員
委員	横山 麻衣	藤枝市地域包括ケア推進課	認知症地域支援推進員
委員	力石 雅博	燕市分水地区地域包括支援センター 燕市認知症総合支援事業	認知症地域支援推進員

オブザーバー厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課

事務局 社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター

花田 健二、飯塚 弘幸、滝口 優子

### (3) 検討委員会の開催

#### ○第1回検討委員会

日時：令和2年7月28日（火）13時30分～15時30分

場所：Zoom会議（認知症介護研究・研修東京センター＋各委員の職場等）

議題

① 推進員の質の評価のあり方について

- ・推進員の質の評価の基本的考え方（方針）に関して
- ・質の評価の方策（骨子）について
- ・全国調査の概要と構造について

② 社会参加活動を活発にするための推進員活動の方策のポイントについて

#### ○第2回検討委員会

日時：令和2年12月18日（金）15時00分～17時00分

場所：Zoom会議（認知症介護研究・研修東京センター＋各委員の職場等）

議題

① 推進員活動の質の評価と向上のための方策について

- \* 方策の提案に向けて、論点と関連情報について
- ・推進員活動の質の評価の目的と基本方針について

- ・ 推進員活動の質の評価の方法について
- ・ 推進員活動の質の評価の構成と項目今後の進め方について
- ② 「社会参加活動を推進するための推進員活動の手引き」について
  - ・ 手引きのねらいと位置づけについて
  - ・ 手引きの構成について
  - ・ 手引きの内容について
  - ・ 手引きのイメージについて
- ③ 全国調査について

### ○第3回検討委員会

日時：令和3年2月18日（木）15時00分～17時00分

場所：Zoom会議（認知症介護研究・研修東京センター＋各委員の職場等）

#### 議題

- ① 全国調査結果について
  - ・ 都道府県調査結果について
  - ・ 市区町村調査結果について
  - ・ 推進員調査結果について
- ② 推進員活動の質の評価と向上のための方策について
  - \* 方策の提案について：論点の補強
  - ・ 推進員活動の質の評価の目的と基本方針について
  - ・ 推進員活動の質の評価の方法について
  - ・ 推進員活動の質の評価の活かし方について
  - ・ 質の評価の構造と内容【基本版】について



## 【ワーキングチームの設置】

### (1) 設置目的

本事業の実施に関し、実際に推進員活動を展開している立場・体験をもとに、調査及び成果物等に関して具体的な討議を行い、現場の推進員として実行可能性の高い助言、提言を行うことを目的に、ワーキングチームを設置した。

### (2) ワーキングチーム委員

地域性、推進員の配置組織、職種等を考慮にいて委嘱した。

ワーキングチーム委員一覧（敬称略、五十音順）

足立 哲也	恵那市医療福祉部高齢福祉課 恵那市地域包括支援センター	主査
岡田 眞理	広島市西部認知症疾患医療センター	元認知症地域支援推進員
金谷 佳寿子	鳥取市福祉部長寿社会課地域包括ケア推進係	認知症地域支援推進員
作田 直人	医療法人資生会 千歳病院 認知症疾患医療センター	精神保健福祉士
谷口 泰之	御坊市市民福祉部介護福祉課地域支援係	係長
速水 陽	釧路市福祉部介護高齢課高齢福祉担当	専門員
横山 麻衣	藤枝市地域包括ケア推進課	認知症地域支援推進員
吉田 肇	千歳市北区地域包括支援センター	主任 社会福祉士
力石 雅博	燕市分水地区地域包括支援センター 燕市認知症総合支援事業	燕市認知症地域支援推進員

### (3) ワーキングチームの開催

#### ○第1回ワーキングチーム検討会

日時：令和2年7月16日(木) 16時00分～16時45分

場所：Zoom会議(認知症介護研究・研修東京センター+各委員の職場等)

議題

- ① 推進員の質の評価のあり方について
  - ・ 推進員の質の評価の基本的考え方(方針)に関して
  - ・ 質の評価の方策(骨子)について
- ② 全国調査の概要と構造について

#### ○第2回ワーキングチーム検討会

日時：令和2年8月7日(金) 15時00分～16時15分

場所：Zoom会議(認知症介護研究・研修東京センター+各委員の職場等)

議題

- ① 推進員活動の評価のポイントについて
- ② 社会参加活動を活発にするための推進員活動のポイントについて
- ③ 全国調査の構造と内容(案)

#### ○第3回ワーキングチーム検討会

日時：令和3年1月14日(木) 10時00分～11時00分

場所：Zoom会議(認知症介護研究・研修東京センター+各委員の職場等)

議題

- ① 推進員活動の質の評価と向上のための提案にむけて
- ② 社会参加活動を活発にするための推進員向けの手引きについて

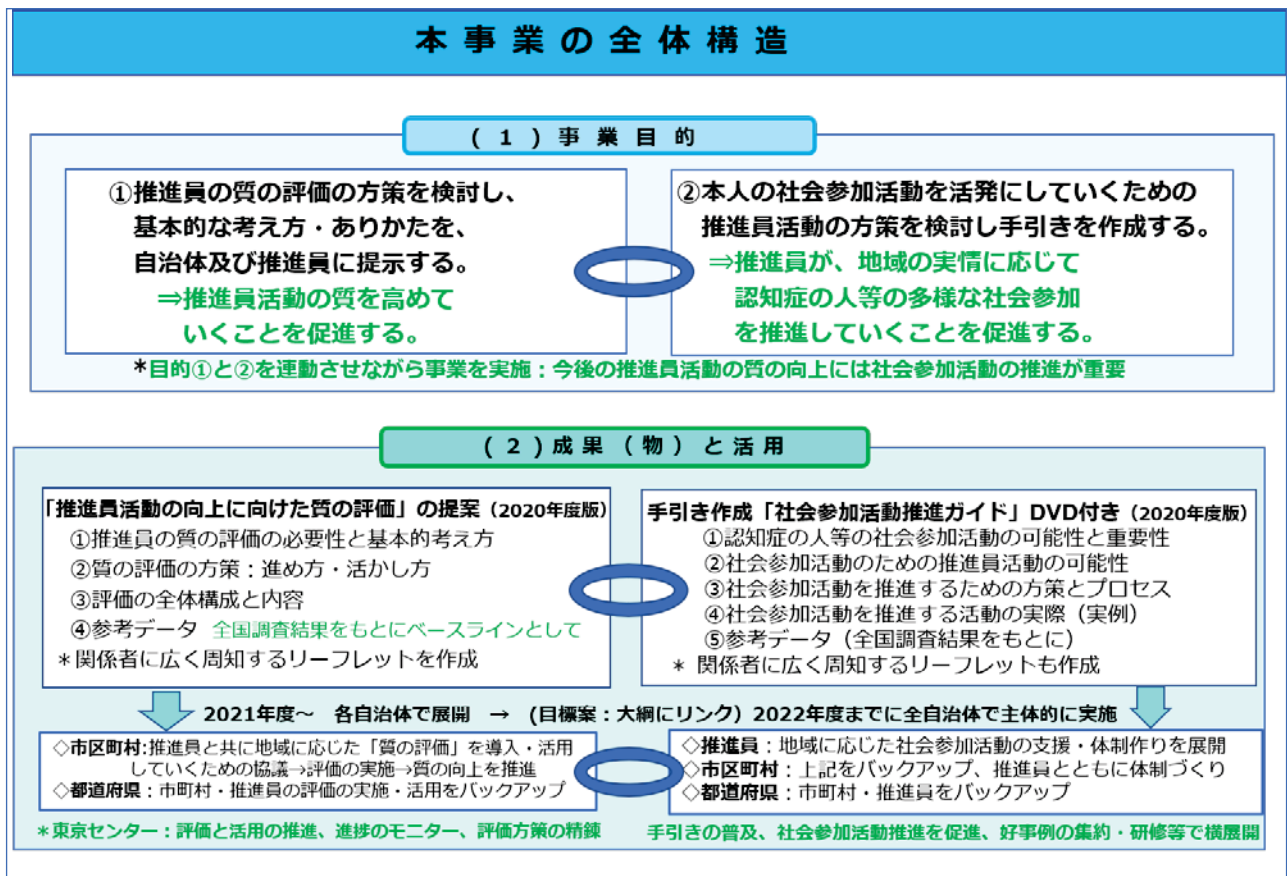
## 第2章 調査研究の構造と方法

### 1. 調査研究の全体構造

本調査研究では、今後の推進員活動の質の向上のためには、推進員による本人の社会参加活動支援・体制作りが不可欠とされている観点から、目的である①推進員の質の評価の方策を検討し、基本的な考え方・あり方を自治体及び推進員に提示すること、②本人の社会参加活動を活発にしていくための推進員活動の方策を検討し手引きを作成すること、の2点を連動させながら事業を進めた。

具体的には、①検討委員会、②ワーキングチームによる検討を基軸に、③全国調査、④現地調査の実施（Web/電話等）を実施し、それら全体をもとに⑤提案・手引きの作成、⑥報告会の開催・報告書の作成を実施した。

成果物として、「推進員の質の評価」の提案（リーフレット）と、社会参加活動推進の手引き（ガイド・DVD付き、及びリーフレット）を作成した。これら全国の都道府県及び市区町村、地域包括支援センター等を通じて推進員に普及を図り、推進員活動の質の向上を促進していく。

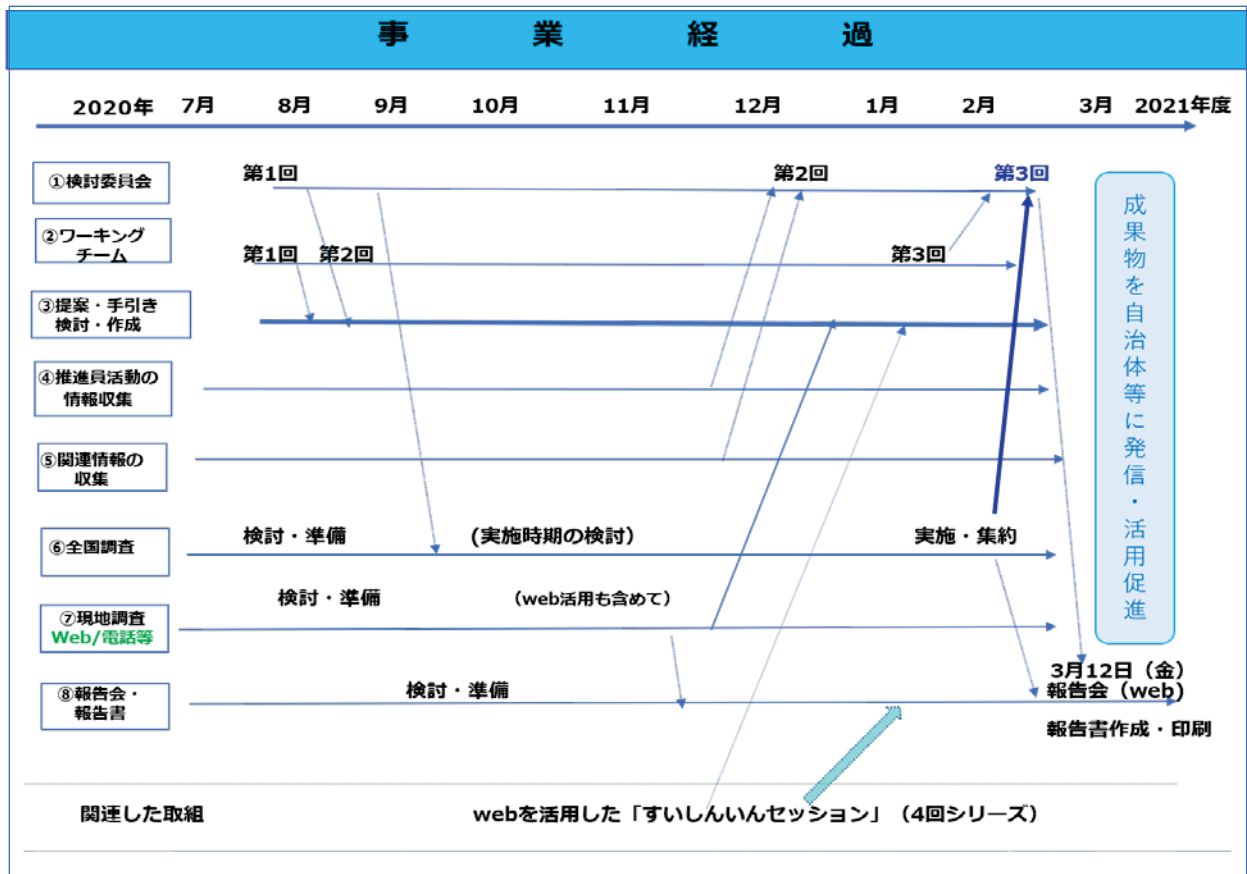


## 2. 調査研究の方法と経過

検討委員会とワーキングチームを各3回実施し推進員活動の質及び評価のあり方と活用に関する討議を行い、あわせて全国調査内容・方法・結果の検討、手引きや提案内容の検討、推進員活動の情報収集、関連情報の収集を実施した。委員の討議を踏まえて都道府県・市区町村・推進員を対象とした全国調査を実施するとともに、Web/電話での聞き取り調査を実施した。

一連の結果をもとに研究成果報告会を、Webを活用して開催した。

手引き・リーフレットを作成し、全国の都道府県、市区町村、地域包括支援センターに送付するとともに、当センターのホームページDCネットを通じて発信し、認知症施策関係者・推進員に周知と活用の促進をはかり、推進員活動の質の向上をしていく。



## 第3章 全国調査

### 1. 全国調査の目的・方法

#### 1) 調査の目的

- ① 推進員活動に関する実態を把握し、質の評価に関する提案のための基礎資料をうる。
- ② 社会参加活動に関する取組み状況・好事例に関する基礎資料をうる。
- ③ 推進員、施策担当者が、年度末を控えたこの時期に推進員活動の質を意識しながら振り返るきっかけにしてもらい、来年度以降の活動のあり方や補強・改善点を考える(話し合う)素材としていただく。

※今年度はコロナ感染拡大が続く中、自治体・市町村の多くは予定していた事業が中止・延期になっている、会えない、動けない等、活動が思うように進んでいないという声が多く寄せられていた。こうした状況の中で、推進員活動に実際に取組んでいる状況をより全体的に把握するために、調査時期を年度の後半とし、推進員活動の考え方や焦点、プロセスの中での工夫や気づき、生まれつつある変化・成果、今後取り組みたいこと、必要としていること等の把握に力点を置くこととした。

#### 2) 対象

悉皆調査（母数）

- ① 市区町村が今年度配置している推進員（約7,000名）

参考：6,978名：令和2年度実績調査（認知症施策・地域介護推進課実施状況調べ）

- ② 市区町村の認知症施策担当者（1,741名）
- ③ 都道府県の認知症施策担当者（47名）

#### 3) 方法

○調査表の配布・回収

- ・ 都道府県にメールにて協力依頼、調査表送付
- ・ 市区町村、推進員には、都道府県の協力を得て、調査の依頼と調査票の送信（メール）。
- ・ 回答は、都道府県担当者、市区町村担当者、推進員から直接事務局宛で回収。

○調査期間

2月～4週間

○集計・分析

- ・ 単純集計
- ・ クロス集計

都道府県別、市町村の人口規模別、  
推進員の配置組織別（自治体、直営包括、委託包括、他）、配置形態別、  
配置後年数（推進員としての経験年数別）、  
推進員の環境整備の状況別

#### 4)調査内容

都道府県、市区町村、推進員の3者共通で下記のⅠ～Ⅴの5領域を設定し、3者それぞれの立場からの回答を求めた。

なお、領域Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは、ドナベディアンの質評価モデルの3要素に基づき、Ⅰ：ストラクチャー（構造）、Ⅱ：プロセス（過程）、Ⅲ：アウトカム（結果）を把握する構造とした。

#### 調査内容の構造

都道府県	市区町村	推進員
基本情報		
Ⅰ. 推進員活動の環境整備・体制		
Ⅱ. 推進員活動の実際（プロセス）		
Ⅲ. 推進員活動による変化/成果		
Ⅳ. 取組んでみての思い・体験		
Ⅴ. 推進員活動を向上していく上での課題・必要なこと		

#### 2. 全国調査の回収数(回収率)

①都道府県認知症施策担当者	47 (100.0%)
③ 市区町村認知症施策担当者	1,161 (66.7%)
④ 認知症地域支援推進員	3,402 (48.8%)*

\*母数を、6,978名（令和2年度実績調査）として試算した。

### 3. 【都道府県調査】の結果

#### ○都道府県の基本情報について

- 人口規模：100万人未満が21.3%、100万～200万人未満が42.6%、200万人以上が36.2%。
- 高齢化率：30～33%未満が最も多く42.6%（20道県）、33～40%未満も14.9%（7県）。
- 管内の圏域数：7～8圏域が最も多く34.0%、9圏域以上も19.1%。
- 認知症施策の担当者数：1～2名が最も多く44.7%（21県）、次いで3～4人が34.0%（16県）。
- 担当者の中で認知症施策を最も長く担当している人の年数：3～4年が最も多く38.3%、次いで3年未満が多く29.8%（14県）。

#### 1) 「I. 推進員活動に関する環境整備・体制」

##### I-1. 都道府県の担当者と、市区町村の担当者や推進員との関係づくり・協働について

6項目について質問したところ、②、③、⑤、⑥の4項目について、半数以上の都道府県が、「(積極的に) 行っている」と回答していた。全体的に「積極的行っている」、「行っている」と回答した都道府県がある一方、いずれの項目についても「行っていない」と回答した都道府県もみられた。

N=47 (%)

項目	積極的に 行っている	行っている	行っていない
①都道府県の担当者が市区町村に出向いて、市区町の担当者と推進員活動に関して話し合いをしている	0.0	40.0	59.6
②都道府県の担当者が推進員の研修や集まり等に出向いて、推進員と実際に会うようにしている	4.3	46.8	48.9
③都道府県として、各市区町村の特性や意向を踏まえながら、推進員活動の促進を行っている	4.3	61.7	34.0
④都道府県の担当者と管内の推進員と一緒に、地元の認知症の本人の話を聴いたり本人と過ごしている	0.0	19.1	80.9
⑤都道府県として、推進員関連の取組みをする際は、推進員の意見を聴きながら行っている	10.6	63.8	25.5
⑥都道府県として、推進員の意見や提案を聴いて、これらを都道府県の計画作り/予算に反映している	4.3	53.2	42.6

##### I-2-3. 都道府県担当者と市区町村担当者との、目指す姿(ビジョン)、現状と課題の共有

目指す姿(ビジョン)の共有に関して2項目について質問したところ、①「目指す本人の姿の共有」について「(具体的に/ある程度)している」が65.9%、②「目指す地域の姿の共有」について「(具体的に/ある程度)している」が74.9%であった。

現状と課題の共有に関して2項目について質問したところ、①「本人の暮らしの現状と課題の共有」について「(具体的に/ある程度)している」が59.5%、②「地域の現状と課題の共有」について「(具体的に/ある程度)している」が74.5%であった。

N=47 (%)

	項目	具体的に共有	ある程度共有	あまりしていない	していない
2 ビジョン	① 認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、都道府県として目指す本人の姿を共有している	2.1	63.8	27.7	6.4
	② どんな地域になったらいいか、都道府県として目指す地域の姿を共有している	4.3	70.2	21.3	0.0
3 現状と課題	① 都道府県内の認知症の本人がどのように暮らしているのか、その現状と課題を共有している	2.1	57.4	31.9	8.5
	② 認知症をめぐる地域で起きていることの現状と課題を共有している	6.4	68.1	17.0	8.5

#### I-4-5. 都道府県担当者と市区町村担当者との、推進員活動の機能・役割、方針の共有

推進員活動の機能・役割の共有に関し2項目について質問したところ、①「推進員活動の機能・役割の共有」については「(具体的に/ある程度)している」が65.0%、②「注力すべき推進員活動の焦点の共有」については「(具体的に/ある程度)している」が38.2%であった。

推進員活動の方針の共有に関し10項目について質問したところ、各項目とも「ある程度共有している」が約5割以上であったが、「していない」と回答した都道府県も2割前後みられていた。

N=47 (%)

	項目	具体的に共有	ある程度共有	あまりしていない	していない
4 機能・役割	① 必要な推進員活動の機能・役割について共有している	4.3	61.7	27.7	6.4
	② ①の中でも、今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している	0.0	36.2	48.9	14.9
5 推進員活動の方針の共有	① 事業をこなすことを焦らずに、誰のために、何のために活動するのか、目的を見失わないようにする	2.1	61.7	17.0	19.1
	② 認知症を自分事として考え、本人と地域が希望を持てるあり方をともに作りだしていく	4.3	51.1	25.5	19.1
	③ 地域の中にある古い認知症観や取組み方を、推進員が活動を通じて転換していく	0.0	46.8	31.9	21.3
	④ 地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める	6.4	53.2	21.3	19.1
	⑤ 地域の特徴やあるものを大切に活かし、自地域ならではの取組みを進めていく	0.0	59.6	19.1	21.3
	⑥ 推進員が、本人や地域の現状・課題を行政につなぐパイプ役を果たす	2.1	55.3	23.4	19.1
	⑦ 推進員が企画をたて、行政と協働しながら、自発的な活動を展開していく	0.0	57.4	21.3	21.3
	⑧ 当初の計画等の枠内でとどまらずに、やりながらよりよい取組みに発展させていく	0.0	51.1	27.3	21.3
	⑨ 事業や取組みを単発で行わず、その後の継続や展開の仕方を常に考えながら行う	0.0	55.3	23.4	21.3
	⑩ 事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく	0.0	46.8	31.9	21.3



### I-6. 「推進員の活動のしやすさ」に関する都道府県としての配慮や取組み

4項目について質問したところ、④「推進員が活動を進める上で必要な情報や参考になる地域・人を、市区町村/推進員に情報提供したりつなぐ」について66.0%の都道府県が「(十分に/ある程度)ある」と回答していた。他の項目については、「(あまり)ない」と回答した都道府県が50%以上であった。

N=47 (%)

項目	十分ある	ある程度	あまりない	ない
① 都道府県レベルで関係組織（医師会、自治会、警察、企業等）に推進員活動についての説明やつなぎをつくる	0.0	27.7	48.9	23.4
② 推進員の存在や活動を、都道府県として管内へ広く発信・周知	4.3	38.3	38.3	19.1
③ 推進員が地域連携を進めやすくするための、分野横断の都道府県庁内の連携	0.0	10.6	51.1	38.3
④ 推進員が活動を進める上で必要な情報や参考になる地域・人を、市区町村/推進員に情報提供したりつなぐ	4.3	61.7	27.7	6.4

### I-7. 推進員同士がつながり、話し合い、学びあう機会づくり

6項目について質問したところ、①「都道府県内の推進員同士が集まり・つながり、話し合ったり学び合う機会がある」、④「推進員が全国の推進員研修や集まりに参加できるよう都道府県としての支援がある」、⑤「他都道府県の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり直に交流する機会をつくる」に関しては、約6割以上の都道府県が「(十分に/ある程度)ある」と回答していた。他の項目については、「(あまり)ない」と回答した都道府県が50%以上であった。一部、②ネットを活用したネットワークづくりや③環境整備の支援をしている自治体もみられた。

⑥「都道府県管内で先行して取組んでいる推進員の力を活かし、管内の推進員同士で支援しあう体制」については、都道府県の25.5%が「(十分に/ある程度)ある」と回答していた。

N=47 (%)

項目	十分ある	ある程度	あまりない	ない
① 都道府県内の推進員同士が集まり・つながり、話し合ったり学び合う機会がある	6.4	68.1	21.3	4.3
② 情報共有や相談等をしあうための行政関係者と推進員とのメールやライン等のネットワークがある	0.0	23.4	29.8	46.8
③ 推進員同士等がつながり学び合うためのネット環境の整備に関して、都道府県の支援や後押しがある	0.0	10.6	51.1	38.3
④ 推進員が全国の推進員研修や集まりに参加できるよう都道府県としての支援がある	19.1	46.8	6.4	27.7
⑤ 他都道府県の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり直に交流する機会をつくる	8.5	51.1	23.4	17.0
⑥ 都道府県管内で先行して取組んでいる推進員の力を活かし、管内の推進員同士で支援しあう体制がある	6.4	19.1	46.8	27.7

### I-8. 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」や「質の評価」、向上に関する取組

6項目について質問したところ、一部の都道府県ではいずれの項目についても「(積極的に)促進している」と回答したが、約8割の都道府県は「行っていない」と回答していた。

⑥「推進員活動の報告会を開き、活動の向上に関する話し合いを行っている」については、40.5%の都道府県が「(積極的に)促進している」と回答しており、報告会のスタイルは、(推進員のみではなく)活動の関係者が参加して実施が最も多く31.9%であった。

N=47 (%)

項目	積極的に促進	促進している	行っていない
① 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」を促進している	6.4	14.9	78.7
② 推進員活動の「質の評価」を促進している	6.4	8.5	85.1
③ 都道府県内の推進員活動の取組みの実際や成果等に関する冊子や事例集等を作成している	8.5	8.5	83.0
④ 推進員活動の取組みの実際や成果等を、都道府県のホームページ(HP)で地域に発信している	8.5	14.9	76.6
⑤ 推進員活動の実際や成果等を、ホームページ(HP)や報告会以外の方法で地域にPRしている	4.3	14.9	80.9
⑥ 推進員活動の報告会を開き、活動の向上に関する話し合いを行っている	12.8	27.7	59.6
※ ⑥-1 報告会を行っている場合、の開催スタイル			
公開して実施		1	2.1%
活動の関係者が参加して実施		15	31.9%
推進員のみで実施		2	4.3%
その他		1	2.1%

### I-9. 市区町村の推進員活動が持続発展していくための、都道府県の配慮・工夫等

4項目について質問したところ、④「推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをすることの促進」に関して、66.7%の都道府県が「(具体的に)している」と回答。一部の都道府県ではその他①~③の配慮・工夫が行われていた。

N=47 (%)

項目	具体的にしている	している	あまりしていない	していない
① 推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ	2.1	2.1	14.9	80.3
② 推進員が異動した場合、その人が望む場合は異動先で推進員として活動を続けるための調整や位置づけ	0.0	23.4	29.8	46.8
③ 推進員が退職等した場合、その人が望む場合は、活動に参画できるための促進	0.0	10.6	51.1	38.3
④ 推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをすることの促進	19.1	46.8	6.4	27.7

## I-10. 市区町村の認知症施策を推進していくための、推進員の適正な配置と工夫等

3項目について質問したところいずれの項目についても、7割強の都道府県は「(あまり)していない」と回答していたが、2割強の都道府県では、「(具体的に)している」との回答を寄せていた。

N=47 (%)

項目	具体的にしている	している	あまりしていない	していない
① 町村が推進員として適切な人材を配置するよう、都道府県から市区町村に情報提供等をしている	2.1	21.3	14.9	61.7
② 市区町村が適切な推進員数を検討し、その数を確保するよう、都道府県から市区町村に情報提供等をしている	4.3	23.4	19.1	53.2
③ 市区町村が効果的な「推進員の配置先」を検討し、配置先の工夫や調整をするよう、都道府県から市区町村に情報提供等をしている	2.1	10.6	25.5	61.7

## 2) 「II. 推進員活動の実際(プロセス)」

### II-1 都道府県の施策担当者からみた「推進員活動のしかた(スタンス)」について

3項目について質問したところ、いずれも「一部の推進員がやっている」という回答が、4~5割を占めていた。約4割の都道府県は、「把握していない」と回答していた。

N=47 (%)

項目	概ねやっている	一部の推進員がやっている	(あまり)やっていない	把握していない
① 活動をする時は、本人の声を聴きながら、本人が活動に参画できるチャンスをつくっている	21.3	40.4	2.1	36.2
② 活動を自分や一部の人たちで進めずに、多様な立場や職種の人たちをつなげながら進めている	17.0	46.8	2.1	34.0
③ 事業を単発で考えずに、事業後の展開や事業と事業のつながりをつくることを考えながら取組んでいる	8.5	48.9	2.1	40.4

### II-2~4 都道府県の施策担当者からみた推進員活動における役割の3本柱の実施状況

「個別の相談・支援体制作り」、「関係機関と連携した事業の企画・調整」、「医療・介護等の支援ネットワークの構築」に関する項目について質問を行った。

都道府県担当者からみた管内の推進員活動で「概ねやっている」が50%を超えた回答があったのは、「関係機関と連携した事業の企画・調整」に関する④「認知症カフェ等、地域の中での出会い、つながる場づくりの企画・調整」のみであった。「一部の推進員がやっている」が50%を超えたのは、やはり「関係機関と連携した事業の企画・調整」に関する② 本人ミーティング等本人同士が出会いつながつて話し合える機会をつくり、そこでの声を取組みや施策に活かしていくための企画・調整」のみであった。

各項目とも、都道府県が「把握していない」が約3~6割を占めていた。

N=47 (%)

	項目	概ねや っている	一部の 推進員 がやっ ている	(あま り) や って ない	把 握 し て い ない
個別 相 談 支 援 体 制	① 関わった本人と家族に必要な支援が一体的に届くように支援体制をつくるための話し合いや調整をしている	19.1	31.9	2.1	46.8
	② 個別相談で足りない支援や資源があった場合、その個人のために必要な支援や資源を新たにつくり出す活動をしている	6.4	29.8	12.8	51.1
	③ 一人と継続的に関わり、得られたことやつながり等を、他の人や地域に広げる活動をしている	6.4	44.7	2.1	46.8
	④ 関わった一人をもとに、経過や地域の課題について多様な人たちと話し合い、地域支援の見直し・拡充を図っている	6.4	40.4	4.3	48.9
関 係 機 関 と 連 携 し た 事 業 の 企 画 調 整	① 認知症多職種協働研修等の企画・調整	2.1	2.1	2.1	31.9
	② 本人ミーティング等本人同士が出会いつながって話し合える機会をつくり、そこでの声を取組みや施策に活かしていくための企画・調整	6.4	55.3	4.3	46.8
	③ 診断直後の本人等が前向きに暮らしていくための、本人によるピアサポートの企画・調整	0.0	36.2	19.1	44.7
	④ 認知症カフェ等、地域の中での出会い、つながる場づくりの企画・調整	51.1	31.9	2.1	14.9
	⑤ 地域の企業等、多様な分野の人たちが、本人と出会い、つながるための企画・調整	4.3	27.7	14.9	53.2
	⑥ 本人・家族が必要な理解者・支援者となつたり、チームとして支えあう体制作りの企画・調整	6.4	42.6	12.8	36.2
企 画 調 整	① 本人の声を活かして自地域に潜むバリアを解消していくための認知症バリアフリーの企画・調整	2.1	25.5	10.6	61.7
	② 本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整	2.1	42.6	10.6	44.7
支 援 ネ ッ ト ワ ー ク 構 築	① 認知症ケアパスを本人視点にたって作成/改良	29.8	36.2	2.1	31.9
	② 初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつながって協働していくための調整や後押し	21.3	46.8	0.0	31.9
	③ 本人を地域の多様な人たちで日常的に見守るネットワークづくり	21.7	42.6	2.1	27.7
	④ 行方不明など本人のSOS時に素早く情報を共有し、その本人を協働で守るためのネットワークづくり	31.9	38.3	2.1	27.7

※Ⅱ-5. コロナ禍の中での推進員活動：巻末の都道府県 単純集計参照

### 3) 「Ⅲ. 推進員活動を通じた変化・成果」

#### Ⅲ-1. 都道府県の施策担当者からみた推進員活動を通じた「認知症の本人の変化・成果」

11項目について質問したところ、各項目について「把握していない」と回答した都道府県が約6～8割に上ったが、把握している都道府県においては、①～⑩の各項目について「(昨年より)数は増えていないが中身が充実」あるいは「昨年度よりも中身・数とも拡充している」という回答が見られた。

N=47 (%)

項目	昨年度より中身・数とも拡充	数が増えていないが中身充実	数増えたが中身変わらず	今年度から	まだない	把握していない
① 本人が発症後の早い段階で相談窓口につながり、相談できる相手に出会えるようになった	6.4	17.0	0.0	2.1	0.0	74.5
本人が発症後の早い段階で受診でき、信頼できる医師や医療関係者に出会えるようになった	4.3	17.0	0.0	0.0	2.1	77.6
③本人が認知症カフェ等の地域の集い場につながり、仲間や味方に出会えるようになった	8.5	19.1	10.6	0.0	2.1	59.6
④本人が自分の思いや意見を周囲や地域に向けて発することができるようになった	4.3	25.5	4.3	2.1	4.3	59.6
⑤ 本人が発症後もそれまで勤めていた職場で働きつづけられるようになった	0.0	14.9	0.0	2.1	4.3	78.7
⑥本人が発症後の早い段階で自分が望む社会活動に参加し、地域の中で生き生き過ごせるようになった	2.1	12.8	0.0	4.3	2.1	78.7
⑦ 本人がスマホや通信機器を使って、他の人と交流できるようになった	4.3	2.1	0.0	2.1	4.3	87.2
⑧本人が GPS 機器やヘルプカード等を使って、一人で安心・安全に外出できるようになった	4.3	4.3	6.4	0.0	4.3	80.9
⑨本人が次に続く本人のために相談にのったり、支え合うようになった	4.3	17.0	2.1	4.3	4.3	68.1
⑩本人が推進員とともに認知症施策推進や地域づくりの活動をするようになった	8.5	14.9	0.0	2.1	4.3	70.2
⑪ 若年性認知症の人が、上記①～⑩のいずれかで地域とつながる姿がみられるようになった	17.0	14.9	2.1	4.3	0.0	61.7

### Ⅲ-2. 都道府県の施策担当者からみた推進員活動を通じた「地域の変化・成果」

2項目について質問したところ、前述の「個人の変化・成果」と同様、各項目について「把握していない」と回答した都道府県が約6～8割に上ったが、把握している都道府県においては、①～⑪の各項目について「(昨年より)数は増えていないが中身が充実」あるいは「昨年度よりも中身・数とも拡充している」という回答が見られた。

N=47 (%)

項目	昨年度より中身・数とも拡充	数が増えていないが中身充実	数増えたが中身変わらず	今年度から	まだない	把握していない
① 住民が本人の声を聴こうとするようになった	6.4	6.4	4.3	0.0	4.3	78.7
② 住民が認知症を自分ごととしてとらえ、地域の本人と自然体でつきあう/関わるようになった	10.6	8.5	4.3	0.0	2.1	74.5
③ 地域の企業等で働く人たちが、認知症の人への関心を高め、配慮や工夫をするようになった	6.4	14.9	8.5	0.0	4.3	66.0
④ 住民が地域の認知症カフェ等の集い場に参加し、本人と楽しく過ごしたり一緒に活動するようになった	6.4	14.9	10.6	0.0	0.0	68.1
⑤ 住民が本人の社会参加活動に加わり、一緒に活動するようになった	6.4	8.5	2.1	2.1	2.1	78.7
⑥ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人の声を聴くようになった	10.6	10.6	6.4	4.3	0.0	68.1
⑦ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人視点にたって一緒に支援や連携の改善を図るようになった	10.6	14.9	4.3	2.1	2.1	66.0
⑧ 地域の中で本人と多職種、住民等がいっしょに楽しく活動するようになった	6.4	12.8	4.3	0.0	2.1	74.5
⑨ 地域の中で通信機器を活用して、本人とつながるようになった	6.4	4.3	4.3	2.1	2.1	80.9
⑩ 地域の中での認知症バリアを本人とともに具体的にみつけ、バリアが少しずつ解消されるようになった	2.1	6.4	2.1	2.1	4.3	83.0
⑪ 住民や関係者が、制度やサービスでは行き届かないことについて、自発的な取組みをするようになった	2.1	4.3	2.1	2.1	4.3	85.1

### Ⅲ-3. 都道府県での「認知症とともに生きる地域共生」の進捗状況

大綱で掲げられている共生の定義に基づいた2項目について質問したところ、2項目とも「少しずつ進みつつある」が6割前後であり、「来年度から動き出す予定」が約2割であった。「動きも予定もない」と回答した都道府県が12.8%であった。

N=47 (%)

項目	年々、拡充してきている	少しずつ進みつつある	今年度から動きだしている	来年度から動き出す予定	動きも予定もない
① 都道府県内の認知症の本人が、希望をもって自分らしく暮らしてつづけるようになってきている	0.0	61.7	4.3	21.3	12.8
② 認知症があってもなくても、同じ地域でともに生きる姿が広がってきている	0.0	59.6	6.4	21.3	12.8

#### <「地域共生」の進捗状況と関係のみられた要素(項目)>

「地域共生の進捗状況」に関し、上記の項目①を外的基準として都道府県調査の「I.都道府県による推進員活動の環境整備・体制作り」に関する主な項目とクロス集計を行った。

その結果、以下の領域・要素(項目)と「地域共生」の進捗状況に関係が見られた。

※クロス集計結果は、次ページ以降を参照。

#### ◇ I-1. 「都道府県の担当者と市区町村の担当者や推進員との関係づくり・協働」

- ◆ 「都道府県として、推進員の意見や提案を聴いてこれらを都道府県の計画作り/予算に反映している」

#### ◇ I-2. 「都道府県担当者と市区町村担当者とのビジョンの共有」

- ◆ 「都道府県として目指す本人の姿(ビジョン)を共有している

#### ◇ I-3. 「都道府県担当者としての、推進員同士がつながり、話し合い、学び合う機会づくり」

- ◆ 都道府県内の推進員同士が集まり・つながり、話し合ったり学び合う機会がある
- ◆ 他都道府県の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり、直に交流する機会をつくる

#### ◇ I-6. 「推進員の活動のしやすさに関する都道府県としての配慮や取組み」

- ◆ 「都道府県レベルで関係組織(医師会、警察、企業等)に、推進員活動についての説明やつなぎをつくる」

< 「I. 都道府県による推進員活動の環境整備・体制作りと「地域共生の進捗」との関係」 >

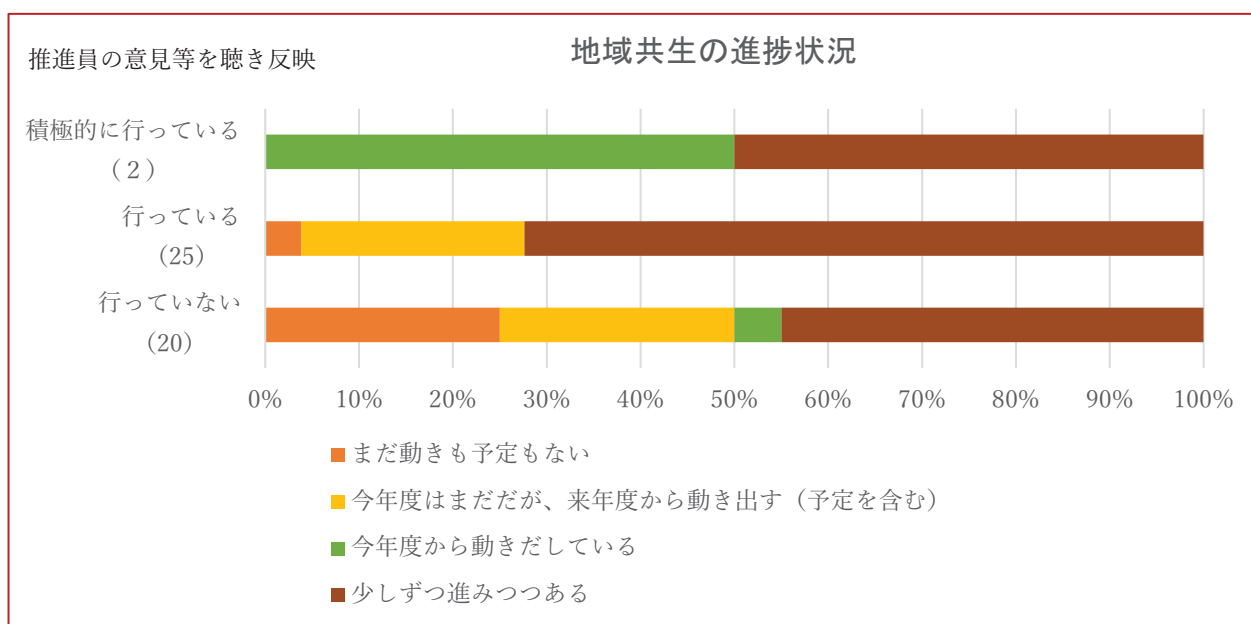
◇ I-2. 「都道府県の担当者と市区町村の担当者や推進員との関係づくり・協働」との関係

◆ 「都道府県として、推進員の意見や提案を聴いてこれらを都道府県の計画作り/予算に反映している」

→ 「(積極的に) 行っている」場合、地域共生が少しずつ進みだしている率が高い。

N=47

都道府県として、 推進員の意見・提案を 聴いて、これらを都道 府県の計画作り/予算に 反映している	地域共生の進捗状況			
	まだ動きも予定も ない	今年度はまだだが、 来年度から動き出す (予定を含む)	今年度から動きだ している	少しずつ進みつ つある
行っていない (20)	25.0	25.0	5.0	45.0
行っている (25)	4.0	25.0	0.0	76.0
積極的に行っている (2)	0.0	0.0	50.0	50.0





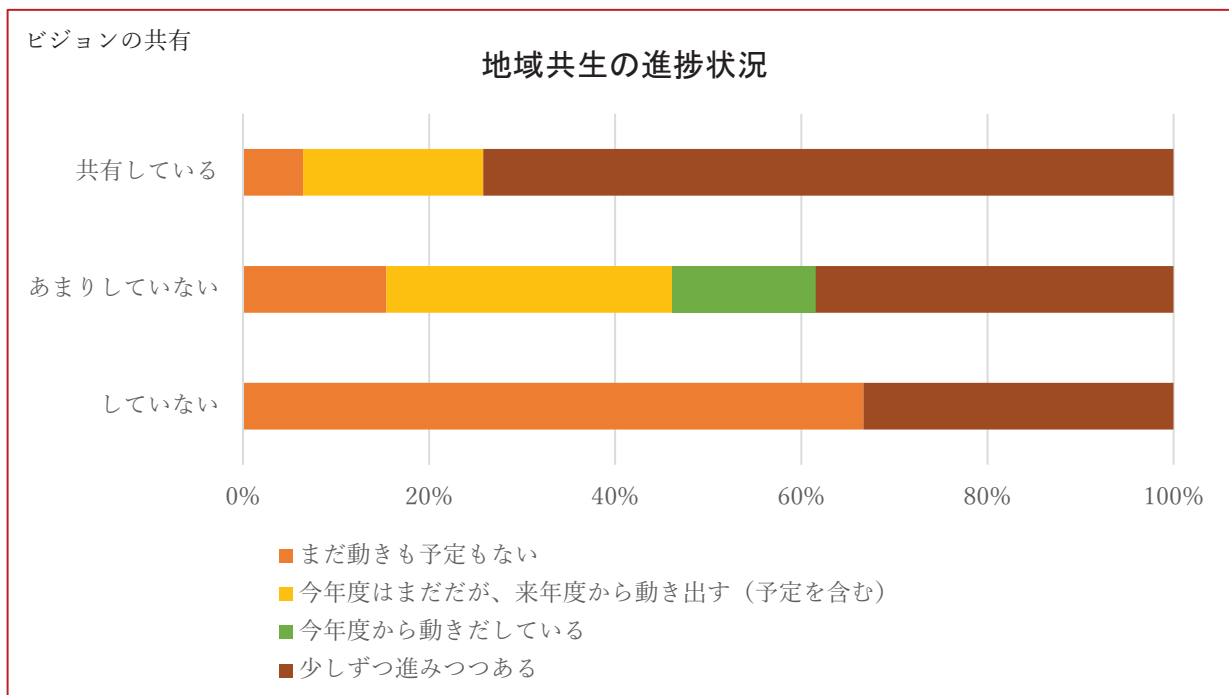
## ◇ I-2. 「都道府県担当者と市区町村担当とのビジョンの共有」との関係

◆ 「都道府県として目指す本人の姿（ビジョン）を共有している

→ 「共有している」場合、地域共生が少しずつ進みだしている率が高い。

N=47

認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、都道府県として目指す本人の姿を共有している	地域共生の進捗状況			
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある
していない（3）	66.7	0.0	0.0	33.3
あまりしていない（13）	15.4	30.8	15.4	38.5
共有している（31）	6.5	19.4	0.0	74.2

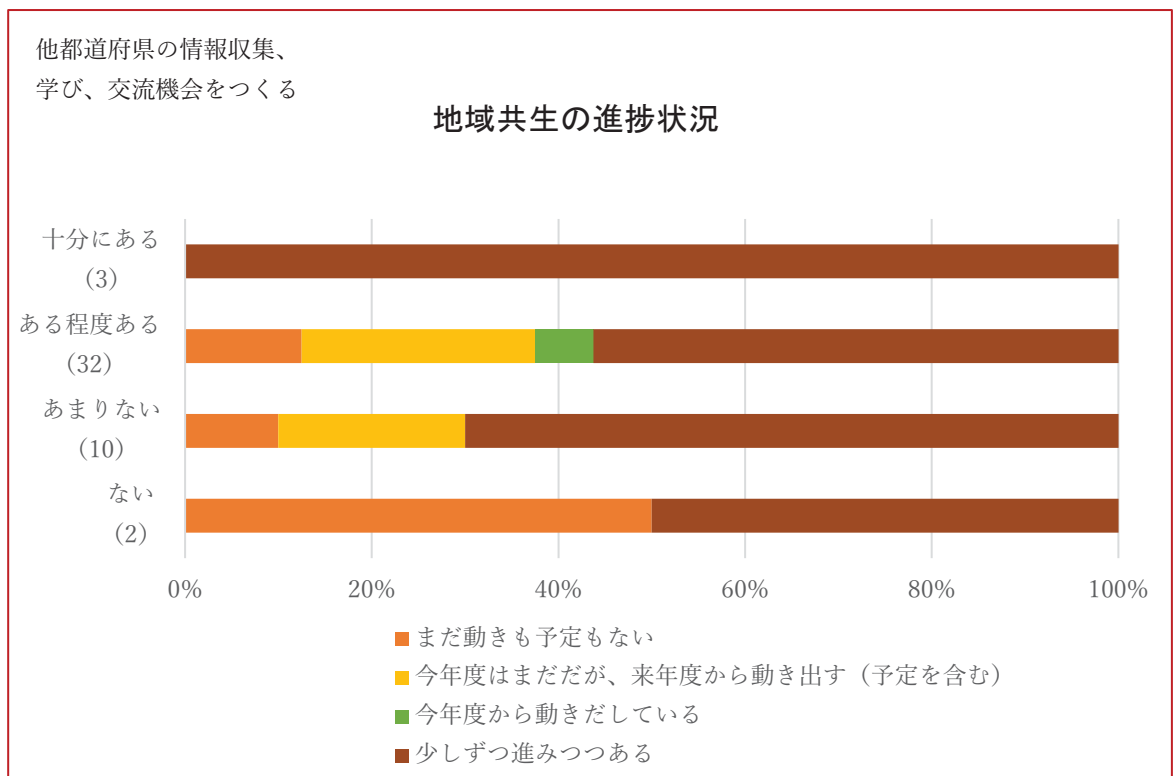


◇ I-3. 「都道府県担当者としての、推進員同士がつながり、話し合い、学び合う機会づくり」との関係①

- ◆ 都道府県内の推進員同士が集まり・つながり、話し合ったり学び合う機会がある
  - 「ある程度ある」場合、今年度あるいは来年度から動き出す率が高い。
  - 「十分にある」場合、地域共生が少しずつ進みだしている率が高い。

N=47

他都道府県の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり、直に交流する機会をつくる	地域共生の進捗状況			
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある
ない (2)	50.0	0.0	0.0	50.0
あまりない (10)	10.0	20.0	0.0	70.0
ある程度ある (32)	12.5	25.0	6.3	56.3
十分にある (3)	0.0	0.0	0.0	100.0



◇ I-3. 「都道府県担当者としての、推進員同士がつながり、話し合い、学び合う機会づくり」  
との関係②

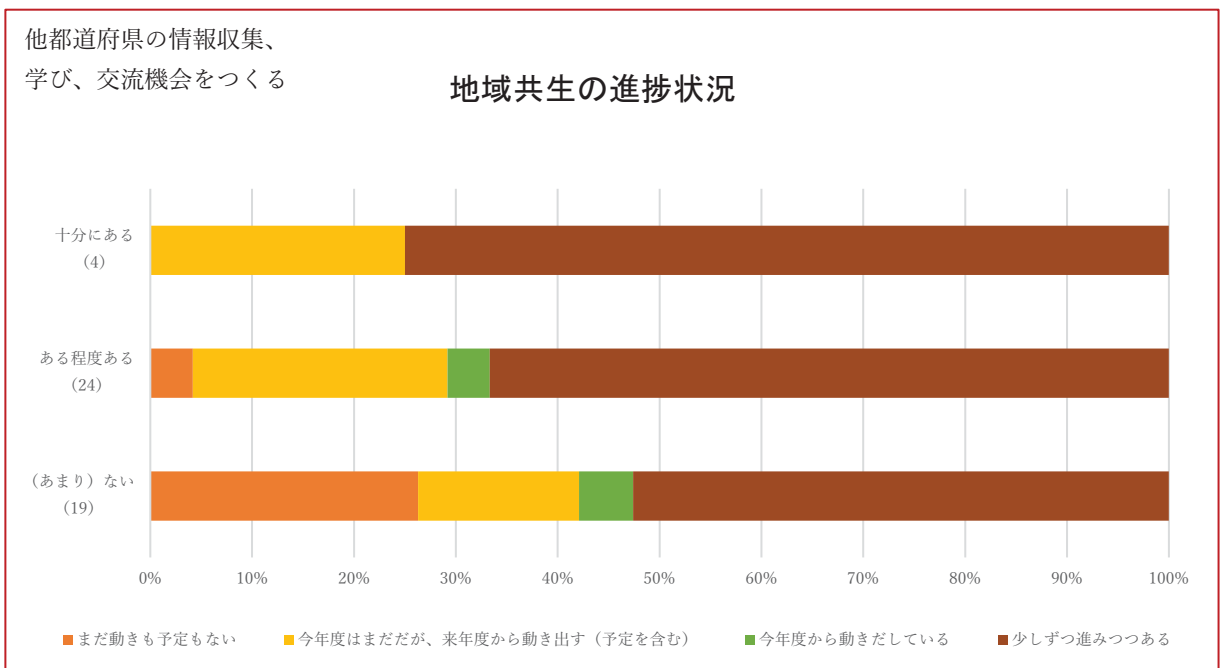
◆他都道府県の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり、直に交流する機会をつくる

→ 「ある程度ある」、「十分にある」場合、地域共生が少しずつ進みだしている率が高い。

N=47

他都道府県の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり、直に交流する機会をつくる	地域共生の進捗状況			
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある
（あまり）ない （19）	26.3	15.8	5.3	52.6
ある程度ある （24）	4.2	25.0	4.2	66.7
十分にある （4）	0.0	25.0	0.0	75.0

N=47



◇ I-6 「推進員の活動のしやすさに関する都道府県としての配慮や取組み」との関係

◆ 「都道府県レベルで関係組織（医師会、警察、企業等）に、推進員活動についての説明やつなぎをつくる」

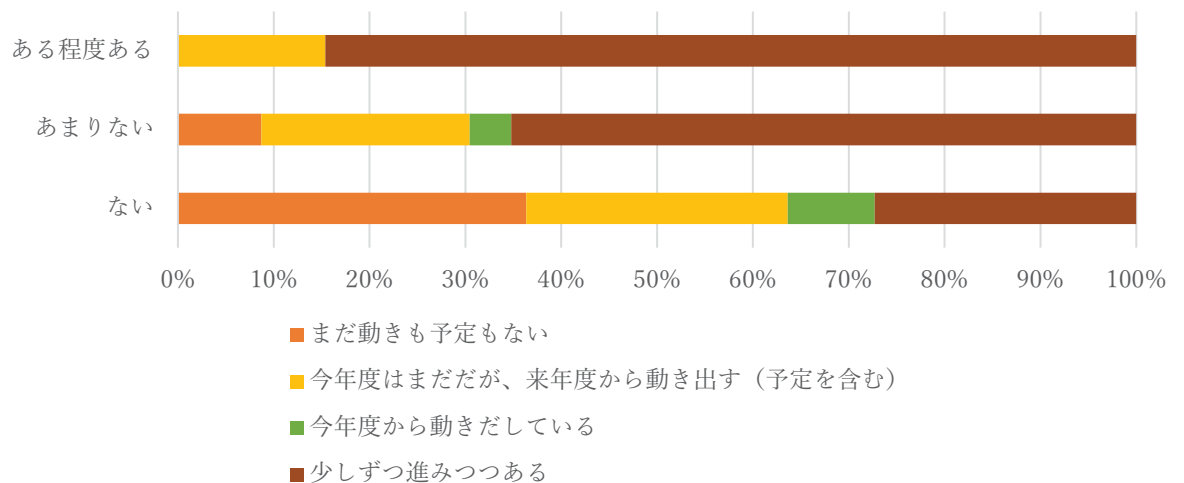
→ 「説明やつなぎをつくる」が「ある程度ある」場合、地域共生が少しずつ進みだしている率が高い。

N = 47

都道府県レベルで関係組織（医師会、警察、企業等）に、推進員活動についての説明やつなぎをつくる	地域共生の進捗状況			
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある
ない (11)	36.4	27.3	9.1	27.3
あまりない (23)	8.7	21.7	4.3	65.2
ある程度ある (13)	0.0	15.4	0.0	84.6

都道府県で関係組織に、推進員活動の説明やつなぎをつくる

地域共生の進捗状況



#### 4) 「Ⅳ. 推進員(事業)を担当してみたの自分なり(都道府県担当者)の思いや体験」

7項目について質問したところ、①～⑥のの項目について「(非常に) そう思う」「そう思う」という前向きな回答があわせて3割強～7割強寄せられていた。一方、各項目とも「(あまり) 思わない」という回答も2割強から6割みられていた。

⑦「推進員(事業)を担当していく上での、負担やストレスが大きい」については、「(あまり) 思わない」が68.0%であったが、「(非常に) そう思う」という回答も29.8%寄せられていた。

N=47 (%)

項目	非常にそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない
① 推進員(事業)を担当し、やっていて楽しい	4.3	57.4	27.7	8.5
② 推進員(事業)を担当し、やりがいがある	8.5	63.8	17.0	8.5
③ 推進員(事業)を担当し、これまではやりたくても十分にできなかったことがやれてうれしい	4.3	31.9	48.9	12.8
④ 推進員(事業)を担当し、新しいことや未解決のことにチャレンジできておもしろい	4.3	44.7	36.2	12.8
⑤ 推進員(事業)を担当し、自分の力が引き出されたり、つながりが広がって、自分のためになっている	6.4	55.3	23.4	12.8
⑥ 推進員(事業)の担当を、今後も継続したい	6.4	59.6	25.5	6.4
⑦ 推進員(事業)を担当していく上での、負担やストレスが大きい	2.1	27.7	48.9	19.1

①～⑦すべてに無回答1(2.1%)あり。

#### 5) 「Ⅴ. 推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと」

##### V—1. 推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと

10項目について質問したところ、いずれも「まだ不十分で、今後強化が必要」、「大きな課題で、非常に必要」という回答が多く寄せられた。

N=47 (%)

項目	すでになされているが今後必要	まだ不十分で、今後強化が必要	大きな課題で、非常に必要	必要でない
① 推進員として何をやらせたいか、役割・機能について都道府県と市区町村/推進員との具体的な話し合いが必要	10.6	59.6	17.0	10.6
② 推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について都道府県と市区町村/推進員との間で検討し、明確にすることが必要	10.6	57.4	21.3	10.6
③ 推進員としてやるべきこと/やりたいことを主体的にやれるように、活動の自由度を高めることが必要	6.4	57.4	23.4	12.8
④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要	8.5	61.7	19.1	10.6

⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要	4.3	38.3	53.2	4.3
⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじっくりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要	0.0	44.7	40.4	14.9
⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫（増員やフォーメーションづくり等）の促進が必要	10.6	48.9	29.8	10.6
⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員が、それぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫の促進が必要	12.8	59.6	21.3	6.4
⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつなげるための支援・体制が必要	10.6	59.6	25.5	4.3
⑩市区町村の施策担当者が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつなげるための支援・体制が必要	6.4	63.8	25.5	4.3

① 無回答1 (2.1%) あり。

「すでになされているが今後も必要」、「まだ不十分で、今後強化が必要」、「大きな課題で、非常に必要」の合算はいずれも高率であったが、多い項目順にみると、以下の通りであった。

合算して再掲 N=47

都道府県: 推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと 「すでになされているが今後も必要」、「まだ不十分で、今後強化が必要」、 「大きな課題で、非常に必要」の合算が多い順		%
1	⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要	95.8
2	⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつなげるための支援・体制が必要	95.7
2	⑩市区町村の施策担当者が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつなげるための支援・体制が必要	95.7
4	⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員が、それぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫の促進が必要	93.7
5	②推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について都道府県と市区町村/推進員との間で検討し、明確にすることが必要	89.3
5	④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要	89.3
5	⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫（増員やフォーメーションづくり等）の促進が必要	89.3
8	①推進員として何をやったらいいか、役割・機能について具体的な話し合いが必要	87.2
8	③ 推進員としてやるべきこと/やりたいことを主体的にやれるように、活動の自由度を高めることが必要	87.2
10	⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじっくりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要	85.1

## V—2. 今後の推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと

11項目について質問したところ、いずれの項目についても「(非常に) 必要」が大半を占めた。

N=47 (%)

項目	非常に必要	必要	必要でない
① 全国で行う推進員研修（新任者、現任者）	51.1	48.9	0.0
② 都道府県で行う推進員研修（新任者、現任者）	21.3	57.4	21.3
③ 国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	29.8	68.1	2.1
④ 都道府県内での推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	40.4	57.4	2.1
⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	42.6	57.4	0.0
⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	46.8	53.2	0.0
⑦ 推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	31.9	66.0	2.1
⑧ 施策担当者が推進員活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	36.2	61.7	2.1
⑨ 施策担当者と推進員が一緒に参加し、最新情報や活動に関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会	38.3	59.6	2.1
⑩ 情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援	27.7	68.1	4.3
⑪ 全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ	34.0	66.0	0.0

「非常に必要」という回答が特に多かった上位3項目は、多い順に以下の通りであった。

再掲 N=47 (%)

① 全国で行う推進員研修（新任者、現任者）	51.1
⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	46.8
⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	42.6

「必要」という回答が特に多かった上位3項目は、多い順に以下の通りであった。

再掲 N=47 (%)

③ 全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	68.1
⑩ 情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援	68.1
⑪ 全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ	66.0
⑦ 推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	66.0

### V-3. 都道府県施策担当者の自由記述(抜粋)

推進員活動に関する都道府県の「具体的な課題」及び「必要なこと」に関して、都道府県担当者から寄せられた自由記述の主な内容を抜粋し、内容に沿って整理を行った。

#### <推進員活動に関する都道府県としての具体的な課題>

##### ○推進員の業務や位置づけに関して

- ・地域包括支援センター職員としての業務と、推進員としての業務の違いが明確化できない。
- ・推進員と他の役割を兼任している現場の方から、地域包括支援センターの職員としての活動、推進員としての活動、認知症初期集中支援チーム員としての活動の区別が難しいとの意見を聞くことが多い。
- ・研修などで、それぞれの役割分担等の整理の仕方も具体的に上げられると良いと思う。

##### ○関連する活動の方向性、展開のあり方に関して

- ・サポーター養成講座を受けるだけの状況になっており、地域での活動につながっていない。

#### <推進員活動に関して、必要と感じていること>

##### ○都道府県職員と市区町村職員のビジョンの共有

- ・県職員と市町職員が進むべき方向性（ビジョン）を共有する機会

##### ○都道府県担当者同士の横のつながり、方向性や動きを共有・検討しあう機会

- ・全国の都道府県職員の横のつながりが必要。
- ・進むべき方向性や考え方を深めたり、他府県の動向を広く把握できる機会が必要。
- ・各市町村の推進員活動に対する、都道府県の関わり方や役割に関する研修・意見交換・事例共有
- ・他の都道府県の施策担当者が、どのように推進員の活動へ関わっているのか定期的に伺う機会が欲しいと思います。

##### ○地域特性に応じた事業展開促進のためのアドバイザーの派遣

- ・地域の特性に応じた事業展開となっている現在。各市町村単位へのアドバイザー派遣による事業が有効ではないか。

##### ○推進員の継続的に学べる研修体系

- ・推進員が継続的に学ぶことができる研修体系の構築

##### ○関連する立場の人との連携強化

- ・限られた人材でも効率的・効果的に活動できるよう、同じく地域づくりを担う生活支援コーディネーターなどとの連携を深めていくことが必要

##### ○その時期のトピックスに関するタイムリーな情報提供

- ・コロナ禍を踏まえた先進事例など参考になる取組集のような物があればうれしいです。



#### 4. 【市区町村調査】の結果

○市区町村の基本情報について (N=1,161) \*単純集計の結果全体は、巻末資料を参照

- 人口規模：1万人未満が22.7%、1万～3万人未満が25.5%、3万～10万人未満が31.1%、10万～20万人未満が10.7%、20万人以上が9.8%。
- 高齢化率：30～35%未満が最も多く24.5%、次いで35～40%未満が22.7%、25～30%未満が21.7%、40%以上が19.5%、25%未満が10.8%。
- 管内の圏域数：1圏域が最も多く47.7%、2～5圏域未満が23.2%、5～8圏域未満が15.3%、8圏域以上が13.0%。
- 認知症施策の担当者数：1人が34.0%、2～3人が45.5%、4人以上が19.7%。
- 担当者の中で認知症施策を最も長く担当している人の年数：3年未満が25.1%、3～5年未満が31.3%、5年以上7年未満が20.0%、7年以上が20.2%。
- 担当部署内で推進員を兼任している人の数：0人が41.0%、1人が27.9%、2人が15.7%、3人以上が15.0%。

#### 1) 「I. 推進員活動に関する環境整備・体制」

##### ○推進員の配置状況等

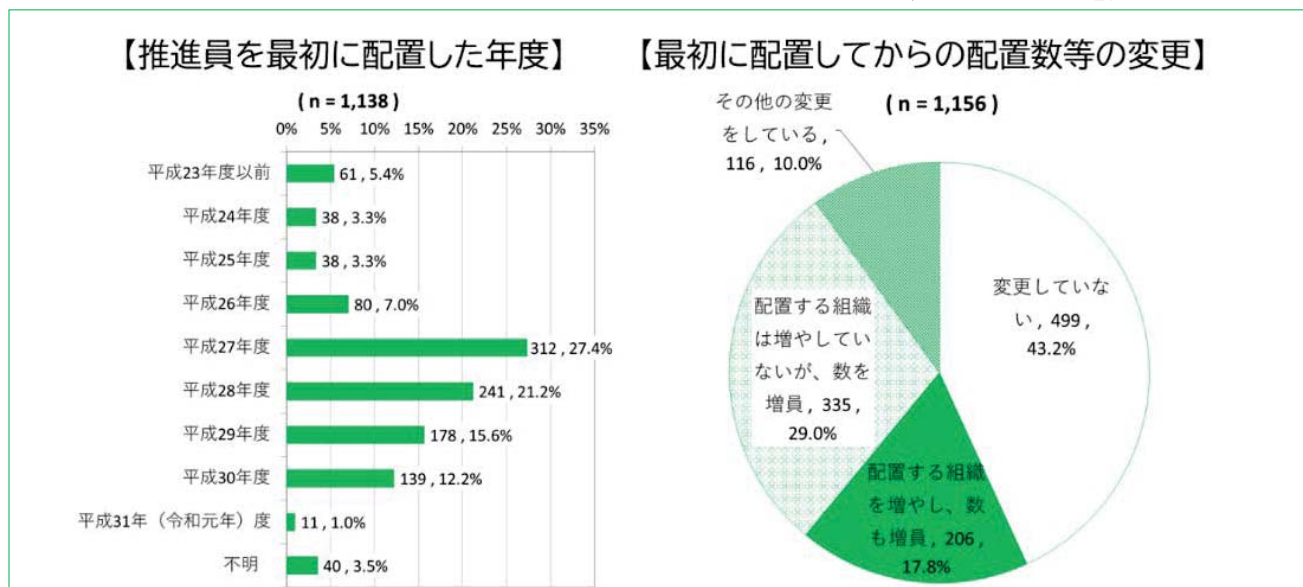
##### ①最初に配置した年度

推進員を最初に配置した年度は、平成23年度以前から平成31年度（令和元年度）まで8年以上の開きがみられている。最も多いのが平成27年度の26.9%、次いで平成28年度の20.8%で、この2年間で約半数を占めている。

##### ② 配置してからの「配置数等の変更状況」

最初に配置してからの「配置数等の変更状況」を尋ねたところ、「変更していない」が43.0%、「何らかの変更した」が56.4%であった。変更の内容としては、「配置する組織を増やし、数も増員」が17.7%、「配置する組織は増やしていないが数を増員」が28.9%、「その他の変更」が10.0%であった。

N=1,161 から未記入を除いてグラフ化



### ③市区町村における現在の推進員の総配置数

「1人」が30.2%、「2~3人」が34.2%、「4~5人」が14.8%、「6人以上」が19.8%であり、最大は、121人であった。

### ④現在、推進員を配置している組織

「市区町村市役所」が32.6%、「直営地域包括支援センター」が50.3%、委託型地域包括支援センターが37.6%、「社会福祉協議会」が5.3%、「介護事業所」が4.7%、「認知症疾患医療センター等医療機関」が2.9%、その他が5.0%であった。

### ⑤推進員の配置形態

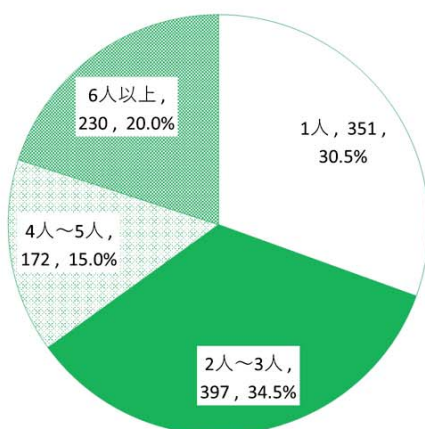
「専任配置のみ」が13.1%、「兼任配置のみ」が78.4%、「専任と兼任を配置」が7.7%、その他が0.4%であった。

### ⑥推進員のその他の連携担当の役割

行政として委任している推進員以外の連携担当の役割としては、「初期集中支援チーム員」70.5%、「生活支援コーディネーター」が14.4%、「在宅医療・介護連携推進に関するコーディネーター」が10.5%、「相談支援包括化推進員」が5.1%、「若年性認知症支援コーディネーター」が2.0%、「高齢者の就労的活動のコーディネーター」が0.3%、「その他」が16.8%であった。

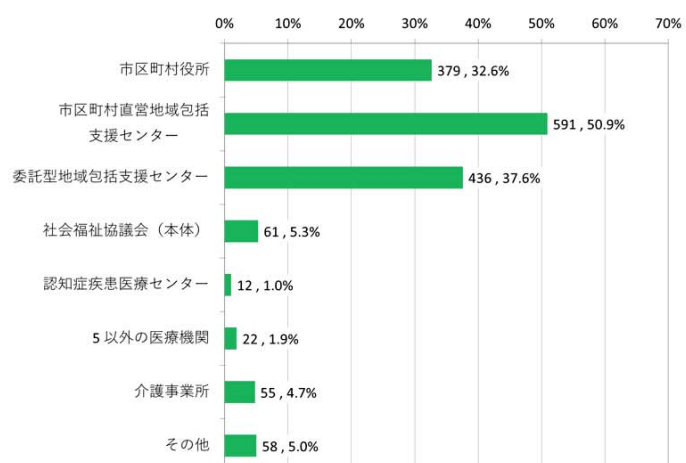
【現在の推進員の配置総数】

(n = 1,150)



【現在、配置している組織】

(n = 1,161)



### I-1. 市区町村の認知症施策担当者と推進員との関係づくり・協働について

8項目について質問したところ、項目④以外は、いずれの項目も「日常的にある」が最も多く、約4割~7割強を占めていた。について、半数以上の都道府県が、「(積極的に) 行っている」と回答していた。いずれの項目も「あまりない」「ほとんどない」と回答した市区町村が3%程度みられた。

N=1,161 (%)

項目	日常的にある	時々ある	あまりない	ほとんどない	推進員は一人
① 実際に会ったり電話をして直接話しをしている	75.1	15.2	1.4	1.5	6.2
② お互いの気づきや意見を率直に話し合えている	60.1	26.9	5.3	1.4	6.2
③ 認知症施策担当者が、推進員の個性ややりたいことを大切にしている	50.3	33.6	7.5	2.2	6.2
④ 担当者と推進員と一緒に、地元の認知症の本人の話を聴いたり本人と過ごしている	16.8	28.3	23.8	25.0	6.2
⑤ 事業や取組みを実際に行う際に、認知症施策担当者と推進員と一緒に現場に出て協力している	36.5	35.6	12.6	9.0	6.2
⑥ 推進員が悩んだり困っている時に、認知症施策担当者に相談したり助けを求めている	41.3	36.3	10.8	5.3	6.2
⑦ 認知症施策担当者が悩んだり困っている時に、推進員に相談したり助けを求めている	44.6	37.6	7.8	3.4	6.2
⑧ 認知症施策担当者が推進員の意見や提案を聴き、それらを計画作り/予算に反映している	41.2	37.7	10.8	4.0	6.2

### I-2-3. 市区町村担当者や推進員との、目指す姿(ビジョン)、現状と課題の共有

目指す姿(ビジョン)の共有に関して2項目について質問したところ、①「目指す本人の姿の共有」について「(具体的に/ある程度)している」が71.5%、②「目指す地域の姿の共有」について「(具体的に/ある程度)している」が74.2%であった。

現状と課題の共有に関して2項目について質問したところ、①「本人の暮らしの現状と課題の共有」について「(具体的に/ある程度)している」が69.7%、②「地域の現状と課題の共有」について「(具体的に/ある程度)している」が76.7%であった。いずれの項目も、2割前後の市区町村が「(あまり)していない」と回答していた。

N=1,161 (%)

	項目	具体的に共有	ある程度共有	あまりしていない	していない
2 ビジ ョン	① 認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、都道府県として目指す本人の姿を共有している	16.5	55.0	19.6	2.5
	② 市区町村がどんな地域になったらいいか、わがまちが目指す地域の姿を共有している	17.1	57.1	17.1	2.3
3 現 状 と 課 題	① 本人がどのように暮らしているのか、その現状と課題を共有している	16.0	53.7	21	2.6
	② 認知症をめぐる地域で起きていることの現状と課題を共有している	16.9	59.8	15.0	2.0

各項目：表から自分以外推進員いない(72名)、無回答(2名)を割愛

#### I-4-5. 市区町村担当者と推進員との、推進員活動の機能・役割、方針の共有

推進員活動の機能・役割の共有に関し2項目について質問したところ、①「推進員活動の機能・役割の共有」については、「具体的に共有」は17.4%であり、「ある程度共有」が53.3%であった。②「推進員活動の焦点の共有」は、「具体的に共有」は12.1%であり、「ある程度共有」が44.2%、「(あまり)していない」が37.3%であった。

推進員活動の方針の共有に関し10項目について質問したところ、各項目とも「具体的に共有」が約10~17%であり、項目④を除き「ある程度共有」が多く50%前後を占めていた。項目③、④、⑤、⑦、⑩については、「(あまり)していない」と回答した市区町村が30%以上であった。

N=1,161 (%)

	項目	具体的に共有	ある程度共有	あまりしていない	していない
4 機能・役割	① 自地域に必要な推進員活動の機能・役割について共有している	17.4	53.3	20.6	2.4
	② ①の中でも、今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している	12.2	44.2	32.7	4.6
5 推進員活動の方針の共有	① 事業をこなすことを焦らずに、誰のために、何のために活動するのか、目的を見失わないようにする	17.1	58.6	15.6	2.3
	② 認知症を自分事として考え、本人と地域が希望を持てるあり方をともに作りだしていく	14.7	56.3	20.2	2.4
	③ 地域の中にある古い認知症観や取組み方を、推進員が活動を通じて転換していく	14.4	49.2	27.0	3.2
	④ 地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める	10.2	35.9	37.4	10.2
	⑤ 地域の特徴やあるものを大切に活かし、自地域ならではの取組みを進めていく	12.9	50.1	26.4	4.2
	⑥ 推進員が、本人や地域の現状・課題を行政につなぐパイプ役を果たす	17.0	53.1	20.1	3.5
	⑦ 推進員が企画をたて、行政と協働しながら、自発的な活動を展開していく	16.4	44.9	27.1	5.3
	⑧ 当初の計画等の枠内でとどまらずに、やりながらよりよい取組みに発展させていく	15.2	50.0	24.5	3.9
	⑨ 事業や取組みを単発で行わず、その後の継続や展開の仕方を常に考えながら行う	15.6	53.3	21.6	3.2
	⑩ 事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく	9.7	46.0	33.0	5.0

各項目：表から自分以外推進員いない(72名)、無回答(2名)割愛

## I-6. 「推進員の活動のしやすさ」に関する市区町村としての配慮や取組み

9項目について質問したところ、「十分している」と回答した市区町村は、いずれの項目も約20%以下であり、②、③、④以外の項目については「ある程度している」という回答がもっとも多く、各項目とも5割前後を占めていた。

「②関係組織（医師会、自治会、警察、企業等）に推進員活動が進めやすくなるための行政からの説明や後押し」、「③推進員の存在や活動を、行政として地域へ広く発信・周知」、④「推進員が地域連携を進めやすくするための、行政内の分野横断の庁内連携」については、「(あまり)していない」が多くあわせて5割前後を占めていた。

N=1,161 (%)

項目	十分している	ある程度している	あまりしていない	していない
①推進員の職場の管理者・上司等に、推進員活動の理解や協力を得るための行政からの説明や後押し	20.0	46.9	20.2	6.2
②関係組織（医師会、自治会、警察、企業等）に推進員活動が進めやすくなるための行政からの説明や後押し	8.6	33.1	39.8	12.2
③推進員の存在や活動を、行政として地域へ広く発信・周知	10.9	34.4	39.3	9.3
④推進員が地域連携を進めやすくするための、行政内の分野横断の庁内連携	6.2	30.4	44.3	12.8
⑤推進員が実際の活動上、必要となった具体的な地域連携のための行政としてのつなぎや調整	14.0	47.8	25.4	6.6
⑥推進員が活動を進める上で必要になった場所や資材、資金等の調整・支援	19.6	44.7	22.6	6.8
⑦推進員が活動を進める上で必要な情報や参考になる地域・人の情報を提供したりつなぐ	16.6	52.5	20.2	4.4
⑧推進員が事業や取組みに踏み出せるための勇気づけや後押し	15.6	46.5	25.5	6.1
⑨ 推進員活動を進めながら失敗やトラブルが生じた際、行政と一緒に考え、助力やカバーをしている	21.6	50.8	16.4	4.7

各項目：表から無回答を割愛

## I-7. 推進員同士がつながり、話し合い、学びあう機会づくり

7項目について質問したところ、①「同じ市区町村内の推進員同士が集まり/つながり、話し合ったり学び合う機会がある」、③「情報共有や相談等をしあうための行政関係者と推進員とのメールやライン等のネットワークがある」、⑥「都道府県や全国の推進員研修や集まりに参加できるよう市区町村の支援がある」の3項目については、「(十分に)ある」と回答した市区町村が50%以上であったが、他の4項目については「(あまり)ない」と回答した市区町村が半数以上を占めていた。

N=1,161 (%)

項目	十分ある	ある程度	あまりない	ない
① 同じ市区町村内の推進員同士が集まり/つながり、話し合ったり学び合う機会がある	30.6	25.9	8.8	6.7
② 近隣の市区町村の推進員同士がつながり、話し合ったり学び合う機会がある	2.5	17.6	37.0	36.2
③ 情報共有や相談等をしあうための行政関係者と推進員とのメールやライン等のネットワークがある	28.1	26.4	11.2	26.5
④ 推進員同士等がつながり学び合うためのネット環境の整備に関して、市区町村の支援や後押しがある	10.5	20.2	20.8	40.1
⑤ 推進員同士の情報や活動に関する通信を市区町村が出している/推進員が出すのを支援している	5.5	12.7	19.3	54.3
⑥ 都道府県や全国の推進員研修や集まりに参加できるような市区町村の支援がある	26.3	40.5	14.9	11.9
⑦ 他地域の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり直に交流する機会をつくる	5.1	20.9	36.6	30.7

各項目：表から無回答を割愛

### I-8. 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」や「質の評価」等、向上に関する取組

6項目について質問したところ、いずれの項目についても「担当者と推進員と一緒に取組んでいる」との回答がみられていたが、「行っていない」が多数を占めていた。「推進員同士が主体的に取組んでいる」、「推進員が個人で行っている」との回答も見られている。②「質の評価」に取組んでいる場合は、①「PDCA」の一環として質を意識した評価・改善を展開している市区町村がみられた。

N=1,161 (%)

項目	担当者と推進員と一緒に	推進員同士が主体的に	推進員が個人で	行っていない
① 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」に取組んでいる	36.5	5.9	14.8	42.2
② 推進員活動の「質の評価」に取組んでいる	20.4	4.7	12.7	61.6
③ 自治体内の推進員活動の取組みの実際や成果等に関する冊子や事例集等を作成している	4.6	1.2	2.8	90.9
④ 推進員活動の取組みの実際や成果等を、自治体等のホームページ(HP)で地域に発信している	9.6	1.5	3.0	85.4
⑤ 推進員活動の実際や成果等を、ホームページ(HP)や報告会以外の方法で地域にPRしている	12.2	2.8	4.0	80.5
⑥ 推進員活動の報告会を開き、活動の向上に関する話し合いを行っている	16.5	2.8	1.6	78.2
※ ⑥-1 報告会を行っている場合、の開催スタイル				
	地域で公開して実施	14	1.2%	
	活動の関係者が参加して実施	89	7.7%	
	推進員のみで実施	109	9.4%	
	その他	65	5.6%	

各項目：表から無回答を割愛

### I-9. 市区町村としての推進員活動が持続発展していくための、行政の配慮・工夫等

4項目について質問したところ、④「推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをするための機会作り・支援」に関して、47.4%の市区町村が「(具体的に)している」と回答していた。一部の市区町村では①～③の配慮・工夫等が行われていたが、各項目とも「(あまり)ない」が、7~8割以上を占めていた。

N=1,161 (%)

項目	具体的に ある	ある	あまり ない	ない
① 推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ	6.7	22.6	30.3	40.1
② 推進員が異動した場合、その人が望む場合は異動先で推進員として活動を続けるための調整や位置づけ	1.7	9.5	23.8	64.6
③ 推進員が退職等した場合、その人が望む場合は、活動に参画できるための調整や支援	1.3	12.1	22.9	63.3
④ 推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをするための機会作り・支援	9.7	37.7	23.5	28.6

各項目：表から無回答を割愛

### I-10. 市区町村の認知症施策を推進していくための、推進員の適正な配置と工夫等

4項目について質問したところ、①「適切な人材配置の調整等」、②「適切な数確保の調整等」を「(具体的に)している」市区町村がそれぞれ5割前後であった。

①「配置先の工夫・調整」、④「フォーメーション作り」に関しては、「(あまり)していない」と回答した市区町村が6割以上を占めたが、「(具体的に)している」と回答した市区町村も2から4割程度みられた。

N=1,161 (%)

項目	具体的に している	している	あまりして いない	してい ない
①市区町村が、推進員として適切な人材を配置できるよう、関係機関等との調整や働きかけをしている	14.9	32.1	28.5	24.0
②市区町村が適切な推進員数を検討し、その数の確保のための調整や働きかけをしている	21.5	34.1	26.9	17.0
③市区町村が、効果的な「推進員の配置先」を検討し、配置先の工夫や調整をしている	16.6	22.6	33.2	27.1
④市区町村が、配置している推進員の機能を活かしていくために、推進員とともに活動する人材の配置や活動のフォーメーション作りの工夫をしている	7.2	13.5	40.5	36.3

各項目：表から無回答を割愛

## 2) 「Ⅱ. 推進員活動の実際(プロセス)」

### Ⅱ-1 市区町村の施策担当者からみた「推進員活動のしかた(スタンス)」について

13項目について質問したところ、項目⑤、⑦、⑧、⑨の4項目以外は、「日常的にやっている」「時々やっている」をあわせて6割以上を占めていた。

⑤「立場や職種に関わらず、様々な人たちに本人の声を聴くことや本人視点の大切さを伝えている」、⑦「医療現場や医療職の集まりにできるだけ出向いて、医療関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取組んでいる」、⑧「介護現場や介護職の集まりにできるだけ出向いて、介護関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取組んでいる」、⑨「権利擁護の現場や関係者の集まりにできるだけ出向いて、関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取組んでいる」の各項目については、「日常的/時々やっている」という回答も少なくなかったが、「(あまり)やっていない」という回答が3~4割以上の市区町村から寄せられていた。

N=1,161 (%)

項目	日常的に やっている	時々やっ ている	(あま り) やっ ていない	把握し ていな い
①認知症の人への偏見や先入観をもたずに、「地域の一人」として、本人と自然体で向きあっている	78.0	14.2	2.9	3.2
②認知症の人が暮らす場や過ごす場に足を運び、時間とともにしながらつきあっている	38.7	37.7	18.7	3.3
③本人の声(思いや意見等)を聴きながら、認知症とともに生きることや必要なことを、本人から学んでいる	41.2	33.8	17.4	6.0
④活動をする時は、本人の声を聴きながら、本人が活動に参加できるチャンスをつくっている	29.1	30.5	31.2	7.6
⑤立場や職種に関わらず、様々な人たちに本人の声を聴くことや本人視点の大切さを伝えている	5.7	18.7	35.4	38.6
⑥地域に出向いて多様な住民や地域で働く人に出会い、思いや意見を聴きながら一緒に取組んでいる	32.7	34.6	25.6	5.4
⑦医療現場や医療職の集まりにできるだけ出向いて、医療関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取組んでいる	17.2	30.6	40.1	10.3
⑧介護現場や介護職の集まりにできるだけ出向いて、介護関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取組んでいる	20.5	38.5	31.9	7.5
⑨権利擁護の現場や関係者の集まりにできるだけ出向いて、関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取組んでいる	14.5	28.5	44.9	10.5
⑩活動を自分や一部の人たちで進めずに、多様な立場や職種の人たちをつなげながら進めている	29.5	39.0	25.1	4.8
⑪事業を単発で考えずに、事業後の展開や事業と事業のつながりをつくることを考えながら取組んでいる	33.1	41.1	19.2	4.9
⑫いきなり大きなことではなく、できる(小さな)ことをみつけ、やってみながら工夫や改善を重ねている	41.0	40.1	12.6	4.5
⑬楽しいことを考え、事業や活動が楽しくなる工夫をしている	34.5	37.7	17.7	7.3

各項目：表から無回答を割愛



## II-2~4 市区町村の施策担当者からみた推進員活動の3本柱の実施状況

推進員活動の3本柱である「個別の相談・支援体制づくり」について10項目、「関係機関と連携した事業の企画・調整」について17項目、「医療・介護等の支援ネットワークの構築」について10項目を質問した。

3本柱全体で見ると、「日常的にやっている」あるいは「時々やっている」が合わせて50%を超えた項目は、「個別の相談・支援体制づくり」に関しては10項目中8項目、「関係機関と連携した事業の企画・調整」に関しては17項目中5項目、「医療・介護等の支援ネットワークの構築」に関しては10項目中6項目であった。

「(あまり) やっていない」という回答が30%を超えた項目をみると、「個別の相談・支援体制づくり」に関しては10項目中3項目、「関係機関と連携した事業の企画・調整」に関しては17項目中14項目、「医療・介護等の支援ネットワークの構築」に関しては10項目中8項目であった。

全体として、「日常的/時々やっている」が「(あまり) やっていない」を大きく上回っている項目と、逆に「(あまり) やっていない」が「日常的/時々やっている」を大きく上回っている項目、「日常的にやっている」と「(あまり) やっていない」が同じ程度見られている項目がみられた。

- ・なお、「関係機関と連携した事業の企画・調整」の③「認知症多職種共同研修等の企画・調整」をやっている場合、「ライフサポート研修の実施・展開」は49(4.3%)、「独自に実施」が198(17.1%)であった。
- ・同じく「関係機関と連携した事業の企画・調整」の⑬「本人・家族が必要な理解者・支援者とつながり、チームとして支え合う体制づくりの企画・調整」をやっている場合、「すでに地域で育っている仕組みを生かして、チームオレンジの企画・調整をしている」が97(8.4%)、「以前からすでに地域独自のチームによる支援体制づくりの企画・調整をしている」が54(4.7%)、「チームオレンジのスキームをもとに新たに企画・調整をしている」が49(4.2%)であった。

N=1,161 (%)

	項目	日常的にやっている	時々やっている	(あまり) やっていない	把握していない
個別相談・支援体制づくり	①本人が思いや望みを表せるように、関わり方や環境づくりの工夫をしている	48.4	28.9	15.1	5.9
	②本人の声を聴き、本人の力を活かしながら、本人が望む暮らしがかなうための支援・調整をしている	51.4	29.8	13.2	4.6
	③家族の声を聴き、家族の力を活かしながら、家族が望む暮らしがかなうための支援・調整をしている	53.1	31.4	9.9	4.1
	④関わった本人と家族に必要な医療が届くように、医療職等と話し合い、支援・調整をしている	46.5	34.3	13.0	4.8
	⑤関わった本人と家族に必要な生活支援が届くように、多様な関係者と話し合い、支援・調整をしている	49.4	33.2	11.5	4.6
	⑥関わった本人と家族に必要な介護が届くように、介護職等と話し合い、支援・調整をしている	50.8	32.4	10.9	4.5
	⑦関わった本人と家族に必要な支援が一体的に届くように、支援体制をつくるための話し合いや調整をしている	41.4	34.7	18.0	4.8
	⑧個別相談で足りない支援や資源があった場合、その個人のために必要な支援や資源を新たにつくりだす活動をしている	12.7	26.1	50.6	9.3
	⑨一人と継続的に関わり、得られたことやつながり等を、他の人や地域に広げる活動をしている	18.5	34.0	37.6	9.3
	⑩関わった一人をもとに、経過や地域の課題について多様な人たちと話し合い、地域支援の見直し・拡充を図っている	16.1	31.3	42.0	9.1

関係機関と連携した事業の企画調整	①住民等の講座や講演会等が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げる機会になるための企画・調整	30.7	44.3	21.7	2.2
	②配布物や広報が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げるためのことばや情報発信となるための企画・調整	27.6	45.5	23.8	2.0
	③認知症多職種協働研修等の企画・調整	5.9	14.7	66.2	10.6
	④専門的な相談支援の力量を、関係者が向上させていくための企画・調整	8.1	20.1	58.7	9.6
	⑤地域における困難事例の検討及びその事例の個別支援の拡充を図る企画・調整	17.4	37.5	36.4	5.2
	⑥病院・施設等における困難事例の検討及びその事例の個別支援の拡充を図る企画・調整	8.4	21.1	55.4	11.4
	⑦本人ミーティング等本人同士が出会い話し合える機会をつくり、そこでの声を取組みや施策に活かしていくための企画・調整	5.0	13.7	67.1	10.5
	⑧ 診断直後の本人等が前向きに暮らしていくための、本人によるピアサポートの企画・調整	2.3	6.5	73.1	14.3
	⑨ 家族の声や力を活かして、家族によるピアサポートの企画・調整	6.5	14.6	62.4	12.7
	⑩認知症カフェ等、地域の中での出会い、つながる場づくりの企画・調整	40.1	33.4	19.8	3.4
	⑪ 地域の子供たちや若い世代が、地域の中で本人と出会い、つながるための企画・調整	4.7	18.2	62.8	10.6
	⑫ 地域の企業等、多様な分野の人たちが、本人と出会い、つながるための企画・調整	3.6	13.2	68.2	11.3
	⑬ 本人・家族が必要な理解者・支援者となつたり、チームとして支えあう体制づくりの企画・調整	7.6	16.4	60.5	10.9
	⑭ 認知症の有無に関わらず、備えながら健やかに暮らしていくための予防に関する企画・調整	22.6	36.3	31.7	5.7
	⑮ 若年性認知症の人を主な対象とした取組みの企画・調整	4.3	10.2	69.9	11.7
	⑯ 本人の声を活かして自地域に潜むバリアを解消していくための認知症バリアフリーの企画・調整	2.8	9.9	70.1	13.3
	⑰ 本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整	4.0	13.8	64.9	12.3
支援ネットワーク構築	①認知症ケアパスを本人視点にたって作成/改良	24.4	35.5	35.7	3.0
	②認知症ケアパスを住民や専門職等に普及し、活用	39.2	36.4	19.8	3.4
	③の医療職と介護職が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し	17.1	38.0	37.6	6.1
	④専門職と住民等が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し	12.8	31.7	47.4	6.9
	⑤初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつながって協働していくための調整や後押し	35.0	36.8	24.5	2.5
	⑥本人を地域の多様な人たちで日常的に見守るネットワークづくり	25.5	37.1	31.4	4.7
	⑦行方不明など本人の SOS 時に素早く情報を共有し、その本人を協働で守るためのネットワークづくり	33.2	31.7	29.3	4.6
	⑧自然災害時などに素早く情報を共有し、地域の認知症の人たちを協働で守るためのネットワークづくり	9.7	20.8	57.7	10.6
	⑨IT や通信機器等を活用して、自地域の関係者・多様な人たちのネットワークを拡充する取組み	4.5	8.6	72.1	13.5
	⑩認知症関連以外の他分野の人/組織となつたり、地域での活動や支えあいを広げていく取組み	9.0	25.3	51.9	11.8

## II-5 市区町村の施策担当者からみたコロナ禍での推進員活動

8項目について質問したところ、いずれの項目についてもコロナ禍によって「現在、中止」という回答が寄せられており、その率は②「認知症カフェ」で最も高く31.5%であった。

一方、各項目とも「コロナ禍で新たに取組み始めた」という回答も寄せられており、⑧「これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している」という回答が22.0%であった。

いずれの項目においても「以前からの取組を継続している、あるいは再開した」と「コロナ禍で新たに取組み始めた」という回答を合わせるとが、「現在、中止」を上回ったおり、特に多いのが①「相談や認知症カフェなどでつながれた個々の本人の声や様子を、丁寧にとらえている」が57.5%、⑤「地域の関係者等のつながりや意欲が途切れないう、連絡や相談を細やかに行っている」が49.0%、⑧「これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している」が23.1%であった。

N=1,161 (%)

項目	以前からの取組を継続/再開	コロナ禍で新たに取組み	現在、中止	前からやっていない	把握していない
① 相談や認知症カフェなどでつながれた個々の本人の声や様子を、丁寧にとらえている	57.5	4.2	18.8	14.0	3.7
② (三密等に配慮や工夫をしながら) 認知症カフェ等の集まりを行っている	38.5	6.2	31.5	21.1	1.1
③ (三密等に配慮や工夫をしながら) 本人ミーティングや本人同士の集まりを行っている	9.2	2.6	10.3	73.3	3.0
④ (三密等に配慮や工夫をしながら) 本人が社会参加活動や戸外に出て楽しむ機会をつくっている	11.9	3.1	11.1	66.1	6.3
⑤ 地域の関係者等のつながりや意欲が途切れないう、連絡や相談を細やかに行っている	49.0	5.9	7.9	28.1	7.6
⑥ IT等を活用して、本人とつながりをつくっている	1.4	3.4	1.4	86.7	5.6
⑦ IT等を活用して、支援者同士のつながりをつくっている	4.0	6.4	1.6	80.7	5.8
⑧ これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している	23.1	22.0	3.5	38.6	11.1

### 3) 「Ⅲ. 推進員活動を通じた変化・成果」

#### Ⅲ－1. 市区町村の施策担当者からみた推進員活動を通じた「認知症の本人の変化・成果」

15項目について質問したところ、各項目について「把握していない」と回答した市区町村が約3～5割に上った。把握している市区町村においては、各項目について「昨年度よりも中身・数とも拡充している」、「(昨年より)数は増えていないが中身が充実」あるいは「数が増えた(中身は変わらず)」という回答が見られており、項目①、②、③において、その回答が比較的多かった。また、いずれの項目でも、「今年度からみられるようになった」という回答も寄せられていた。項目④～⑨、⑪、⑬～⑮については、「まだない」と回答した市区町村が約3割～6割を占めていた。

N=1,161 (%)

項目	昨年度より中身・数とも拡充	数が増えていないが中身充実	数増えたが中身変わらず	今年度からみられるようになった	まだない	把握していない
① 本人が発症後の早い段階で相談窓口につながり、相談できる相手に出会えるようになった	6.8	26.3	14.4	1.9	19.1	30.7
② 本人が発症後の早い段階で受診でき、信頼できる医師や医療関係者に会えるようになった	6.6	25.7	13.5	1.7	19.3	32.5
③ 本人が認知症カフェ等の地域の集い場につながり、仲間や味方に会えるようになった	5.7	24.2	12.0	3.4	25.8	28.1
④ 本人が自分の思いや意見を周囲や地域に向けて発することができるようになった	1.8	8.3	3.2	2.5	47.6	35.9
⑤ 本人がなじみの店や行きたいところに安心して出かけられるようになった	0.7	5.4	2.9	1.0	40.5	48.8
⑥ 本人が発症後もそれまで勤めていた職場で働きつづけられるようになった	0.2	2.2	0.9	0.6	42.5	53.0
⑦ 本人が発症後の早い段階で自分が望む社会活動に参加し、地域の中で生き生き過ごせるようになった	1.0	7.3	2.7	1.0	37.5	49.8
⑧ 本人がスマホや通信機器を使って、他の人と交流できるようになった	0.3	0.9	0.9	1.3	43.0	52.8
⑨ 本人がGPS機器やヘルプカード等を使って、一人で安心・安全に外出できるようになった	0.9	3.6	5.4	1.5	40.8	47.0
⑩ 本人が状態等の変化時に、必要な医療や介護等の専門的支援にスムーズにつながるようになった	5.3	20.9	10.9	2.0	22.2	37.9
⑪ 認知症が進行した人や施設等で暮らす人が、地域の中でつながり、生き生き過ごせるようになった	0.9	10.6	6.3	1.0	32.8	47.7
⑫ 本人があたりまえのこと(人権)を守られて、自らしく暮らしつづけられるようになった	2.1	14.3	7.4	0.9	25.9	48.7
⑬ 本人が次に続く本人のために相談にのったり、支え合うようになった	0.9	5.1	1.7	0.8	48.2	42.5
⑭ 本人が推進員とともに認知症施策推進や地域づくりの活動をするようになった	0.9	4.9	2.0	2.1	60.7	28.6
⑮ 若年性認知症の人が、上記①～⑩のいずれかで地域とつながる姿がみられるようになった	1.1	5.5	1.7	3.1	49.0	37.9

### Ⅲ－２．市区町村の施策担当者からみた推進員活動を通じた「地域の変化・成果」

14項目について質問したところ、前述の「個人の変化・成果」よりも低率ではあるが、各項目について「把握していない」と回答した都道府県が約2～4割強みられた。把握している市区町村においては、①、②、④、⑥～⑧、⑭の各項目について「昨年度よりも中身・数とも拡充している」、「(昨年より)数は増えていないが中身が充実」あるいは「数が増えた(中身は変わらず)」という回答があわせて3割～5割近くみられていた。また、いずれの項目でも、「今年度からみられるようになった」という回答も寄せられていた。項目⑤、⑩～⑬については、「まだない」と回答した市区町村が約4割～5割強を占めていた。

N=1,161 (%)

項目	昨年度より中身・数とも拡充	数が増えていないが中身充実	数が増えたが中身変わらず	今年度からみられるようになった	まだない	把握していない
① 住民が本人の声を聴こうとするようになった	4.1	16.2	9.0	2.4	25.5	41.6
② 住民が認知症を自分ごととしてとらえ、地域の本人と自然体でつきあう/関わるようになった	5.1	20.8	6.4	1.9	21.1	38.1
③ 地域の企業等で働く人たちが、認知症の人への関心を高め、配慮や工夫をするようになった	5.1	14.9	10.0	3.1	26.4	39.7
④ 住民が地域の認知症カフェ等の集い場に参加し、本人と楽しく過ごしたり一緒に活動するようになった	4.3	25.5	10.9	3.1	29.2	26.1
⑤ 住民が本人の社会参加活動に加わり、一緒に活動するようになった	1.6	7.6	3.7	0.9	42.7	42.8
⑥ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人の声を聴くようになった	6.0	23.5	8.0	1.1	16.5	44.1
⑦ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人視点にたって一緒に支援や連携の改善を図るようになった	5.5	24.4	8.1	1.4	17.5	42.5
⑧ 地域ケア会議等で、本人の声と本人視点を重視しながら、本人のよりよい暮らしや地域づくりに関して前向きな検討をするようになった	9.6	33.9	7.5	3.4	22.1	22.7
⑨ 医療・介護等の専門職の人たちが、地域の集い場や社会参加活動に参加したり、取組むようになった	3.7	17.2	6.1	1.8	32.7	37.6
⑩ 地域の中で本人と多職種、住民等がいっしょに楽しく活動するようになった	2.4	11.0	4.1	0.0	39.6	41.3
⑪ 地域の中で通信機器を活用して、本人とつながるようになった	0.3	2.1	1.1	1.2	53.3	41.2
⑫ 地域の中での認知症バリアを本人とともに具体的にみつけ、バリアが少しずつ解消されるようになった	0.3	4.5	2.1	0.3	48.4	43.7
⑬ 住民や関係者が、制度やサービスでは行き届かないことについて、自発的な取組みをするようになった	2.2	8.4	2.3	2.7	41.9	41.7
⑭ 本人の家族が、不安や負担を軽減し、本人との関係や家族なりの暮らしを継続できるようになった	3.4	18.9	7.8	1.4	22.9	44.3

### Ⅲ-3. 推進員活動を通じた施策担当者への「情報の流れや連携に関する変化・成果」

13項目について質問したところ、項目⑪を除くすべての項目で、「昨年度よりも中身・数とも拡充している」、「(昨年より)数は増えていないが中身が充実」あるいは「数が増えた(中身は変わらず)」という回答があわせて約3割～6割強みられていた。

また、いずれの項目でも、「今年度からみられるようになった」という回答も寄せられていた。項目④、⑧～⑪については、「まだない」と回答した市区町村が約4割～5割強を占めていた。

N=1,161 (%)

項目	昨年度より中身・数とも拡充	数が増えていないが中身充実	数増えたが中身変わらず	今年度からみられるようになった	まだない	把握していない
①他の行政部署の人から情報が入り、連携しやすくなった	11.5	25.4	19.7	2.2	29.6	10.3
②警察関係者から情報が入り、連携しやすくなった	15.6	22.3	23.7	2.9	24.5	10.2
③地域住民から情報が入り、連携しやすくなった	12.5	24.9	27.1	2.4	21.7	10.7
④地元の企業等、多様な分野の人から情報が入り、連携しやすくなった	5.9	18.9	13.8	3.0	41.6	16.0
⑤(他の)地域包括支援センターから情報が入り、連携しやすくなった	12.7	21.9	13.1	1.3	34.1	14.8
⑥医療関係者から情報が入り、連携しやすくなった	12.7	26.8	19.8	1.1	25.3	13.6
⑦介護関係者から情報が入り、連携しやすくなった	11.5	29.0	19.8	1.5	24.8	12.7
⑧権利擁護の関係者から情報が入り、連携しやすくなった	6.6	19.2	12.2	1.4	41.9	17.7
⑨他の推進員から情報が入り、連携しやすくなった	9.0	18.6	9.5	1.3	42.0	17.9
⑩生活支援コーディネーターから情報が入り、連携しやすくなった	10.1	20.7	9.7	3.7	41.5	13.5
⑪本人自身から情報が入り、連携しやすくなった	3.0	12.2	7.2	1.6	56.4	18.8
⑫家族から情報が入り、連携しやすくなった	9.6	23.9	20.8	2.7	27.0	15.2
⑬必要な時や困った時に、相談して助けてもらえる人が広がった	10.7	28.4	11.5	3.0	25.6	19.4

### Ⅲ-3. 市区町村での「認知症とともに生きる地域共生」の進捗状況

大綱で掲げられている共生の定義に基づいた2項目について質問したところ、2項目とも「年々拡充してきている」と「少しずつ進みつつある」が、あわせると4割強であり、「今年度から動きだしている」が、3.8%、「来年度から動きだす予定」も2割近くみられていた。

一方、「動きも予定もない」と回答した市区町村が3割強みられた。

N=1,161 (%)

項目	年々、拡充してきている	少しずつ進みつつある	今年度から動きだしている	来年度から動きだす予定	動きも予定もない
① 地域の認知症の本人が、希望をもって自分らしく暮らしつづけるようになってきている	13 (1.1)	463 (39.3)	44 (3.8)	228 (19.6)	395 (34.0)
② 認知症があってもなくても、同じ地域でともに生きる姿が広がってきている	21 (1.8)	533 (45.9)	44 (3.8)	196 (16.9)	350 (30.1)

#### <「地域共生」の進捗状況と関係のみられた要素(項目)>

「地域共生の進捗状況」に関し、上記の項目①を外的基準として市区町村調査の「○市区町村の基礎情報」、「I.市区町村による推進員活動の環境整備・体制作り」に関する主な項目とクロス集計を行った。

その結果、以下の領域・要素(項目)と「地域共生」の進捗状況に関係が見られた。

※クロス集計結果は、次ページ以降を参照。

#### ◇「市区町村の基礎情報」

- ◆ 「人口規模」
- ◆ 「高齢化率」

#### ◇ I 市区町村による「推進員活動に関する環境整備・体制」

##### I-2. 「認知症施策担当者と推進員による、わが町が目指す姿(ビジョン)の共有」

- ◆ 「わがまちが目指す本人の姿(ビジョン)を共有している」

##### ◇ I-4. 「認知症施策担当者と推進員の、推進員活動の機能・役割の共有」

- ◆ 「今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している」

##### ◇ I-5. 「認知症施策担当者と推進員の、活動方針の共有」

- ◆ 地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める」

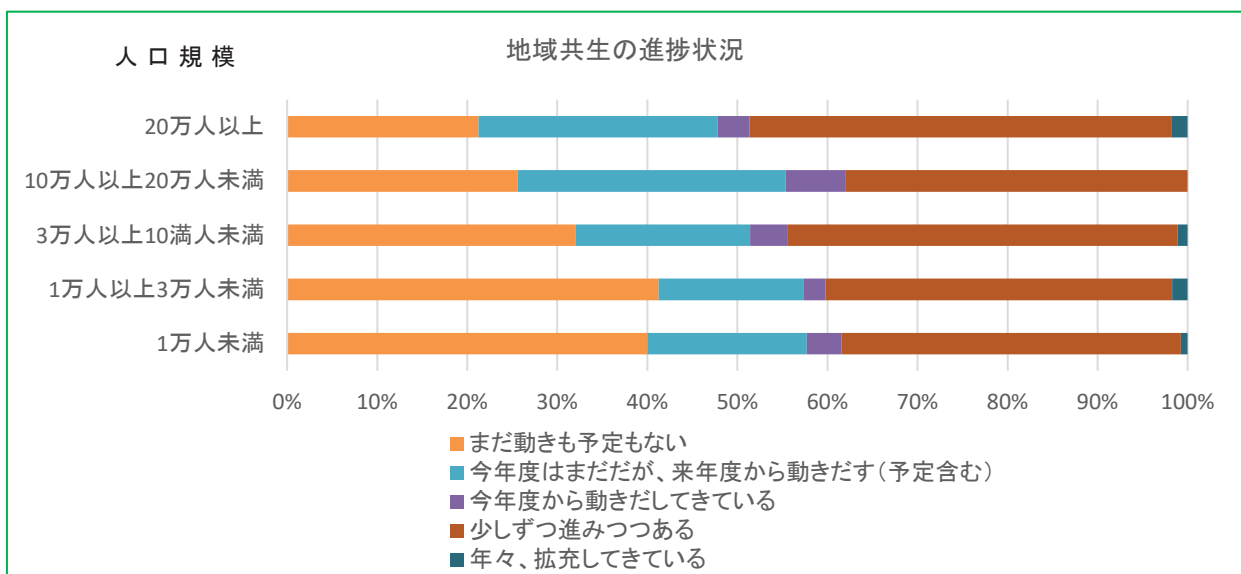
< 「市区町村の人口規模と「地域共生の進捗」との関係」 >

◆人口規模

- ◇「3万人以上」の市区町村の場合、「3万人未満」の市区町村よりも、地域共生の進みについて「まだ動きも予定もない」が多い傾向がみられた。
- ◇「3万人以上」の市区町村の場合、「3万人未満」の市区町村よりも、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」や「今年度より動きだしている」が多い傾向が見られた。
- ◇「少しずつ進めつつある」と「年々、拡充している」市区町村は、どの人口規模でも4割前後みられており、中でも「3万人以上10万人未満」と「20万人以上」の市区町村でそれらが多い傾向が見られた、

不明を除く N=1,141

人口規模	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充している
1万人未満 (280)	40.0	17.7	3.8	37.7	0.8
1万人以上3万人未満 (291)	41.2	16.2	2.4	38.5	1.7
3万人以上10万人未満 (356)	32.0	19.4	4.2	43.3	1.1
10万人以上20万人未満 (121)	25.6	29.8	6.6	38.0	0.0
20万人以上 (113)	21.2	26.5	3.5	46.9	1.8



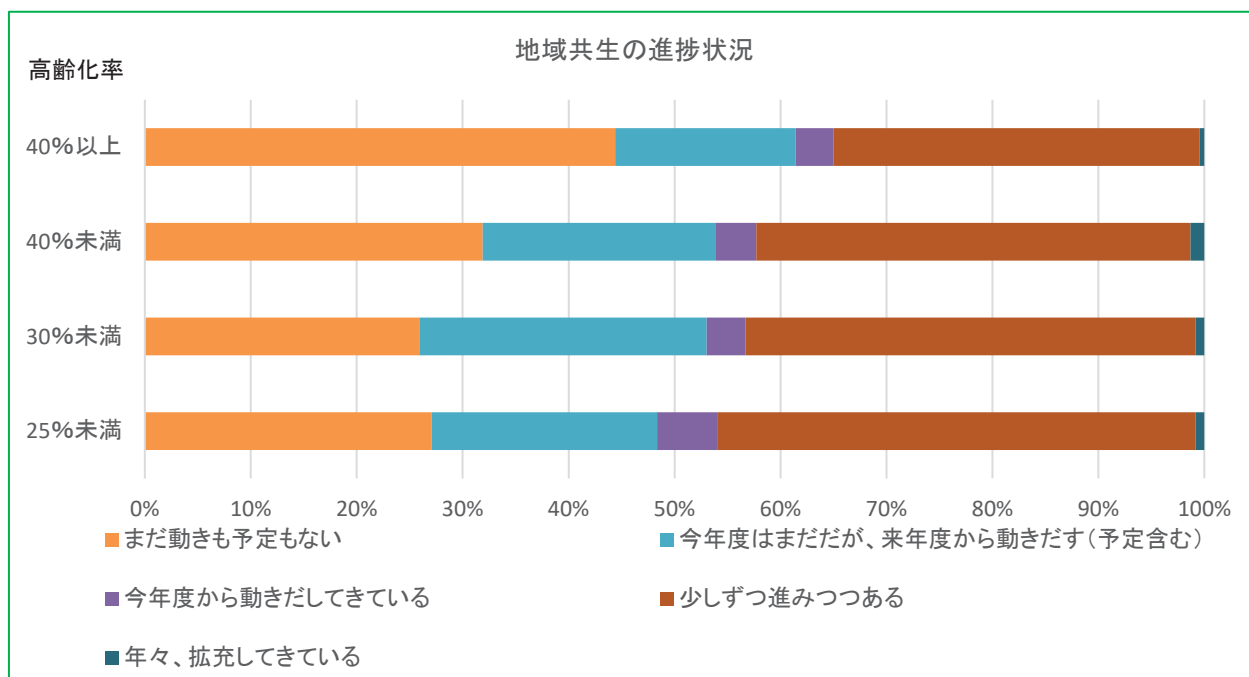


## < 「市区町村の高齢化率と「地域共生の進捗」との関係」 >

- ◆高齢化率→◇「40%以上」の市区町村の場合、「40%未満」の市区町村よりも、地域共生の進みについて「まだ動きも予定もない」が多い傾向がみられた。
- ◇「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度より動きだしている」、「少しずつ進めつつある」といった何らかの進捗の動きがあると回答した市区町村は、どのでもみられていたが、それら進みつつある市区町村は、高齢化率が低い市区町村において多い傾向がみられた。

不明を除く N=1,134

高齢化率	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充している
25%未満 (122)	27.0	21.3	5.7	45.1	0.8
25～30%未満 (247)	25.9	27.1	3.6	42.5	0.8
30～40%未満 (527)	31.9	22.0	3.8	41.0	1.3
40%以上 (223)	44.4	17.0	3.6	34.5	0.4



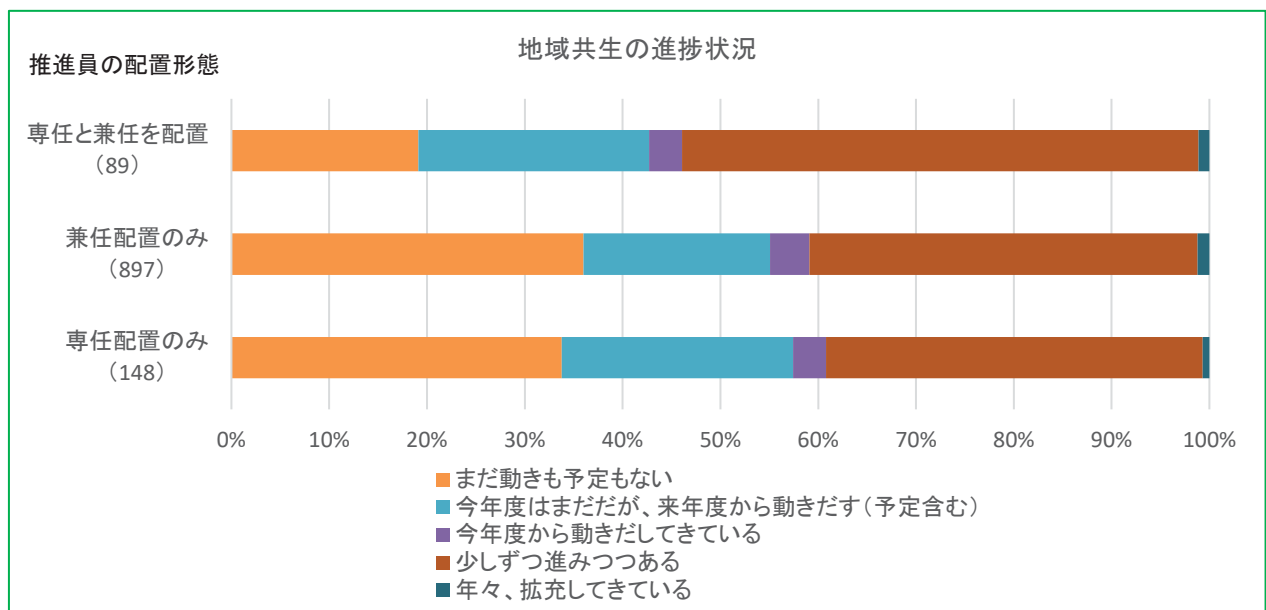
< 「I. 市区町村による推進員活動の環境整備・体制作りと「地域共生の進捗」との関係」 >

◆ 「推進員の配置形態」との関係

- ◇ 「専任配置のみ」と「県民配置のみ」では、地域共生の進捗状況に関する分布はほぼ同様の傾向が見られた。
- ◇ いずれの配置形態でも、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度より動きだしている」、「少しずつ進めつつある」、「年々、拡充している」等、何らかの進捗があるといった回答が多数よせられている。
- ◇ 「専任と兼任を配置」の場合に、進捗が見られている率が高い傾向がみられている。

不明等を除く N=1,134

配置形態	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充している
専任配置のみ (148)	33.8	23.6	3.4	38.5	0.7
兼任配置のみ (897)	36.0	19.1	4.0	39.7	1.2
専任と兼任を配置 (89)	19.1	23.6	3.4	52.8	1.1



＜「市区町村による「I.による推進員活動の環境整備・体制作りと「地域共生の進捗」との関係」＞

I-2. 「市区町村担当者と推進員の目指す姿（ビジョン）の共有」との関係

◆認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、市区町村として目指す本人の姿を共有している

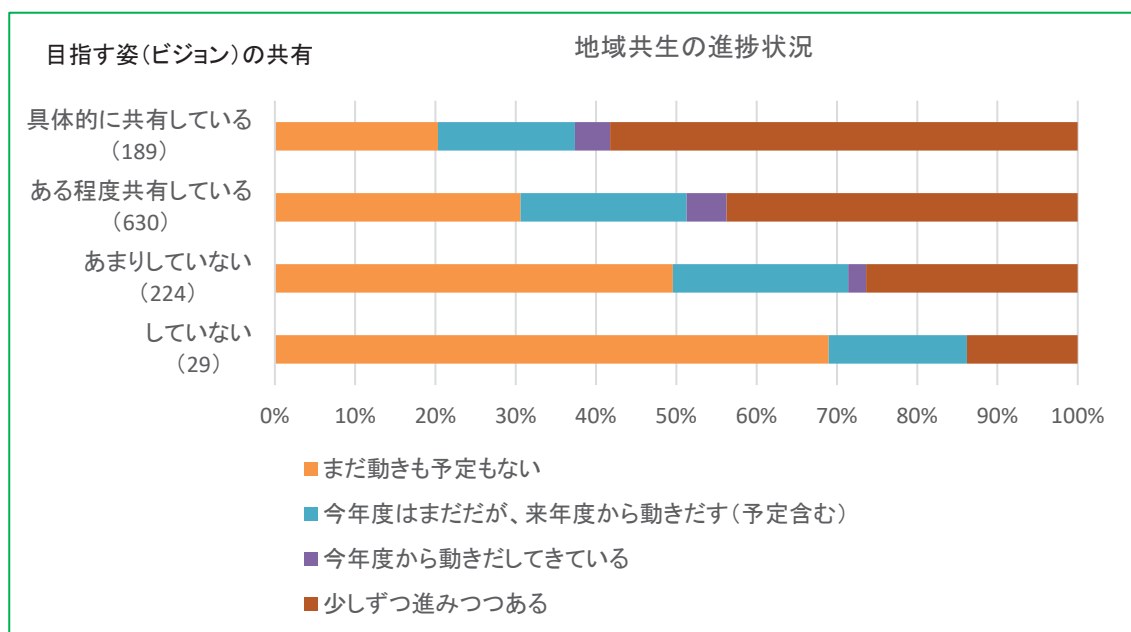
→◇（あまり）共有していない」場合、「共有している」場合より「まだ動きも予定もない」が高率。

◇「共有していない」場合より「共有している」場合が、「今年度から動き出している」、「少しずつ進みつつある」、「年々、拡充してきている」などの地域共生に進捗がみられる率が高い。

◇「具体的に共有している」場合、「ある程度共有している」場合より、地域共生が「少しずつ進みつつある」、「年々、拡充してきている」が高率という結果がみられている。

推進員が行政職員のみ、および不明を除く N=1,072

認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、市区町村として目指す本人の姿を共有している	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
していない (29)	69.0	17.2	0.0	13.8	0.0
あまりしていない (224)	49.6	21.9	2.2	26.3	0.0
ある程度共有している (630)	30.3	20.5	4.9	43.3	1.0
具体的に共有している (189)	19.6	16.4	4.2	56.1	3.7



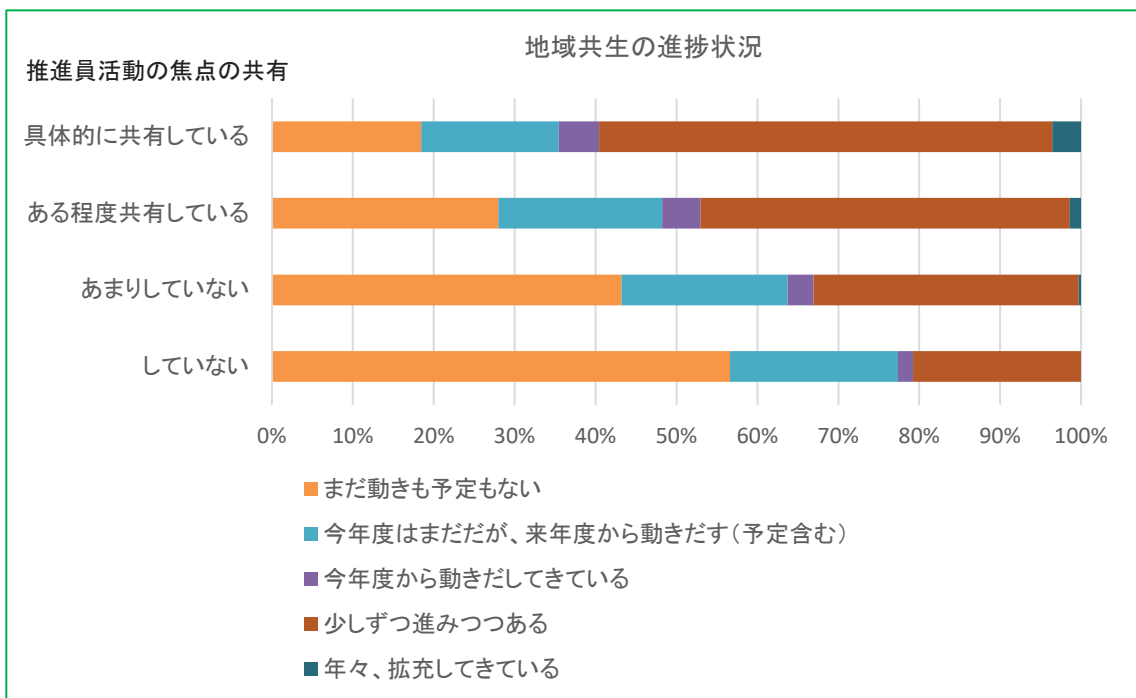
#### I-4. 「市区町村担当者と推進員の、推進員活動の機能・役割の共有」との関係

##### ◆今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している

- ◇「(あまり)していない」場合、「共有している」場合より「まだ動きも予定もない」が高率。
- ◇「(あまり)していない」場合より「共有している」場合が、「今年度から動き出している」、「少しずつ進みつつある」、「年々、拡充してきている」などの地域共生に進捗がみられる率が高い。
- ◇「具体的に共有している」場合、「ある程度共有している」場合より、地域共生が「少しずつ進みつつある」、「年々、拡充してきている」が高率である。

推進員が行政職員のみ、および不明を除く N=1,074

今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点についての共有	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
していない(53)	56.6	20.8	1.9	20.8	0.0
あまりしていない(375)	43.2	20.5	3.2	32.8	0.3
ある程度共有している(504)	28.0	20.2	4.8	45.6	1.4
具体的に共有している(141)	18.4	17.0	5.0	56.0	3.5



### I-3. 「市区町村担当者と推進員との活動方針の共有」との関係

#### ◆地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める

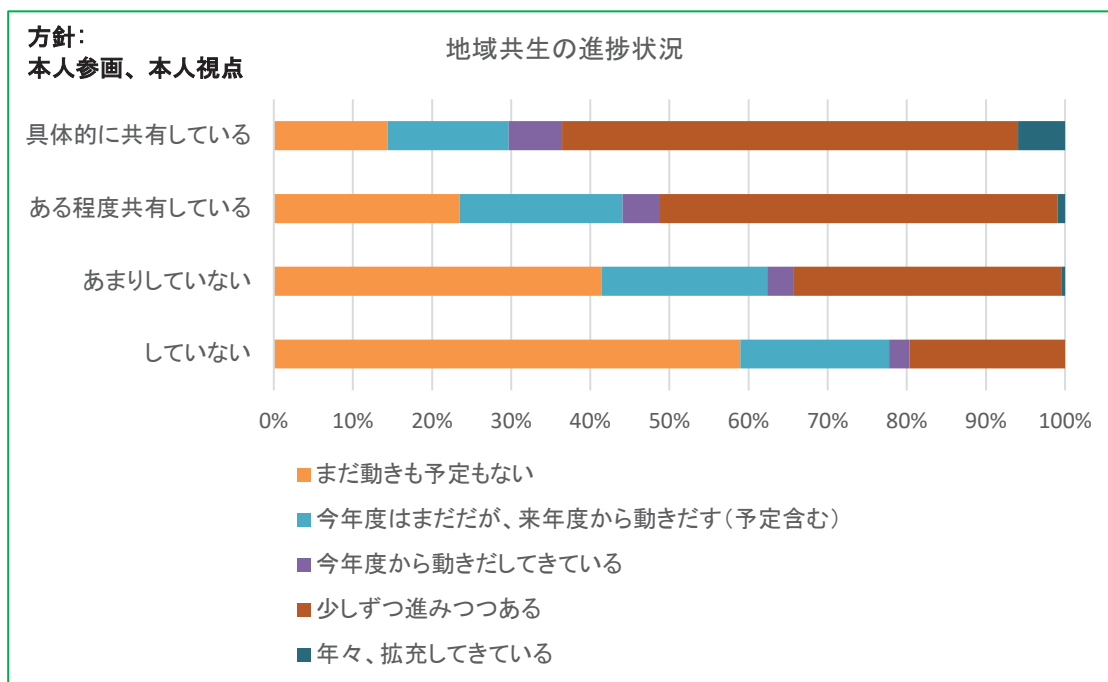
→◇「(あまり)していない」場合、「共有している」場合より「まだ動きも予定もない」が高率。

◇「(あまり)していない」場合より「共有している」場合が、「今年度から動き出している」、「少しずつ進みつつある」、「年々、拡充してきている」などの地域共生に進捗がみられる率が高い。

◇「具体的に共有している」場合、「ある程度共有している」場合より、地域共生が「少しずつ進みつつある」、「年々、拡充してきている」が高率である。

推進員が行政職員のみ、および不明を除く N=1,073

今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点についての共有	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
していない(117)	59.0	18.8	2.6	19.7	0.0
あまりしていない(425)	41.4	20.9	3.3	33.9	0.5
ある程度共有している(413)	23.5	20.6	4.6	50.4	1.0
具体的に共有している(118)	14.4	15.3	6.8	57.6	5.9



#### 4) 「Ⅳ. 推進員(事業)を担当してみたの自分なり(市区町村担当者)の思いや体験」

7項目について質問したところ、①～⑥の項目について「(非常に) そう思う」、「そう思う」という前向きな回答が、あわせて4割～7割寄せられていた。一方、項目①、③、④については「(あまり) 思わない」、「思わない」という回答も3割強みられた。

⑦「推進員(事業)を担当していく上での、負担やストレスが大きい」については、「(あまり) 思わない」が47.7%であったが、「(非常に) そう思う」という回答も51.1%寄せられていた。

N=1,161 (%)

項目	非常にそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない
① 推進員(事業)を担当し、やっていて楽しい	7.5	54.1	31.6	5.5
② 推進員(事業)を担当し、やりがいがある	12.7	63.7	19.1	3.2
③ 推進員(事業)を担当し、これまではやりたくても十分にできなかったことがやれてうれしい	4.2	37.6	47.8	9.1
④ 推進員(事業)を担当し、新しいことや未解決のことにチャレンジできておもしろい	6.4	47.2	38.3	6.9
⑤ 推進員(事業)を担当し、自分の力が引き出されたり、つながりが広がって、自分のためになっている	9.2	61.2	23.5	4.9
⑥ 推進員(事業)の担当を、今後も継続したい	9.3	61.5	23.8	4.2
⑦ 推進員(事業)を担当していく上での、負担やストレスが大きい	8.6	42.5	39.9	7.8

各項目に無回答14～15(1.2～1.3%)、表から略

#### 5) 「Ⅴ. 推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと」

##### V-1. 推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと

10項目について質問したところ、いずれも「すでになされているが今後必要」、「まだ不十分で、今後強化が必要」、「大きな課題で、非常に必要」という回答が多く寄せられており、特に「いずれの項目においてもまだ不十分で、今後強化が必要」という回答が多かった。

項目④～⑦については、「大きな課題で、非常に必要」が2割前後見られていた。

N=1,161 (%)

項目	すでになされているが今後必要	まだ不十分で、今後強化が必要	大きな課題で、非常に必要	必要でない
① 推進員として何をやらせたいか、役割・機能について都道府県と市区町村/推進員との具体的な話し合いが必要	33.5	47.1	15.9	2.5
② 推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について行政と推進員との間で検討し、明確にすることが必要	25.5	53.7	17.5	2.4
③ 推進員としてやるべきこと/やりたいことを主体的にやれるように、活動の自由度を高めることが必要	28.5	49.6	13.4	7.6

④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要	19.4	56.3	18.4	4.9
⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要	19.1	50.5	25.3	4.1
⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじっくりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要	21.5	46.9	19.3	11.2
⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫（増員やフォーメーションづくり等）の促進が必要	28.1	46.4	22.5	12.0
⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員が、それぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫の促進が必要 *下段の数値の母数は推進員が一人を除く 874	21.0 27.9	36.4 48.4	12.1 16.1	4.0
⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援・体制が必要	32.3	50.3	12.3	4.1
⑩市区町村の施策担当者が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援・体制が必要	30.6	50.7	13.6	3.5

各項目無回答 11~20 表から略

「すでになされているが今後も必要」、「まだ不十分で、今後強化が必要」、「大きな課題で、非常に必要」を合算すると非常に高率であり、多い項目順にみると以下の通りであった。

合算して再掲 (%)

市区町村調査：「すでになされているが今後も必要」、「まだ不十分で、今後強化が必要」、「大きな課題で、非常に必要」の合算が多い項目順		市区町村 N=1,161	都道府県 (順位)
1	②推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について行政と推進員との間で検討し、明確にすることが必要	96.7	89.3 (5)
2	① 推進員として何をやらせたいか、役割・機能について都道府県と市区町村/推進員との具体的な話し合いが必要	96.5	87.2 (8)
3	⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要	94.9	95.8 (1)
4	⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援・体制が必要	94.9	95.7 (2)
5	⑩市区町村の施策担当者が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援・体制が必要	94.9	95.7 (2)
6	④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要	94.1	89.3 (5)
7	⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員が、それぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫の促進が必要 *母数は推進員が一人を除く 874	92.4	93.7 (4)
8	③ 推進員としてやるべきこと/やりたいことを主体的にやれるように、活動の自由度を高めることが必要	91.5	87.2 (8)
9	⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじっくりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要	87.7	85.1 (10)
10	⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫（増員やフォーメーションづくり等）の促進が必要	87.1	89.3 (5)

## V—2. 今後の推進員活動を向上させていくために必要な体制や支援等

11項目について質問したところ、いずれの項目についても「(非常に) 必要」、「必要」を合算すると、7割強から8割を占めていた。

N=1,161 (%)

項目	非常に必要	必要	必要でない
①全国で行う推進員研修（新任者、現任者）	19.5	60.6	18.7
② 都道府県で行う推進員研修（新任者、現任者）	40.0	56.4	2.8
③全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	18.9	68.2	12.1
④都道府県内での推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	30.7	63.3	5.1
⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	44.1	52.5	2.5
⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	35.8	46.9	14.6
⑦推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	34.1	62.3	2.8
⑧ 施策担当者が推進員活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	30.4	64.9	3.8
⑨施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に 関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会	33.9	62.4	2.8
⑩ 情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援	24.3	64.8	10.1
⑪ 全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ	26.4	67.8	4.1

「非常に必要」という回答が特に多かった上位5項目は、多い順に以下の通りであった。

再掲 N=1,161 (%)

⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	44.1
② 都道府県で行う推進員研修（新任者、現任者）	40.0
⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	35.8
⑦推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	34.1
⑨施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に 関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会	33.9

「必要」という回答が特に多かった上位5項目は、多い順に以下の通りであった。

再掲 N=1,161 (%)

③全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	68.2
⑪全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ	67.8
⑧施策担当者が推進員活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	64.9
⑩情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援	64.8
⑨施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に 関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会	62.4



## <進員活動を進めていく上での課題や必要なこと:市区町村の施策担当者の自由記述より>

推進員活動に関する「具体的な課題」及び「必要なこと」に関して、市区町村担当者から寄せられた自由記述の主な内容を抜粋し、内容に沿って整理を行った。

### <推進員活動に関する市区町村としての具体的な課題>

#### ○推進員の業務や位置づけ、体制に関して

- ・行政職員、包括職員、認知症地域支援推進員の役割を兼務しているため、どの立場での関わりなのか迷うことがある。
- ・地域包括支援センターの職員が認知症地域支援推進員、認知症初期支援チーム員、認知症施策担当等の全てを兼務しており、認知症施策全体を総合的に取組んでいる。そのため、認知症地域支援推進員として何に取組んでいるのか・成果が出ているのかという評価が難しい。
- ・推進員は兼任配置のため、他の業務とのバランスで「推進員活動」「認知症施策」に力を入れることが難しい。
- ・推進員は、行政の職員が兼務で行っており、推進員活動の一部分を行っているような状況である。
- ・活動を向上させていくために適当な人員配置が必要だと考えるが、現状難しい。
- ・日々の業務の中では個別ケースへの支援が多く、そこから地域全体へ活動を広めていくには時間を要する。
- ・本市は、非常勤職員として認知症地域支援推進員を配置していますが、入れ替わりが激しく、地域のネットワークの継続が難しい、あらたな関係性の構築から毎年行っていた状況です。
- ・他業務との兼務であり、認知症推進員の業務は必要と感じてはいるが、目の前の困っている人への対応が優先されてしまう。
- ・推進員は保健部門の保健師が兼務しており、認知症初期集中支援チーム員会議の参加などで情報や課題共有はしてもらっているが、人力的の充足的にも具体的な推進員の活動に取り組む状況ではない。
- ・推進員活動の実態把握が難しい

#### ○地域特性による推進員活動の課題

- ・人口が少ないため、マンパワーが不足している。専門的な知識を有した者も少ない。そのため、対象者が出た場合に十分に備えることが難しいのが現状。
- ・コアとなる住民（人材）が少ない地方においては、推進員活動やチームオレンジの活動はどう進めて良いのか迷うばかりで、行政が兼務するしかない中で負担が増している。
- ・小規模村であるため、兼務の業務量が多い。人材・業務等考慮しての活動で、推進員＝地域包括職員＝役場職員をすべて網羅する形になっている。
- ・東日本大震災より一部区域で帰町したが、社会資源が枯渇している。

### ○地域の実情にあった展開に関して

- ・ 行政担当としても初期チーム・チームオレンジ等、枠が決められた形で下りてくる事業ばかりで、地域の実情にあった展開が難しい。

### ○行政と推進員との目的・目標との共有について

- ・ 行政と委託先の認知症地域支援推進員と目的・目標のすり合わせや共有ができていない。活動の重きをおいているのが、行政側の目的（認知症の人が地域で生活していけるような土壌づくり）と異なったところ（認知症になった方の受診勧奨やサービスへつなげる）で、介入しづらい。
- ・ 個別の課題と地域の認知症施策がつながっているのか実感がない。

### ○地域の現状に関する推進員活動の課題

- ・ 家族が困って包括に相談する時が、多く早期相談に結び付かない。
- ・ 認知症の人本人の事業参加が少なく、本人のニーズが事業に反映されにくい。
- ・ 当事者と関わることはあるものの、当事者が病名を隠してしまうようなことも、まだまだ多く、活動が進まないこともある。

### ○近隣自治体との連携

- ・ 推進員は広域行政組合の所属であり、構成市町の認知症施策担当者との連携が弱いときがある。

### ○活動の方向性、展開のあり方に関して

- ・ 個別の課題が整理されていないので地域の課題把握ができていない

### ○推進員が学ぶ機会の確保

- ・ 離島でアクセスも悪いため、研修の参加や島外から専門的な職員を呼ぶことも難しい。

### ○推進員同士の連携について

- ・ 現在、行政が推進員連絡会を開催しているが、市内に複数の推進員が配置されている利点を活かして、普段から推進員が自発的に情報共有や情報交換を行う事でスキルの向上が期待されるが、現時点で、自主的な推進員同士の連携の機会が少ない。

### ○情報システムの課題

- ・ 委託の地域包括支援センター所属の推進員とは共通の情報システムが整備されておらず、メールでのやり取りの共有が遅れる場合がある。"

## <推進員活動に関して、必要と感じていること>

### ○地域の実情に合わせた推進員が活動するための体制の強化

- ・地域の実情に合わせて推進員が活動することを支える体制の強化
- ・小規模村であるため、人材・業務等考慮しての活動で、推進員＝地域包括職員＝役場職員をすべて網羅する形になっている。行政だけでなく、住民・関係機関等と協働しての取り組みが必須だと思う。
- ・推進員ではないが、ボランティアのなかに近い役割を担ってくれている方もおり、今ある人材を生かしながら、今後の方針の検討が必要である。
- ・推進員活動と地域の成果・変化の関連性について評価できる指標の設定。

### ○市区町村職員と推進員との目標・ビジョン・焦点の共有

- ・相談や検討ケースは、認知症が進行し、すでに日常生活や地域において問題となっているケースが中心となっており、軽度者の早期発見・対応や、認知症に対する正しい知識の普及啓発と支え合いの地域づくりが必要
- ・個別支援の視点だけでなく、組織の目標に向けた視点や、様々な認知症施策に対する関心を高める必要がある。
- ・包括支援センターに委託しているため、職員配置や役割分担などについて、行政としてももう少し具体的な話し合いができればよいと考えます。

### ○推進員の活動のあり方について

- ・推進員が担当している区域が広いと、地域住民が気軽に推進員を頼れる様、地域に出向いたりPR活動をすることが大切。
- ・こころの声アンケートを実施し、これまでの支援が本人の声を聞きながらも、家族など周囲の声（要望など）に重きを置いていたのではないかと反省した。本人、家族にも本人を中心とした支援を知ってもらわなければならない。介護・医療職など専門職は本人主体と分かっているながらも、うまく調整つかないジレンマもあり、こころの声アンケートの結果共有とあわせて、支援の在り方を考える場を設けなければいけないと思った。

### ○近隣市区町村の推進員同士のつながり・情報共有

- ・自地域で1人体制のため、細かい相談等ができない状況にあるため、できるだけ、近隣市町村との関わりを持ちながら、情報共有していただきたい。

## 5. 【推進員調査】の結果

○推進員が配置された市区町村の基本情報について (N=3,402) \*単純集計の結果全体は、巻末資料を参照

■人口規模：1万人未満が11.3%、1万～3万人未満が15.6%、3万～10万人未満が25.9%、10万～20万人未満が15.7%、20万人以上が29.1%。

※市区町村調査と比較すると、10万～20万人未満が15.7%、20万人以上が多い。

■高齢化率：25～30%未満が最も多く30.2%、次いで30～35%未満が22.8%、25%未満が16.8%、35～40%未満が16.6%、40%以上が11.1%。

※市区町村調査と比較すると、30%未満が多い。

### 1) 「I. 推進員活動に関する環境整備・体制」

○推進員としての配置状況等 ※以下、グラフでは無回答を除いた数値で表記。

#### ① 現在、推進員を配置している組織

「市区町村市役所」が11.0%、「直営地域包括支援センター」が28.5%、委託型地域包括支援センターが52.7%、「社会福祉協議会」が2.5%、「介護事業所」が2.0%、「認知症疾患医療センター等医療機関」が1.7%、その他が1.1%であった。

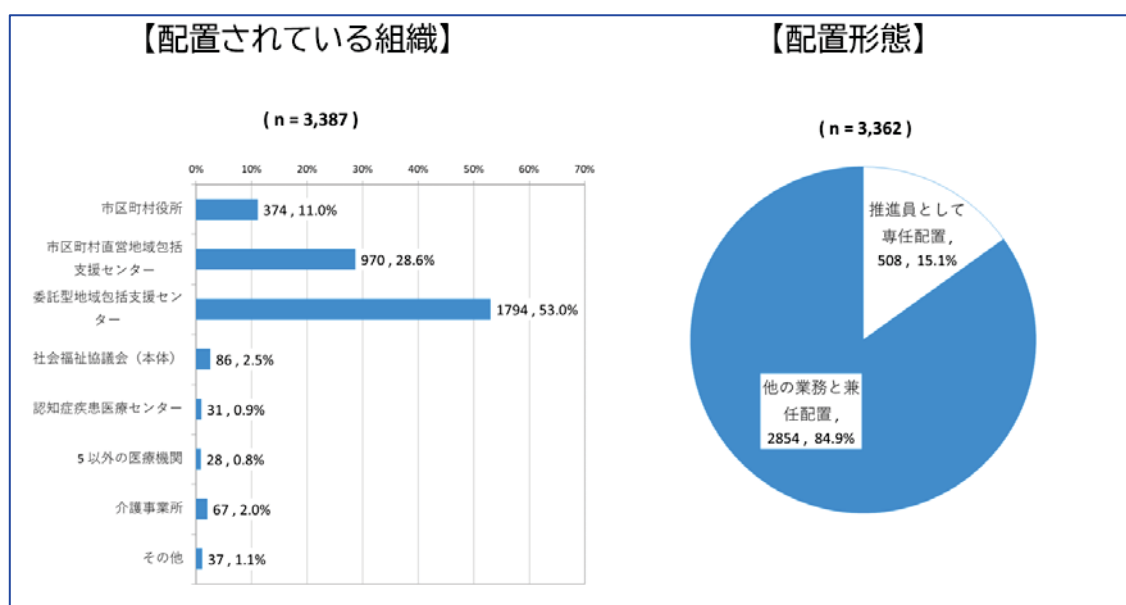
#### ② 推進員の配置形態

「専任配置」が14.9%、「兼任配置」が83.9%、無回答が1.2% (40名)。

#### ③ 推進員の勤務形態

「常勤」が89.7%、「非常勤」が9.4%、無回答が3.9% (133名)。

3,402人中、未記入を除いてグラフ化



#### ④ 配置されてからの年数

「1年未満」が14.9%、「1～3年未満」が40.4%、「3～5年未満」が29.2%、5年以上が14.0%、無回答が1.9%（65名）。

#### ⑤ 組織の中で何代目か

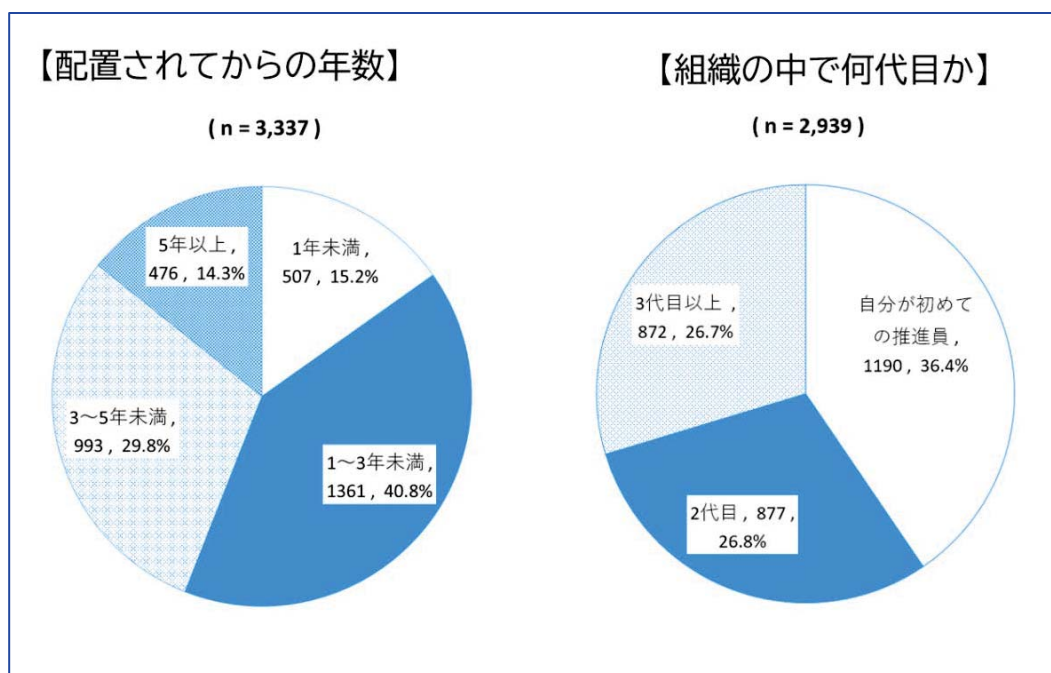
「自分が初」35.0%、「2代目」25.8%、「3代目以上」25.6%、不明・無回答が13.6%（133名）。

#### ⑥ 推進員以外の連携担当の役割

「初期集中支援チーム員」が51.1%、「生活支援コーディネーター」が12.5%、「在宅医療・介護連携推進に関するコーディネーター」が6.1%、「相談支援包括化推進員」が3.6%、「若年性認知症支援コーディネーター」が1.0%、「高齢者の就労的活動のコーディネーター」が0.2%、「その他」が17.8%であった。

#### ⑦ 全仕事の中で推進員業務が占める割合(エフォート)

「10%未満」13.8%、「10～30%未満」43.6%、「30～60%未満」26.7%、「60%以上」12.9%、無回答3.0%（102）



### I-1. 市区町村の認知症施策担当者と推進員との関係づくり・協働について

8項目について質問したところ、項目④以外は、いずれの項目も「日常的にある」あるいは「時々ある」が最も多く、3割強～5割近くを占めていた。いずれの項目も「あまりない」、「ほとんどない」と回答した推進員が合算すると2～6割程度みられた。

N=3,402 (%)

項目	日常的にある	時々ある	あまりない	(ほとんど)ない
① 実際に会ったり電話をして直接話しをしている	49.7	31.5	9.5	7.2
② お互いの気づきや意見を率直に話し合えている	40.9	34.5	14.2	8.5
③ 認知症施策担当者が、推進員の個性ややりたいことを大切にしている	36.2	36.8	15.9	8.9
④ 担当者と推進員と一緒に、地元の認知症の本人の話を聴いたり本人と過ごしている	11.7	24.8	28.9	32.5
⑤ 事業や取組みを実際に行う際に、認知症施策担当者と推進員と一緒に現場に出て協力している	23.7	34.3	19.8	20.2
⑥ 推進員が悩んだり困っている時に、認知症施策担当者に相談したり助けを求めている	32.0	35.1	17.6	13.2
⑦ 認知症施策担当者が悩んだり困っている時に、推進員に相談したり助けを求めている	24.4	35.2	21.3	16.9
⑧ 認知症施策担当者が推進員の意見や提案を聴き、それらを計画作り/予算に反映している	28.5	38.5	17.3	13.1

各項目の無回答を略

### I-2-3. 市区町村担当者や推進員との、目指す姿(ビジョン)、現状と課題の共有

目指す姿(ビジョン)の共有に関し2項目について質問したところ、①「目指す本人の姿の共有」、②「目指す地域の姿の共有」とともに、「ある程度共有」が多く5割強であり、「(あまり)していない」が3割強であった。

現状と課題の共有に関しても2項目について質問したところ、①「本人の暮らしの現状と課題の共有」、②「地域の現状と課題の共有」とともに、「ある程度共有」が多く5割前後であり、「(あまり)していない」が、39.0%、33.0%を占めていた。

N=3,402 (%)

	項目	具体的に共有	ある程度共有	あまりしていない	していない
2 ビジョン	① 認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、都道府県として目指す本人の姿を共有している	13.2	54.0	25.2	6.9
	② 市区町村がどんな地域になったらいいか、わがまちが目指す地域の姿を共有している	13.2	55.0	24.5	6.6
3 現状と課題	① 本人がどのように暮らしているのか、その現状と課題を共有している	10.6	49.6	30.6	8.4
	② 認知症をめぐる地域で起きていることの現状と課題を共有している	11.3	54.7	26.2	6.8

各項目の無回答(2名)を略

#### I-4-5. 市区町村担当者と推進員との、推進員活動の機能・役割、方針の共有

推進員活動の機能・役割の共有に関し2項目について質問したところ、①「推進員活動の機能・役割の共有」については、「具体的に共有」は12.8%であり、「ある程度共有」が52.3%であった。②「推進員活動の焦点の共有」は、「具体的に共有」は8.6%であり、「ある程度共有」が39.7%、「(あまり)していない」が50.6%であった。

推進員活動の方針の共有に関し10項目について質問したところ、各項目とも「具体的に共有」は1割前後であり、項目④、⑩を除き「ある程度共有」が多く約4割から5割強を占めていた。一方、各項目とも「(あまり)していない」と回答した推進員が約3割～5割強を占めていた。

N=3,402 (%)

	項目	具体的に共有	ある程度共有	あまりしていない	していない
4 機能・役割	① 自地域で必要な推進員活動の機能・役割について共有している	12.8	52.3	27.1	6.9
	② ①の中でも、今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している	8.6	39.7	40.4	10.2
5 推進員活動の方針の共有	① 事業をこなすことを焦らずに、誰のために、何のために活動するのか、目的を見失わないようにする	13.6	57.1	22.4	6.2
	② 認知症を自分事として考え、本人と地域が希望を持てるあり方をともに作りだしていく	12.0	55.2	26.2	5.9
	③ 地域の中にある古い認知症観や取組み方を、推進員が活動を通じて転換していく	9.8	50.4	30.8	8.1
	④ 地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める	7.5	37.4	41.6	12.8
	⑤ 地域の特徴やあるものを大切に活かし、自地域ならではの取組みを進めていく	9.5	47.8	33.7	8.4
	⑥ 推進員が、本人や地域の現状・課題を行政につなぐパイプ役を果たす	11.0	49.2	30.9	8.1
	⑦ 推進員が企画をたて、行政と協働しながら、自発的な活動を展開していく	11.2	40.1	35.5	12.3
	⑧ 当初の計画等の枠内でとどまらずに、やりながらよりよい取組みに発展させていく	10.7	43.9	34.1	10.5
	⑨ 事業や取組みを単発で行わず、その後の継続や展開の仕方を常に考えながら行う	11.0	49.1	30.0	9.1
	⑩ 事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく	7.6	39.7	40.1	11.5

各項目の無回答を略

### I-6. 「推進員の活動のしやすさ」に関する市区町村としての配慮や取組み

9項目について質問したところ、「十分にある」と回答した推進員は、いずれの項目も1割前後であった。項目②, ③, ④以外については「ある程度している」という回答がもっとも多く、各項目とも4割強を占めていた。

②「関係組織（医師会、自治会、警察、企業等）に推進員活動が進めやすくなるための行政からの説明や後押し」、③「推進員の存在や活動を、行政として地域へ広く発信・周知」、④「推進員が地域連携を進めやすくなるための、行政内の分野横断の庁内連携」については、「(あまり)していない」が多くあわせて5割強から6割強を占めていた。

N= 3,402 (%)

項目	十分にある	ある程度ある	あまりない	ない
①推進員の職場の管理者・上司等に、推進員活動の理解や協力を得るための行政からの説明や後押し	18.4	46.5	25.2	8.8
②関係組織（医師会、自治会、警察、企業等）に推進員活動が進めやすくなるための行政からの説明や後押し	8.1	38.1	40.6	12.0
③推進員の存在や活動を、行政として地域へ広く発信・周知	6.8	38.6	42.4	11.1
④推進員が地域連携を進めやすくなるための、行政内の分野横断の庁内連携	5.1	29.7	47.8	16.0
⑤推進員が実際の活動上、必要となった具体的な地域連携のための行政としてのつなぎや調整	10.0	43.7	34.1	10.7
⑥推進員が活動を進める上で必要になった場所や資材、資金等の調整・支援	11.5	44.4	30.2	12.6
⑦推進員が活動を進める上で必要な情報や参考になる地域・人の情報を提供したりつなぐ	10.2	49.6	29.4	9.5
⑧推進員が事業や取組みに踏み出せるための勇気づけや後押し	10.6	43.0	33.5	11.6
⑨ 推進員活動を進めながら失敗やトラブルが生じた際、行政と一緒に考え、助力やカバーをしている	14.9	46.4	26.5	10.6

各項目の無回答を略



### I-7. 推進員同士がつながり、話し合い、学びあう機会づくり

7項目について質問したところ、①「同じ市区町村内の推進員同士が集まり/つながり、話し合ったり学び合う機会がある」、③「情報共有や相談等をしあうための行政関係者と推進員とのメールやライン等のネットワークがある」、⑥「都道府県や全国の推進員研修や集まりに参加できるよう市区町村の支援がある」の3項目については、「(十分に)ある」と回答した市区町村が50%以上であったが、他の4項目については「(あまり)ない」と回答した市区町村が半数以上を占めていた。

N= 3,402 (%)

項目	十分ある	ある程度	あまりない	ない
① 同じ市区町村内の推進員同士が集まり/つながり、話し合ったり学び合う機会がある *下段は推進員が一人・無回答を除く5149をもとに%	25.7 27.8	40.9 44.1	15.8 17.0	10.3 11.1
② 近隣の市区町村の推進員同士がつながり、話し合ったり学び合う機会がある	3.9	19.5	36.1	39.5
③ 情報共有や相談等をしあうための行政関係者と推進員とのメールやライン等のネットワークがある	20.8	31.8	18.7	27.6
④ 推進員同士等がつながり学び合うためのネット環境の整備に関して、市区町村の支援や後押しがある	9.3	23.3	29.9	36.3
⑤ 推進員同士の情報や活動に関する通信を市区町村が出している/推進員が出すのを支援している	6.7	20.7	27.7	43.7
⑥ 都道府県や全国の推進員研修や集まりに参加できるよう市区町村の支援がある	22.1	45.1	18.5	13.2
⑦ 他地域の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり直に交流する機会をつくる	8.6	35.5	33.0	21.8

各項目の無回答を略

### I-8. 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」や「質の評価」等、向上に関する取組

6項目について質問したところ、いずれの項目についても「担当者と推進員と一緒に取組んでいる」との回答がみられていたが、「行っていない」が多数を占めていた。

また、いずれの項目についても、「推進員同士が自主的に取組んでいる」、「推進員が個人で行っている」との回答も見られていた。

⑥「推進員活動の報告会を開き、活動の向上に関する話し合いを行っている」場合の開催スタイルとしては、「推進員のみで実施」が14.5%と最も多く、次いで「活動の関係者が参加して実施」が13.3%、「地域で公開して実施」が1.5%であった。

N= 3,402 (%)

項目	担当者と推進員が一緒に	推進員同士が自主的に	推進員が個人で	行っていない
① 推進員活動の「PDCA (計画・実践・見直し・改善)」に取り組んでいる	31.9	10.4	16.3	40.3
② 推進員活動の「質の評価」に取り組んでいる	18.5	8.6	13.8	58.1
③ 自治体内の推進員活動の取組みの実際や成果等に関する冊子や事例集等を作成している	9.8	3.1	4.4	81.6
④ 推進員活動の取組みの実際や成果等を、自治体等のホームページ (HP) で地域に発信している	13.7	3.1	4.8	77.1
⑤ 推進員活動の実際や成果等を、ホームページ (HP) や報告会以外の方法で地域に PR している	13.0	5.0	8.1	72.7
⑥ 推進員活動の報告会を開き、活動の向上に関する話し合いを行っている	24.5	5.7	3.7	64.7
※ ⑥-1 報告会を行っている場合、の開催スタイル				
	地域で公開して実施	51	1.5%	
	活動の関係者が参加して実施	452	13.3%	
	推進員のみで実施	492	14.5%	
	その他	227	6.7%	

各項目：無回答を略

### I-9. 市区町村としての推進員活動が持続発展していくための、行政の配慮・工夫等

4項目について質問したところ、いずれの項目に関しても「ない」が最も多く、「ない」「あまりない」を合わせると、6割強から9割近くを占めていた。

一方、各項目について「具体的にある」、「ある」と回答した推進員もみられた。それらを合わせた割合が比較的高かった項目①「推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ」では22.7%、④「推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをするための機会作り・支援」では32.5%であった。

N=3,402 (%)

項目	具体的に ある	ある	あまり ない	ない
① 推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ	4.9	17.8	31.0	43.7
② 推進員が異動した場合、その人が望む場合は異動先で推進員として活動を続けるための調整や位置づけ	1.6	8.2	27.3	59.8
③ 推進員が退職等した場合、その人が望む場合は、活動に参画できるための調整や支援	1.3	8.8	25.7	61.3
④ 推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをするための機会作り・支援	6.6	25.9	26.5	38.2

各項目の無回答を略

## I-10. 推進員自身からみた、市区町村の認知症施策を推進していくための推進員の適正な配置と工夫等

4項目について質問したところ、いずれの項目も「あまりしていない」、「していない」と回答した推進員が多かった。「あまりしていない」、「していない」と回答した推進員の率は、①「市区町村が、推進員として適切な人材を配置できるよう、関係機関等との調整や働きかけをしている」については56.3%、②「市区町村が適切な推進員数を検討し、その数の確保のための調整や働きかけをしている」については47.2%、③「市区町村が、効果的な「推進員の配置先」については62.5%、④「市区町村が、配置している推進員の機能を活かしていくために、推進員とともに活動する人材の配置や活動のフォーメーション作りの工夫をしている」については74.3%を占めていた。

一方、各項目について「具体的にしている」、「している」と回答した推進員もみられた。それらを合わせた率が比較的高かったのは、①「市区町村が、推進員として適切な人材を配置できるよう、関係機関等との調整や働きかけをしている」が40.8%、②「市区町村が適切な推進員数を検討し、その数の確保のための調整や働きかけをしている」が49.9%であった。

N=3,402 (%)

項目	具体的にしている	している	あまりしていない	していない
①市区町村が、推進員として適切な人材を配置できるよう、関係機関等との調整や働きかけをしている	12.0	28.8	30.0	26.3
②市区町村が適切な推進員数を検討し、その数の確保のための調整や働きかけをしている	17.6	32.3	27.2	20.0
③市区町村が、効果的な「推進員の配置先」を検討し、配置先の工夫や調整をしている	11.8	22.5	35.0	27.5
④市区町村が、配置している推進員の機能を活かしていくために、推進員とともに活動する人材の配置や活動のフォーメーション作りの工夫をしている	5.3	15.2	40.6	34.3

各項目の無回答を略

## 2) 「Ⅱ. 推進員活動の実際(プロセス)」

### Ⅱ-1 推進員自身からみた「推進員活動のしかた(スタンス)」について

13項目について質問したところ、項目⑤、⑦、⑧、⑨の4項目以外は、「日常的にやっている」「時々やっている」をあわせて4割～8割強を占めていた。

項目①「認知症の人への偏見や先入観をもたずに、「地域の一員」として、本人と自然体で向きあっている」を除いて、「やりたいがあまりやれていない」と回答した推進員が多く、3割近くから6割強を占めていた。中でも、項目⑦～⑨の医療、介護、権利擁護の専門職の「現場や集まりに出向いて、思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる」に関して「やりたいがあまりやれていない」が高率であった。

なお、それらの3項目に関して「考えていない」と回答した推進員が1割弱みられていた。

N=3,402 (%)

項目	日常的に やっている	時々やっ ている	やりたい があまり やれてい ない	考えて いない
①認知症の人への偏見や先入観をもたずに、「地域の一員」として、本人と自然体で向きあっている	67.9	19.8	10.3	1.1
②認知症の人が暮らす場や過ごす場に足を運び、時間をともにしながらつきあっている	22.5	33.1	41.9	1.6
③本人の声（思いや意見等）を聴きながら、認知症とともに生きることや必要なことを、本人から学んでいる	32.6	33.1	32.5	1.0
④活動をする時は、本人の声を聴きながら、本人が活動に参加できるチャンスをつくっている	19.1	25.5	52.7	1.8
⑤立場や職種に関わらず、様々な人たちに本人の声を聴くことや本人視点の大切さを伝えている	29.5	34.2	33.8	1.6
⑥地域に出向いて多様な住民や地域で働く人に出会い、思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる	16.3	29.0	51.1	2.9
⑦医療現場や医療職の集まりにできるだけ出向いて、医療関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる	6.9	20.0	63.8	8.4
⑧介護現場や介護職の集まりにできるだけ出向いて、介護関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる	7.9	26.2	58.8	6.2
⑨権利擁護の現場や関係者の集まりにできるだけ出向いて、関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる	6.3	18.7	64.8	9.3
⑩活動を自分や一部の人たちで進めずに、多様な立場や職種の人たちをつながけながら進めている	15.0	33.1	48.1	2.8
⑪事業を単発で考えずに、事業後の展開や事業と事業のつながりをつくることを考えながら取り組んでいる	19.5	33.5	42.5	3.5
⑫いきなり大きなことではなく、できる（小さな）ことをみつけ、やってみながら工夫や改善を重ねている	25.2	42.4	29.1	2.3
⑬楽しいことを考え、事業や活動が楽しくなる工夫をしている	20.8	34.9	28.6	4.1

各項目：表から無回答を割愛

## II-2~4 推進員自身からみた推進員活動の3本柱の実施状況

推進員活動の3本柱である「個別の相談・支援体制づくり」について10項目、「関係機関と連携した事業の企画・調整」について17項目、「医療・介護等の支援ネットワークの構築」について10項目を質問した（項目数は、市区町村調査と同）。

3本柱全体でみると、「日常的にやっている」あるいは「時々やっている」が合わせて50%を超えた項目は、「個別の相談・支援体制づくり」に関しては10項目中7項目、「関係機関と連携した事業の企画・調整」に関しては17項目中3項目、「医療・介護等の支援ネットワークの構築」に関しては10項目中4項目であった。

「やりたいがあまりやれていない」という回答が30%を超えた項目をみると、「個別の相談・支援体制づくり」に関しては10項目中4項目、「関係機関と連携した事業の企画・調整」に関しては17項目中全項目、「医療・介護等の支援ネットワークの構築」に関しては10項目中9項目であった。

全体として、「日常的/時々やっている」が「(あまり) やってない」を大きく上回っている項目と、逆に「(あまり) やってない」が「日常的/時々やっている」を大きく上回っている項目、「日常的/時々やっている」と「(あまり) やってない」が混在している項目（赤線枠）がみられた。

- ・なお、「関係機関と連携した事業の企画・調整」の③「認知症多職種共同研修等の企画・調整」をやっている場合、「ライフサポート研修の実施・展開」は202（6.3%）、「独自に実施」が492（14.5%）であった。
- ・同じく「関係機関と連携した事業の企画・調整」の⑬「本人・家族が必要な理解者・支援者とつながり、チームとして支え合う体制づくりの企画・調整」をやっている場合、「すでに地域で育っているつながりや仕組みを生かして、チームオレンジの企画・調整をしている」が204（6.0%）、「以前から、すでに地域独自のチームによる支援体制づくりの企画・調整をしている」が135（4.5%）、「チームオレンジのスキームをもとに新たに企画・調整をしている」が134（3.9%）であった。

N=3,402（%）

	項目	日常的にやっている	時々やっている	やりたいがあまりやれていない	考えていない
個別相談・支援体制づくり	①本人が思いや望みを表せるように、関わり方や環境づくりの工夫をしている	37.9	31.7	28.2	1.2
	②本人の声を聴き、本人の力を活かしながら、本人が望む暮らしがかなうための支援・調整をしている	40.1	32.1	25.7	1.2
	③家族の声を聴き、家族の力を活かしながら、家族が望む暮らしがかなうための支援・調整をしている	40.2	36.3	21.6	1.1
	④関わった本人と家族に必要な医療が届くように、医療職等と話し合い、支援・調整をしている	32.5	38.4	26.1	2.1
	⑤関わった本人と家族に必要な生活支援が届くように、多様な関係者と話し合い、支援・調整をしている	36.5	38.6	22.6	1.4
	⑥関わった本人と家族に必要な介護が届くように、介護職等と話し合い、支援・調整をしている	37.8	38.0	21.8	1.5
	⑦関わった本人と家族に必要な支援が一体的に届くように、支援体制をつくるための話し合いや調整をしている	29.4	36.3	31.6	1.8
	⑧個別相談で足りない支援や資源があった場合、その個人のために必要な支援や資源を新たにつくりだす活動をしている	7.1	16.1	69.8	6.1
	⑨一人と継続的に関わり、得られたことやつながり等を、他の人や地域に広げる活動をしている	9.1	24.1	60.0	5.9
	⑩関わった一人をもとに、経過や地域の課題について多様な人たちと話し合い、地域支援の見直し・拡充を図っている	7.4	23.3	62.5	5.7

関係機関と連携した事業の企画調整	①住民等の講座や講演会等が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げる機会になるための企画・調整	18.0	41.5	35.7	4.0
	②配布物や広報が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げるためのことばや情報発信となるための企画・調整	17.4	41.1	35.4	5.2
	③認知症多職種協働研修等の企画・調整	3.7	10.9	55.8	23.5
	④専門的な相談支援の力量を、関係者が向上させていくための企画・調整	3.2	13.6	56.4	21.7
	⑤地域における困難事例の検討及びその事例の個別支援の拡充を図る企画・調整	7.2	31.2	45.2	11.2
	⑥病院・施設等における困難事例の検討及びその事例の個別支援の拡充を図る企画・調整	3.1	12.5	53.8	25.1
	⑦本人ミーティング等本人同士が出会い話し合える機会をつくり、そこでの声を取組みや施策に活かしていくための企画・調整	2.4	7.8	68.2	16.1
	⑧ 診断直後の本人等が前向きに暮らしていくための、本人によるピアサポートの企画・調整	1.1	3.6	67.0	22.7
	⑨ 家族の声や力を活かして、家族によるピアサポートの企画・調整	3.3	9.5	62.0	19.8
	⑩認知症カフェ等、地域の中での出会い、つながる場づくりの企画・調整	24.6	29.5	35.0	6.3
	⑪ 地域の子供たちや若い世代が、地域の中で本人と出会い、つながるための企画・調整	2.1	11.9	65.1	15.6
	⑫ 地域の企業等、多様な分野の人たちが、本人と出会い、つながるための企画・調整	1.6	8.3	67.0	17.7
	⑬ 本人・家族が必要な理解者・支援者となつたり、チームとして支えあう体制づくりの企画・調整	3.6	10.4	67.8	11.5
	⑭ 認知症の有無に関わらず、備えながら健やかに暮らしていくための予防に関する企画・調整	13.2	31.5	41.4	8.4
	⑮ 若年性認知症の人を主な対象とした取組みの企画・調整	2.1	6.4	63.5	22.5
	⑯ 本人の声を活かして自地域に潜むバリアを解消していくための認知症バリアフリーの企画・調整	1.4	5.2	67.7	20.0
	⑰ 本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整	1.0	5.2	61.5	18.8
支援ネットワーク構築	①認知症ケアパスを本人視点にたって作成/改良	15.8	30.6	39.5	12.7
	②認知症ケアパスを住民や専門職等に普及し、活用	26.0	38.5	28.7	5.8
	③地域の医療職と介護職が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し	9.0	28.1	51.8	9.9
	④専門職と住民等が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し	6.1	25.9	58.2	8.6
	⑤初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつながって協働していくための調整や後押し	19.0	33.0	39.9	7.0
	⑥本人を地域の多様な人たちで日常的に見守るネットワークづくり	13.3	32.7	48.6	4.6
	⑦行方不明など本人の SOS 時に素早く情報を共有し、その本人を協働で守るためのネットワークづくり	21.0	30.5	41.6	6.0
	⑧自然災害時などに素早く情報を共有し、地域の認知症の人たちを協働で守るためのネットワークづくり	4.7	14.7	67.1	12.6
	⑨IT や通信機器等を活用して、自地域の関係者・多様な人たちのネットワークを拡充する取組み	2.5	7.5	62.3	26.6
	⑩認知症関連以外の他分野の人/組織とつながり、地域での活動や支えあいを広げていく取組み	5.2	16.4	63.9	12.6

なお、3本柱別に「やりたいがあまりやれていない」という回答が多かった項目上位5つを、整理してみたところ下記のような項目（内容）であった。

再掲 N=3,402 (%)

		「やりたいがあまりやれていない」という回答が多かった項目	やりたいがあまりやれていない
個別相談・支援体制づくり	1	⑧個別相談で足りない支援や資源があった場合、その個人のために必要な支援や資源を新たにつくりだす活動をしている	69.8
	2	⑩関わった一人をもとに、経過や地域の課題について多様な人たちと話し合い、地域支援の見直し・拡充を図っている	62.5
	3	⑨一人と継続的に関わり、得られたことやつながり等を、他の人や地域に広げる活動をしている	60.0
	4	⑦関わった本人と家族に必要な支援が一体的に届くように、支援体制をつくるための話し合いや調整をしている	31.6
	5	①本人が思いや望みを表せるように、関わり方や環境づくりの工夫をしている	28.2
関係機関と連携した事業の企画調整	1	⑦本人ミーティング等本人同士が出会い話し合える機会をつくり、そこでの声を取組みや施策に活かしていくための企画・調整	68.2
	2	⑬ 本人・家族が必要な理解者・支援者とながり、チームとして支えあう体制づくりの企画・調整	67.8
	3	⑯ 本人の声を活かして自地域に潜むバリアを解消していくための認知症バリアフリーの企画・調整	67.7
	4	⑧ 診断直後の本人等が前向きに暮らしていくための、本人によるピアサポートの企画・調整	67.0
	4	⑫ 地域の企業等、多様な分野の人たちが、本人と出会い、つながるための企画・調整	67.0
支援ネットワーク構築	1	⑧自然災害時などに素早く情報を共有し、地域の認知症の人たちを協働で守るためのネットワークづくり	67.1
	2	⑩認知症関連以外の他分野の人/組織とつながり、地域での活動や支えあいを広げていく取組み	63.9
	3	⑨ITや通信機器等を活用して、自地域の関係者・多様な人たちのネットワークを拡充する取組み	62.3
	4	④専門職と住民等が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し	58.2
	5	③地域の医療職と介護職が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し	51.8

## II-5 推進員自身からみたコロナ禍での推進員活動

8項目について質問したところ、いずれの項目についてもコロナ禍によって「現在、中止」という回答が寄せられており、その率は②「認知症カフェ」で最も高く35.7%であった。

一方、各項目とも、「コロナ禍で新たに取組み始めた」という回答も寄せられており、特に多かったのが、⑧「これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している」という回答が27.0%であった。

また、いずれの項目においても、「以前からの取組を継続しているあるいは再開した」と「コロナ禍で新たに取組始めた」という回答をあわせると、「現在、中止」を上回っているか同程度であった。中でもそれらが特に多かった項目は、⑤「地域の関係者等のつながりや意欲が途切れないよう、連絡や相談を細やかに行っている」が50.4%、①「相談や認知症カフェなどでつながれた個々の本人の声や様子を、丁寧にとらえている」が49.4%、⑧「これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している」が41.7%であった。

N=3,402 (%)

項目	以前からの取組を継続/再開	コロナ禍で新たに取組む	現在、中止している	前からやっていない
① 相談や認知症カフェなどでつながれた個々の本人の声や様子を、丁寧にとらえている	42.6	6.8	29.7	19.8
② (三密等に配慮や工夫をしながら) 認知症カフェ等の集まりを行っている	23.6	8.6	35.7	31.1
③ (三密等に配慮や工夫をしながら) 本人ミーティングや本人同士の集まりを行っている	5.7	3.2	15.0	75.1
④ (三密等に配慮や工夫をしながら) 本人が社会参加活動や戸外に出て楽しむ機会をつくっている	9.8	4.4	17.8	67.0
⑤ 地域の関係者等のつながりや意欲が途切れないよう、連絡や相談を細やかに行っている	39.8	10.6	15.5	32.9
⑥ IT等を活用して、本人とつながりをつくっている	1.1	2.6	4.0	91.2
⑦ IT等を活用して、支援者同士のつながりをつくっている	3.3	7.0	4.2	84.5
⑧ これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している	14.7	27.0	8.2	48.8



### 3) 「Ⅲ. 推進員活動を通じた変化・成果」

#### Ⅲ-1. 推進員自身からみた推進員活動を通じた「認知症の本人の変化・成果」

15項目について質問したところ、各項目について「まだない」という回答が多かったが、一方で、各項目とも「昨年度よりも中身・数とも拡充している」、「(昨年より) 数は増えていないが中身が充実」、「数が増えた(中身は変わらず)」という回答が見られていた。それらを合わせた率が高い項目を順にみると、①「本人が発症後の早い段階で相談窓口につながり、相談できる相手に出会えるようになった」が54.1%、②「本人が発症後の早い段階で受診でき、信頼できる医師や医療関係者に出会えるようになった」が53.0%、③「本人が認知症カフェ等の地域の集い場につながり、仲間や味方に出会えるようになった」が38.6%、⑩「本人が状態等の変化時に、必要な医療や介護等の専門的支援にスムーズにつながるようになった」が31.1%であった。

項目⑥、⑧、⑨を除き、「(昨年より) 数は増えていないが中身が充実」が多い傾向がみられた。

なお、いずれの項目でも、「今年度からみられるようになった」という回答も寄せられていた。

N=3,402 (%)

項目	昨年度より 中身・数とも 拡充	数が増えて いないが 中身充実	数が増えた が中身変 わらず	今年度から みられるよ うになった	まだな い
① 本人が発症後の早い段階で相談窓口につながり、相談できる相手に出会えるようになった	6.0	25.3	22.8	5.0	38.8
② 本人が発症後の早い段階で受診でき、信頼できる医師や医療関係者に出会えるようになった	6.5	24.0	22.5	4.9	39.7
③ 本人が認知症カフェ等の地域の集い場につながり、仲間や味方に出会えるようになった	3.8	21.7	13.1	5.9	53.2
④ 本人が自分の思いや意見を周囲や地域に向けて発することができるようになった	1.0	9.3	6.6	3.9	76.8
⑤ 本人がなじみの店や行きたいところに安心して出かけられるようになった	0.7	7.5	7.1	3.2	79.0
⑥ 本人が発症後もそれまで勤めていた職場で働き続けられるようになった	0.1	2.1	2.3	1.3	91.5
⑦ 本人が発症後の早い段階で自分が望む社会活動に参加し、地域の中で生き生き過ごせるようになった	0.9	7.4	5.8	3.3	80.0
⑧ 本人がスマホや通信機器を使って、他の人と交流できるようになった	0.4	1.9	2.1	1.6	91.4
⑨ 本人がGPS 機器やヘルプカード等を使って、一人で安心・安全に外出できるようになった	0.8	4.4	6.1	2.5	83.9
⑩ 本人が状態等の変化時に、必要な医療や介護等の専門的支援にスムーズにつながるようになった	5.6	23.1	17.9	5.0	46.0
⑪ 認知症が進行した人や施設等で暮らす人が、地域の中でつながり、生き生き過ごせるようになった	1.3	13.6	11.9	2.7	67.8
⑫ 本人があたりまえのこと(人権)を守られて、自らしく暮らし続けられるようになった	2.0	18.1	16.5	4.0	56.8
⑬ 本人が次に続く本人のために相談にのったり、支え合うようになった	1.0	5.6	5.4	2.4	83.3
⑭ 本人が推進員とともに認知症施策推進や地域づくりの活動をするようになった	0.8	3.6	2.8	2.3	88.4
⑮ 若年性認知症の人が、上記①～⑩のいずれかで地域とつながる姿がみられるようになった	0.9	5.1	3.0	3.9	84.4

### Ⅲ-2. 推進員自身からみた推進員活動を通じた「地域の変化・成果」

14項目について質問したところ、前述の「個人の変化・成果」と同様に、「まだない」という回答が多く寄せられていた一方で、各項目とも「昨年度よりも中身・数とも拡充している」、「(昨年より)数は増えていないが中身が充実」、「数が増えた(中身は変わらず)」という回答が見られていた。それらを合わせた率が50%を超えた高い順でみると、⑧「地域ケア会議等で、本人の声と本人視点を重視しながら、本人のよりよい暮らしや地域づくりに関して前向きな検討をするようになった」が55.0%、⑥「医療・介護等の専門職の人たちが、本人の声を聴くようになった」が54.1%、⑦「医療・介護等の専門職の人たちが、本人視点にたって一緒に支援や連携の改善を図るようになった」が53.2%、②「住民が認知症を自分ごととしてとらえ地域の本人と自然体でつきあう/関わるようになった」が50.2%であった。

N=3,402 (%)

項目	昨年度より 中身・数とも 拡充	数増えて いないが 中身充実	数増えた が中身変 わらず	今年度から みられるよ うになった	まだ ない
① 住民が本人の声を聴こうとするようになった	4.6	21.8	16.5	5.3	49.1
② 住民が認知症を自分ごととしてとらえ、地域の本人と自然体でつきあう/関わるようになった	5.1	24.9	20.2	6.1	41.5
③ 地域の企業等で働く人たちが、認知症の人への関心を高め、配慮や工夫をするようになった	4.1	17.0	15.0	6.6	54.9
④ 住民が地域の認知症カフェ等の集い場に参加し、本人と楽しく過ごしたり一緒に活動するようになった	4.1	23.2	13.4	4.9	52.1
⑤ 住民が本人の社会参加活動に加わり、一緒に活動するようになった	1.4	9.8	5.8	3.2	77.4
⑥ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人の声を聴くようになった	8.8	27.3	18.2	3.7	39.4
⑦ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人視点にたって一緒に支援や連携の改善を図るようになった	8.4	27.5	17.3	3.7	40.6
⑧ 地域ケア会議等で、本人の声と本人視点を重視しながら、本人のよりよい暮らしや地域づくりに関して前向きな検討をするようになった	8.1	33.0	13.9	4.9	38.0
⑨ 医療・介護等の専門職の人たちが、地域の集い場や社会参加活動に参加したり、取組むようになった	3.9	19.0	11.3	4.5	58.8
⑩ 地域の中で本人と多職種、住民等がいっしょに楽しく活動するようになった	1.6	13.2	6.6	3.2	73.1
⑪ 地域の中で通信機器を活用して、本人とつながるようになった	0.4	1.8	1.9	2.8	91.0
⑫ 地域の中での認知症バリアを本人とともに具体的にみつけ、バリアが少しずつ解消されるようになった	0.5	6.9	5.3	2.7	82.3
⑬ 住民や関係者が、制度やサービスでは行き届かないことについて、自発的な取組みをするようになった	2.1	11.8	6.9	5.2	71.7
⑭ 本人の家族が、不安や負担を軽減し、本人との関係や家族なりの暮らしを継続できるようになった	3.3	24.4	16.6	5.5	47.6

### Ⅲ-3. 推進員活動を通じた「情報の流れや連携に関する変化・成果」

13項目について質問したところ、項目⑪を除くすべての項目で、「昨年度よりも中身・数とも拡充している」、「(昨年より)数は増えていないが中身が充実」あるいは「数が増えた(中身は変わらず)」という回答があわせて3割～6割強みられていた。

また、いずれの項目でも、「今年度からみられるようになった」という回答も寄せられていた。

なお、項目④、⑧～⑪については、「まだない」と回答した市区町村が5割前後を占めていた。

N=3,402 (%)

項目	昨年度より 中身・数と も拡充	数増えて いないが 中身充実	数増えた が中身変 わらず	今年度から みられるよ うになった	まだ ない
①認知症施策担当者から情報が入り、連携しやすくなった	12.7	32.1	22.2	5.3	25.3
②警察関係者から情報が入り、連携しやすくなった	13.9	19.7	27.9	5.7	30.9
③地域住民から情報が入り、連携しやすくなった	15.2	25.7	31.4	5.3	20.4
④地元の企業等、多様な分野の人から情報が入り、連携しやすくなった	6.4	16.8	16.3	5.8	52.4
⑤(他の)地域包括支援センターから情報が入り、連携しやすくなった	10.8	27.0	17.3	4.2	37.7
⑥医療関係者から情報が入り、連携しやすくなった	13.2	28.0	27.2	4.1	25.5
⑦介護関係者から情報が入り、連携しやすくなった	10.4	28.8	25.8	4.1	28.7
⑧権利擁護の関係者から情報が入り、連携しやすくなった	5.7	18.6	15.0	3.4	54.9
⑨他の推進員から情報が入り、連携しやすくなった	8.3	23.6	12.2	4.4	48.7
⑩生活支援コーディネーターから情報が入り、連携しやすくなった	7.8	19.3	12.3	6.8	51.4
⑪ 本人自身から情報が入り、連携しやすくなった	2.7	11.9	12.6	4.0	66.6
⑫ 家族から情報が入り、連携しやすくなった	10.1	22.8	30.0	5.4	29.5
⑬ 必要な時や困った時に、相談して助けてもらえる人が広がった	12.8	28.7	17.8	6.4	31.1

### Ⅲ-3. 推進員自身からみた、市区町村での「認知症とともに生きる地域共生」の進捗状況

大綱で掲げられている共生の定義に基づいた2項目について質問したところ、2項目とも「年々拡充してきている」と「少しずつ進みつつある」が、あわせると4割強であり、「今年度から動きだしている」が、3.8%、「来年度から動きだす予定」も2割近くみられていた。

一方、「動きも予定もない」と回答した推進員も3割強みられた。

N=3,402 (%)

項目	年々、拡充してきている	少しずつ進みつつある	今年度から動きだしている	来年度から動きだす予定	動きも予定もない
① 地域の認知症の本人が、希望をもって自分らしく暮らしつづけるようになってきている	2.3	40.9	3.5	16.9	33.9
② 認知症があってもなくても、同じ地域でともに生きる姿が広がってきている	3.1	44.6	3.5	15.6	30.6

#### <「地域共生」の進捗状況と関係のみられた要素(項目)>

「地域共生の進捗状況」に関し、上記の項目①を外的基準として推進員調査の「Ⅰ.市区町村による推進員活動の環境整備・体制作り」、「Ⅱ. 推進員活動の実際（プロセス）」に関する主な項目とクロス集計を行った。

その結果、以下の領域・要素（項目）と「地域共生」の進捗状況に関係が見られた。

※クロス集計結果は、次ページ以降を参照。

なお、市区町村の人口規模、高齢化率との関係については、市区町村調査結果におけるクロス集計結果（p.66）を参照。

#### I. 推進員から見た、市区町村による「推進員活動に関する環境整備・体制」

##### I-2. 「認知症施策担当者と推進員による、わが町が目指す姿（ビジョン）の共有」

◆「わがまちが目指す本人の姿（ビジョン）を共有している」

##### I-4. 「認知症施策担当者と推進員の、推進員活動の機能・役割の共有」

◆「今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している」

##### I-5. 「認知症施策担当者と推進員の、活動方針の共有」

地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める」

#### II. 「推進員活動の実際（プロセス）」

<進員から見た「I. 市区町村の推進員活動の環境整備・体制と「地域共生の進捗」との関係」>

◆「配置されてからの年数」との関係

→◇推進員として配置された年数の長さに関わらず、「まだ動きも予定もない」が3割強を占めていた。

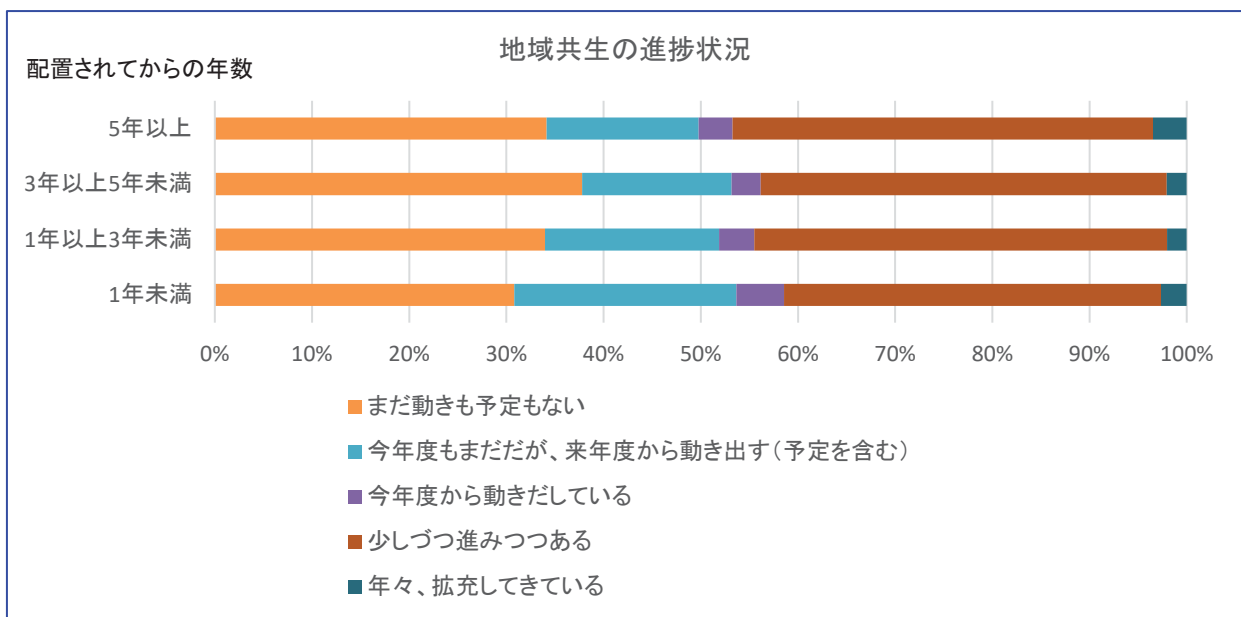
◇「1年未満」、「1~3年未満」の場合に、「3年~5年未満」、「5年以上」にくらべて、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度から動きだしている」が多い傾向が見られた。

◇「1年未満」にくらべて「1年以上3年未満」、「3年以上5年未満」、「5年以上」の場合は、「少しずつ進めつつある」、「年々、拡充している」等、何らかの進捗があるといった回答が高率の傾向が見られた。

◇「5年以上」の場合は、「年々、拡充している」が多い傾向がみられた。専任と兼任を配置」の場合に、進捗が見られている率が高い傾向が見られた。

未記入を除く N=3,256

推進員として配置されてからの年数	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充している
1年未満 (490)	30.8	22.9	4.9	38.8	2.7
1年以上3年未満 (1330)	34.0	17.9	3.6	42.5	2.0
3年以上5年未満 (976)	37.8	15.4	3.0	41.8	2.0
5年以上 (460)	34.1	15.7	3.5	43.3	3.5



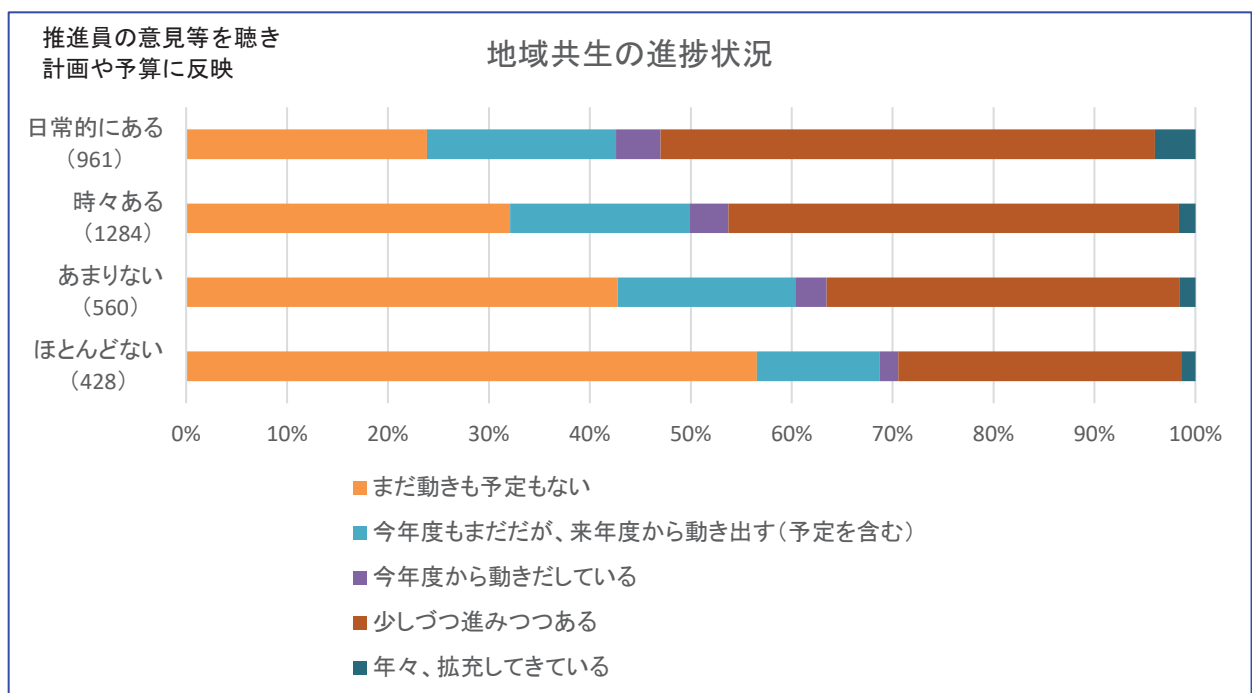
<推進員から見た「I. 推進員活動の環境整備・体制と「地域共生の進捗」との関係」>

I-1. 「市区町村担当者と推進員との関係づくりや協働」との関係

- ◆認知症施策担当者が推進員の意見や提案を聴き、それらを計画作り/予算に反映している
  - ◇「ほとんどない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。
  - ◇「推進員の意見や提案を聴き、それらを計画作り/予算に反映している」状況の頻度が高いほど（ほとんどない→あまりない→時々ある→日常的にある）ほど、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が多い傾向がみられた。

未記入を除く N=3,243

推進員の意見や提案を聴き、それらを計画作り/予算に反映	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充している
ほとんどない (428)	56.5	12.1	1.9	28.0	1.4
あまりない (560)	42.8	17.6	3.1	35.0	1.6
時々ある (1284)	32.1	17.8	3.8	44.6	1.6
日常的にある (961)	23.9	18.7	4.4	49.0	4.0



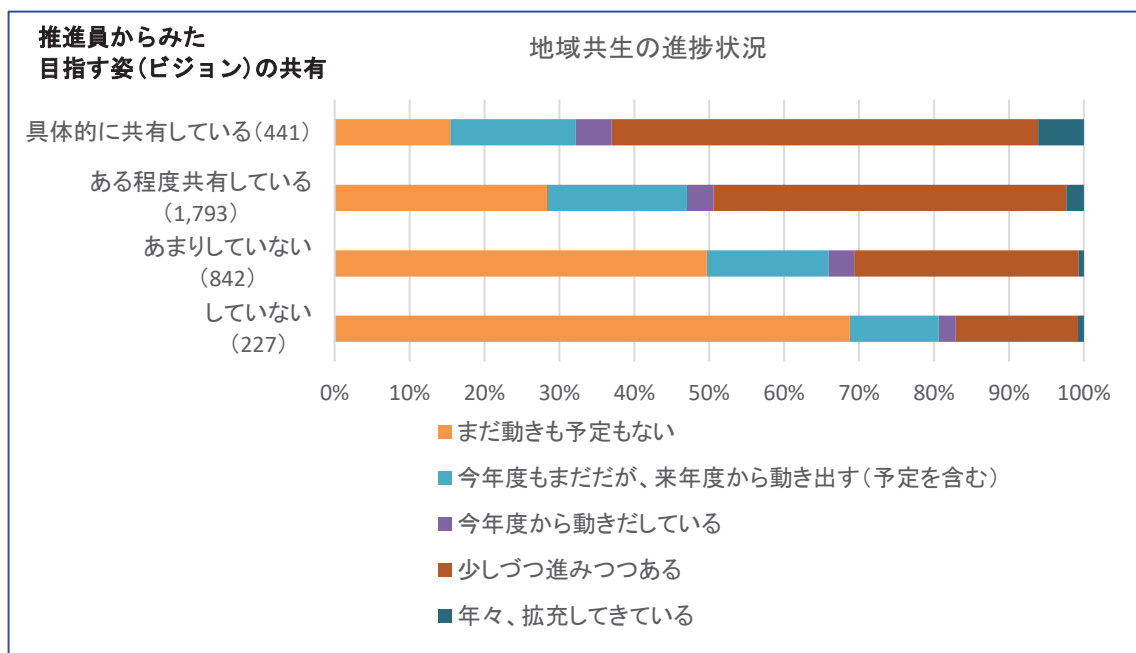
## I-2. 推進員からみた「市区町村担当者と推進員の目指す姿（ビジョン）の共有」との関係

◆認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、わがまちが目指す本人の姿を共有している

- 「 →◇(共有を)「していない」、「ほとんどしていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。
- ◇「わがまちが目指す本人の姿を共有している」状況の具体性が高いほど（していない →ほとんどしていない→ある程度している→具体的にしている）ほど、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が高率であった。

未記入を除く N=3,303

認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、市区町村として目指す本人の姿を共有している	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
していない (227)	68.7	11.9	2.2	16.3	0.9
あまりしていない (842)	49.6	16.3	3.4	29.9	0.7
ある程度共有している (1,793)	28.3	18.7	3.5	47.1	2.3
具体的に共有している (441)	15.4	16.8	4.8	56.9	6.1



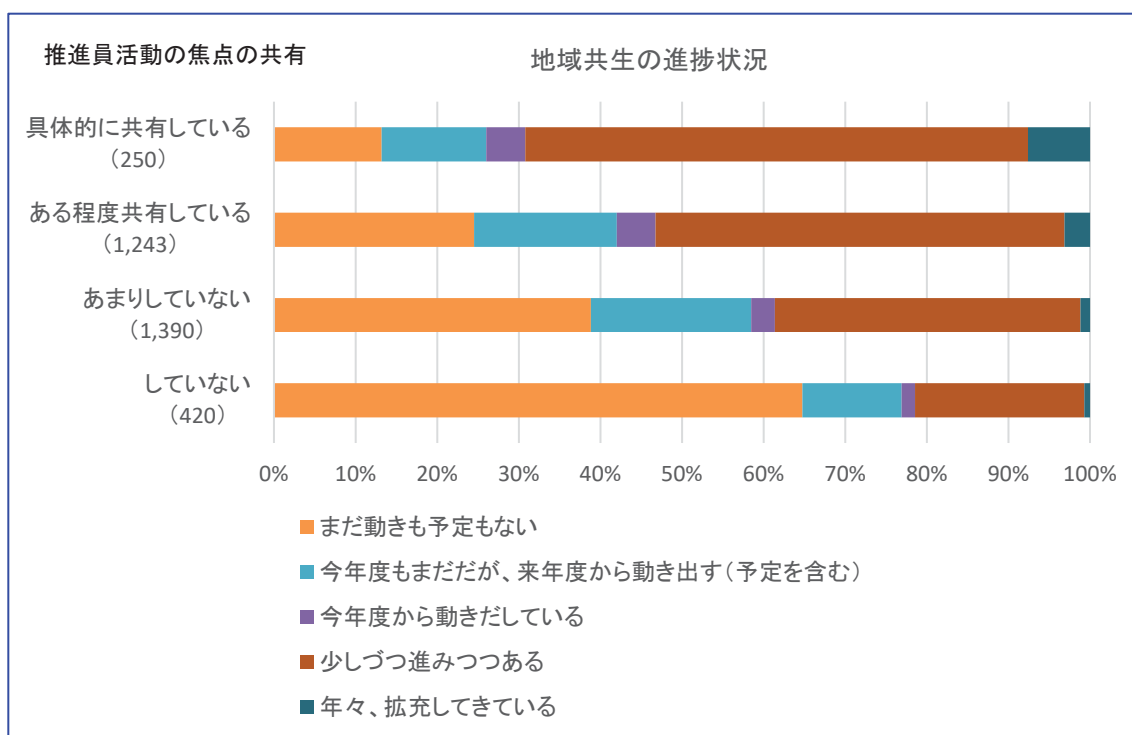
I-4. 推進員から見た「市区町村担当者と推進員の、推進員活動の機能・役割の共有」との関係

◆今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している

- ◇(共有を)「していない」、「あまりしていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。
- ◇「推進員活動の焦点を共有している」状況の具体性が高いほど(していない→あまりしていない→ある程度している→具体的にしている)、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が高率であった。

未記入を除く N=3,303

今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点についての共有	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
していない(338)	62.4	11.2	2.1	22.8	1.5
あまりしていない(1,344)	41.2	17.3	3.2	37.4	0.9
ある程度共有している(1,324)	25.5	18.8	4.3	48.6	2.7
具体的に共有している(287)	15.3	18.5	3.8	54.0	8.4





## I-5. 推進員から見た「市区町村担当者と推進員との活動方針の共有」との関係①

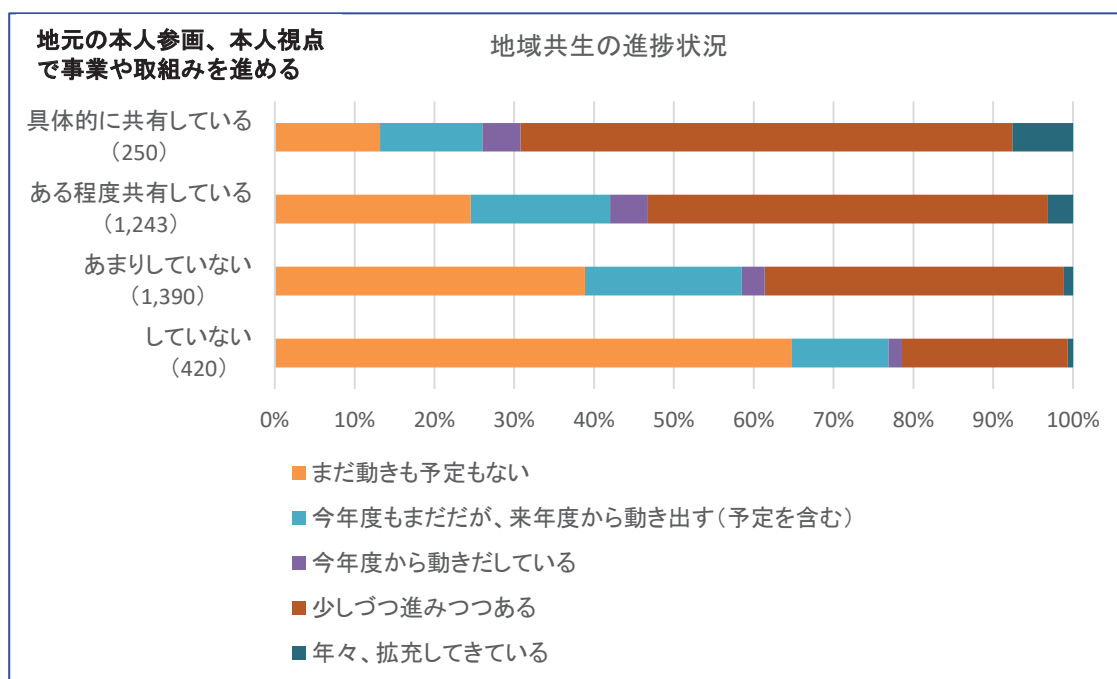
### ◆地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める

→◇(共有を)「していない」、「あまりしていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度はまだだが、来年度から動き出す予定」、「今年度から動きだしている」「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。

◇「推進員活動の焦点を共有している」状況の具体性が高いほど(していない→あまりしていない→ある程度している→具体的にしている)、「今年度から動き出している」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が高率であった。

未記入を除く N=3,033

地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
していない(420)	64.8	12.1	1.7	20.7	0.7
あまりしていない(1,390)	38.8	19.6	2.9	37.5	1.2
ある程度共有している(1,243)	24.5	17.5	4.7	50.1	3.1
具体的に共有している(250)	13.2	12.8	4.8	61.6	7.6



## I-5. 推進員から見た「市区町村担当者と推進員との活動方針の共有」との関係②

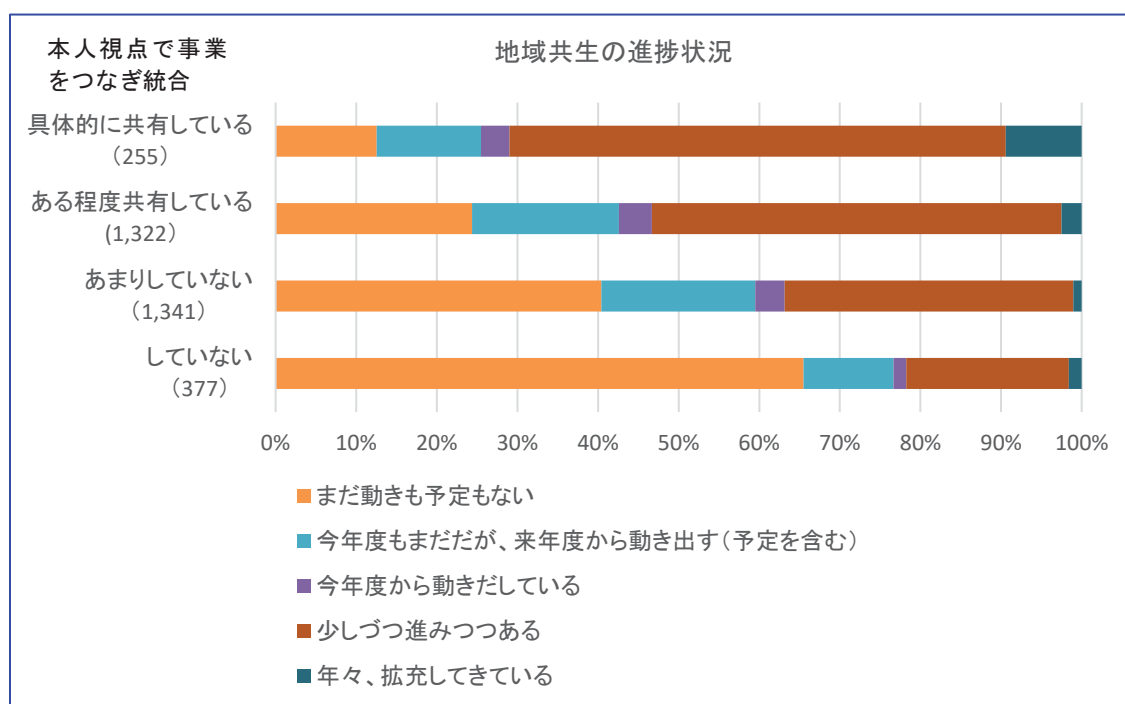
### ◆事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく

→◇(共有を)「していない」、「あまりしていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していづれも低率であった。

◇「事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく」方針を共有している状況の具体性が高いほど(していない→あまりしていない→ある程度している→具体的にしている)ほど、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が高率であった。

未記入を除く N=3,295

事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
していない(377)	65.5	11.1	1.6	20.2	1.6
あまりしていない(1,341)	40.4	19.1	3.7	35.8	1.0
ある程度共有している(1,322)	24.4	18.2	4.1	50.8	2.5
具体的に共有している(255)	12.5	12.9	3.5	61.6	9.4



## I-6. 推進員から見た「推進員活動のしやすさへの市区町村としての配慮や取組み」との関係

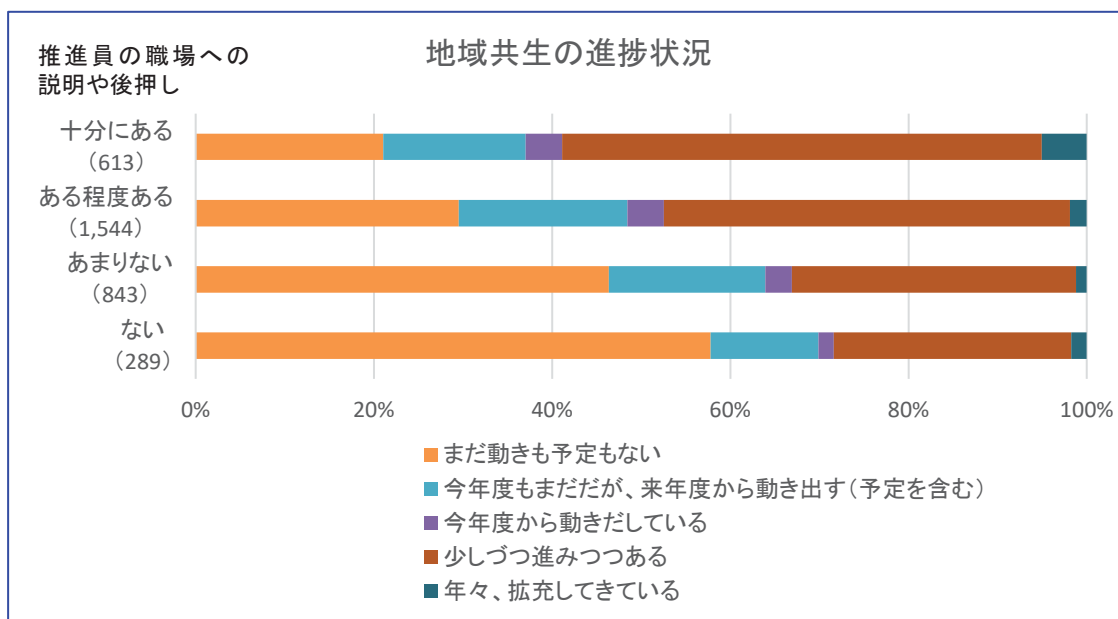
### ◆推進員の職場の管理者・上司等に、推進員活動の理解や協力を得るための行政方の説明や後押し

→◇「ない」、「あまりない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。

◇「推進員の職場の管理者・上司等に、推進員活動の理解や協力を得るための行政方の説明や後押し」の状況の具体性が高いほど（していない→あまりしていない→ある程度している→具体的にしている）、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が高率であった。

未記入を除く N=3,289

推進員の職場の管理者・上司等に、推進員活動の理解や協力を得るための行政方の説明や後押し	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す（予定を含む）	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
ない (289)	57.8	12.1	1.7	26.6	1.7
あまりない (843)	46.4	17.6	3.0	31.9	1.2
ある程度ある (1,544)	29.5	18.9	4.1	45.6	1.9
十分にある (613)	21.0	16.0	4.1	53.8	5.1



## I-7. 推進員から見た「推進員同士がつながり、話し合い、学び合う機会」との関係

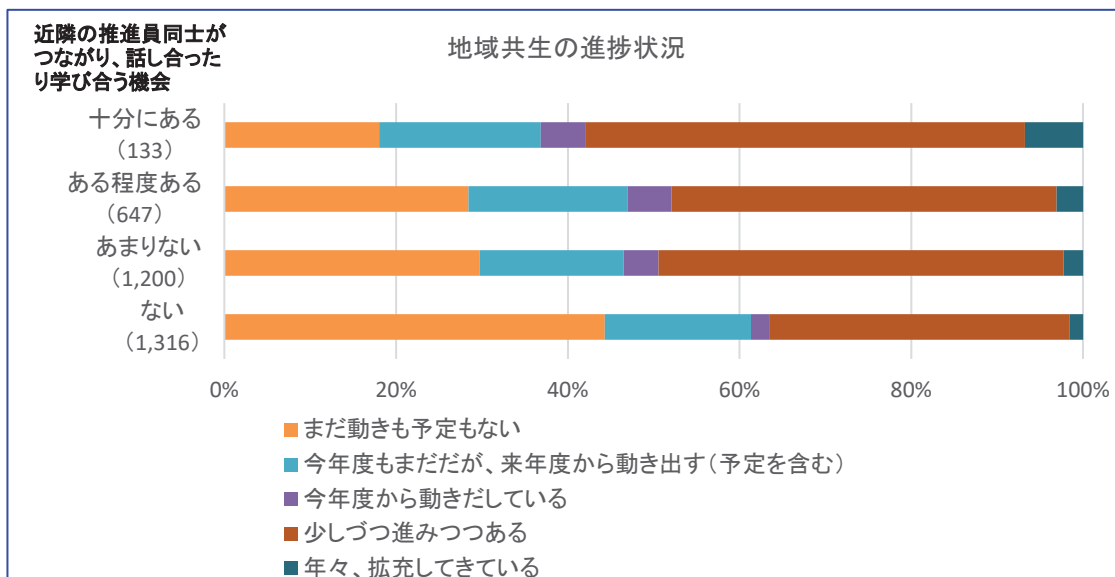
### ◆近隣の市区町村の推進員同士がつながり、話し合ったり学び合う機会

→◇「ない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。

◇「近隣の市区町村の推進員同士がつながり、話し合ったり学び合う機会」が、何らかある場合（あまりない、ある程度ある、十分にある）、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が多い傾向がみられた。

未記入を除く N=3,296

近隣の市区町村の推進員同士がつながり、話し合ったり学び合う機会	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
ない (1,316)	44.3	17.0	2.2	34.9	1.6
あまりない (1,200)	29.8	16.8	4.1	47.2	2.3
ある程度ある (647)	28.4	18.5	5.1	44.8	3.1
十分にある (133)	18.0	18.8	5.3	51.1	6.8



## I-9. 推進員から見た「市区町村としての推進員活動が持続発展していくための行政の配慮・工夫等」 との関係

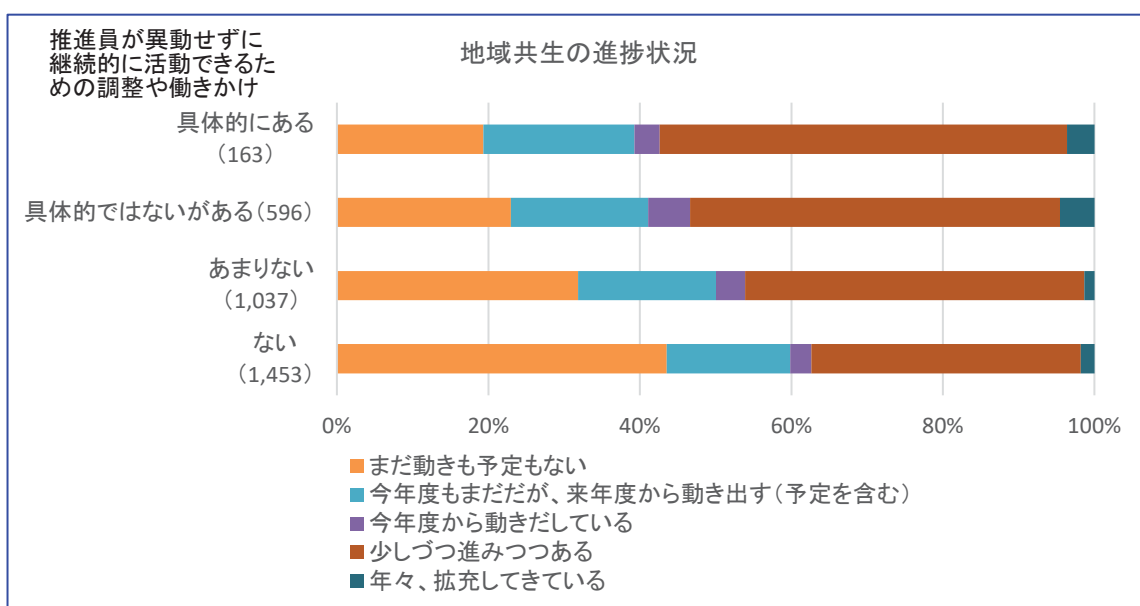
### ◆推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ

→◇「ない」、「あまりない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。

◇行政による「推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ」が「具体的ではないがある」、「具体的にある」場合、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が多い傾向がみられた。

未記入を除く N=3,249

推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
ない (1,453)	43.6	16.3	2.8	35.6	1.8
あまりない (1,037)	31.8	18.2	3.9	44.7	1.4
具体的ではないがある (596)	23.0	18.1	5.5	48.8	4.5
具体的にある (163)	19.6	20.2	3.4	54.6	3.7



<推進員から見た「Ⅱ. 推進員活動の実際(プロセス)との関係」>

Ⅱ-2. 「個別の相談・支援体制作り」との関係①

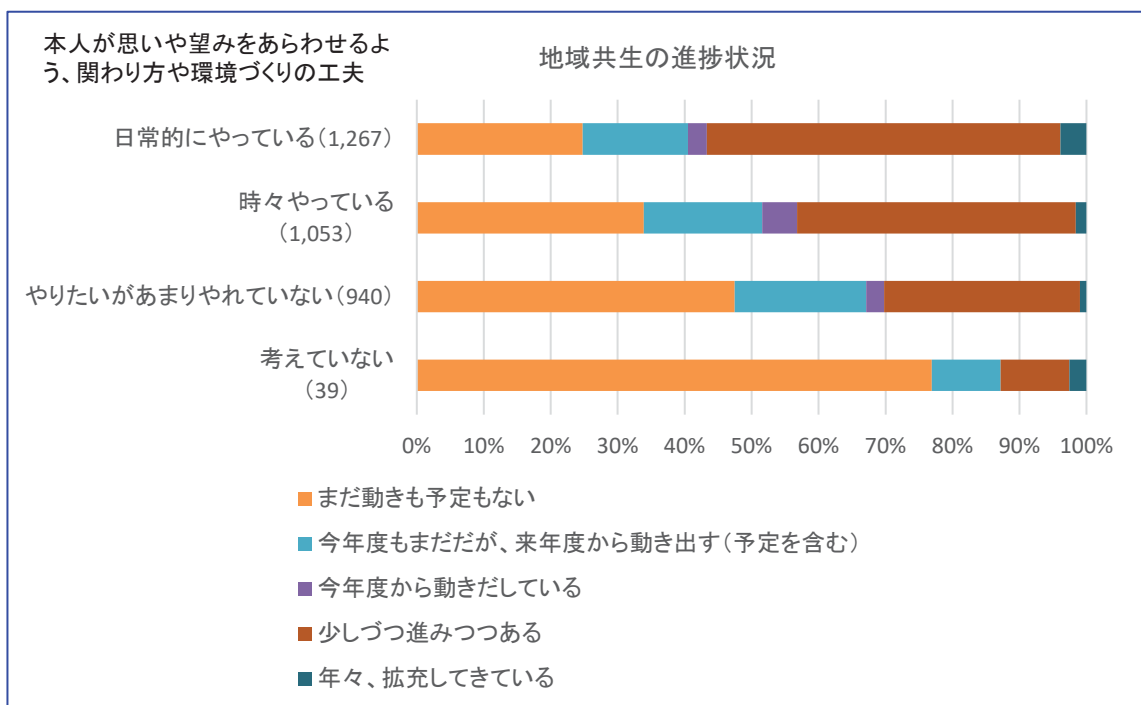
◆本人が思いや望みをあらわせるよう、関わり方や環境づくりの工夫をしている

→◇「考えていない」、「やりたいがあまりやれていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。

◇「本人が思いや望みをあらわせるよう、関わり方や環境づくりの工夫」を、「時々やっている」、「日常的にやっている」場合、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が多く、特に「日常的にやっている」場合、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が56.7%であった。

未記入を除く N=3,299

本人が思いや望みをあらわせるよう、関わり方や環境づくりの工夫	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
考えていない(39)	76.9	10.3	0.0	10.3	2.6
やりたいがあまりやれていない(940)	47.4	19.7	2.7	29.3	1.0
時々やっている(1,053)	33.9	17.7	5.2	41.6	1.6
日常的にやっている(1,267)	24.8	15.7	2.8	52.8	3.9



## II-2. 「個別の相談・支援体制作り」との関係②

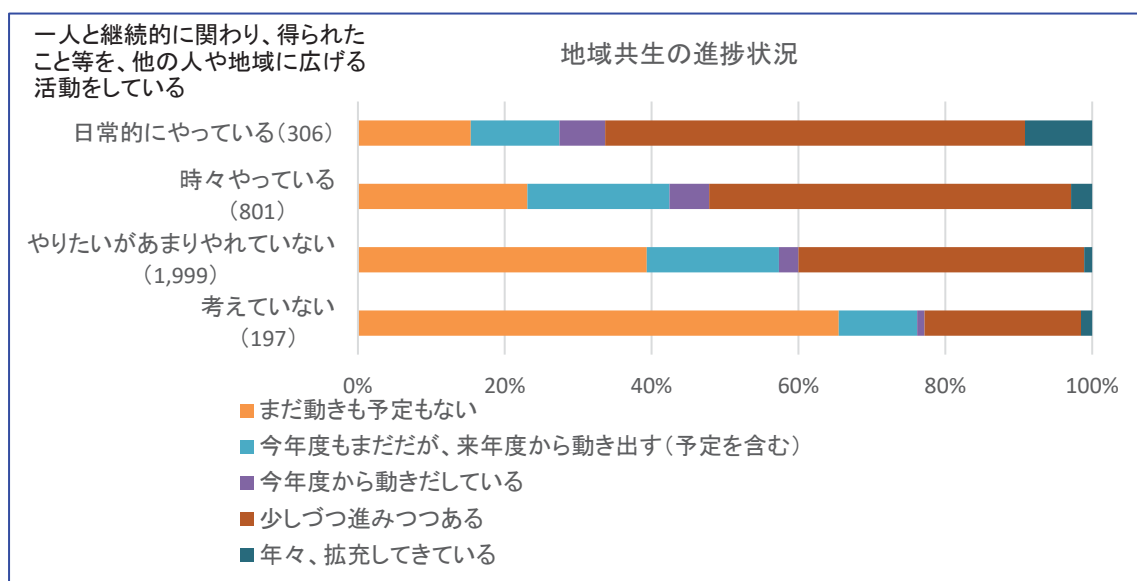
### ◆一人と継続的に関わり、得られたこと等を、他の人や地域に広げる活動をしている

→◇「考えていない」、「やりたいがあまりやれていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。

◇「一人と継続的に関わり、得られたこと等を、他の人や地域に広げる活動」を、「時々やっている」、「日常的にやっている」場合、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が多く、特に「日常的にやっている」場合、それらを合わせると72.6%であった。

未記入を除く N=3,303

一人と継続的に関わり、 得られたこと等を、他の 人や地域に広げる活動 をしている	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも 予定もない	今年度はまだ だが、来年度 から動き出す (予定を含む)	今年度から 動きだして いる	少しずつ進 みつつある	年々、拡充 してきて いる
考えていない (197)	65.5	10.7	1.0	21.3	1.5
やりたいがあまりやれ ていない (1,999)	39.3	18.0	2.7	38.9	1.1
時々やっている (801)	23.1	19.4	5.4	49.3	2.9
日常的にやっている (306)	15.4	12.1	6.2	57.2	9.2



## II-3. 「関係機関と連携した事業の企画・調整」との関係①

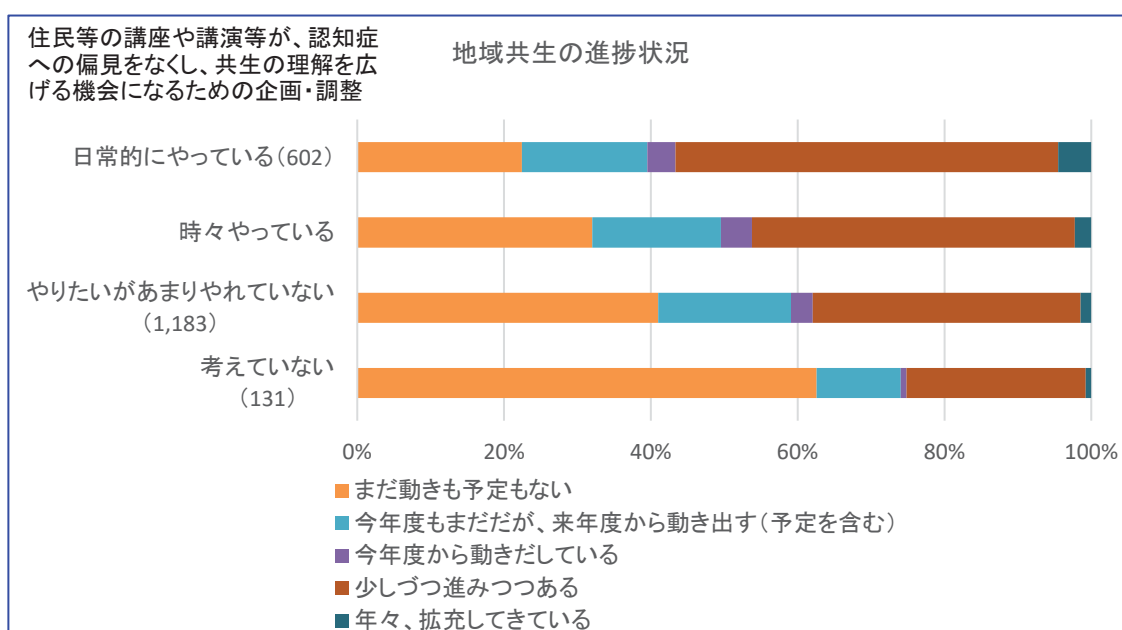
### ◆住民等の講座や講演会等が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げる機会になるための企画・調整

→◇「考えていない」、「やりたいがあまりやれていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。

◇「住民等の講座や講演会等が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げる機会になるための企画・調整」を、「時々やっている」、「日常的にやっている」場合、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が多く、特に「日常的にやっている」場合に多い傾向がみられた。

未記入を除く N=3,305

住民等の講座や講演等が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げる機会になるための企画・調整	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
考えていない(131)	62.6	11.5	0.8	24.4	0.8
やりたいがあまりやれていない(1,183)	41.0	18.1	3.0	36.5	1.4
時々やっている(1,389)	32.0	17.5	4.2	44.0	2.2
日常的にやっている(602)	22.4	17.1	3.8	52.2	4.5





## II-3. 「関係機関と連携した事業の企画・調整」との関係②

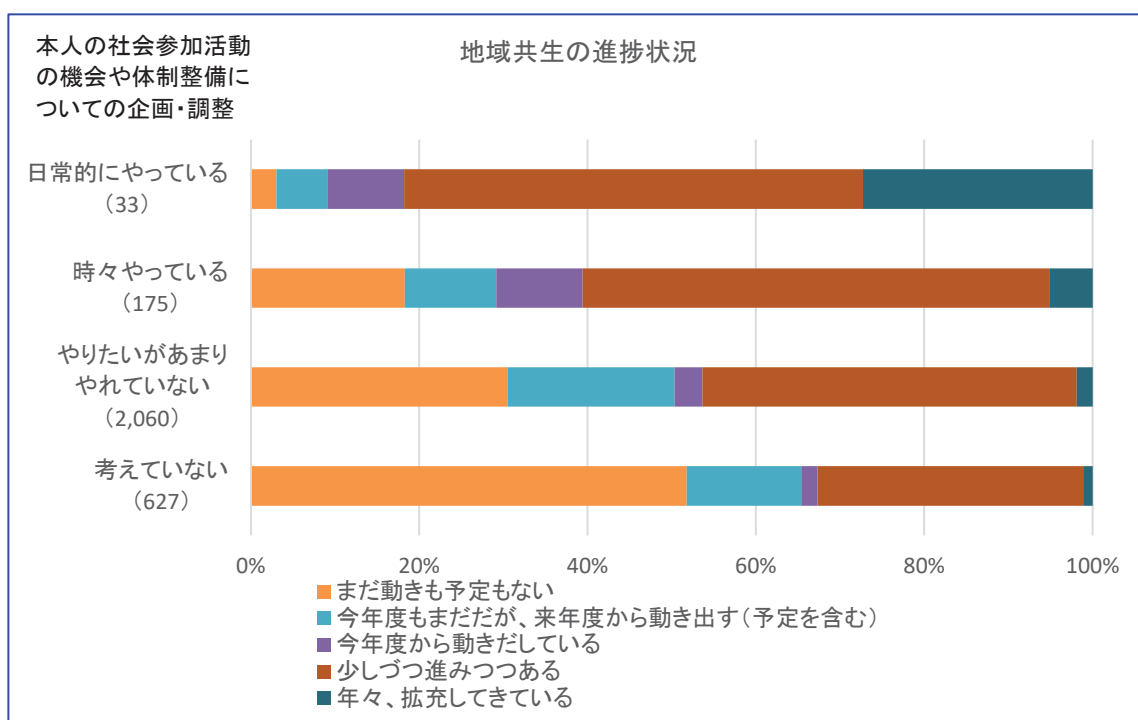
### ◆本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整

→◇「考えていない」、「やりたいがあまりやれていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低率であった。

◇「本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整」を、「時々やっている」、「日常的にやっている」場合、「今年度から動き出している」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が高率であり、特に「日常的にやっている」場合に「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」を合わせると81.8%であった。

未記入を除く N=2,898

本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
考えていない(627)	51.8	13.6	1.9	31.6	1.1
やりたいがあまりやれていない(2,060)	30.5	19.9	3.3	44.5	1.9
時々やっている(175)	18.3	10.9	10.3	55.4	5.1
日常的にやっている(33)	3.0	6.1	9.1	54.5	27.3



## II-4. 「医療・介護等の支援ネットワーク」との関係①

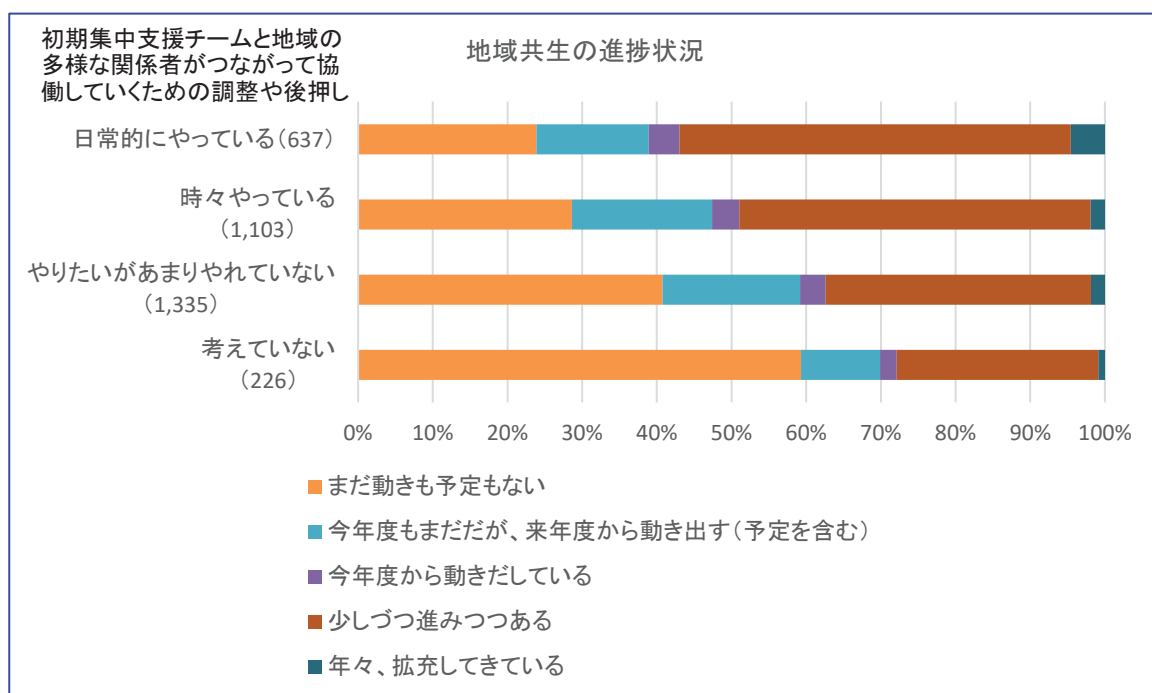
◆初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつながって協働していくための調整や後押し

→◇「考えていない」、「やりたいがあまりやれていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低い傾向がみられた。

◇「初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつながって協働していくための調整や後押し」を、「時々やっている」、「日常的にやっている」場合、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が多く、特に「日常的にやっている」場合には、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」あわせると、57.0%であった。

未記入を除く N=3,301

初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつながって協働していくための調整や後押し	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
考えていない (226)	59.3	10.6	2.2	27.0	0.9
やりたいがあまりやれていない (1,335)	40.7	18.4	3.4	35.5	1.9
時々やっている (1,103)	28.6	18.8	3.6	47.1	1.9
日常的にやっている (637)	23.9	15.1	4.1	52.4	4.6



## II-4. 「医療・介護等の支援ネットワーク」との関係②

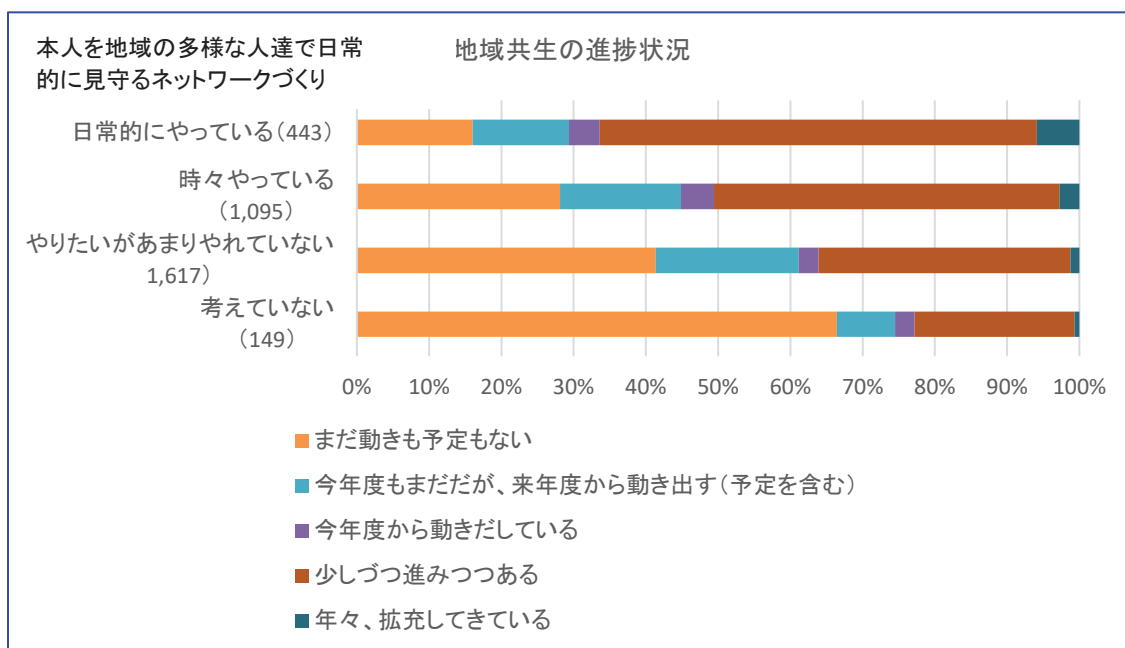
### ◆本人を地域の多様な人達で日常的に見守るネットワークづくり

→◇「考えていない」、「やりたいがあまりやれていない」場合、「まだ動きも予定もない」が多く、「今年度から動きだしている」、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」に関していずれも低い傾向がみられた。

◇「本人を地域の多様な人達で日常的に見守るネットワークづくり」を、「時々やっている」、「日常的にやっている」場合、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」が多く、特に「日常的にやっている」場合には、「少しずつ進みつつある」、「年々拡充している」あわせると、66.4%であった。

未記入を除く N=3,304

本人を地域の多様な人達で日常的に見守るネットワークづくり	地域共生の進捗状況				
	まだ動きも予定もない	今年度はまだだが、来年度から動き出す(予定を含む)	今年度から動きだしている	少しずつ進みつつある	年々、拡充してきている
考えていない (149)	66.4	8.1	2.7	22.1	0.7
やりたいがあまりやれていない (1,617)	41.4	19.8	2.7	34.9	1.2
時々やっている (1,095)	28.1	16.7	4.6	47.9	2.7
日常的にやっている (443)	16.0	13.3	4.3	60.5	5.9



#### 4) 「Ⅳ. 推進員活動をやってみての、自分なりの思いや体験」

7項目について質問したところ、①～⑥の項目について「(非常に) そう思う」、「そう思う」という前向きな回答が、あわせて約4割～7割寄せられていた。一方、項目①、③、④については「(あまり) 思わない」、「思わない」という回答も4割強寄せられていた。

⑥「推進員として今後も活動を継続したい」に関しては、「(非常に) そう思う」が67.9%を占めていたが、「(余り) 思わない」という回答も30.7%みられていた。

⑦「推進員(事業)を担当していく上での、負担やストレスが大きい」については、「(あまり) 思わない」が50.6%であったが、「(非常に) そう思う」という回答も48.0%寄せられていた。

N=3,402 (%)

項目	非常にそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない
① 推進員活動は、やっていて楽しい	6.6	46.5	38.1	7.2
② 推進員活動は、やりがいがある	12.1	57.2	23.8	5.6
③ 推進員活動は、これまではやりたくても十分にできなかったことがやれてうれしい	5.3	29.7	49.7	14.1
④ 推進員活動は、新しいことや未解決のことにチャレンジできておもしろい	6.4	39.6	41.7	11.0
⑤ 推進員活動は、自分の力が引き出されたり、つながりが広がって、自分のためになっている	11.8	53.7	26.4	6.8
⑥ 推進員として、今後も活動を継続したい	9.3	58.6	23.9	6.8
⑦ 推進員活動を続けていく上での、負担やストレスが大きい	10.8	37.2	40.9	9.7

#### 5) 「Ⅴ. 推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと」

##### V—1. 推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと

9項目について質問したところ、いずれも「すでになされているが今後も必要」、「まだ不十分で、今後強化が必要」、「大きな課題で、非常に必要」という回答が多く寄せられていた。特にいずれの項目においても「まだ不十分で、今後強化が必要」という回答が多く、4割強を占めていた。

また、いずれの項目についても「大きな課題で、非常に必要」が約2割～3割程度みられていた。

N=3,402 (%)

項目	すでになされているが今後も必要	まだ不十分で、今後強化が必要	自地域では大きな課題で、非常に必要	必要でない
① 推進員として何をやらせたいか、役割・機能について都道府県と市区町村/推進員との具体的な話し合いが必要	30.0	45.3	22.2	1.3
② 推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について行政と推進員との間で検討し、明確にすることが必要	24.5	48.9	24.3	1.1

④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要	20.6	48.9	24.9	4.0
⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要	19.1	44.9	30.7	3.9
⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじっくりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要	18.8	41.7	25.3	12.6
⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫（増員やフォーメーションづくり等）の促進が必要	17.5	41.6	29.0	10.4
⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員が、それぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫の促進が必要*下段の母数は推進員が一人、無回答を除く3,038	25.0 28.0	40.2 45.1	20.9 23.4	3.1 3.5
⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援・体制が必要	32.0	42.6	21.2	2.5

「課題があり、今後必要」という回答（「すでになされているが今後も必要」、「まだ不十分で、今後強化が必要」、「大きな課題で、非常に必要」）を合算すると非常に高率であり、多い項目順にみると以下の通りであった。

右端欄は、同項目についての市区町村調査及び都道府県調査の結果（順位）である。

合算して再掲 %

推進員調査 「すでになされているが今後も必要」、「まだ不十分で今後強化が必要」、 「大きな課題で、非常に必要」の回答の合算が多い項目順		推進員 N=3,402	市区町村 N=1,161	都道府県 N=47
1	②推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について行政と推進員との間で検討し、明確にすることが必要	97.7	96.7 (1)	89.3 (5)
2	① 推進員として何をやらせたいか、役割・機能について都道府県と市区町村/推進員との具体的な話し合いが必要	97.5	96.5 (2)	87.2 (8)
3	⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員がそれぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫の促進が必要 *母数は、推進員が一人、無回答を除く3,038	96.5	90.0 (7)	93.7 (4)
4	⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援・体制が必要	95.8	94.9 (3)	95.7 (2)
5	⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要	94.7	94.9 (3)	95.8 (1)
6	④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要	94.4	94.1 (5)	89.3 (5)
7	③ 推進員としてやるべきこと/やりたいことを主体的にやれるように、活動の自由度を高めることが必要	91.4	91.5 (6)	87.2 (8)
8	⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫（増員やフォーメーションづくり等）の促進が必要	88.1	87.1 (8)	89.3 (5)
9	⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじっくりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要	85.8	87.7 (7)	85.1(10)

## V—2. 今後の推進員活動を向上させていくために必要な体制や支援等

10項目について質問したところ、いずれの項目についても「(非常に) 必要」、「必要」という回答が高率を占めていた。

N=3,402 (%)

項目	非常に必要	必要	必要でない
① 全国で行う推進員研修（新任者、現任者）	18.8	62.6	17.0
② 都道府県で行う推進員研修（新任者、現任者）	30.3	64.7	3.9
③ 全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	18.7	68.3	11.9
④ 都道府県内での推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	25.2	67.7	5.8
⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	39.4	56.4	3.0
⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク *母数は、推進員が一人、無回答を除く 3,060	42.4	52.5	5.2
⑦ 推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	33.8	60.9	4.0
⑧ 施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会	38.0	58.1	2.6
⑨ 情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援	28.5	63.6	6.8
⑩ 全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ	27.9	66.0	4.6

「非常に必要」という回答が特に多かった上位5項目は、多い順に以下の通りであった。

再掲 N=1,161 (%)

⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク *下段の母数は、推進員が一人、無回答を除く 3,060	42.4
⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	39.4
⑧ 施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会	38.0
⑦ 推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	34.1
② 都道府県で行う推進員研修（新任者、現任者）	30.3

また、「必要」という回答が特に多かった上位5項目は、多い順に以下の通りであった。

再掲 N=1,161 (%)

③ 全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	68.3
④ 都道府県内での推進員同士が情報交換や具体的な相談をシェアネットワーク	67.7
⑩ 全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ	66.0
② 都道府県で行う推進員研修（新任者、現任者）	64.7
⑩ 情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援	63.6

「非常に必要」と「必要」を合算すると、すべての項目で8割から9割強に上っていた。

「非常に必要」、「必要」を合算した多い項目順をみると以下の通りであった。 N=3,402

	「(非常に) 必要」、「必要」を合算	実数	%
1	⑧施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会	3,270	96.1
2	⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	3,262	95.8
3	② 都道府県で行う推進員研修（新任者、現任者）	3,231	95.0
4	⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク <small>*母数は、推進員が一人、無回答を除く3,060</small>	2,902	94.8
5	⑦推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ	3,223	94.7
6	⑨全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ	3,193	93.9
7	③ 都道府県内での推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	3,163	92.9
8	⑨情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援	3,125	91.8
9	② 全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク	2,958	87.0
10.	① 全国で行う推進員研修（新任者、現任者）	2,769	81.4

なお、⑩「全国で行う推進員研修」を、推進員に配置されてからの年数階級別にみると、「1年未満」では、「必要」、「非常に必要」が88.1%であった。

配置されてからの年数が長いほど、「必要でない」が増える傾向が見られたが、配置年数が長い場合も、約8割が「必要」と「非常に必要」と回答していた。

N=3,204

		① 全国で行う推進員研修 (新任者、現任者)			
		必要でない	必要	非常に必要	<再掲> 必要+非常に必要
③推進員として配置された年数別	1年未満	11.2	60.7	28.1	88.1
	1年以上3年未満	16.3	65.1	18.6	83.6
	3年以上5年未満	19.9	63.9	16.2	80.1
	5年以上	20.0	62.2	17.8	80.0

## ＜推進員活動を進めていく上での課題や必要なこと:推進員の自由記述より＞

推進員活動に関する「具体的な課題」及び「必要なこと」に関して、推進員から寄せられた自由記述の主な内容を抜粋し、内容に沿って整理を行った。

### ＜推進員活動に関する推進員から寄せられた具体的な課題＞

#### ○推進員の業務や位置づけ、体制・環境整備に関して

- ・ 当市では包括職員が兼務で推進員としての業務を行っているが、時間的に限界がある。
- ・ 推進員が、認知症初期集中支援チーム員・包括職員・予防支援ケアマネジャーの兼務をしており、完全にキャパオーバーになっている。
- ・ 国の施策が人口規模や地域特性に合わせたものではないため、事業量が多く負担が大きい。
- ・ 介護人材の不足、生産年齢人口が減少している現状の中、推進員となりうる人材の確保も難しい。

#### ○市区町村のビジョンや方針、スタンスについて

- ・ 推進員が活動をする以前に地域でどのような課題があり、それらをどのように解決や改善していくことが望ましいのかという大前提の話が充分になされていなく具体的なビジョンの共有が不十分と思われる。
- ・ 認知知本人の希望や意見よりも、行政の指針や社会制度、計画等から作り出される業務が活動の大半を占めている。個別支援の積み重ねから、社会資源を作り上げるような柔軟な活動が行いづらい。
- ・ 推進員は事情の違う各地域で画一的でなく何ができるのかを検討し、行政は多様性を認めること。
- ・ 各種イベントの実施において、市と推進員が協力して企画をし準備をしていく体制が構築できておらず推進員会議にて全体で企画できる体制作りを提案しても結局、市役所が考えた企画となってしまう。初めの段階から推進員も企画に加わりアイデアを出しながらイベント等に関わっていきたい。
- ・ 機能強化型センターとしては行政に対して、提案型で地域支援計画を中長期で示して活動の意義を伝えられているが、いまいち行政内で理解が得られず、予算されないために活動は止まってしまう。市民オンブズマンのような行政機関の評価を行う市民活動をしている方々と協働していく必要があると考えている。
- ・ 担当課は理解はあるが、財務部門に優位性があり、必要な事業の予算が切られてしまう。そういった状況を市民に周知することは受託関係上は不適切な行動となり困難。行政が何をしようとしているのか不明確に映ってしまい、推進員はミッションを見失いがちです。これまでもパブリックコメントへの意見提出も「受託関係にあるため」と退けられてきました。フォーマルな支援体制構築に向けた手立ての創出に行き詰っている現状の打破が最も大きな課題です。
- ・ 今まで自分の包括内で管理者と相談しながら評価をしてきたが、市としてこれでいいのかがわからない。
- ・ 以前、市から市町村が国に出す評価が他の似た様な地域に比べ評価されていないようなことを教えてもらったが、どこが評価に当たっていないのかが不明のため改善しにくい。
- ・ 現場の声が反映されていない。



### ○推進員活動のあり方について

- ・個別支援の増加により、地域へ出向くことが少なくなっていたり、また、ほかの理由で活動に制限がかかることで、発想の広がりも、人とのつながりも狭くなるような気がする。
- ・各地域包括支援センター内に各1名（兼務）の推進員を配置しているが、推進員によって経験や力量に差があり、認知症の地域支援に差が生まれている。地域によりニーズは異なるため、支援や活動について同じものを均一に拡げる必要はないが、真にその地域に必要な支援が推進員の活動で取り込まれているようにしたい。

### ○地域の現状に関する推進員活動について

- ・同居家族の認知症に対しての認識、理解が低く、発見が遅れてしまうケースがまだまだ見られます。
- ・地域住民の理解がまだ不十分。「自分はならないから」といった意見の方が多い。自分が、ではなく自分の周りがそうなった場合のあり方など、理解してもらえるようにしていきたい。
- ・認知症の方はご自身では病識がなく、プライドも保たれているので関わり方がデリケートだ。生活ができていれば民生委員やご近所の方と見守っているのが現状。他に緊急性がある方はじっくり関わる時間はなくなるとかして病院につなげて施設対応等行っている。
- ・認知症の方の相談があった時点で命の危険があることが多く、現実的でない初期集中に繋ぐより、介護保険サービス対応に繋げる事例の方が多くなりがち。平行しながらの取り組みのほうが現実的だと思う。
- ・家族からの相談が中心となっているので、今後は本人を巻き込んだ取り組みが課題である。

### ○地域の多資源との連携に関して

- ・認知症地域支援推進員内だけで検討するのではなく、様々な関係機関との連携が必要。福祉関係以外の機関とのつながりづくりも検討していかなければならない。
- ・推進員だけの活動では無理があり、地域住民を巻き込んでいくことが必要である。

### ○若年性認知症の人の就労に関して

- ・若年性認知症の就労支援の話が進まないことが課題であると感じます。介護、企業、ボランティア、行政のプロがそれぞれ必要。また、ある程度の補助金も必要になると考えます。推進員だけの力量ではどうにもならないと感じておりますが、若年性認知症の人、その家族が相談できる場所、当事者が輝ける場所の確保や居場所を作っていけたらと考えています。

### ○免許返納に関して

- ・自動車免許証の返納後、一時的な特典ではなく、その人の生涯使えるサービスを検討し、車がなくなってしまった後でも不自由なく生活ができるようにしなければ、返納する人が少ないままだと思う。

### ○コロナ禍での活動に関して

- ・コロナ禍において思うような活動ができていない。今後の目途もたない中、地域で見守り声かけ訓練、再開できていない事業など、工夫しながらどのように行っていくか考える必要がある。

## <推進員活動に関して、推進員が必要と感じていること>

### ○推進員が活動するための配置のあり方、体制や環境整備に関して

- ・兼務をしており、完全にキャパオーバーになっている。地域の認知症にかかわる人材を増やしていくためにも推進員単独で業務出来る人材を行政が確保できるように財政的な支援が必要だと思われる
- ・兼務の職員では時間的に限界がある。専任の推進員を増員し地域サロン等に参加しながら相談対応や講話などができるようにしたい。
- ・人員不足から相談窓口業務もほぼ毎日あり、推進員の仕事が5割以上であれば兼務も可能となっているが実際はどの推進員さんも虐待や支援困難、予防業務に追われているのが実情と聞いているので推進員としても明確な時間の確保が必要。
- ・推進員が認知症疾患センター、在宅介護サービス事業所等、医療機関にも配置され、共に活動、共有した方がより視野を広げて活動できるのではと感じます。
- ・行政から委託包括（法人）へ推進員業務の重要性を書面で明記配布を。
- ・個別支援は包括職員でもできる。個別支援と地域活動・地域づくりの両方ができなくては推進員である意味がないように思う。これは、自治体ではなく、配置主体への意見である。
- ・事業内容は細かく相談しているものの、やはり任された部分では、自分の考えで計画を立てるため、内容や方向性が自分の主観で偏ってしまっているのではないかと不安になるので、同等の立場で一緒に計画立案、実施ができる人員がいてくれると、心理面でも助かるし、実働でも漏れが減ると思う
- ・推進員業務の計画・評価を行政が実施し法人にも報告してもらう事でのモチベーションの維持（これをこれを実施する事で、業務向上には明らかにつながると思うが、そのためには、業務遂行のための体制づくりも必須）。
- ・行政からもっと広く地域への認知症推進員の周知、広報を行ってほしい。
- ・活動を継続できる体制をとるためにも人の異動の配慮は必要。

### ○市としての方向性、方針、計画について

- ・行政の役目は推進員を配置して終わりではなく、何をするのか指針をしっかり出すこと。
- ・推進員は事情の違う各地域で画一的でなく何が出来るのかを検討し、行政は多様性を認めること。
- ・地域づくりが目的だが、地域住民には強い偏見や無関心、排斥の風潮を強く感じる。  
推進員の具体的な活動が地域に任されている自由度は良いが、こうした現実を見据え、市には先を見通した計画を立ててほしい。地域福祉計画に具体的な記述が必要である。
- ・「地域づくり」に特化すると、現在の施策では、その内容は多岐にわたっており、縦割りで考えるのではなく、横に広く考えていく必要があると思う。
- ・役場内の部署を超えた連携の必要性を感じる。ライフラインや教育、子育てを担当する部署との連携が出来れば、困りごとを抱えた人だけへの対症療法的ではない世帯丸ごとの支援、切れ目のない支援ができると考える。
- ・人口規模が多くない市町村では、同じようなことを別の担当者や別の部署でやっており、もっと多面的に、認知症とか障がいとか高齢者などとくくらずに、事業を進めていけるような、柔軟な対応が必要なのではないかと思います。

- ・認知症カフェ創出準備や運営資金について町への協力を求める活動が、町の地縁団体等の町のキーマンとなる方の認知症の理解につながるアプローチである。初動時開設時の市の補助金があることで、認知症啓発活動や認知症の方やその家族・興味がある方への居場所作りがより自由度が上がる。町の地縁団体に補助してもらうことにより、認知症カフェを資金面では持続可能であるが役員等の考え方がかわると本来の構築した趣旨等の方向が違ってくる可能性もあるため。
- ・行政の方向性が示せば、支援員によるコロナ禍の実現可能な活動を検討できるのではないかと。
- ・計画作りなどの際に、推進員を加えての検討会議があってもよい。

### ○推進員活動の焦点化について

- ・推進員の役割があまりに枠が大きく、行政外の推進員が一体何をやってよいか分からないといった状態に陥りがちであるため、何を重点的に実施していくのか等、焦点をしばった年度計画の策定等が今後重要となってくると思われる
- ・推進員が活動をする以前に、地域でどのような課題があり、それらをどのように解決や改善していくことが望ましいのかという大前提の話が充分になされていなく、具体的なビジョンの共有が不十分と思われる。それらの段階をきちんと踏んだうえで、様々な会議において社会的課題を抽出し、それに対する活動目標を立てていく方がより具体的でやりがいのある未来に向けた内容になると感じている。

### ○市区町村の地域特性に応じた活動について

- ・当該地域は多くの圏域に分かれておりそれぞれ地域包括支援センターが配置されている。それぞれの圏域に沿った地域づくりを行うためには推進員活動も細分化したほうが効率的だと思われる。
- ・地域が非常に大きく、山間部もあるので、集まりにくい状況の中、工夫が必要である。

### ○推進員の活動のあり方について

- ・推進員の活動は、個別から地域活動と幅が広く、人との信頼関係を一緒につくりあげる経過が大事だと思う。
- ・推進員だけが進めるのではなく、多職種の意見や手助けが何より大切であり、そこがなければ事業を進められないと日々感じています。できることからコツコツと地域に根差した取り組みを少しずつ、本人を含めて変えていきたい、定着させたいと思います。
- ・多様なことを実現可能なことにしなくてはいけないので目標を見据えて柔軟性を持ち取り組むことが重要と感じます。

### ○各種の活動について

- ・講演をしてもらえるような当事者だけでなく、多くの当事者の声を聴く機会を積極的に設けた方がよい。
- ・高齢者を対象に認知症サポーター養成講座を開催することが多いですが、より若い世代の方や企業やスーパー、コンビニ、金融機関などで開催し、より多くの方に認知症についての理解を深める機会を作りたいと思います
- ・認知症サポーター養成講座は、毎年取り組んできましたが、ニーズがあった場合のみの対応でした。必

要だと思ふところへの働きかけ、講座を増やすことで認知症の理解者を増やしたいと思っています。

- ・恒常的に開催できる認知症カフェ（認知症の方、家族が気軽に来られる場所）づくり。理由：本市にあるカフェが施設内で開催されているため、コロナの影響で、不特定多数の参加者を受け入れられない長期中止を余儀なくされているため。
- ・認知症カフェなど集える場所作りも今後取り組みたいと思っています。

#### ○地域の多資源とのネットワーク・連携、情報の刷新

- ・推進員のみならず、医療関係者とのネットワークの構築も必要。推進員自身の認知症の知識の向上や最新の情報等、常に刷新されなければならない。
- ・認知症にかかわる医療機関等の MSW や認知症介護指導者との情報交換や具体的な相談がし合えるネットワーク
- ・今まで以上に医療との連携が必要であると感じています。
- ・地域の企業や学校関係等の連携も必要。
- ・推進員と地域住民、企業、社会福祉法人や医療機関等関係機関含めたネットワーク作り
- ・他地域のご本人やご家族と交流できる機会がもっとあれば良いと思う。

#### ○推進員同士のネットワーク・情報共有・学びの機会

- ・現在のすいしんいんネットのような推進員同士がつながれる場は非常に必要だと思われる。全国の推進員同士が気軽に相談し合える環境は複数あっても良い。
- ・推進員が1人で抱え込まずに気軽に相談を出来る体制づくりは、地域・職場・推進員同士で作っていく必要があると思われる。
- ・地域の状況、必要性を見極め、優先度を決めて前向きに取り組めるような研修会等が必要と思う。  
推進員が地域住民との関係づくりは必要なことである。他の地域の先駆的な取り組みについても見聞きすることは活動の参考になる。
- ・同じ規模の自治体同士のつながりや連携、情報交換ができる場が欲しい。
- ・推進員の配置が同じ形態である推進員との情報交換の場も欲しい。
- ・全国規模での推進員の研修（集まる機会・意見交換の機会）はあるが、県単位での推進員は集まる機会が今のところないので、つながりを持てる機会があると良い。
- ・県内において推進員同士のネットワークづくりは重要だと思う。先進的な取り組み、同一規模の市町村の状況、推進員が活動するにあたっての苦労、工夫など情報の共有があれば取り組むうえで参考にすることができる。
- ・全国レベルでは自地域と差がありすぎて参考にするには難しい。都道府県内ともっと情報交換をし、コラボなど実現しやすいものから取り組んでいきたい。
- ・近隣市町村同士で情報交換する場はあった方が今後の業務の刺激になると思います。
- ・市町村同士で競い合うぐらいが良いと思います。
- ・一包括では実行が難しいこと（例えば SOS 模擬訓練など）を、施策担当者と関心を持っている複数の推進員で話し合いを持つなど、分科会的な活動も必要かと思われる。

### ○推進員の活動支援について

- ・自分で今おこなっている方向が正しいのかどうか不安になることが多いですので励ましやアドバイスを受けられる機会があるとモチベーションがあがると思います。
- ・初めて推進員を担当することになった時に利用できるガイドラインがあれば良い。推進員のキャリアパス（何を学び、どう研鑽を積み、何を行えばよいのか等）が見える化されていれば良い。
- ・地域にはどのようなニーズがあるのか、感覚的な物しか現状はない。科学的な根拠をもとに効果的に動くため、地域をリサーチする能力が推進員にも必要だと思う。地域のニーズを把握するためどのような方法があるのか、人々の満足度を図るためにどのような尺度があるのか、教えていただける機関があるとありがたいです。

### ○推進員活動の評価に関して

- ・直営包括であるため、取組が自作自演で評価の視点に欠ける。PDCA サイクルを機能させる必要があり、そこに第三者の意見が必要と感じる。第三者は、医療介護の関係機関にとどまらず、本人や家族、地域の方たち、企業など、本人を取り巻く関係者であればと思う
- ・推進員の活動内容の評価をしてもらっているわけではないため、評価や足りない部分での助言役割があると嬉しい。

### ○IT 機器の活用等、新しい取組み方の必要性

- ・コロナ禍の影響があり、認知症カフェやサロンなど、集まりの場が減っている中で、これまでの活動の方法を改め、IT 機器の活用など、新しい取り組みが必要と思われます。
- ・顔の見える関係」が出来、行政の方々と一緒に活動出来ていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の為、思うような活動が出来ない状況にあります。今後は web での会議や研修を考えていくべきではないかと思います。
- ・コロナ禍で全国で認知症研修がオンライン配信（期間あり）で行われており、時間を気にせず参加したい時にウェブで学べるので、もっとそのような配信を増やしてほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインミーティングが盛んになっている今こそ、オンラインでのピアカウンセリングを普及するチャンスととらえるべきと思う。オンラインである以上、日常生活圏域の知り合いにこだわる必要はなく、言葉が通じさえすれば世界中の誰と語り合ってもピアカウンセリングにはなると思う。問題はそのミーティングの信頼性であり、全国的な認知症関連の組織（家族の会、認知症疾患医療センター、包括・在支協、全社協など？）が提供するオンラインミーティングの場であって、なおかつ身元の分かる専門職が出席するものであれば参加者が安心できると思う。
- ・ネット環境が包括内でも限られている部分もあり、使いたい時に使えないこともある（特にオンライン研修の機会も増え、包括内の他の職種の使用頻度も増えてきたため）。今後情報共有が多職種と多様化していくなかで環境整備の充実が必要と思われる。
- ・高齢者にも使いやすい IT が必要と思われる。

## 第4章 推進員活動の質の評価のあり方と質の向上のあり方の検討

### 1. 推進員活動の質の評価の必要性の確認

以下の4点から、推進員活動は必要である。

#### 1) 推進員の存在の重要性

各市区町村に配置されている推進員は、それぞれの市区町村の特性に応じた地域共生社会を実現していくための認知症施策の推進役であり、またそのためのネットワークを育てていく要役なる重要な存在である。

#### 2) 「配置」とどまらず、行政担当者と推進員が共通理解を深め安心して活躍・協働していくために必要

- 推進員の役割・機能は見えづらく、全国調査によると行政担当者と推進員との共通理解の不足が課題として浮かび上がっている。
- 推進員を「配置している」とどまらず、推進員活動の質の評価をきっかけに、行政担当者と推進員両者が推進員の活動のあり方に関して一緒に考え話し合うことは、両者が安心して持てる力を発揮しながら活躍・協働していくために必要である。

#### 3) 自地域の認知症施策を持続発展させていく上での必要性: 新任者も、キャリアが長い人も

- 行政担当者・関係者や推進員は異動等で交代する機会が多いことが調査結果でも示された。交代があった場合も、施策や事業展開が足踏みしたり後退することなく持続発展をはかっていくための羅針盤の機能として、推進員活動の質の評価が必要。
- 異動等がなく推進員としてのキャリアが長い場合も、活動を新鮮に見直し、自地域の現状や変化を踏まえながら、活動をブラッシュアップしていくために必要。

#### 4) 共通の考え方や方策を基礎にすることの必要性: 不安や迷いを小さく、効率的に活動を進めていくために

- 推進員活動は、各市区町村の特性に応じて各市区町村ごとに独自に企画・実施されるものである。その独自性を大切であるが、独自性ゆえの「やっていることがこれでいいか」という不安や「独りよがりになるのではないか」という迷いも少なくないことが調査結果(自由記述)で示されていた。
- また全国調査の結果から、自治体ごとに推進員活動の実際や成果にかなりの開きがあることも確認されていた。
- 推進員活動の質の評価の考え方や方策を、全国レベルである程度共通のものを基礎にしながら評価を進めることにより、行政担当者や推進員の不安や迷いを小さくし、限られた時間やエネルギーを効果的・効率的に活かしていくために必要であると考えられる。

\* 「認知症施策推進大綱 (p.12)」においても、「推進員の質の確保や向上のための方策について検討する」ことが明記されている。

## 1. 推進員活動の質の評価の目的

各市町村に配置された推進員が、自地域の地域共生の実現に向けて、推進員活動をより効果的・円滑に展開していけるように、活動に関する補強点・改善点等を明らし、推進員活動の向上を図っていくことを目的に実施する。

## 2. 推進員活動の質の評価の基本方針

### ① 「推進員活動」について評価する

推進員自体（個人）ではなく、市区町村での「推進員活動」について評価する。

\* 推進員が異動したり人員の変動等があった場合でも、市区町村での推進員活動が積み上げられ、持続発展していくために必要なことを見出すために実施する。

### ② 実質本位の評価を

形式的な評価や機械的にこなす評価ではなく、実際の活動に役立つ実りのある評価とする。

### ③ 課題と同時に、見えにくい（小さな）工夫や成果等を伝えあい、モチベーションがあがる評価を

・ 推進員活動の実情や課題のみを点検していくと「やれていないこと」「やらなければならないこと」が多数みつき、推進員にとってストレスや負荷を高めかねない。課題と同時に、ふだんは見えづらい活動の中での努力や工夫、生み出されつつある変化や成果等を見つけ、それを伝えあう機会として、推進員（同士）の自信、やりがい、楽しさを高める機会とする。

\* 同じことは、行政担当者にも見られ、評価は、推進員活動を担当する行政担当者の見えにくい取組を行政内の他の行政職や推進員に伝える機会にもなる。

・ 評価しながら、「これは自分でもできる」、「新たにこれに取組みたい」といった気づきや自主的な動きを大切にしながら評価を進めていく。

### ④ 評価の企画から活用までの一連のプロセスを質の向上に活かす

「評価をする時」みではなく、評価自体の企画や方法、評価結果を活用していくプロセスについて行政と推進員等が話し合い、プロセス全体を推進員活動の質の向上に役立てていく。

### ⑤ 密室の評価ではなく、オープンにして活かす評価に

一部での閉ざされた評価にせず、評価のプロセスや結果を関係者や本人、地域の人たちと最大限共有を図り、その後の理解や協働、認知症施策の推進等に活かしていく。

\* 行政(事業) 評価にも反映させていく。

### ⑥ 本人の声、本人視点を大切にしながら評価を

評価に取組む際、どうしても立場や専門、支援者視点で評価を進めがちになる。本人の実際の声等もいかしつつ、「本人からみたら活動はどうか」本人視点に立ちながら評価を行う。

#### 4. 推進員活動の質の評価の実施方法

##### 【①評価の実施主体】

○基本は、推進員を配置している各市町村とする。

- ・行政担当者だけでやろうとしたり、行政の動き待ちではなく、推進員の方から実施を前向きに提案したり、協力しあいながら。
- ・行政と地元の推進員ネットワーク等が共同で実施するスタイルもあり。
- ・行政が評価に取り組まない場合、まずは推進員（同士）で自主的に評価を始めてみよう。  
\*全国調査結果では、PDCA等を推進員同士で自主組織に行っている回答もあった。

○近隣の市区町村が共同実施することも。

- ・一自治体だけでは難しい場合も、近隣市区町村と声かけあって共同で。
- ・近隣自治体が評価に取り組む動きがある場合には、相乗りさせてもらうやり方も  
\*全国調査結果では、行政職員、推進員両方から、近隣の市区町村の推進員との交流、情報共有、コラボ等を望む意見が多く寄せられていた。

○都道府県は、管内市町村の取組みを促進・後押し役を。

- \*都道府県が質の評価を市区町村に呼びかけて、取り組む市区町村をバックアップしながら経過情報を他の自治体にも共有したり、複数自治体の共同実施の調整・支援を行うやり方も想定される。

##### 【②評価は誰がするか】

<基本> 行政担当者と配置されている推進員が一緒に行く（各自→もちよって共同で）。

<展開> 上記を基本にしながら

○自地域の人で、評価してもらうことが必要と考えられる人、前向きな協働を強めたい人等に、適宜参画を呼びかける（評価内容の一部だけでも）。

- ・認知症の本人、家族、関係者（保健・医療・介護職等）、地域の人

○必要に応じて評価・助言を仰ぎたい市町村外の人にも参画をよびかける

- ・他地域の推進員、本人、関係者等

- \*評価をきっかけに、改善や悩み解消にむけた具体的なアドバイスを受けられる機会としても活かせる。

##### 【③評価の時期】

<基本:年次評価> ○年に1回

- \*質向上のため、そして評価結果を行政、推進員が次の計画に活かしていくために最も適切な時期を、行政担当者と推進員が話し合って決める。

例①秋頃（年度前半を振り返って評価し、年度後半の活動を補強・改良しつつ、評価結果を次年度計画/予算にも反映する

- ② 推進員の研修や連絡会等の前（評価結果をもとに、課題や成果、工夫等を集まりで共有したり、一緒に討議して検討深める。

<展開>

- 日常的に評価の視点を意識し、気づきや改善提案を積み上げて置き、定期的な連絡会や定例会等の機会に報告しあい、共有・検討を深める。



## 5. 推進員活動の質の評価の視点・内容:どんな視点で、何を評価するのか

- 1) 自地域で暮らす本人視点にたった内容について評価する ※内容(項目)の例は次ページ参照
- \* 「何を何回(何人)やった」、「やっています」という事業実績を問う従来型の評価(提供側の視点)ではなく、自地域で暮らす本人(住民)にとって「推進員活動が役立つ(価値、意味がある)質を備えた取組み」になっているか、本人(住民)視点にたった評価をする。

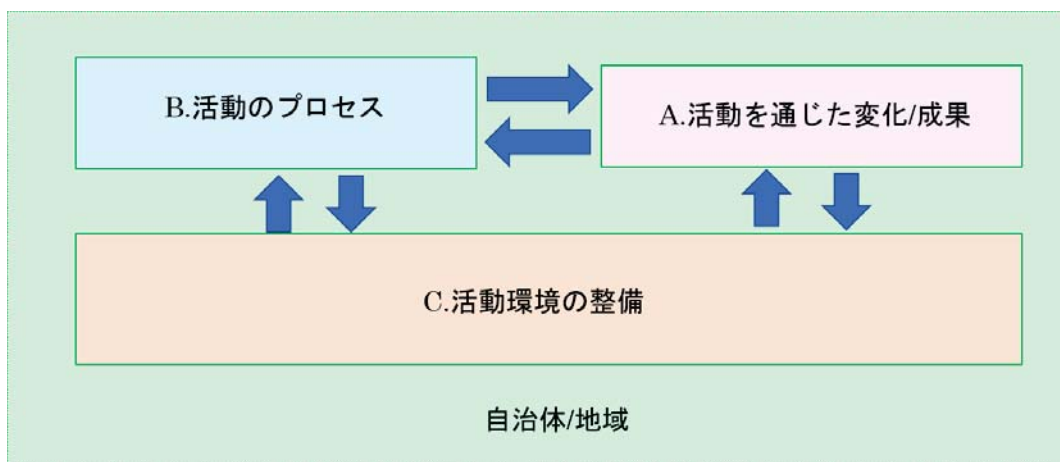
### 2) 「推進員活動の質」を以下の3領域から総合的に評価する

- A. 「わがまちが目指す姿になってきているか」: 推進員活動を通じた変化/成果
- B. 「本人に役立つ活動を実際やっているか」: 推進員活動の実際(プロセス)
- C. 「変化/成果を実際に生み出すための環境を作っているか」: 環境整備・体制

- \* 現状の中でのたくさんの「やらなければならないこと」や「やっていること」、「課題」の迷路に陥らずに、(A)推進員活動のゴールを見据えて、変化・成果が生まれているか、(B)ゴールを目指して推進員活動のプロセスでやるべきことをやっているか(やりたくてもやられていないのか)、(C)推進員がやるべきことをやれる環境・体制を推進員を配置している自治体や委託されている組織が整えているか、について現状を冷静に確認しあい評価する。
- \* いきなり変化・成果が生まれるのではなく、(B)日常の中での活動のプロセスおよび(C)環境・体制に関して、些細な点、気づいている点、ふだんは見過ごしたりやり過ごしていることを評価の機会に具体的に洗い出し、行政と推進員等が共有しながらお互いの理解を深める。
- \* 変化/成果を少しずつでも着実に生み出していくために、それぞれがやるべきこと・できること、関係者が一緒にやるべきこと・できることを、評価の機会に具体的に考え、アイデアを出し合い、改善策を具体的に見つけることを重視する。

### 3) 「配置されている推進員」の活動に関して確認し、自地域の中での推進員活動の最適化を

- \* 推進員活動は、単独では評価できないことばかりである。
- \* 推進員活動のみを明確に評価しにくい状況があるが、内容を確認する上では、上記のA~Cについて、「配置された推進員に関してどうか」にできるだけ焦点をあてて確認し、評価を通じて自地域の関係する人や事業、実際の役割・機能等との関係性を検討しながら自地域が今後よりよく進むための「推進員活動の最適化」を共に考え改善する機会にする。



「推進員活動の質の評価」の内容の構成:3領域について総合的に

### 推進員活動の「質の評価の構成と内容」(参考)

\* 下記の内容を参考に、自治体それぞれの地域特性や取組の進捗状況に応じて、行政と推進員、関係者が「今、どこに焦点をおいた評価が必要か」評価内容について話し合って項目の設定を(次ページ参照)。

構成	市町村担当者	推進員(各自)
A.活動を通じた変化/成果	確認・担当者の振り返り・点検	確認・推進員の振り返り・点検
B.活動のプロセス(実際)	確認・担当者の振り返り・点検	確認・推進員の振り返り・点検
C.活動環境の整備	確認・担当者の振り返り・点検	確認・推進員の振り返り・点検
総合評価	点検内容を持ち寄って合議。互いの一致点やずれについて率直に話し合い、気づき・提案をもとに、推進員活動をより効果的・円滑に展開していくための、A～Cに関する補強点・改善点等を具体的に示す。	

- ・ 推測や先入観ではなく、できるだけ具体的な事実に基づいて点検する。
- ・ 各内容に関して、良い点と要改善点の両面を明らかにする。

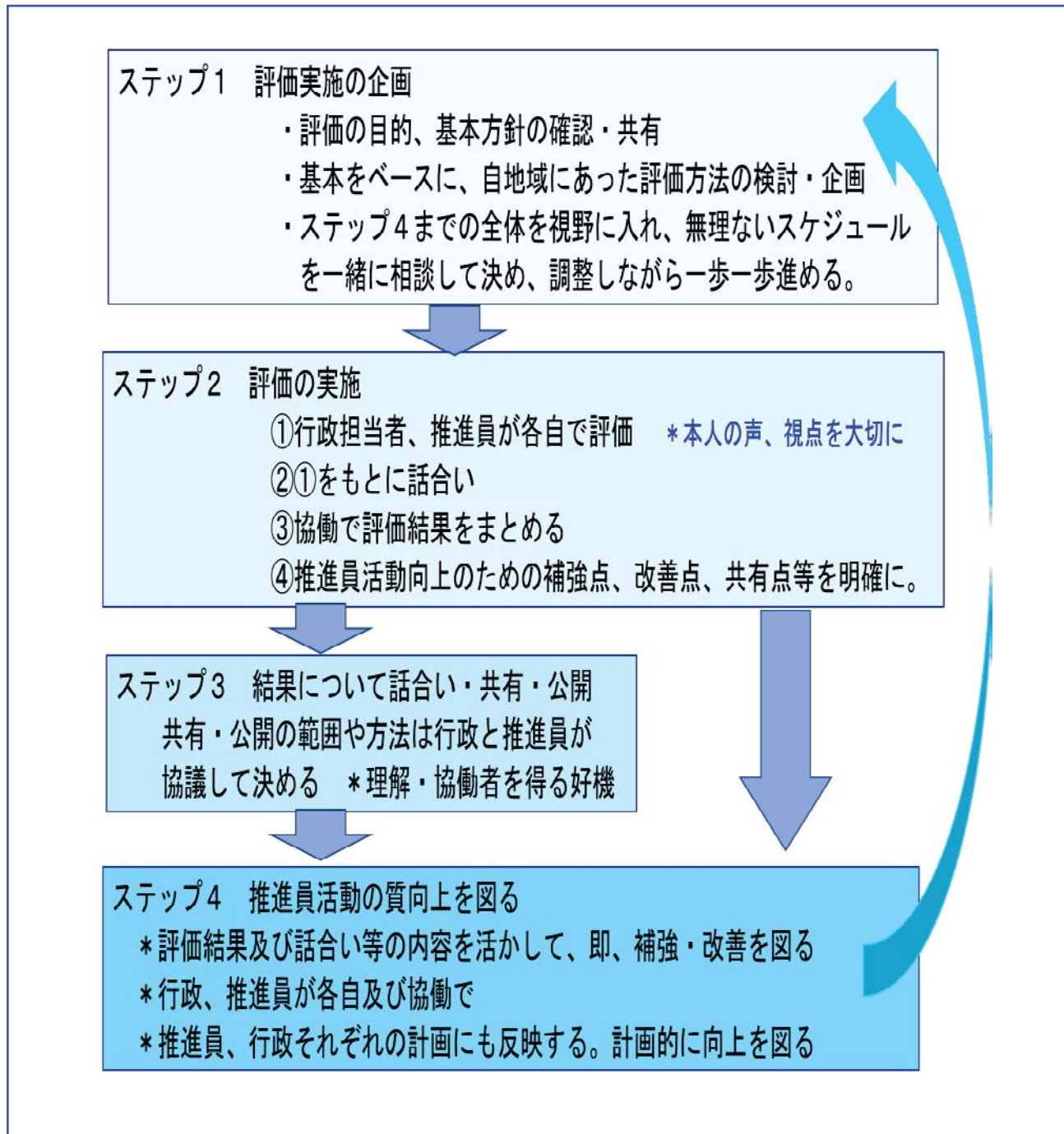
※内容の細目は巻末の調査票の細目を参照し、自地域で確認・点検が必要な細目を話し合って設定を。

構成	内 容
A.活動を通じた変化/成果	1. 推進員活動を通じた本人の変化・成果
	2. 推進員活動を通じた地域の変化・成果
	3. 情報の流れや連携に関する変化・成果
	4. 「地域共生」の進捗状況
	5. 推進員活動を通じた自分なりの変化・成果
	6. その他(地域の特性、必要性に応じて)
B.活動のプロセス(実際)	1. 推進員の活動のしかた(スタンス)
	2. 個別の相談・支援体制づくりの実際 * 本人発信支援、意思決定支援を含む
	3. 関係機関と連携した事業の企画・調整 * 社会参加活動の推進や体制作りを含む
	4. 医療・介護等の支援ネットワークの構築
	5. その他(地域の特性、必要性に応じて)
C.活動環境の整備	1. 行政担当者と推進員との関係作りや協働の実際について * 担当者が推進員の意見・提案を聴き、計画/予算に反映も含む
	2. 行政担当者と推進員の、わがまちが目指す姿(ビジョン)の共有状況
	3. 行政担当者と推進員の、現状と課題の共有状況
	4. 行政担当者と推進員の、推進員活動の機能・役割の共有状況 * わがまちとして、推進員活動として何に注力すべきか(焦点化)も含む
	5. 行政担当者と推進員の、推進員活動の方針の共有状況 * 地元の本人参画、本人視点で進めることも含む
	6. 「推進員の活動のしやすさ」への行政としての配慮や取組み
	7. 推進員同士がつながり、話し合い、学び合う機会づくり * 近隣等も含む
	8. 推進員活動のPDCA(計画・実施・見直し・改善)の実施状況
	9. 推進員活動が持続発展していくための、行政の配慮・工夫
	10. 認知症施策を推進していくための、推進員の適正な配置、工夫 * 推進員の配置数は増やせなくても、フォーメーション作りの工夫も含む
総合評価	1. 現段階での推進員活動の充実度と課題
	2. 推進員活動の進捗状況、経年的な発展状況と課題
	3. わが町のビジョンの実現に向けた、今後の活動の注力点(焦点)
	4. 上記1～3のために必要な環境整備の課題
	5. その他(行政担当者、推進員、関係者の気づき、提案等)

## 6. 推進員活動の評価の流れ:プロセス全体を活かす

下記は、あくまでも基本的な流れ。自地域にあった進め方を話し合って設定する。

### 評価の基本的な流れ



## 7. 推進員活動の質の評価で重視すべき点

### 1) 行政担当者、推進員が協働関係を育てる・深める機会として活かす

- ・行政担当者も推進員も、互いの協働の必要性は理解していても、実際は協働関係が十分には育っていない。
- ・評価の機会に、一緒に企画・実施しながら、直に会って率直に話し合い、わかりあい、推進員活動の協働を具体的に進めていく協働関係を育てるきっかけにする。
  - \* 行政担当者が推進員を兼ね、自治体で一人のみ、という場合も少なくない。  
その場合、推進員でもある行政担当者を理解・応援・協力してくれる行政組織内の上司等が必要であり、評価を行政担当者が他の行政食との協働を深める機会に。

### 2) 推進員活動がめざしていること・注力すべきこと（焦点）の（再）確認する機会として活かす

- ・評価を通じて、行政担当者と推進員が、「こういうことを目指していこう」、「今、ここに注力すべき」という点を確認しあい、自分のまちでにとってそのことが具体的に話し合える機会にする。
  - \* 全国調査結果では、「目指す姿」や「注力すべきこと（焦点）」に関して、「ある程度共有している」場合よりも、「具体的に共有している」場合の方が、推進員活動による変化/成果が高率で生じている。

### 3) 結果を焦らずに、丁寧な活動を続けることの必要性・重要性を確認する機会として活かす

- ・推進員活動に限らず認知症関連の取組は、単年度だけでは目に見える成果があがりにくく、年単位での地道な活動の継続があってこそ成果が見え始める事が多い。
- ・その点を行政側もわかってはいても、年度報告がしやすい回数や人数等の実績報告を推進員や現場に求めがちであるが、そのやり方を続けていると、推進員や現場が、本来やるべきことに注力できず、経年的にみると実質的な成果があがっていない。
- ・評価の機会に、外形的・表面的な成果ではなく、時間をある程度かけても生み出したい実質的な成果とは何か、そのために必要なプロセスは何か、そのプロセスで起きている成果につながりそうな動き等について話し合い、行政と推進員との歩調合せを行う。  
(推進員のみではなく、地域の関係者のその後の方針や動きにとっても大切な機会になる。)
  - \* 全国調査結果では、変化/成果に関して、「数は増えていないが中身が充実してきている」という回答が多く寄せられており、推進員が「中身の充実」を図るプロセスを実践してみることで地域全体の取組の質の向上を牽引している機能が示されていた。

### 4) 新任者も、評価を通じて推進員ならではの機能や取組んでいくステップを学ぶ機会に

- ・「質の評価」というとハードル高く、特に新任者には評価は難しいと感じられてしまいがちであるが、評価の機会には推進員活動で何が大切か、何をすべきか、何からできるか等を、地元の状況の中で考え話し合っって仲間を増やせる絶好の機会である。
- ・新任者も参加しやすく、素朴な気づきや疑問を出しやすい評価の進め方や配慮が必要。

## 8. 推進員活動の質の評価と質の向上に向けた提言

### 1) 提言の背景

○全国調査結果から、推進員活動を（積極的に）推進している自治体がある一方で、推進員を配置はしているが推進員活動の推進には（あまり）積極ではない自治体があり、自治体の考え方や取組み方が、推進員自体の活動のプロセスや活動を通じた変化/成果にも影響を与えていることが確認された。

\* 人口規模に関わらず、（積極的に）推進している自治体、（あまり）積極的ではない自治体が二分化している傾向がみられていた。

\* 推進員調査結果から

- ・ 推進員調査における推進員活動のプロセス 37 項目平均をみると「日常的にやっている」13.8%、「時々やっている」が23.1%、「やりたいがあまりやれていない」が50.2%、「考えていない」が11.0%であった。
- ・ 推進員活動による変化・成果の29項目平均では「昨年度より質量拡充」が3.0%、「中身充実」が15.0%、「数増加」が10.9%、「今年度から成果あり」が3.9%、「まだない」が64.8%であった。
- ・ 地域共生の進捗2項目の平均は「年々拡充」が27.0%、「少しずつ進みつつある」が42.8%、「今年度から動きだしている」が3.5%、「来年度から予定」が16.3%、「動きも予定もない」が32.3%であった。

○また、推進員活動を現在（積極的に）推進している自治体も、（あまり）積極ではない自治体も、認知症施策が多様化・複雑化している現状の中で、方向性や焦点を見出しにくくなっている状況が見られていた。

\* 全国調査結果から

- ・ 都道府県調査、市区町村調査、推進員調査の結果では、推進員活動の今後の課題に関しては、都道府県、市区町村、推進員ともに、「推進員活動の今後の焦点の明確化」が9割を超えていた。
- ・ 地域共生の進捗には、「推進員活動の環境整備」の一貫としての行政担当者と推進員との「ビジョンの共有」、「活動の焦点の共有」、「活動方針の共有」が関係していた。

○市区町村の認知症施策担当者が置かれている状況には、自治体の規模や認知症施策の位置づけ等により、かなりの開きがみられていた。

\* 認知症業務を1人で担当が34.0%、2~3人で担当が45.5%、4~5人が13.8%、6人以上が5.9%。

\* 最も長い職員の担当年数が、3年未満が25.1%、3~5年未満が31.3%、5~7年未満が20.0%、7年以上が20.2%。

## 2) 推進員活動の質の向上に向けた提言

以上のような現状を踏まえながら、今後は、推進員活動を現在（積極的に）推進している自治体が、担当者等の異動があっても、質の評価を活かしながら推進員活動の質の向上・深化を持続発展的に図っていくこと、そして（あまり）積極ではない自治体が、質の評価を取り入れることで自治体の推進員や関係者とのつながりを育て、やるべきこと・できることを見出しながら質の向上に無理なく取り組んでいくことを促進していく必要がある。

いずれの場合も、その自治体で暮らす本人の視点にたちながら、自地域なりの地域共生を着実に進めていく推進員活動が求められている。そのためには自治体（市区町村、都道府県）の認知症施策担当者と推進員が、立場や職種の違いを超えて協働で活動を進めていくための共通の指針が必要である。委員会、ワーキングチームの委員の意見を集約し、共通の指針として以下の提言をまとめた。

### 推進員活動の質の向上に向けた提言(7つの鍵)

#### 1. めざすは『地域共生』、わがまちならではのビジョンを具体的に語り合おう

- \* 実現したいわがまちの「地域共生」の本人の姿、地域の姿の具体を自分ごととして素朴に話し合おう
- \* 遠い未来ではなく、今、わがまちで暮らす本人たちの中に目指す姿の種がたくさんある

#### 2. すべては本人の声と視点を起点に。日常的に本人発信のチャンスをつくり、声を伝え合おう

- \* 施策も推進員活動も本人の声が出発点。本人視点にたって役立つものにしていこう
- \* 新たに特別のことをしなくても、日常業務や本人との接点の中に本人の声を聴ける場面がある
- \* 本人はやりたいことや希望を伝えている。声を出せる関係を大切に、声をよく聴き、声を活かそう

#### 3. 本人の社会参加活動に注力し、とも支え合う多領域の仲間の輪を広げよう

- \* 本人は地域の中で暮らしてきており、本人の声の中に、社会参加活動のきっかけが豊かにある
- \* 本人がやりたいことを一緒にやりたい、応援したい地域の人、専門職がわがまちに必ずいる
- \* 本人が地域の中で活躍し楽しむ機会があると、本人が生き生きし、地域共生が自然体で広がる

#### 4. 一人を大切に、小さな成果を生み出し、地域の中で成功体験の連鎖を生み出そう

- \* 本人と継続的に関わり本人が望む些細なことを一緒に叶えていく過程で、本人や関係者が元気になる
- \* 推進員等が小さな成果をつくり、それを地域にも伝えながら、次の一人を増やしていこう

#### 5. 認知症と共に生きる希望と力を地域に伝え、みんなの認知症観を刷新しよう

- \* 本人が地域の中で生き生き暮らす姿の実際を、地域で暮らす人、働く人、専門職に伝えていこう
- \* 生き生きした本人の姿に触れる人、一緒に過ごす人を増やすと、希望のある認知症観が自然と広がる

#### 6. わがまちの強み・弱みを活かして、暮らしやすいまちを本人とともにつくっていこう

- \* 本人にとっては住み慣れたまちの中に、力を保ち引き出すためのきっかけがたくさんある
- \* わがまちの人、モノ、場、自然等をフルに活かそう。足りない時こそ新たなつながりを生むチャンス

#### 7. 本人やその身近な人と対話を重ね、企画と実施、見直しと評価を行い、改善を続けていこう

- \* 事業や支援、サービス等を本人抜き、本人をよく知る現場の人抜きで進めない。
- \* 企画段階から本人、現場の人たちと率直に話し合い、実施や見直しも本人と現場の声を大切に。
- \* 事業や取組みを個々に見直すだけでなく、行政担当者や推進員と一緒に、推進員活動の質の評価をやってみよう。地域共生を生み出すためにやるべき焦点、できることを共有し協働力を高めていこう

## 第5章 社会参加活動推進のための推進員活動のあり方の検討と手引きの作成

### 1. 社会参加活動推進のための推進員活動のあり方の検討

認知症の人等、高齢者の社会参加を推進するための取組みが広がってきており、それらの実践や知見も活かしつつ、推進員ならではの認知症の人等の社会参加活動の推進のあり方を検討した。

なお検討は、当センターがこれまでの調査や研修、すいしんいんセッション、推進員ネットワーク等を通じて得られた活動事例、及び今年度の全国調査から把握された社会参加活動の推進事例、検討委員会・ワーキングチームの委員の活動事例をもとに行った。

#### 1) 推進員による社会参加活動推進の必要性和意義、メリット

##### (1) 地域共生社会を実現していくために不可欠

認知症施策推進大綱（以下、大綱とする。）では「共生」の意味を以下のように示している。

- ① 認知症の人が、尊厳と希望を持って認知症と共に生きる
- ② 認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる

この2つのいずれにおいてもその実現のためには、本人自身が社会参加をしながら地域の人とともに本人にとって意味のある活動をすることが必須である。

##### (2) これからの認知症施策の重点テーマ：推進員の重要な役割のひとつ

認知症の人の社会参加支援は、これからの認知症施策の重点テーマとして、大綱の5つの柱の一つとして掲げられており、認知症施策の中でも特に積極的に推進していく位置づけとなっている。

認知症施策の推進役としての機能をもつ推進員にとっても、認知症の人の社会参加の推進は、今後の重要テーマあり、大綱の中では、認知症地域支援推進員は「社会参加活動促進等を通じた地域支援体制づくり」を行うとされ、推進員の役割のひとつとして明確に位置づけられている。

##### (3) 社会参加活動の推進を通じて、多面的な価値が生まれる：推進員活動の焦点のひとつ

社会参加活動の推進にすでに取り組んでいる推進員からの共通した意見は、本人が社会参加することで、連鎖反応のように多面的な価値が生まれるという点である。

- ・家族や関係者等が気づかなかった(もう失われていたと思っていた)記憶や判断力、行動力を表し、認知症になる前の本人らしい姿がみられる。
- ・本人の喜びや自信につながり、前向きさや意欲、自発性が高まる。
- ・周囲とのコミュニケーションやつながりが増え、ことばや思い・願い・意思等を発することが増える。
- ・社会参加活動以外の日常生活でも、意欲や自発的な言動、日常動作を自立して行う場面が増える。
- ・不安の訴えや、言動が混乱したり、失敗する場面が少なくなる。
- ・食欲、眠り、体調等がよくなり、心身状態、生活状態全体が安定する。
- ・外出や知人等との交流の頻度や範囲が広がる(認知症になる前よりも広がる場合も多い)。
- ・認知症になる前には見られなかった力や才能を発揮することも少なくない。
- ・本人の社会参加活動の場面は、高齢者や若い人、子供たち、障害がある人、専門職も参加しやすく、本人と多様な人たちが自然体でふれあいながら、対等な関係でつきあう場面や体験が増える。
- ・本人の社会参加活動の場面に地域の高齢者が参加することで、その人たち自身の交流や活動も活発になる。

- ・社会参加活動をしている本人の存在を知ったり、その本人と出会うことで、診断直後の他の本人や家族が前向きになり落ち込みから早期に脱出できる。受診・診断を先延ばしにしたり拒んでいた本人や家族が早期に医療につながるようになる。
- ・以上のような本人の様子を目の当たりにすることで、家族や地域の人たち、医師や医療関係者、介護関係者等、多様な人たちの認知症観が大きくかわる。
- ・専門職がそれまでの本人との関わり方、支援や連携のあり方を見直し、自発的な改善が生まれる。
- ・家族や地域の支援者、専門職が、本人が地域社会に出ることの大切さや、自分以外の人との交流や関わり必要性、より多様な人と一緒に支え合得ることの可能性、自分自身の生活の広がりを実感的に体験して、家族や専門職等だけで抱え込まなくなる、負担やストレスが減る、本人との関係がよくなる、など。

社会参加活動を通じて生まれる上記の本人の変化、家族や地域住民、専門職等の多様な変化は、大綱・認知症施策で推進されている柱（1. 普及啓発・本人発信支援、2. 予防、3. 医療・ケア・介護サービス・介護者支援、4. 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援）で求められている一つ一つである。認知症施策の推進・推進員活動において社会参加活動の推進に焦点を当てることは、効果・効率の面からも、非常に重要といえる。

\*全国調査結果でも、推進員が社会参加活動の推進員に取組んでいる場合、共生社会が進捗している率が高く、その率は他の活動（講座等や認知症カフェの企画・調整、初期集中支援チームとの協働・連携等）よりも高率である結果が得られている（第3章）。

#### （4）社会参加活動の推進に取り組見始めてみることで、推進員自身にとってもメリットが大きい

推進員は多種多様な役割を担っており、「社会参加活動まで手が回らない」、「これ以上仕事を増やせない」、「地域の現状や自分の力量では、まだ社会参加活動に取組む段階ではない」等の推進員の声が、研修場面等で非常に聞かれている。

一方、社会参加活動の推進に取り組んでみている推進員の研修での報告や全国調査に回答した推進員の自由記述、委員会やワーキングチームの委員から以下のような多様なメリットが示されている。

##### <自分の考え方や関わりが変わり、生きた学びをしながら、成長する機会になる>

- ・本人や他の参加者の様子や変化に触れながら、自分の考え方や関わりがずいぶん変わった。
- ・こちらが支援者、推進員というより、本人に引っ張られて、いっしょに進んでいる感じがする。
- ・認知症があっても、本人が秘めている力、思いはとて深いことに気づかされる連続。
- ・「支援してあげなければ」、「何か自分がやらなければ」という気負いや義務感が自然となくなり、やりながら「ともに」、「共生」の本当の意味、その大切さに気づかされた。
- ・やってみながら本人視点といったことの本当の意味がようやくわかってきた。
- ・本人発信支援、意思決定支援、認知症バリアフリーとかいろいろ言われて、知識としてはわかってもピンときてなかった。社会参加の活動をしていると、そのことが実感として体験できる。
- ・研修や本を読むことも必要だけど、このことをやっている方が、学べることが多い。

##### <地域とのつながり、生きた連携が広がる・広げるための基地ができる>

- ・本人が持っている地域や人とのつながり、本人を通じてうまれるつながりの広がりや豊かさに驚かされている。



- ・自分がいかに地域のことをしらなかったかが、この取り組みを通じてわかった。
- ・地域資源連携とか多職種連携と聞いていたけれど、この活動前は、地域のごく一部とつながっていただけだったことがわかった。
- ・認知症の人の社会参加活動の支援というより、こちらが社会デビューをさせてもらった感じ。
- ・こちらが相談したり、困ったときに助けてもらえる地域の人が増えた。

#### <早期からの出会い、早期支援が生まれる場になる>

- ・ちょっと気がかりな人について、この活動で仲良くなった地域の人たちが情報をよせてくれたり、つないでくれるようになった。
- ・この活動だと、初期の人や医療・介護サービスにつながりにくい人にも声かけしやすい。今までにないかなり初期の人や若年性の人がかここにつながってきてる。
- ・受診につながっていなかった人が、ここに来て他の本人たちと話したり一緒に活動するようになったら、『病院にいてみる勇気がわいた』と。受診につながって家族もほっとしていた。
- ・介護職や医療職、最近では医師もこの活動に関心をもって顔を出してくれるようになった。病院や会議の席でなく、地域の中でのこの活動に先生が来てくれるようになって、とても話しやすくなった。先生も、診察室で見ていた本人と、ここでみる本人が活動している姿がかなり違っていることに驚いている。先生もここで体験しておられる。
- ・「あそこに行くといいよ」と、診断直後の本人にこの活動を紹介してつないでくれる先生が増えてきた。

#### <認知症が進行した人、施設等の入居者が地域とつながり続け、活躍して元気になれる場になる>

- ・認知症がかなり進んだ人、グループホームや施設に入居している人も、ここに来るのを楽しみにしている人がいる。施設の中だと話さない、何もしないと職員がいていた本人も、ここでは言葉がでるし、他の人の様子を見ながら自分から少しずつ動きだされた。ちょっとしたことだけいい働きをされている。職員さんも本人の変化に驚いて、施設のありかたをもっと変えていきたいと。
- ・(この人は)他の人のように活発に何かやられるわけではないが、みんなが楽しそうにしているのを、ニコニコみていてとてもうれしそうない表情をされる。何よりも、他の人、特に若い人たちへのねぎらいの一言がすばらしくて、ここではなくてはならない存在。『あのの人に会いたいからきた』とか『今日もある人が元気になるかな〜』とか、みんなのアイドルになっている。

#### <上司や職場の人たち、他部門の人たちの理解・協力が広がる>

- ・以前は職場の上司に『もっと現場にでて本人支援をいろいろやってみたい』といっても、あまり理解や協力をえられなかった。でも少しずつこの取り組みを始めてみたら、上司がとても変わった。『今日はどんなだった?』とか、『あの人、来れたかな?』とか、上司の方から聞いてくれたり、現場を見に来てくれるようになった。ここにくると、いつもは固そうな上司も、とても和やかな顔をされて楽しそう。この取り組みを、継続的な事業として計画に盛り込んでくれたので、とても動きやすくなった。
- ・みんないつもは忙しくて、担当のこと以外は、協力したくても消極的。自分が職場を空けて現場に行くのも、気が引ける感じだった。でも社会参加のことについては、『いいねえ。こうしたこと、もっとやれたらいいね』とか、『行ってらっしゃい!』、『自分もいつてみたい』とか、理解や応援をしてくれる人が多くて、うれしい。
- ・社会参加のことを始めたら、全然違う部署の人から、『看取った親が認知症だった。こうした場所があれば、よかったな』とか、『自分も何か手伝いたい』と声がかかるようになった。『家に使っていない道具あるから、使って』と言ってモノをくれたりする人や、休みの日に出かけてきてくれる人も。誰が

認知症の人で、だれが役所の人とか関係なく、一緒に混じって楽しそう』。

・広報の人が、広報誌に取り上げてくれた。『今までも認知症のことはいろいろ記事にしたけど、この活動はすごい』、『認知症の人がこんなに生き生き活躍できるなんて』、『もっと市民の人たちにこんな取組みを知ってもらいたい』を本人さんの写真やことばをたくさん盛り込んだとてもいい紙面をつくってくれた。市民や専門職からの反響も大きくて、参加につながる人たちも増えた。自分たちがチラシをつくるより何倍も効果がある。

### ＜推進員ならではの活動のあり方に気づく、やりがいが生まれる＞

- ・社会参加活動というと、なんだかハードルが高くて難しい、何か新しい事業をやらなくては、と思いがちだが、やってみると人としてあたりまえのことばかり。ふだんの中でちょっといっしょにやれることがたくさんあることがやりながらみえてきた。
- ・社会参加活動のことを始めてから、いつもやっている相談や認知症カフェ、初期集中支援の時に、本人の声を聴けてなかったことに気づいた。ふだんやってることの中で、意識して本人の声を聴くようになったら、本人が思った以上に話してくれたり、やれることがいろいろ見えてきて、かかわりや支援の幅が広がった。
- ・前は数をこなすこと、数をとにかく増やすことを焦りがちだった。時間がないから本人の声を聴いたり、一人にじっくり関わることは難しい、できないと思っていた。でもこの取組みをしてたら、本人とふつうに話し、ふつうにつき合うようになって、一人の人と長くかかわるようになった。本人がどう暮らし、何が起き、どう変わっていくか。何を求めている、どんな支援が必要か、一人の人から、大切なことを学びながら活動を続けている。こうした取組みをしていけるのは推進員だからできることだと思う。
- ・社会参加の活動をやりながら、地域ケア会議や地域の研修とかで伝えることや話し合うべきことが何かが変わった。本人の声、本人視点、地域のつながりなど、地域の専門職も見方や発想、関わり方が変わってきた。
- ・推進員だけで考えたり、企画しているより、本人に聞きながら進める方がずっとうまくいくことがわかった。以前の自分だけでやっていた時よりも、他の本人や支援者がつながりいろんなことがうまく進むようになった。
- ・自分が説明したり呼びかけるより、本人さんの一言の方が、みんなが動く。今は推進員活動の何をする時でも、本人さんといっしょ。助けてもらっているし、一緒に地域をつくっている感じ。
- ・この活動をして、手応えが大きい。自然と人や事業がつながって行って、何より本人やみんなが楽しそうに元気になっている。私自身も楽しくて、やりがいも大きい。自分自身も元気になっている。
- ・社会参加の機会を増やして、一人でも多くの人が、苦しんだりとじこもったりせずに、もっと元気でいい日々を送ってほしい。それを息長くやれるような、人のつながりやしなやかさをふやしていきたい。
- ・やってみて、自分のまちには、こんなにも素敵な人たち、素敵な場所や風景、習わしや地域の宝がたくさんあることに気づけた。まちの魅力、底力を大切にしたい。こうしたまちの力が続いていくようにしたい。地域共生って遠い未来のことなんかじゃなくて、今のこの地域を舞台に、今を生きてる本人といっしょに、今やっていくことなんだと思う。

認知症に関する課題は山積しているが、推進員が立場や機能を活かして社会参加活動に焦点をあてて取組みを進めていく中で、課題の解消が連動しながら一体的に、しかも無理や無駄なく効率的に進んでいくことが推進員の実践を通じて示され、どの地域でも推進員が動き出すことの必要性が高い。

## 2) 推進員による社会参加活動推進のステップとポイント: 手引きの作成

### (1) 推進員による社会参加活動推進のステップとポイントの集約・整理

推進員による社会参加活動の実践報告、全国調査の自由記述、委員会及びワーキングチーム委員の意見をもとに、推進員による社会参加活動推進のプロセスと要点を抽出・整理し、「活動がこれから」という推進員、自治体関係者等が取組み始めるきっかけ・参考とする取組みの導入用のステップとポイントを集約した。

### (2) 推進員による社会参加活動推進のステップとポイント

#### ○ステップ1: 社会参加活動の可能性・多様性を知ろう

##### \* ポイント

- ・まずは、推進員が関わりながら実際に社会参加活動をしている本人の姿・声から本人が社会参加活動をする可能性、本人自身が有する可能性、そして推進員活動の可能性を知る
- ・社会参加活動には、多様な種類、多様な場。多様な入口、多様な協働者がいることを知る。

#### ○ステップ2: 地元で社会参加活動を進めていく可能性を探ろう

##### \* ポイント

- ・まずは、自分のふだんの業務の中で接している本人の声、特にやりたいことをよく聴いてみる。
- ・地域の関係者にも、本人の声を聴いてみることを勧める。
- ・地域ですでに、認知症の人等が社会参加活動をしている場や関係者がいないか情報を集める。情報があったら、出向いて実際をよく見、詳しい情報を集める。
- ・以上は、可能なら同時並行で進め、本人の声が新鮮なうちに次のステップ3に進む。

### ○ステップ3:本人と一緒に社会参加活動を企画してみよう

#### \*ポイント

- ・ステップ1で聴いた本人の声、その本人を大切に、やりたいことに一緒に取り組んでみる提案を本人にしてみる。
- ・本人と相談しながら、やりたいこと、できそうなことをより具体化し、取組みの企画を本人と楽しみながら、いっしょにつくる。
- ・本人と相談しながら、一緒に取組みたい人、声かけする人を決める（まずは少人数から）。
- ・ステップ1で声を聴いた本人たちや関わりのある本人、地域の関係者や自職場の人たちに、わかりやすく、参加の呼び水になるようなチラシ等を作る（本人といっしょに）。
- ・本人がやりたいこと、できることにそって、具体的な準備を進める（本人、賛同者たちといっしょに）。
- ・参加者が事前にわかる場合、本人に事前に会い、人に話し聴く。家族とも話し合う。

### ○ステップ4:本人と一緒に社会参加活動をスタートさせよう

#### \*ポイント

- ・準備を綿密にやろうとすると先に進まなくなる。本人がやりたい気持ちを大切にできる範囲はまずは小さく、とにかくスタートを切る
- ・当日は、本人たちが主体的、自由に動くことを大切に、自然体で一緒に過ごす。
- ・当日の本人の様子、本人のことばそのままを記録に残す（可能な範囲で本人と一緒に楽しみながら）。
- ・当日の最後に、本人、賛同者と一緒にその日の振り返りと次回の希望を聴く。
- ・次回の企画を、本人、賛同者と一緒に立てる。→ステップ4を繰り返す。

### ステップ5:活動の実際やおきていることを本人と一緒にリアルに発信する

#### \*ポイント

- ・活動の1回ごとに、貴重な本人の声、動き、つながり、変化等が生まれている。
- ・それらを取組の本人、関係者同士で大切に生かすと同時に、地域に向けて本人と一緒に少しずつ発信していく。
- ・発信自体も本人の社会参加活動の機会として活かしていく。

### ステップ6:活動をまとめ、地域の多様な事業、取組に活かす・つなげる・継続的な推進体制を育てる

#### \*ポイント

- ・社会参加活動を通じて起きたこと生まれたこと、気づき、課題等を集約・整理し、地域の多様な人たちと話し合う機会を作り、共有しながらできることを話しあう。
- ・事業や取組み関係者をつなげ、活動の継続や地域内の新たな活動に発展させていく。

### (3)手引きの作成

以上のステップやポイントをベースに、「活動がこれから」という推進員、自治体関係者等向けの手引きを作成した。

全体として、多忙な推進員等でも、気軽に手にして全体を読み進めながら、やってみたいという関心や意欲が湧くための表記や言葉使い等の工夫を行った。

なお、推進員が接する本人や家族にも、社会参加活動を進める資材として活用できるよう、推進員が本人や家族等にも紹介してみてもらいやすい表現、紙面構成とした。

○タイトル：はたらきたい、楽しみたい ～社会参加活動推進ガイド～

○体裁：A4 判、24 ページ

○特徴

- ① 推進員が実際に活動を進めている事例の本人の姿(写真)と声を盛り込んでいる。
- ② ステップとポイントを、わかりやすく、よみやすく示している。
- ③ 推進員が活動を始める上でのヒントや情報を、実例もとに挿入している。
- ④ 『もっと知りたい』、『やり始めたら悩みが生まれた』、『身近に相談相手がない』等の場合に、気軽につながって話し合えるすいしんいんネットワークの紹介をしている。
- ⑤ 紙面だけでは伝わり切れないリアリティや本人の社会参加活動の可能性を知ってもらうために、導入用の DVD (7分 22秒) を作成し、ガイドとセットで活かしてもらう内容とした。

## 第6章 研究成果報告会の開催

令和2年度 厚生労働省老健事業：「認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業」報告会を実施した。

テーマ：認知症地域支援推進員活動を、それぞれの地で、一步一步進めよう！

～本人の社会参加支援を焦点に～

日時：令和3年3月12日（金）13：30～16：00

開催方法：Zoom 開催

対象：認知症地域支援推進員、市区町村・都道府県認知症施策担当者、関係者

内容：○全国調査結果の報告

○活動実践報告・情報交換

\*当日の報告資料はDC ネットの推進員ページに掲載。

参加者：1087名（募集定員1000名が上限：登録数は1289名）

タイムスケジュール

13:00～13:30 開場

13:30～13:35 開会・オリエンテーション

13:35～14:00 研究結果報告 研究概要および結果のダイジェスト

14:00～14:30 実践報告1（行政職の推進員）

「本人が発信：できる、ひろがる、ともに生き生き伸びていこう」

静岡県藤枝市健康福祉部 地域包括ケア推進課 横山 麻衣さん

藤枝市（本人）永井 三彦さん

・Q&A

14:30～14:40 休憩

14:40～15:10 実践報告2（委託包括の推進員）

「初期集中支援終了後の本人が、野菜を育て収穫した野菜を地域の子ども 食堂へ届ける  
活動：居場所をつくり、ゆるく長く繋がっていく」

大阪府大阪市東淀川区地域包括支援センター 山中 法子さん

泉谷 賀津彦さん

・Q&A

15:10～15:40 実践報告3（介護事業所の推進員）

「声から始める社会参加と地域づくり～ともに楽しみながらつながりを 広げる～」

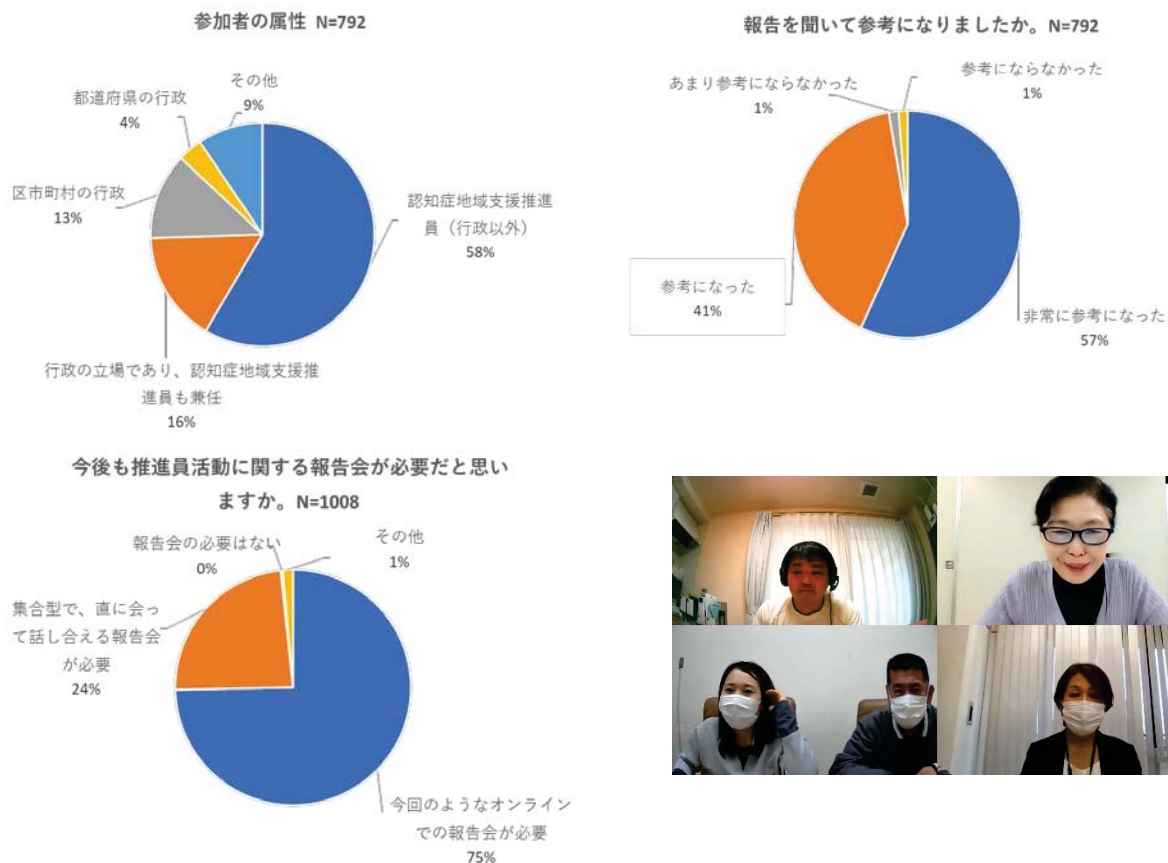
東京都品川区 品川区立東五反田地域密着多機能ホーム 鈴木 裕太さん

・Q&A

15:40～15:55 まとめと提案：本人とともに、地域の中で、共によりよく

15:55～16:00 お知らせ・閉会

## 報告会アンケート結果



### 参考になった点:自由記述 \* 類似内容が多かった主な内容を抜粋

- ・他の地域での活動を知り、自身の活動に活かしていきたい。
- ・実践報告3つについてはそれぞれの立場や取り組みを知れたこと、当事者の生の声(気持ち)が聞けたことが良かった。
- ・若年性認知症の方の居場所づくりというのは、非常に重要な課題。参考になる事例で大変勉強になりました。
- ・サポーターでなくパートナー、一緒に楽しむ、ともに取り組むという考え方がとても響きました。
- ・本人の声を聴き社会参加する機会を作っていく事。支援ではなく一緒に活動し時間を共に過ごして安心できる環境を作り上げていきたい。
- ・実施している内容が身近なもので、今ある資源を活用したり、本人が持っている能力を生かしている点。
- ・当事者の声を聴くことの大切さを再認識した。永井さんの「サポートをしてほしいわけではない。一緒に行動を共にしてほしい」ということばを大切にしたいです。
- ・全国調査の結果により、自地域の現状が目に見える形になり、今後の方向性を検討するきっかけになったと感じている。立場の異なる推進員の方々やご本人のお話を聞いたことで、推進員活動の幅広さ、可能性を感じました。
- ・地域を巻き込んだ行事の開催やカフェ、農園等のようにしたら出来るのかヒントを得たように思えます。とにかくやってみる、続けてみる。
- ・認知症についての理解を深めながら、認知症の方がイベントに参加できるように働きかけていきたい。認知症の方が、仲間に出会うことで、つながりが増え、前に出ることができると言っていた。本人ミーティングなど認知症の方の仲間づくりにもかかわってきたい。本人の声をイベント等に生かしていきたい。
- ・ご本人たちのしたい事、好きなことを一緒に楽しみながら行うこと。病気の有無に関係なく、対等な立場で共に過ごしていくこと。

## 第7章 まとめ

○全国の市区町村に配置された認知症地域支援推進員の推進員活動の質の向上を図るために、都道府県及び市区町村の認知症施策担当者、推進員の全国悉皆調査を行い、調査結果や活動事例等をもとに「推進員活動の質の評価」のあり方の検討、「推進員による社会参加活動の推進」のあり方の検討を行なった。

○全国調査の回答率は、都道府県 47 (100.0%)、市区町村 1,161 (66.7%)、推進員 3,402 (48.8%) でありあった。推進員調査の結果から、推進員の約 3 割は自治体の認知症施策を質的な面から推進する多彩な機能を実際に果たし、認知症本人や地域に多様な成果を生み出し地域共生の進捗に寄与していることが確認された。一方、活動をやりたくてもできないが約半数を占め自治体の環境整備の課題が具体的に明らかになった。

また、都道府県、市区町村、推進員が求めている支援内容も把握され、三者共通の内容と、立場で求めている支援内容の違いも明らかになり、今後、推進員活動の質の向上を図っていく上での都道府県、市区町村、推進員それぞれの必要に応じた支援策を打ち出していくことの必要性が示唆された。

推進員活動は、推進員活動の本質に関する質を評価する指針がこれまでなく、推進員が関与した事業の実施回数等の事業実績等のみで把握されていたため、推進員を配置する自治体や関係者、そして推進員自身にもその重要性や価値、やりがいの理解や共有、配置を活かして活動展開することが不十分であった。

今回の事業を通じて全国調査による質の三則面（推進員活動の環境・体制、活動プロセス、活動結果）の実態を体系的に把握でき、推進員活動の質の評価のあり方、及びと質の評価と質の向上に向け、自治体関係者及び推進員の共通の指針として、提言(7つの鍵)を提示することができた。

○また、全国調査結果を通じて、認知症施策が目指す地域共生のための焦点テーマが社会参加活動であることが確認され、社会参加活動を日常的に推進していくための推進員活動のステップとポイントが抽出された。

以上の知見をわかりやすく普及するために作成した手引きやリーフレットを、都道府県、市区町村、推進員及び関係者の研修や多職種の集まり、HP 等を通じて幅広く周知し利活用の促進をはかることで、推進員活動の質の評価と質の向上が具体的に推進され、全国の自治体において大綱が目指す地域共生社会づくりが加速されていくことが期待される。

○以上、本事業の知見を報告するとともに、社会参加活動の実践事例を立場が異なる推進員 3 名が報告する報告会を開催した (Zoom 開催)。

1087 名の参加があり、参加者アンケートでは、「非常に参考になった」が 57%、「参考になった」が 41%という結果が得られた。自由記述には「自身の活動に活かしていきたい」等、報告を活かして各地域での推進員活動の補強・改善につなげていく具体的な案も含めた積極的な回答が多く寄せられた。



- 今後は、今回の事業結果及び作成資材を、全国の都道府県、市区町村、推進員、地域包括支援センター等に普及をはかるとともに、来年度当センターが実施予定の認知症地域支援推進員研修や全国地域資源連携合同セミナー等を通じて、質の評価・質の向上の促進及び推進員による社会参加活動推進の促進を、積極的に行う予定である。
- 今回の調査で推進員活動や地域共生の動きが低率であった自治体や推進員とともに推進員活動の質の評価と向上の取組を試行し、効果を経年的に検証していくことが課題であり、引き続き研究事業を継続していく予定である。
- なお、今年度の調査結果をベースラインデータとして活かし、全国的/自治体単位での継続調査を実施することを通じて、推進員活動の質の向上及び地域共生の進捗状況の数量的なモニタリングも可能と考えられる。
- 各自治体が効果的に推進員活動を展開し実質的成果をあげていくために、都道府県・市区町村に向け中期的な視野にたった情報提供や地域特性に応じたバックアップを行う体制強化が課題であり、この点に着目しながら、今後、都道府県、市区町村、推進員の協力を得ながら研究事業を発展させていきたい。

## 巻末資料 全国調査調査票及び回答結果

### 1. 単純集計結果

#### 【都道府県調査】の結果

令和2年度厚生労働省老健事業  
認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業  
認知症地域支援推進員活動全国調査  
【 都道府県用 】

◆ 調査対象について

1. 自治体と回答者について

1	対象都道府県数	47	都道府県
2	回答都道府県数	47	都道府県
3	回答率	100.0%	

○ 都道府県の基本情報について

1. あなたの都道府県について

全国

③人口(階級)

	回答数	割合	47
50万以上100万未満	10	21.3%	
100万以上200万未満	20	42.6%	
200万以上	17	36.2%	
無回答	0	0.0%	

④高齢化率(階級)

	回答数	割合	47
20～27%未満	7	14.9%	
27～30%未満	13	27.7%	
30～33%未満	20	42.6%	
33～40%未満	7	14.9%	
無回答	0	0.0%	

⑤都道府県内の圏域数(階級)

	回答数	割合	47
1～5圏未満	9	19.1%	
5～7圏未満	11	23.4%	
7～9圏未満	16	34.0%	
9圏以上	9	19.1%	
無回答	2	4.3%	

⑥管内の推進員の配置総数(階級)

	回答数	割合	47
1～50人未満	4	8.5%	
100人未満	17	36.2%	
150人未満	9	19.1%	
200人未満	7	14.9%	
200人以上	10	21.3%	
無回答	0	0.0%	

## 2. ご記入くださっているご担当の部署や推進員の概要について

### ② 認知症施策のご担当者の人数

	回答数	割合	47
1人～3人未満	21	44.7%	
5人未満	16	34.0%	
7人未満	5	10.6%	
7人以上	5	10.6%	
無回答	0	0.0%	

### ③ ご担当者の中で、認知症施策を最も長く担当している人の年数

	回答数	割合	47
2年～3年未満	14	29.8%	
4年未満	18	38.3%	
4年以上	6	12.8%	
無回答	9	19.1%	

## I. 推進員活動に関する環境整備・体制について

	全国		
	回答数	割合	
I-1. 都道府県の担当者と、市区町村の担当者や推進員との関係づくり・協働について			
① 都道府県の担当者が市区町村に出向いて、市区町村の担当者や推進員活動に関して話し合いをしている			47
	積極的に行っている	0	0.0%
	行っている	19	40.4%
	行っていない	28	59.6%
	無回答	0	0.0%
② 都道府県の担当者が推進員の研修や集まり等に出向いて、推進員と実際に会うようにしている			47
	積極的に行っている	2	4.3%
	行っている	22	46.8%
	行っていない	23	48.9%
	無回答	0	0.0%
③ 都道府県として、各市区町村の特性や意向を踏まえながら、推進員活動の促進を行っている			47
	積極的に行っている	2	4.3%
	行っている	29	61.7%
	行っていない	16	34.0%
	無回答	0	0.0%
④ 都道府県の担当者と管内の推進員と一緒に、地元の認知症の本人の話を聴いたり本人と過ごしている			47
	積極的に行っている	0	0.0%
	行っている	9	19.1%
	行っていない	38	80.9%
	無回答	0	0.0%
⑤ 都道府県として、推進員関連の取組みをする際は、推進員の意見を聴きながら行っている			47
	積極的に行っている	5	10.6%
	行っている	30	63.8%
	行っていない	12	25.5%
	無回答	0	0.0%
⑥ 都道府県として、推進員の意見や提案を聴いて、それらを都道府県の計画作り/予算に反映している			47
	積極的に行っている	2	4.3%
	行っている	25	53.2%
	行っていない	20	42.6%
	無回答	0	0.0%

I-2. 都道府県担当者と市区町村担当者との、目指す姿(ビジョン)の共有			
① 認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、都道府県として目指す本人の姿を共有している			
具体的に共有している	1	2.1%	47
ある程度共有している	30	63.8%	
あまりしていない	13	27.7%	
していない	3	6.4%	
無回答	0	0.0%	
② どんな地域になったらいいか、都道府県として目指す地域の姿を共有している			
具体的に共有している	2	4.3%	47
ある程度共有している	33	70.2%	
あまりしていない	10	21.3%	
していない	2	4.3%	
無回答	0	0.0%	
I-3. 都道府県担当者と市区町村担当者との、現状と課題の共有			
① 都道府県内の認知症の本人がどのように暮らしているのか、その現状と課題を共有している			
具体的に共有している	1	2.1%	47
ある程度共有している	27	57.4%	
あまりしていない	15	31.9%	
していない	4	8.5%	
無回答	0	0.0%	
② 認知症をめぐる地域で起きていることの現状と課題を共有している			
具体的に共有している	3	6.4%	47
ある程度共有している	32	68.1%	
あまりしていない	8	17.0%	
していない	4	8.5%	
無回答	0	0.0%	
I-4. 都道府県担当者と市区町村担当者との、推進員活動の機能・役割の共有			
① 必要な推進員活動の機能・役割について共有している			
具体的に共有している	2	4.3%	47
ある程度共有している	29	61.7%	
あまりしていない	13	27.7%	
していない	3	6.4%	
無回答	0	0.0%	
② ①の中でも、今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している			
具体的に共有している	0	0.0%	47
ある程度共有している	17	36.2%	
あまりしていない	23	48.9%	
していない	7	14.9%	
無回答	0	0.0%	
I-5. 都道府県担当者と市区町村担当者との、推進員活動の方針の共有			
① 事業をこなすことを焦らずに、誰のために、何のために活動するのか、目的を見失わないようにする			
具体的に共有している	1	2.1%	47
ある程度共有している	29	61.7%	
あまりしていない	8	17.0%	
していない	9	19.1%	
無回答	0	0.0%	
② 認知症を自分事として考え、本人と地域が希望を持てるあり方をともにつくりだしていく			
具体的に共有している	2	4.3%	47
ある程度共有している	24	51.1%	
あまりしていない	12	25.5%	
していない	9	19.1%	
無回答	0	0.0%	

③ 地域の中にある古い認知症観や取組み方を、推進員が活動を通じて転換していく			47
具体的に共有している	0	0.0%	
ある程度共有している	22	46.8%	
あまりしていない	15	31.9%	
していない	10	21.3%	
無回答	0	0.0%	
④ 地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める			47
具体的に共有している	3	6.4%	
ある程度共有している	25	53.2%	
あまりしていない	10	21.3%	
していない	9	19.1%	
無回答	0	0.0%	
⑤ 地域の特徴やあるものを大切に活かし、自地域ならではの取組みを進めていく			47
具体的に共有している	0	0.0%	
ある程度共有している	28	59.6%	
あまりしていない	9	19.1%	
していない	10	21.3%	
無回答	0	0.0%	
⑥ 推進員が、本人や地域の現状・課題を行政につなぐパイプ役を果たす			47
具体的に共有している	1	2.1%	
ある程度共有している	26	55.3%	
あまりしていない	11	23.4%	
していない	9	19.1%	
無回答	0	0.0%	
⑦ 推進員が企画をたて、行政と協働しながら、自発的な活動を展開していく			47
具体的に共有している	0	0.0%	
ある程度共有している	27	57.4%	
あまりしていない	10	21.3%	
していない	10	21.3%	
無回答	0	0.0%	
⑧ 当初の計画等の枠内でとどまらずに、やりながらよりよい取組みに発展させていく			47
具体的に共有している	0	0.0%	
ある程度共有している	24	51.1%	
あまりしていない	13	27.7%	
していない	10	21.3%	
無回答	0	0.0%	
⑨ 事業や取組みを単発で行わず、その後の継続や展開の仕方を常に考えながら行う			47
具体的に共有している	0	0.0%	
ある程度共有している	26	55.3%	
あまりしていない	11	23.4%	
していない	10	21.3%	
無回答	0	0.0%	
⑩ 事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく			47
具体的に共有している	0	0.0%	
ある程度共有している	22	46.8%	
あまりしていない	15	31.9%	
していない	10	21.3%	
無回答	0	0.0%	
I-6. 「推進員の活動のしやすさ」に関する都道府県としての配慮や取組み			
① 都道府県レベルで関係組織(医師会、自治会、警察、企業等)に、推進員活動についての説明やつなぎをつくる			47
十分にある	0	0.0%	
ある程度ある	13	27.7%	
あまりない	23	48.9%	
ない	11	23.4%	
無回答	0	0.0%	

② 推進員の存在や活動を、都道府県として管内へ広く発信・周知			47
十分にある	2	4.3%	
ある程度ある	18	38.3%	
あまりない	18	38.3%	
ない	9	19.1%	
無回答	0	0.0%	
③ 推進員が地域連携を進めやすくするための、分野横断の都道府県庁内の連携			47
十分にある	0	0.0%	
ある程度ある	5	10.6%	
あまりない	24	51.1%	
ない	18	38.3%	
無回答	0	0.0%	
④ 推進員が活動を進める上で必要な情報や参考になる地域・人を、市区町村/推進員に情報提供したりつなぐ			47
十分にある	2	4.3%	
ある程度ある	29	61.7%	
あまりない	13	27.7%	
ない	3	6.4%	
無回答	0	0.0%	
⑤ その他「推進員の活動のしやすさ」への都道府県の配慮や取組み ※ある場合は、右欄に「4」をご記入下さい			47
十分にある	3	6.4%	
ある程度ある	1	2.1%	
あまりない	11	23.4%	
ない	18	38.3%	
無回答	14	29.8%	
I-7. 推進員同士がつながり、話し合い、学びあう機会			
① 都道府県内の推進員同士が集まり・つながり、話し合ったり学び合う機会がある			47
十分にある	3	6.4%	
ある程度ある	32	68.1%	
あまりない	10	21.3%	
ない	2	4.3%	
無回答	0	0.0%	
② 情報共有や相談等をしあうための行政関係者と推進員とのメールやライン等のネットワークがある			47
十分にある	0	0.0%	
ある程度ある	11	23.4%	
あまりない	14	29.8%	
ない	22	46.8%	
無回答	0	0.0%	
③ 推進員同士等がつながり学び合うためのネット環境の整備に関して、都道府県の支援や後押しがある			47
十分にある	0	0.0%	
ある程度ある	4	8.5%	
あまりない	8	17.0%	
ない	35	74.5%	
無回答	0	0.0%	
④ 推進員が全国の推進員研修や集まりに参加できるよう都道府県としての支援がある			47
十分にある	9	19.1%	
ある程度ある	22	46.8%	
あまりない	3	6.4%	
ない	13	27.7%	
無回答	0	0.0%	
⑤ 他都道府県の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり直に交流する機会をつくる			47
十分にある	4	8.5%	
ある程度ある	24	51.1%	
あまりない	11	23.4%	
ない	8	17.0%	
無回答	0	0.0%	

⑥ 都道府県管内で先行して取組んでいる推進員の力を活かし、管内の推進員同士で支援しあう体制がある				47
	十分にある	3	6.4%	
	ある程度ある	9	19.1%	
	あまりない	22	46.8%	
	ない	13	27.7%	
	無回答	0	0.0%	
⑦ その他 推進員同士のつながり等に関する都道府県の取組みがある ※ある場合は右欄に「4」をご記入下さい				47
	十分にある	7	14.9%	
	ある程度ある	4	8.5%	
	あまりない	6	12.8%	
	ない	17	36.2%	
	無回答	13	27.7%	
I-8. 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」や「質の評価」等				
① 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」を促進している				47
	積極的に取組みを促進している	3	6.4%	
	促進している	7	14.9%	
	特に行っていない	37	78.7%	
	無回答	0	0.0%	
② 推進員活動の「質の評価」を促進している				47
	積極的に取組みを促進している	3	6.4%	
	促進している	4	8.5%	
	特に行っていない	40	85.1%	
	無回答	0	0.0%	
③ 都道府県内の推進員活動の取組みの実際や成果等に関する冊子や事例集等を作成している				47
	積極的に取組みを促進している	4	8.5%	
	促進している	4	8.5%	
	特に行っていない	39	83.0%	
	無回答	0	0.0%	
④ 推進員活動の取組みの実際や成果等を、都道府県のホームページ(HP)で地域に発信している				47
	積極的に取組みを促進している	4	8.5%	
	促進している	7	14.9%	
	特に行っていない	36	76.6%	
	無回答	0	0.0%	
⑤ 推進員活動の実際や成果等を、ホームページ(HP)や報告会以外の方法で地域にPRしている				47
	積極的に取組みを促進している	2	4.3%	
	促進している	7	14.9%	
	特に行っていない	38	80.9%	
	無回答	0	0.0%	
⑥ 推進員活動の報告会を開き、活動の向上に関する話し合いを行っている				47
	積極的に取組みを促進している	6	12.8%	
	促進している	13	27.7%	
	特に行っていない	28	59.6%	
	無回答	0	0.0%	
※ ⑥-1 報告会を行っている場合、下記の該当する番号を1つ選択して右欄にご記入下さい				47
	公開して実施	1	2.1%	
	活動の関係者が参加して実施	15	31.9%	
	推進員のみで実施	2	4.3%	
	その他	1	2.1%	
	無回答	28	59.6%	



I-9. 市区町村の推進員活動が持続発展していくための、都道府県の配慮・工夫等			
① 推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ			
	具体的にある	1	2.1%
	具体的ではないがある	1	2.1%
	あまりない	7	14.9%
	ない	38	80.9%
	無回答	0	0.0%
② 推進員が異動した場合、その人が望む場合は異動先で推進員として活動を続けるための調整や位置づけ			
	具体的にある	0	0.0%
	具体的ではないがある	0	0.0%
	あまりない	5	10.6%
	ない	42	89.4%
	無回答	0	0.0%
③ 推進員が退職等した場合、その人が望む場合は、活動に参画できるための促進			
	具体的にある	0	0.0%
	具体的ではないがある	0	0.0%
	あまりない	5	10.6%
	ない	42	89.4%
	無回答	0	0.0%
④ 推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをすることの促進			
	具体的にある	1	2.1%
	具体的ではないがある	2	4.3%
	あまりない	5	10.6%
	ない	39	83.0%
	無回答	0	0.0%
⑤ その他 推進員活動が持続発展していくための配慮や工夫			
	具体的にある	3	6.4%
	具体的ではないがある	0	0.0%
	あまりない	2	4.3%
	ない	28	59.6%
	無回答	14	29.8%
I-10. 市区町村の認知症施策を推進していくための、推進員の適正な配置と工夫等			
① 市区町村が推進員として適切な人材を配置するよう、都道府県から市区町村に情報提供等をしている			
	具体的にしている	1	2.1%
	具体的ではないがしている	10	21.3%
	あまりしていない	7	14.9%
	していない	29	61.7%
	無回答	0	0.0%
② 市区町村が適切な推進員数を検討し、その数を確保するよう、都道府県から市区町村に情報提供等をしている			
	具体的にしている	2	4.3%
	具体的ではないがしている	11	23.4%
	あまりしていない	9	19.1%
	していない	25	53.2%
	無回答	0	0.0%
③ 市区町村が効果的な「推進員の配置先」を検討し、配置先の工夫や調整をするよう、都道府県から市区町村に情報提供等をしている			
	具体的にしている	1	2.1%
	具体的ではないがしている	5	10.6%
	あまりしていない	12	25.5%
	していない	29	61.7%
	無回答	0	0.0%
④ その他 市区町村が推進員の適切な配置と工夫等を行うために都道府県として何らかの取組みをしている			
	具体的にしている	4	8.5%
	具体的ではないがしている	0	0.0%
	あまりしていない	1	2.1%
	していない	26	55.3%
	無回答	16	34.0%

## Ⅱ. 推進員活動の実際(プロセス)について

		回答数	割合	
<b>Ⅱ-1. 都道府県の施策担当者からみた「推進員活動のしかた(スタンス)」について</b>				
① 活動をする時は、本人の声を聴きながら、本人が活動に参画できるチャンスをつくっている				
	概ねやっている	10	21.3%	47
	一部の推進員がやっている	19	40.4%	
	(あまり)やっていない	1	2.1%	
	把握していない	17	36.2%	
	無回答	0	0.0%	
② 活動を自分や一部の人たちで進めずに、多様な立場や職種の人たちをつながりながら進めている				
	概ねやっている	8	17.0%	47
	一部の推進員がやっている	22	46.8%	
	(あまり)やっていない	1	2.1%	
	把握していない	16	34.0%	
	無回答	0	0.0%	
③ 事業を単発で考えずに、事業後の展開や事業と事業のつながりをつくることを考えながら取り組んでいる				
	概ねやっている	4	8.5%	47
	一部の推進員がやっている	23	48.9%	
	(あまり)やっていない	1	2.1%	
	把握していない	19	40.4%	
	無回答	0	0.0%	
<b>Ⅱ-2. 都道府県の施策担当者からみた推進員活動における「個別の相談・支援体制作り」について</b>				
① 関わった本人と家族に必要な支援が一体的に届くように、支援体制をつくるための話し合いや調整をしている				
	概ねやっている	9	19.1%	47
	一部の推進員がやっている	15	31.9%	
	(あまり)やっていない	1	2.1%	
	把握していない	22	46.8%	
	無回答	0	0.0%	
② 個別相談で足りない支援や資源があった場合、その個人のために必要な支援や資源を新たに作りだす活動をしている				
	概ねやっている	3	6.4%	47
	一部の推進員がやっている	14	29.8%	
	(あまり)やっていない	6	12.8%	
	把握していない	24	51.1%	
	無回答	0	0.0%	
③ 一人と継続的に関わり、得られたことやつながり等を、他の人や地域に広げる活動をしている				
	概ねやっている	3	6.4%	47
	一部の推進員がやっている	21	44.7%	
	(あまり)やっていない	1	2.1%	
	把握していない	22	46.8%	
	無回答	0	0.0%	
④ 関わった一人をもとに、経過や地域の課題について多様な人たちと話し合い、地域支援の見直し・拡充を図っている				
	概ねやっている	3	6.4%	47
	一部の推進員がやっている	19	40.4%	
	(あまり)やっていない	2	4.3%	
	把握していない	23	48.9%	
	無回答	0	0.0%	
<b>Ⅱ-3. 都道府県の施策担当者からみた推進員活動における「関係機関と連携した事業の企画・調整」について</b>				
① 認知症多職種協働研修等の企画・調整				
	概ねやっている	2	4.3%	47
	一部の推進員がやっている	15	31.9%	
	(あまり)やっていない	2	4.3%	
	把握していない	26	55.3%	
	無回答	2	4.3%	

※ ①-1 多職種協働研修に取り組んでいる場合、下記の該当する番号を1つ選択して右欄にご記入下さい			47
ライフサポート研修を実施	1	2.1%	
ライフサポート研修を発展させて実施	1	2.1%	
独自に実施	2	4.3%	
把握していない	22	46.8%	
無回答	21	44.7%	
② 本人ミーティング等本人同士が出会いながら話し合える機会をつくり、そこの声を取り組みや施策に活かしていくための企画・調整			47
概ねやっている	3	6.4%	
一部の推進員がやっている	26	55.3%	
(あまり)やっていない	4	8.5%	
把握していない	14	29.8%	
無回答	0	0.0%	
③ 診断直後の本人等が前向きに暮らしていくための、本人によるピアサポートの企画・調整			47
概ねやっている	0	0.0%	
一部の推進員がやっている	17	36.2%	
(あまり)やっていない	9	19.1%	
把握していない	21	44.7%	
無回答	0	0.0%	
④ 認知症カフェ等、地域の中での出会い、つながる場づくりの企画・調整			47
概ねやっている	24	51.1%	
一部の推進員がやっている	15	31.9%	
(あまり)やっていない	1	2.1%	
把握していない	7	14.9%	
無回答	0	0.0%	
⑤ 地域の企業等、多様な分野の人たちが、本人と出会い、つながるための企画・調整			47
概ねやっている	2	4.3%	
一部の推進員がやっている	13	27.7%	
(あまり)やっていない	7	14.9%	
把握していない	25	53.2%	
無回答	0	0.0%	
⑥ 本人・家族が必要な理解者・支援者とつながり、チームとして支えあう体制づくりの企画・調整			47
概ねやっている	3	6.4%	
一部の推進員がやっている	20	42.6%	
(あまり)やっていない	6	12.8%	
把握していない	17	36.2%	
無回答	1	2.1%	
※ ⑥-1 取り組みをしている場合、下記の該当する番号を1つ選択して右欄にご記入下さい			47
以前から、すでに地域独自のチームによる支援体制づくりの企画・調整をしている	7	14.9%	
すでに地域で育ってきているつながりや仕組みを活かして、チームオレンジの企画・調整をしている	12	25.5%	
チームオレンジのスキームをもとに、新たに企画・調整をしている	4	8.5%	
その他	3	6.4%	
無回答	21	44.7%	
⑦ 本人の声を活かして自地域に潜むバリアを解消していくための認知症バリアフリーの企画・調整			47
概ねやっている	1	2.1%	
一部の推進員がやっている	12	25.5%	
(あまり)やっていない	5	10.6%	
把握していない	29	61.7%	
無回答	0	0.0%	
⑧ 本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整			47
概ねやっている	1	2.1%	
一部の推進員がやっている	20	42.6%	
(あまり)やっていない	5	10.6%	
把握していない	21	44.7%	
無回答	0	0.0%	

II-4. 都道府県の施策担当者からみた推進員活動における「医療・介護等の支援ネットワークの構築」			
① 認知症ケアパスを本人視点にたって作成/改良			
概ねやっている	14	29.8%	47
一部の推進員がやっている	17	36.2%	
(あまり)やっていない	1	2.1%	
把握していない	15	31.9%	
無回答	0	0.0%	
② 初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつながって協働していくための調整や後押し			
概ねやっている	10	21.3%	47
一部の推進員がやっている	22	46.8%	
(あまり)やっていない	0	0.0%	
把握していない	15	31.9%	
無回答	0	0.0%	
③ 本人を地域の多様な人たちで日常的に見守るネットワークづくり			
概ねやっている	13	27.7%	47
一部の推進員がやっている	20	42.6%	
(あまり)やっていない	1	2.1%	
把握していない	13	27.7%	
無回答	0	0.0%	
④ 行方不明など本人のSOS時に素早く情報を共有し、その本人を協働で守るためのネットワークづくり			
概ねやっている	15	31.9%	47
一部の推進員がやっている	18	38.3%	
(あまり)やっていない	1	2.1%	
把握していない	13	27.7%	
無回答	0	0.0%	
II-5. コロナ禍の中での推進員活動			
① (三密等に配慮や工夫をしながら)認知症カフェ等の集まりを行っている			
継続/再開してやっている推進員がいる	26	55.3%	47
コロナ禍で新たに取組み始めた推進員がいる	6	12.8%	
やっていたが現在は中止している	4	8.5%	
やっていない	0	0.0%	
把握していない	10	21.3%	
無回答	1	2.1%	
② (三密等に配慮や工夫をしながら)本人ミーティングや本人同士の集まりを行っている			
継続/再開してやっている推進員がいる	13	27.7%	47
コロナ禍で新たに取組み始めた推進員がいる	5	10.6%	
やっていたが現在は中止している	4	8.5%	
やっていない	5	10.6%	
把握していない	19	40.4%	
無回答	1	2.1%	
③ (三密等に配慮や工夫をしながら)本人が社会参加活動や戸外に出て楽しむ機会をつくっている			
継続/再開してやっている推進員がいる	12	25.5%	47
コロナ禍で新たに取組み始めた推進員がいる	3	6.4%	
やっていたが現在は中止している	2	4.3%	
やっていない	3	6.4%	
把握していない	26	55.3%	
無回答	1	2.1%	
④ IT等を活用して、本人とつながりをつくっている			
継続/再開してやっている推進員がいる	5	10.6%	47
コロナ禍で新たに取組み始めた推進員がいる	8	17.0%	
やっていたが現在は中止している	0	0.0%	
やっていない	2	4.3%	
把握していない	31	66.0%	
無回答	1	2.1%	

⑤ IT等を活用して、支援者同士のつながりをつくっている			47
継続/再開してやっている推進員がいる	3	6.4%	
コロナ禍で新たに取り組み始めた推進員がいる	8	17.0%	
やっていたが現在は中止している	0	0.0%	
やっていない	1	2.1%	
把握していない	34	72.3%	
無回答	1	2.1%	
⑥ これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している			47
継続/再開してやっている推進員がいる	1	2.1%	
コロナ禍で新たに取組の始まった推進員がいる	4	8.5%	
やっていたが現在は中止している	0	0.0%	
やっていない	2	4.3%	
把握していない	39	83.0%	
無回答	1	2.1%	

### Ⅲ. 推進員活動による変化・成果について

	回答数	割合	
Ⅲ-1. 都道府県の施策担当者からみた推進員活動を通じた「認知症の本人の変化・成果」			
① 本人が発症後の早い段階で相談窓口につながり、相談できる相手に出会えるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	3	6.4%	
増えてはいるが、中身が充実してきている	8	17.0%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	0	0.0%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	0	0.0%	
把握していない	35	74.5%	
無回答	0	0.0%	
② 本人が発症後の早い段階で受診でき、信頼できる医師や医療関係者に出会えるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	2	4.3%	
増えてはいるが、中身が充実してきている	8	17.0%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	0	0.0%	
今年度からみられるようになった	0	0.0%	
まだない	1	2.1%	
把握していない	36	76.6%	
無回答	0	0.0%	
③ 本人が認知症カフェ等の地域の集い場につながり、仲間や味方に出会えるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	4	8.5%	
増えてはいるが、中身が充実してきている	9	19.1%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	5	10.6%	
今年度からみられるようになった	0	0.0%	
まだない	1	2.1%	
把握していない	28	59.6%	
無回答	0	0.0%	
④ 本人が自分の思いや意見を周囲や地域に向けて発することができるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	2	4.3%	
増えてはいるが、中身が充実してきている	12	25.5%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	2	4.3%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	28	59.6%	
無回答	0	0.0%	
⑤ 本人が発症後もそれまで勤めていた職場で働き続けられるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	0	0.0%	
増えてはいるが、中身が充実してきている	7	14.9%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	0	0.0%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	37	78.7%	
無回答	0	0.0%	

⑥ 本人が発症後の早い段階で自分が望む社会活動に参加し、地域の中で生き生き過ごせるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	1	2.1%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	6	12.8%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	0	0.0%	
今年度からみられるようになった	2	4.3%	
まだない	1	2.1%	
把握していない	37	78.7%	
無回答	0	0.0%	
⑦ 本人がスマホや通信機器を使って、他の人と交流できるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	2	4.3%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	1	2.1%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	0	0.0%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	41	87.2%	
無回答	0	0.0%	
⑧ 本人がGPS機器やヘルプカード等を使って、一人で安心・安全に外出できるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	2	4.3%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	2	4.3%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	3	6.4%	
今年度からみられるようになった	0	0.0%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	38	80.9%	
無回答	0	0.0%	
⑨ 本人が次に続く本人のために相談にのったり、支え合うようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	2	4.3%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	8	17.0%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	1	2.1%	
今年度からみられるようになった	2	4.3%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	32	68.1%	
無回答	0	0.0%	
⑩ 本人が推進員とともに認知症施策推進や地域づくりの活動をするようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	4	8.5%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	7	14.9%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	0	0.0%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	33	70.2%	
無回答	0	0.0%	
⑪ 若年性認知症の人が、上記①～⑩のいずれかで地域とつながる姿がみられるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	8	17.0%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	7	14.9%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	1	2.1%	
今年度からみられるようになった	2	4.3%	
まだない	0	0.0%	
把握していない	29	61.7%	
無回答	0	0.0%	
Ⅲー2. 都道府県の施策担当者からみた推進員活動を通じた「地域の変化・成果」			
① 住民が本人の声を聴こうとするようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	3	6.4%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	3	6.4%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	2	4.3%	
今年度からみられるようになった	0	0.0%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	37	78.7%	
無回答	0	0.0%	

② 住民が認知症を自分ごととしてとらえ、地域の本人と自然体でつきあう/関わるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	5	10.6%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	4	8.5%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	2	4.3%	
今年度からみられるようになった	0	0.0%	
まだない	1	2.1%	
把握していない	35	74.5%	
無回答	0	0.0%	
③ 地域の企業等で働く人たちが、認知症の人への関心を高め、配慮や工夫をするようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	3	6.4%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	7	14.9%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	4	8.5%	
今年度からみられるようになった	0	0.0%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	31	66.0%	
無回答	0	0.0%	
④ 住民が地域の認知症カフェ等の集い場に参加し、本人と楽しく過ごしたり一緒に活動するようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	3	6.4%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	7	14.9%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	5	10.6%	
今年度からみられるようになった	0	0.0%	
まだない	0	0.0%	
把握していない	32	68.1%	
無回答	0	0.0%	
⑤ 住民が本人の社会参加活動に加わり、一緒に活動するようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	3	6.4%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	4	8.5%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	1	2.1%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	1	2.1%	
把握していない	37	78.7%	
無回答	0	0.0%	
⑥ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人の声を聴くようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	5	10.6%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	5	10.6%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	3	6.4%	
今年度からみられるようになった	2	4.3%	
まだない	0	0.0%	
把握していない	32	68.1%	
無回答	0	0.0%	
⑦ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人視点にたって一緒に支援や連携の改善を図るようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	5	10.6%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	7	14.9%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	2	4.3%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	1	2.1%	
把握していない	31	66.0%	
無回答	0	0.0%	
⑧ 地域の中で本人と多職種、住民等がいっしょに楽しく活動するようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	3	6.4%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	6	12.8%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	2	4.3%	
今年度からみられるようになった	0	0.0%	
まだない	1	2.1%	
把握していない	35	74.5%	
無回答	0	0.0%	

⑨ 地域の中で通信機器を活用して、本人とつながるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	3	6.4%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	2	4.3%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	2	4.3%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	1	2.1%	
把握していない	38	80.9%	
無回答	0	0.0%	
⑩ 地域の中での認知症バリアを本人とともに具体的につけ、バリアが少しずつ解消されるようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	1	2.1%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	3	6.4%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	1	2.1%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	39	83.0%	
無回答	0	0.0%	
⑪ 住民や関係者が、制度やサービスでは行き届かないことについて、自発的な取り組みをするようになった			47
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	1	2.1%	
増えてはいないが、中身が充実してきている	2	4.3%	
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	1	2.1%	
今年度からみられるようになった	1	2.1%	
まだない	2	4.3%	
把握していない	40	85.1%	
無回答	0	0.0%	
Ⅲ-3. あなたの都道府県での「認知症とともに生きる地域共生」の進捗状況			
① 都道府県内の認知症の本人が、希望をもって自分らしく暮らしつづけるようになってきている			47
年々、拡充してきている	0	0.0%	
少しずつ進みつつある	29	61.7%	
今年度から動きだしてきている	2	4.3%	
今年度はまだだが、来年度から動きだす(予定含む)	10	21.3%	
まだ動きも予定もない	6	12.8%	
無回答	0	0.0%	
② 認知症があってもなくても、同じ地域でともに生きる姿が広がってきている			47
年々、拡充してきている	0	0.0%	
少しずつ進みつつある	28	59.6%	
今年度から動きだしてきている	3	6.4%	
今年度はまだだが、来年度から動きだす(予定含む)	10	21.3%	
まだ動きも予定もない	6	12.8%	
無回答	0	0.0%	

#### IV. 推進員(事業)を担当してみたの自分なりの思いや体験

	回答数	割合	
IV-1. 推進員(事業)を担当してみたのご自身の感想や率直な思い			
① 推進員(事業)を担当し、やっていて楽しい			47
非常にそう思う	2	4.3%	
そう思う	27	57.4%	
あまり思わない	13	27.7%	
思わない	4	8.5%	
無回答	1	2.1%	
② 推進員(事業)を担当し、やりがいがある			47
非常にそう思う	4	8.5%	
そう思う	30	63.8%	
あまり思わない	8	17.0%	
思わない	4	8.5%	
無回答	1	2.1%	



③ 推進員(事業)を担当し、これまではやりたくても十分にできなかったことがやれてうれしい			47
非常にそう思う	2	4.3%	
そう思う	15	31.9%	
あまり思わない	23	48.9%	
思わない	6	12.8%	
無回答	1	2.1%	
④ 推進員(事業)を担当し、新しいことや未解決のことにチャレンジできておもしろい			47
非常にそう思う	2	4.3%	
そう思う	21	44.7%	
あまり思わない	17	36.2%	
思わない	6	12.8%	
無回答	1	2.1%	
⑤ 推進員(事業)を担当し、自分の力が引き出されたり、つながりが広がって、自分のためになっている			47
非常にそう思う	3	6.4%	
そう思う	26	55.3%	
あまり思わない	11	23.4%	
思わない	6	12.8%	
無回答	1	2.1%	
⑥ 推進員(事業)の担当を、今後も継続したい			47
非常にそう思う	3	6.4%	
そう思う	28	59.6%	
あまり思わない	12	25.5%	
思わない	3	6.4%	
無回答	1	2.1%	
⑦ 推進員(事業)を担当していく上での、負担やストレスが大きい			47
非常にそう思う	1	2.1%	
そう思う	13	27.7%	
あまり思わない	23	48.9%	
思わない	9	19.1%	
無回答	1	2.1%	

## V. 推進員活動を進めていく上での課題や必要なことについて

	回答数	割合		
V-1. 都道府県内で推進員活動を進めていく上での課題				
① 推進員として何をやってほしいか、役割・機能について都道府県と市区町村/推進員との具体的な話し合いが必要				47
すでになされているが、今後も必要	5	10.6%		
まだ不十分で、今後強化が必要	28	59.6%		
大きな課題で、非常に必要	8	17.0%		
必要ではない	5	10.6%		
無回答	1	2.1%		
② 推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について都道府県と市区町村/推進員との間で検討し、明確にすることが必要				47
すでになされているが、今後も必要	5	10.6%		
まだ不十分で、今後強化が必要	27	57.4%		
大きな課題で、非常に必要	10	21.3%		
必要ではない	5	10.6%		
無回答	0	0.0%		
③ 推進員としてやるべきこと/やりたいことを主体的にやれるように、活動の自由度を高めることが必要				47
すでになされているが、今後も必要	3	6.4%		
まだ不十分で、今後強化が必要	27	57.4%		
大きな課題で、非常に必要	11	23.4%		
必要ではない	6	12.8%		
無回答	0	0.0%		

④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要	すでになされているが、今後も必要	4	8.5%	47
	まだ不十分で、今後強化が必要	29	61.7%	
	大きな課題で、非常に必要	9	19.1%	
	必要ではない	5	10.6%	
	無回答	0	0.0%	
⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要	すでになされているが、今後も必要	2	4.3%	47
	まだ不十分で、今後強化が必要	18	38.3%	
	大きな課題で、非常に必要	25	53.2%	
	必要ではない	2	4.3%	
	無回答	0	0.0%	
⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじつりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要	すでになされているが、今後も必要	0	0.0%	47
	まだ不十分で、今後強化が必要	21	44.7%	
	大きな課題で、非常に必要	19	40.4%	
	必要ではない	7	14.9%	
	無回答	0	0.0%	
⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫(増員やフォーメーションづくり等)の促進が必要	すでになされているが、今後も必要	5	10.6%	47
	まだ不十分で、今後強化が必要	23	48.9%	
	大きな課題で、非常に必要	14	29.8%	
	必要ではない	5	10.6%	
	無回答	0	0.0%	
⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員が、それぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫の促進が必要	すでになされているが、今後も必要	6	12.8%	47
	まだ不十分で、今後強化が必要	28	59.6%	
	大きな課題で、非常に必要	10	21.3%	
	必要ではない	3	6.4%	
	無回答	0	0.0%	
⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつなげるための支援・体制が必要	すでになされているが、今後も必要	5	10.6%	47
	まだ不十分で、今後強化が必要	28	59.6%	
	大きな課題で、非常に必要	12	25.5%	
	必要ではない	2	4.3%	
	無回答	0	0.0%	
⑩ 市区町村の施策担当者が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつなげるための支援・体制が必要	すでになされているが、今後も必要	3	6.4%	47
	まだ不十分で、今後強化が必要	30	63.8%	
	大きな課題で、非常に必要	12	25.5%	
	必要ではない	2	4.3%	
	無回答	0	0.0%	
⑪ その他 課題がある	すでになされているが、今後も必要	2	4.3%	47
	まだ不十分で、今後強化が必要	0	0.0%	
	大きな課題で、非常に必要	0	0.0%	
	必要ではない	7	14.9%	
	無回答	38	80.9%	

V-2. 今後の推進員活動をよりよくしていくために必要な体制や支援等			
① 全国で行う推進員研修(新任者、現任者)			
非常に必要	24	51.1%	47
必要	23	48.9%	
必要でない	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	
② 都道府県で行う推進員研修(新任者、現任者)			
非常に必要	10	21.3%	47
必要	27	57.4%	
必要でない	10	21.3%	
無回答	0	0.0%	
③ 全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク			
非常に必要	14	29.8%	47
必要	32	68.1%	
必要でない	1	2.1%	
無回答	0	0.0%	
④ 都道府県内での推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク			
非常に必要	19	40.4%	47
必要	27	57.4%	
必要でない	1	2.1%	
無回答	0	0.0%	
⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク			
非常に必要	20	42.6%	47
必要	27	57.4%	
必要でない	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	
⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク			
非常に必要	22	46.8%	47
必要	25	53.2%	
必要でない	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	
⑦ 推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ			
非常に必要	15	31.9%	47
必要	31	66.0%	
必要でない	1	2.1%	
無回答	0	0.0%	
⑧ 施策担当者が推進員活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ			
非常に必要	17	36.2%	47
必要	29	61.7%	
必要でない	1	2.1%	
無回答	0	0.0%	
⑨ 施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会			
非常に必要	18	38.3%	47
必要	28	59.6%	
必要でない	1	2.1%	
無回答	0	0.0%	
⑩ 情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援			
非常に必要	13	27.7%	47
必要	32	68.1%	
必要でない	2	4.3%	
無回答	0	0.0%	

⑪ 全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ			47
非常に必要	16	34.0%	
必要	31	66.0%	
必要でない	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	
⑫ その他			47
非常に必要	3	6.4%	
必要	2	4.3%	
必要でない	4	8.5%	
無回答	38	80.9%	

## 【市区町村調査】の結果

令和2年度厚生労働省老健事業  
認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業  
認知症地域支援推進員活動全国調査  
【市区町村用】

◆ 調査対象について

1. 回答者について

1	調査対象者	1,741	人
2	回答者	1,161	人
3	回答率	66.7%	

○市区町村の基本情報について

1. あなたの市区町村について

全国

④ 人口(階級)

	回答数	割合
1万人未満	263	22.7%
1万以上3万未満	296	25.5%
3万以上10万未満	361	31.1%
10万以上20万未満	124	10.7%
20万以上	114	9.8%
無回答	3	0.3%

1,161

⑤ 高齢化率(階級)

	回答数	割合
25%未満	125	10.8%
30%未満	252	21.7%
35%未満	285	24.5%
40%未満	264	22.7%
40%以上	226	19.5%
無回答	9	0.8%

1,161

⑥ 日常生活圏域数(階級)

	回答数	割合
1圏	554	47.7%
2圏以上5圏未満	269	23.2%
5圏以上8圏未満	178	15.3%
8圏以上	151	13.0%
無回答	9	0.8%

1,161

⑦推進員の配置総数(階級)

	回答数	割合
1人	351	30.2%
2人～3人	397	34.2%
4人～5人	172	14.8%
6人以上	230	19.8%
無回答	11	0.9%

1,161

2. ご記入くださっているご担当の部署や推進員の概要について

② 認知症施策のご担当者の人数

	回答数	割合
1人	395	34.0%
2人～3人	528	45.5%
4人～5人	160	13.8%
6人以上	68	5.9%
無回答	10	0.9%

1,161

③ ご担当者の中で、認知症施策を最も長く担当している人の年数

	回答数	割合
3年未満	291	25.1%
3年以上、5年未満	363	31.3%
5年以上、7年未満	232	20.0%
7年以上	234	20.2%
無回答	41	3.5%

1,161

④ 担当部署内で推進員を兼任している人の数

	回答数	割合
いない	476	41.0%
1人	324	27.9%
2人	182	15.7%
3人以上	174	15.0%
無回答	5	0.4%

1,161

⑤ 推進員を最初に配置した年度

	回答数	割合
平成23年度以前	61	5.3%
平成24年度	38	3.3%
平成25年度	38	3.3%
平成26年度	80	6.9%
平成27年度	312	26.9%
平成28年度	241	20.8%
平成29年度	178	15.3%
平成30年度	139	12.0%
平成31年(令和元年)度	11	0.9%
不明	40	3.4%
無回答	23	2.0%

1,161

⑥ 最初に配置してからの推進員の配置数等の変更

	回答数	割合
変更していない	499	43.0%
配置する組織を増やし、数も増員	206	17.7%
配置する組織は増やしていないが、数を増員	335	28.9%
その他の変更をしている → ⑥-1 もご記入下さい	116	10.0%
無回答	5	0.4%

1,161

⑦ 現在、推進員として配置している組織

	回答数	割合
市区町村役所	379	32.6%
市区町村直営地域包括支援センター	591	50.9%
委託型地域包括支援センター	436	37.6%
社会福祉協議会(本体)	61	5.3%
認知症疾患医療センター	12	1.0%
5以外の医療機関	22	1.9%
介護事業所	55	4.7%
その他	58	5.0%

1,161

※複数回答の為、分母は回答者数。

⑧ 推進員の配置形態

	回答数	割合
専任配置のみ	152	13.1%
兼任配置のみ	910	78.4%
専任と兼任を配置	89	7.7%
その他の配置をしている	5	0.4%
無回答	5	0.4%

1,161



⑨ 推進員が担っているその他の連携担当の役割

	回答数	割合
初期集中支援チーム員	818	70.5%
生活支援コーディネーター	167	14.4%
相談支援包括化推進員	59	5.1%
高齢者の就労的活動のコーディネーター	4	0.3%
在宅医療・介護連携推進に関するコーディネーター	122	10.5%
若年性認知症支援コーディネーター	23	2.0%
その他	195	16.8%

1,161

※複数回答の為、分母は回答者数。

I. 推進員活動に関する環境整備・体制について

	全国	
	回答数	割合
I-1. 認知症施策担当者と推進員との関係づくりや協働について		
① 実際に会ったり、電話をして、直接話しをしている		
日常的にある	872	75.1%
時々ある	176	15.2%
あまりない	16	1.4%
(ほとんど)ない	17	1.5%
自分以外に推進員がいない	72	6.2%
無回答	8	0.7%
② お互いの気づきや意見を率直に話し合っている		
日常的にある	698	60.1%
時々ある	312	26.9%
あまりない	61	5.3%
(ほとんど)ない	16	1.4%
自分以外に推進員がいない	72	6.2%
無回答	2	0.2%
③ 認知症施策担当者が、推進員の個性ややりたいことを大切にしている		
日常的にある	584	50.3%
時々ある	390	33.6%
あまりない	87	7.5%
(ほとんど)ない	26	2.2%
自分以外に推進員がいない	72	6.2%
無回答	2	0.2%
④ 担当者と推進員と一緒に、地元の認知症の本人の話を聴いたり本人と過ごしている		
日常的にある	195	16.8%
時々ある	328	28.3%
あまりない	274	23.6%
(ほとんど)ない	290	25.0%
自分以外に推進員がいない	72	6.2%
無回答	2	0.2%
⑤ 事業や取組みを実際に行う際に、認知症施策担当者と推進員と一緒に現場に出て協力している		
日常的にある	424	36.5%
時々ある	413	35.6%
あまりない	146	12.6%
(ほとんど)ない	104	9.0%
自分以外に推進員がいない	72	6.2%
無回答	2	0.2%

⑥ 推進員が悩んだり困っている時に、認知症施策担当者に相談したり助けを求めている				1,161
日常的にある	480	41.3%		
時々ある	421	36.3%		
あまりない	125	10.8%		
(ほとんど)ない	61	5.3%		
自分以外に推進員がない	72	6.2%		
無回答	2	0.2%		
⑦ 認知症施策担当者が悩んだり困っている時に、推進員に相談したり助けを求めている				1,161
日常的にある	520	44.8%		
時々ある	437	37.6%		
あまりない	90	7.8%		
(ほとんど)ない	40	3.4%		
自分以外に推進員がない	72	6.2%		
無回答	2	0.2%		
⑧ 認知症施策担当者が推進員の意見や提案を聴き、それらを計画作り/予算に反映している				1,161
日常的にある	478	41.2%		
時々ある	438	37.7%		
あまりない	125	10.8%		
(ほとんど)ない	46	4.0%		
自分以外に推進員がない	72	6.2%		
無回答	2	0.2%		
I-2. 認知症施策担当者と推進員による、わがまちが目指す姿(ビジョン)の共有				
① 認知症の本人がどんな姿で暮らすようになったらいいか、わがまちが目指す本人の姿を共有している				1,161
具体的に共有している	192	16.5%		
ある程度共有している	639	55.0%		
あまりしていない	227	19.6%		
していない	29	2.5%		
自分以外に推進員がない	72	6.2%		
無回答	2	0.2%		
② 市区町村がどんな地域になったらいいか、わがまちが目指す地域の姿を共有している				1,161
具体的に共有している	199	17.1%		
ある程度共有している	663	57.1%		
あまりしていない	198	17.1%		
していない	27	2.3%		
自分以外に推進員がない	72	6.2%		
無回答	2	0.2%		
I-3. 認知症施策担当者と推進員による現状と課題の共有				
① 本人がどのように暮らしているのか、その現状と課題を共有している				1,161
具体的に共有している	186	16.0%		
ある程度共有している	623	53.7%		
あまりしていない	247	21.3%		
していない	30	2.6%		
自分以外に推進員がない	72	6.2%		
無回答	3	0.3%		
② 認知症をめぐる地域で起きていることの現状と課題を共有している				1,161
具体的に共有している	196	16.9%		
ある程度共有している	694	59.8%		
あまりしていない	174	15.0%		
していない	23	2.0%		
自分以外に推進員がない	72	6.2%		
無回答	2	0.2%		

I-4. 認知症施策担当者と推進員の、推進員活動の機能・役割の共有			
① 自地域で必要な推進員活動の機能・役割について共有している			
具体的に共有している	202	17.4%	1161
ある程度共有している	619	53.3%	
あまりしていない	239	20.6%	
していない	28	2.4%	
自分以外に推進員がない	71	6.1%	
無回答	2	0.2%	
② ①の中でも、今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している			
具体的に共有している	142	12.2%	1161
ある程度共有している	513	44.2%	
あまりしていない	380	32.7%	
していない	53	4.6%	
自分以外に推進員がない	70	6.0%	
無回答	3	0.3%	
I-5. 認知症施策担当者と推進員との、活動方針の共有			
① 事業をこなすことを焦らずに、誰のために、何のために活動するのか、目的を見失わないようにする			
具体的に共有している	199	17.1%	1161
ある程度共有している	680	58.6%	
あまりしていない	181	15.6%	
していない	27	2.3%	
自分以外に推進員がない	70	6.0%	
無回答	4	0.3%	
② 認知症を自分事として考え、本人と地域が希望を持てるあり方をともに作りだしていく			
具体的に共有している	171	14.7%	1161
ある程度共有している	654	56.3%	
あまりしていない	235	20.2%	
していない	28	2.4%	
自分以外に推進員がない	71	6.1%	
無回答	2	0.2%	
③ 地域の中にある古い認知症観や取組み方を、推進員が活動を通じて転換していく			
具体的に共有している	167	14.4%	1161
ある程度共有している	571	49.2%	
あまりしていない	313	27.0%	
していない	37	3.2%	
自分以外に推進員がない	71	6.1%	
無回答	2	0.2%	
④ 地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める			
具体的に共有している	119	10.2%	1161
ある程度共有している	417	35.9%	
あまりしていない	434	37.4%	
していない	118	10.2%	
自分以外に推進員がない	71	6.1%	
無回答	2	0.2%	
⑤ 地域の特徴やあるものを大切に活かし、自地域ならではの取組みを進めていく			
具体的に共有している	150	12.9%	1161
ある程度共有している	582	50.1%	
あまりしていない	307	26.4%	
していない	49	4.2%	
自分以外に推進員がない	71	6.1%	
無回答	2	0.2%	

<b>⑥ 推進員が、本人や地域の現状・課題を行政につなぐパイプ役を果たす</b>				1161
	具体的に共有している	197	17.0%	
	ある程度共有している	617	53.1%	
	あまりしていない	233	20.1%	
	していない	41	3.5%	
	自分以外に推進員がない	71	6.1%	
	無回答	2	0.2%	
<b>⑦ 推進員が企画をたて、行政と協働しながら、自発的な活動を展開していく</b>				1161
	具体的に共有している	190	16.4%	
	ある程度共有している	521	44.9%	
	あまりしていない	315	27.1%	
	していない	62	5.3%	
	自分以外に推進員がない	71	6.1%	
	無回答	2	0.2%	
<b>⑧ 当初の計画等の枠内でとどまらずに、やりながらよりよい取組みに発展させていく</b>				1161
	具体的に共有している	177	15.2%	
	ある程度共有している	581	50.0%	
	あまりしていない	284	24.5%	
	していない	45	3.9%	
	自分以外に推進員がない	71	6.1%	
	無回答	3	0.3%	
<b>⑨ 事業や取組みを単発で行わず、その後の継続や展開の仕方を常に考えながら行う</b>				1161
	具体的に共有している	181	15.6%	
	ある程度共有している	619	53.3%	
	あまりしていない	251	21.6%	
	していない	37	3.2%	
	自分以外に推進員がない	71	6.1%	
	無回答	2	0.2%	
<b>⑩ 事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく</b>				1161
	具体的に共有している	113	9.7%	
	ある程度共有している	534	46.0%	
	あまりしていない	383	33.0%	
	していない	58	5.0%	
	自分以外に推進員がない	71	6.1%	
	無回答	2	0.2%	
<b>I-6. 「推進員の活動のしやすさ」への行政の配慮や取組み</b>				
<b>① 推進員の職場の管理者・上司等に、推進員活動の理解や協力を得るための行政からの説明や後押し</b>				1161
	具体的に共有している	232	20.0%	
	ある程度共有している	545	46.9%	
	あまりしていない	235	20.2%	
	していない	72	6.2%	
	自分以外に推進員がない	74	6.4%	
	無回答	3	0.3%	
<b>② 関係組織(医師会、自治会、警察、企業等)に推進員活動が進めやすくなるための行政からの説明や後押し</b>				1161
	具体的に共有している	100	8.6%	
	ある程度共有している	384	33.1%	
	あまりしていない	462	39.8%	
	していない	142	12.2%	
	自分以外に推進員がない	70	6.0%	
	無回答	3	0.3%	

<b>③ 推進員の存在や活動を、行政として地域へ広く発信・周知</b>				1161
	具体的に共有している	126	10.9%	
	ある程度共有している	399	34.4%	
	あまりしていない	456	39.3%	
	していない	108	9.3%	
	自分以外に推進員がない	69	5.9%	
	無回答	3	0.3%	
<b>④ 推進員が地域連携を進めやすくするための、行政内の分野横断の庁内連携</b>				1161
	具体的に共有している	72	6.2%	
	ある程度共有している	353	30.4%	
	あまりしていない	514	44.3%	
	していない	149	12.8%	
	自分以外に推進員がない	69	5.9%	
	無回答	4	0.3%	
<b>⑤ 推進員が実際の活動上、必要となった具体的な地域連携のための行政としてのつなぎや調整</b>				1161
	具体的に共有している	162	14.0%	
	ある程度共有している	555	47.8%	
	あまりしていない	295	25.4%	
	していない	77	6.6%	
	自分以外に推進員がない	69	5.9%	
	無回答	3	0.3%	
<b>⑥ 推進員が活動を進める上で必要になった場所や資材、資金等の調整・支援</b>				1161
	具体的に共有している	228	19.6%	
	ある程度共有している	519	44.7%	
	あまりしていない	262	22.6%	
	していない	79	6.8%	
	自分以外に推進員がない	70	6.0%	
	無回答	3	0.3%	
<b>⑦ 推進員が活動を進める上で必要な情報や参考になる地域・人の情報を提供したりつなぐ</b>				1161
	具体的に共有している	193	16.6%	
	ある程度共有している	610	52.5%	
	あまりしていない	235	20.2%	
	していない	51	4.4%	
	自分以外に推進員がない	69	5.9%	
	無回答	3	0.3%	
<b>⑧ 推進員が事業や取組みに踏み出せるための勇気づけや後押し</b>				1161
	具体的に共有している	181	15.6%	
	ある程度共有している	540	46.5%	
	あまりしていない	296	25.5%	
	していない	71	6.1%	
	自分以外に推進員がない	70	6.0%	
	無回答	3	0.3%	
<b>⑨ 推進員活動を進めながら失敗やトラブルが生じた際、行政と一緒に考え、助力やカバーをしている</b>				1161
	具体的に共有している	251	21.6%	
	ある程度共有している	590	50.8%	
	あまりしていない	190	16.4%	
	していない	55	4.7%	
	自分以外に推進員がない	72	6.2%	
	無回答	3	0.3%	
<b>⑩ その他「推進員の活動のしやすさ」への行政の配慮や取組み</b>				1161
	具体的に共有している	151	13.0%	
	ある程度共有している	164	14.1%	
	あまりしていない	247	21.3%	
	していない	170	14.6%	
	自分以外に推進員がない	65	5.6%	
	無回答	364	31.4%	

I-7. 推進員同士がつながり、話し合い、学びあう機会等			
① 同じ市区町村内の推進員同士が集まり/つながり、話し合ったり学び合う機会がある			
十分にある	355	30.6%	1161
ある程度ある	301	25.9%	
あまりない	102	8.8%	
ない	78	6.7%	
自分以外に推進員がない	318	27.4%	
無回答	7	0.6%	
② 近隣の市区町村の推進員同士がつながり、話し合ったり学び合う機会がある			
十分にある	29	2.5%	1161
ある程度ある	204	17.6%	
あまりない	429	37.0%	
ない	420	36.2%	
自分以外に推進員がない	75	6.5%	
無回答	4	0.3%	
③ 情報共有や相談等をしあうための行政関係者と推進員とのメールやライン等のネットワークがある			
十分にある	326	28.1%	1161
ある程度ある	306	26.4%	
あまりない	130	11.2%	
ない	308	26.5%	
自分以外に推進員がない	87	7.5%	
無回答	4	0.3%	
④ 推進員同士等がつながり学び合うためのネット環境の整備に関して、市区町村の支援や後押しがある			
十分にある	122	10.5%	1161
ある程度ある	235	20.2%	
あまりない	242	20.8%	
ない	465	40.1%	
自分以外に推進員がない	93	8.0%	
無回答	4	0.3%	
⑤ 推進員同士の情報や活動に関する通信を市区町村が出している/推進員が出すのを支援している			
十分にある	64	5.5%	1161
ある程度ある	148	12.7%	
あまりない	224	19.3%	
ない	631	54.3%	
自分以外に推進員がない	89	7.7%	
無回答	5	0.4%	
⑥ 都道府県や全国の推進員研修や集まりに参加できるよう市区町村の支援がある			
十分にある	305	26.3%	1161
ある程度ある	470	40.5%	
あまりない	173	14.9%	
ない	138	11.9%	
自分以外に推進員がない	71	6.1%	
無回答	4	0.3%	
⑦ 他地域の推進員の活動や好事例等の情報を集め、推進員がそれらについて学んだり直に交流する機会をつくる			
十分にある	59	5.1%	1161
ある程度ある	243	20.9%	
あまりない	425	36.6%	
ない	356	30.7%	
自分以外に推進員がない	74	6.4%	
無回答	4	0.3%	
⑧ その他 推進員同士のつながり等に関する市区町村の取組みがある			
十分にある	104	9.0%	1161
ある程度ある	69	5.9%	
あまりない	147	12.7%	
ない	448	38.6%	
自分以外に推進員がない	81	7.0%	
無回答	312	26.9%	

I-8. 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」や「質の評価」等			
① 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」に取り組んでいる			
認知症施策担当者と推進員と一緒に取り組んでいる	424	36.5%	1161
推進員同士が自主的に取り組んでいる	68	5.9%	
推進員が個人で取り組んでいる	172	14.8%	
特に行っていない	490	42.2%	
無回答	7	0.6%	
② 推進員活動の「質の評価」に取り組んでいる			
認知症施策担当者と推進員と一緒に取り組んでいる	237	20.4%	1161
推進員同士が自主的に取り組んでいる	55	4.7%	
推進員が個人で取り組んでいる	147	12.7%	
特に行っていない	715	61.6%	
無回答	7	0.6%	
③ 自治体内の推進員活動の取組みの実際や成果等に関する冊子や事例集等を作成している			
認知症施策担当者と推進員と一緒に取り組んでいる	53	4.6%	1161
推進員同士が自主的に取り組んでいる	14	1.2%	
推進員が個人で取り組んでいる	33	2.8%	
特に行っていない	1,055	90.9%	
無回答	6	0.5%	
④ 推進員活動の取組みの実際や成果等を、自治体等のホームページ(HP)で地域に発信している			
認知症施策担当者と推進員と一緒に取り組んでいる	112	9.6%	1161
推進員同士が自主的に取り組んでいる	17	1.5%	
推進員が個人で取り組んでいる	35	3.0%	
特に行っていない	991	85.4%	
無回答	6	0.5%	
⑤ 推進員活動の実際や成果等を、ホームページ(HP)や報告会以外の方法で地域にPRしている			
認知症施策担当者と推進員と一緒に取り組んでいる	142	12.2%	1161
推進員同士が自主的に取り組んでいる	32	2.8%	
推進員が個人で取り組んでいる	46	4.0%	
特に行っていない	935	80.5%	
無回答	6	0.5%	
⑥ 推進員活動の報告会を開き、活動の向上に関する話し合いを行っている			
地域で公開して実施	192	16.5%	1161
活動の関係者が参加して実施	32	2.8%	
推進員のみで実施	19	1.6%	
その他	908	78.2%	
無回答	10	0.9%	
※ ⑥-1 報告会を行っている場合、下記の該当する番号を1つ選択して右欄にご記入下さい			
地域で公開して実施	14	1.2%	1161
活動の関係者が参加して実施	89	7.7%	
推進員のみで実施	109	9.4%	
その他	65	5.6%	
無回答	884	76.1%	
I-9. 市区町村としての推進員活動が持続発展していくための、行政の配慮・工夫等			
① 推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ			
具体的にある	78	6.7%	1161
具体的ではないがある	262	22.6%	
あまりない	352	30.3%	
ない	465	40.1%	
無回答	4	0.3%	

② 推進員が異動した場合、その人が望む場合は異動先で推進員として活動を続けるための調整や位置づけ				1161
具体的にある	20	1.7%		
具体的ではないがある	110	9.5%		
あまりない	276	23.8%		
ない	750	64.6%		
無回答	5	0.4%		
③ 推進員が退職等した場合、その人が望む場合は、活動に参画できるための調整や支援				1161
具体的にある	15	1.3%		
具体的ではないがある	141	12.1%		
あまりない	266	22.9%		
ない	735	63.3%		
無回答	4	0.3%		
④ 推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをするための機会作り・支援				1161
具体的にある	113	9.7%		
具体的ではないがある	438	37.7%		
あまりない	273	23.5%		
ない	332	28.6%		
無回答	5	0.4%		
⑤ その他 推進員活動が持続発展していくための配慮や工夫				1161
具体的にある	62	5.3%		
具体的ではないがある	105	9.0%		
あまりない	280	24.1%		
ない	370	31.9%		
無回答	344	29.6%		
I-10. 市区町村の認知症施策を推進していくための、推進員の適正な配置と工夫等				
① 市区町村が、推進員として適切な人材を配置できるよう関係機関等との調整や働きかけをしている				1161
具体的にしている	173	14.9%		
具体的ではないがしている	373	32.1%		
あまりしていない	331	28.5%		
していない	279	24.0%		
無回答	5	0.4%		
② 市区町村が、適切な推進員数を検討し、その数の確保のための調整や働きかけをしている				1161
具体的にしている	250	21.5%		
具体的ではないがしている	396	34.1%		
あまりしていない	312	26.9%		
していない	197	17.0%		
無回答	6	0.5%		
③ 市区町村が、効果的な「推進員の配置先」を検討し、配置先の工夫や調整をしている				1161
具体的にしている	193	16.6%		
具体的ではないがしている	262	22.6%		
あまりしていない	385	33.2%		
していない	315	27.1%		
無回答	6	0.5%		
④ 市区町村が、配置している推進員の機能を活かしていくために、推進員とともに活動する人材の配置や活動のフォーメーション作りの工夫をしている				1161
具体的にしている	84	7.2%		
具体的ではないがしている	157	13.5%		
あまりしていない	470	40.5%		
していない	421	36.3%		
無回答	29	2.5%		



## Ⅱ. 推進員活動の実際(プロセス)について

		回答数	割合
<b>Ⅱ-1. 施策担当者からみた「推進員活動のしかた(スタンス)」について</b>			
<b>① 認知症の人への偏見や先入観をもたずに、「地域の一員」として、本人と自然体で向きあっている</b>			
	日常的にやっている	906	78.0%
	時々やっている	165	14.2%
	(あまり)やっていない	34	2.9%
	把握していない	37	3.2%
	無回答	19	1.6%
<b>② 認知症の人が暮らす場や過ごす場に足を運び、時間をともにしながらつきあっている</b>			
	日常的にやっている	449	38.7%
	時々やっている	438	37.7%
	(あまり)やっていない	217	18.7%
	把握していない	38	3.3%
	無回答	19	1.6%
<b>③ 本人の声(思いや意見等)を聴きながら、認知症とともに生きることや必要なことを、本人から学んでいる</b>			
	日常的にやっている	478	41.2%
	時々やっている	392	33.8%
	(あまり)やっていない	202	17.4%
	把握していない	70	6.0%
	無回答	19	1.6%
<b>④ 活動をする時は、本人の声を聴きながら、本人が活動に参画できるチャンスをつくっている</b>			
	日常的にやっている	338	29.1%
	時々やっている	354	30.5%
	(あまり)やっていない	362	31.2%
	把握していない	88	7.6%
	無回答	19	1.6%
<b>⑤ 立場や職種に関わらず、様々な人たちに本人の声を聴くことや本人視点の大切さを伝えている</b>			
	日常的にやっている	66	5.7%
	時々やっている	217	18.7%
	(あまり)やっていない	411	35.4%
	把握していない	448	38.6%
	無回答	19	1.6%
<b>⑥ 地域に出向いて多様な住民や地域で働く人に出会い、思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる</b>			
	日常的にやっている	380	32.7%
	時々やっている	402	34.6%
	(あまり)やっていない	297	25.6%
	把握していない	63	5.4%
	無回答	19	1.6%
<b>⑦ 医療現場や医療職の集まりにできるだけ出向いて、医療関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる</b>			
	日常的にやっている	200	17.2%
	時々やっている	355	30.6%
	(あまり)やっていない	466	40.1%
	把握していない	120	10.3%
	無回答	20	1.7%
<b>⑧ 介護現場や介護職の集まりにできるだけ出向いて、介護関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる</b>			
	日常的にやっている	238	20.5%
	時々やっている	447	38.5%
	(あまり)やっていない	370	31.9%
	把握していない	87	7.5%
	無回答	19	1.6%

⑨ 権利擁護の現場や関係者の集まりにできるだけ出向いて、関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる				1161
	日常的にやっている	168	14.5%	
	時々やっている	331	28.5%	
	(あまり)やっていない	521	44.9%	
	把握していない	122	10.5%	
	無回答	19	1.6%	
⑩ 活動を自分や一部のひとたちで進めずに、多様な立場や職種の人たちをつなげながら進めている				1161
	日常的にやっている	342	29.5%	
	時々やっている	453	39.0%	
	(あまり)やっていない	291	25.1%	
	把握していない	56	4.8%	
	無回答	19	1.6%	
⑪ 事業を単発で考えずに、事業後の展開や事業と事業のつながりをつくることを考えながら取り組んでいる				1161
	日常的にやっている	384	33.1%	
	時々やっている	477	41.1%	
	(あまり)やっていない	223	19.2%	
	把握していない	57	4.9%	
	無回答	20	1.7%	
⑫ いきなり大きなことではなく、できる(小さな)ことをみつけ、やってみながら工夫や改善を重ねている				1161
	日常的にやっている	476	41.0%	
	時々やっている	466	40.1%	
	(あまり)やっていない	146	12.6%	
	把握していない	52	4.5%	
	無回答	21	1.8%	
⑬ 楽しいことを考え、事業や活動が楽しくなる工夫をしている				1161
	日常的にやっている	400	34.5%	
	時々やっている	438	37.7%	
	(あまり)やっていない	206	17.7%	
	把握していない	85	7.3%	
	無回答	32	2.8%	
II-2. 施策担当者からみた推進員の「個別の相談・支援体制作り」について				
① 本人が思いや望みを表せるように、関わり方や環境づくりの工夫をしている				1161
	日常的にやっている	562	48.4%	
	時々やっている	336	28.9%	
	(あまり)やっていない	175	15.1%	
	把握していない	69	5.9%	
	無回答	19	1.6%	
② 本人の声を聴き、本人の力を活かしながら、本人が望む暮らしがかなうための支援・調整をしている				1161
	日常的にやっている	592	51.0%	
	時々やっている	346	29.8%	
	(あまり)やっていない	153	13.2%	
	把握していない	53	4.6%	
	無回答	17	1.5%	
③ 家族の声を聴き、家族の力を活かしながら、家族が望む暮らしがかなうための支援・調整をしている				1161
	日常的にやっている	617	53.1%	
	時々やっている	365	31.4%	
	(あまり)やっていない	115	9.9%	
	把握していない	48	4.1%	
	無回答	16	1.4%	
④ 関わった本人と家族に必要な医療が届くように、医療職等と話し合い、支援・調整をしている				1161
	日常的にやっている	540	46.5%	
	時々やっている	398	34.3%	
	(あまり)やっていない	151	13.0%	
	把握していない	56	4.8%	
	無回答	16	1.4%	

⑤ 関わった本人と家族に必要な生活支援が届くように、多様な関係者と話し合い、支援・調整をしている			1161
日常的にやっている	574	49.4%	
時々やっている	385	33.2%	
(あまり)やっていない	133	11.5%	
把握していない	53	4.6%	
無回答	16	1.4%	
⑥ 関わった本人と家族に必要な介護が届くように、介護職等と話し合い、支援・調整をしている			1161
日常的にやっている	590	50.8%	
時々やっている	376	32.4%	
(あまり)やっていない	127	10.9%	
把握していない	52	4.5%	
無回答	16	1.4%	
⑦ 関わった本人と家族に必要な支援が一体的に届くように、支援体制をつくるための話し合いや調整をしている			1161
日常的にやっている	477	41.1%	
時々やっている	403	34.7%	
(あまり)やっていない	209	18.0%	
把握していない	56	4.8%	
無回答	16	1.4%	
⑧ 個別相談で足りない支援や資源があった場合、その個人のために必要な支援や資源を新たにつくらず活動をしている			1161
日常的にやっている	147	12.7%	
時々やっている	303	26.1%	
(あまり)やっていない	587	50.6%	
把握していない	108	9.3%	
無回答	16	1.4%	
⑨ 一人と継続的に関わり、得られたことやつながり等を、他の人や地域に広げる活動をしている			1161
日常的にやっている	215	18.5%	
時々やっている	395	34.0%	
(あまり)やっていない	436	37.6%	
把握していない	98	8.4%	
無回答	17	1.5%	
⑩ 関わった一人をもとに、経過や地域の課題について多様な人たちと話し合い、地域支援の見直し・拡充を図っている			1161
日常的にやっている	187	16.1%	
時々やっている	363	31.3%	
(あまり)やっていない	488	42.0%	
把握していない	106	9.1%	
無回答	17	1.5%	
⑪ その他 個別相談・支援体制作りに関して取組んでいること			1161
日常的にやっている	115	9.9%	
時々やっている	79	6.8%	
(あまり)やっていない	255	22.0%	
把握していない	198	17.1%	
無回答	514	44.3%	
II-3. 施策担当者からみた推進員活動の「関係機関と連携した事業の企画・調整」について			
① 住民等の講座や講演会等が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げる機会になるための企画・調整			1161
日常的にやっている	356	30.7%	
時々やっている	514	44.3%	
(あまり)やっていない	252	21.7%	
把握していない	25	2.2%	
無回答	14	1.2%	
② 配布物や広報が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げるためのことばや情報発信となるための企画・調整（チラシ、パンフレット、自治体の広報・ホームページ、動画、メディア等）			1161
日常的にやっている	320	27.6%	
時々やっている	528	45.5%	
(あまり)やっていない	276	23.8%	
把握していない	23	2.0%	
無回答	14	1.2%	

<b>③ 認知症多職種協働研修等の企画・調整</b>				1161
	日常的にやっている	68	5.9%	
	時々やっている	171	14.7%	
	(あまり)やっていない	769	66.2%	
	把握していない	123	10.6%	
	無回答	30	2.6%	
<b>※ ③-1 多職種協働研修に取り組んでいる場合、下記の該当する番号を1つ選択して右欄にご記入下さい</b>				1161
	ライフサポート研修を実施	18	1.6%	
	ライフサポート研修を発展させて実施	31	2.7%	
	独自に実施	198	17.1%	
	無回答	914	78.7%	
<b>④ 専門的な相談支援の力量を、関係者が向上させていくための企画・調整</b>				1161
	日常的にやっている	94	8.1%	
	時々やっている	233	20.1%	
	(あまり)やっていない	682	58.7%	
	把握していない	111	9.6%	
	無回答	41	3.5%	
<b>⑤ 地域における困難事例の検討及びその事例の個別支援の拡充を図る企画・調整</b>				1161
	日常的にやっている	202	17.4%	
	時々やっている	435	37.5%	
	(あまり)やっていない	423	36.4%	
	把握していない	60	5.2%	
	無回答	41	3.5%	
<b>⑥ 病院・施設等における困難事例の検討及びその事例の個別支援の拡充を図る企画・調整</b>				1161
	日常的にやっている	98	8.4%	
	時々やっている	245	21.1%	
	(あまり)やっていない	643	55.4%	
	把握していない	132	11.4%	
	無回答	43	3.7%	
<b>⑦ 本人ミーティング等本人同士が出会い話し合える機会をつくり、そこでの声を取組みや施策に活かしていくための企画・調整</b>				1161
	日常的にやっている	58	5.0%	
	時々やっている	159	13.7%	
	(あまり)やっていない	779	67.1%	
	把握していない	122	10.5%	
	無回答	43	3.7%	
<b>⑧ 診断直後の本人等が前向きに暮らしていくための、本人によるピアサポートの企画・調整</b>				1161
	日常的にやっている	27	2.3%	
	時々やっている	75	6.5%	
	(あまり)やっていない	849	73.1%	
	把握していない	166	14.3%	
	無回答	44	3.8%	
<b>⑨ 家族の声や力を活かして、家族によるピアサポートの企画・調整</b>				1161
	日常的にやっている	76	6.5%	
	時々やっている	170	14.6%	
	(あまり)やっていない	725	62.4%	
	把握していない	147	12.7%	
	無回答	43	3.7%	
<b>⑩ 認知症カフェ等、地域の中での出会い、つながる場づくりの企画・調整</b>				1161
	日常的にやっている	465	40.1%	
	時々やっている	388	33.4%	
	(あまり)やっていない	230	19.8%	
	把握していない	39	3.4%	
	無回答	39	3.4%	

<b>⑪ 地域の子供たちや若い世代が、地域の中で本人と出会い、つながるための企画・調整</b>			1161
日常的にやっている	55	4.7%	
時々やっている	211	18.2%	
(あまり)やっていない	729	62.8%	
把握していない	123	10.6%	
無回答	43	3.7%	
<b>⑫ 地域の企業等、多様な分野の人たちが、本人と出会い、つながるための企画・調整</b>			1,161
日常的にやっている	42	3.6%	
時々やっている	153	13.2%	
(あまり)やっていない	792	68.2%	
把握していない	131	11.3%	
無回答	43	3.7%	
<b>⑬ 本人・家族が必要な理解者・支援者とつながり、チームとして支えあう体制作りの企画・調整</b>			1161
日常的にやっている	88	7.6%	
時々やっている	190	16.4%	
(あまり)やっていない	702	60.5%	
把握していない	127	10.9%	
無回答	54	4.7%	
<b>※ ⑬-1 取組みをしている場合、下記の該当する番号を1つ選択して右欄にご記入下さい</b>			1161
以前から、すでに地域独自のチームによる支援体制づくりの企画・調整をしてきている	54	4.7%	
すでに地域で育ってきているつながりや仕組みを活かして、チームオレンジの企画・調整をしている	97	8.4%	
チームオレンジのスキームをもとに、新たに企画・調整をしている	49	4.2%	
その他	37	3.2%	
無回答	924	79.6%	
<b>⑭ 認知症の有無に関わらず、備えながら健やかに暮らしていくための予防に関する企画・調整</b>			1161
日常的にやっている	262	22.6%	
時々やっている	422	36.3%	
(あまり)やっていない	368	31.7%	
把握していない	66	5.7%	
無回答	43	3.7%	
<b>⑮ 若年性認知症の人を主な対象とした取組みの企画・調整</b>			1161
日常的にやっている	50	4.3%	
時々やっている	118	10.2%	
(あまり)やっていない	811	69.9%	
把握していない	136	11.7%	
無回答	46	4.0%	
<b>⑯ 本人の声を活かして自地域に潜むバリアを解消していくための認知症バリアフリーの企画・調整</b>			1161
日常的にやっている	32	2.8%	
時々やっている	115	9.9%	
(あまり)やっていない	814	70.1%	
把握していない	154	13.3%	
無回答	46	4.0%	
<b>⑰ 本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整</b>			1161
日常的にやっている	46	4.0%	
時々やっている	160	13.8%	
(あまり)やっていない	754	64.9%	
把握していない	143	12.3%	
無回答	58	5.0%	
<b>II-4. 施策担当者からみた推進員活動の「医療・介護等の支援ネットワークの構築」</b>			
<b>① 認知症ケアパスを本人視点にたって作成/改良</b>			1161
日常的にやっている	283	24.4%	
時々やっている	412	35.5%	
(あまり)やっていない	414	35.7%	
把握していない	35	3.0%	
無回答	17	1.5%	

② 認知症ケアパスを住民や専門職等に普及し、活用			1161
日常的にやっている	455	39.2%	
時々やっている	423	36.4%	
(あまり)やっていない	230	19.8%	
把握していない	39	3.4%	
無回答	14	1.2%	
③ 地域の医療職と介護職が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し			1161
日常的にやっている	199	17.1%	
時々やっている	441	38.0%	
(あまり)やっていない	436	37.6%	
把握していない	71	6.1%	
無回答	14	1.2%	
④ 専門職と住民等が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し			1161
日常的にやっている	149	12.8%	
時々やっている	368	31.7%	
(あまり)やっていない	550	47.4%	
把握していない	80	6.9%	
無回答	14	1.2%	
⑤ 初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつながって協働していくための調整や後押し			1161
日常的にやっている	406	35.0%	
時々やっている	427	36.8%	
(あまり)やっていない	285	24.5%	
把握していない	29	2.5%	
無回答	14	1.2%	
⑥ 本人を地域の多様な人たちで日常的に見守るネットワークづくり			1161
日常的にやっている	296	25.5%	
時々やっている	431	37.1%	
(あまり)やっていない	364	31.4%	
把握していない	55	4.7%	
無回答	15	1.3%	
⑦ 行方不明など本人のSOS時に素早く情報を共有し、その本人を協働で守るためのネットワークづくり			1161
日常的にやっている	386	33.2%	
時々やっている	368	31.7%	
(あまり)やっていない	340	29.3%	
把握していない	53	4.6%	
無回答	14	1.2%	
⑧ 自然災害時などに素早く情報を共有し、地域の認知症の人たちを協働で守るためのネットワークづくり			1161
日常的にやっている	113	9.7%	
時々やっている	241	20.8%	
(あまり)やっていない	670	57.7%	
把握していない	123	10.6%	
無回答	14	1.2%	
⑨ ITや通信機器等を活用して、自地域の関係者・多様な人たちのネットワークを拡充する取組み			1161
日常的にやっている	52	4.5%	
時々やっている	100	8.6%	
(あまり)やっていない	837	72.1%	
把握していない	157	13.5%	
無回答	15	1.3%	
⑩ 認知症関連以外の他分野の人/組織とつながり、地域での活動や支えあいを広げていく取組み			1161
日常的にやっている	105	9.0%	
時々やっている	294	25.3%	
(あまり)やっていない	603	51.9%	
把握していない	137	11.8%	
無回答	22	1.9%	

II-5. コロナ禍の中での推進員活動			
① 相談や認知症カフェなどでつながれた個々の本人の声や様子を、丁寧にとらえている			
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	668	57.5%
	コロナ禍で新たに取組んでいる	49	4.2%
	やっていたが現在は中止している	218	18.8%
	やっていない	163	14.0%
	把握していない	43	3.7%
	無回答	20	1.7%
② (三密等に配慮や工夫をしながら) 認知症カフェ等の集まりを行っている			
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	447	38.5%
	コロナ禍で新たに取組んでいる	72	6.2%
	やっていたが現在は中止している	366	31.5%
	やっていない	245	21.1%
	把握していない	13	1.1%
	無回答	18	1.6%
③ (三密等に配慮や工夫をしながら) 本人ミーティングや本人同士の集まりを行っている			
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	107	9.2%
	コロナ禍で新たに取組んでいる	30	2.6%
	やっていたが現在は中止している	120	10.3%
	やっていない	851	73.3%
	把握していない	35	3.0%
	無回答	18	1.6%
④ (三密等に配慮や工夫をしながら) 本人が社会参加活動や戸外に出て楽しむ機会をつくっている			
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	138	11.9%
	コロナ禍で新たに取組んでいる	36	3.1%
	やっていたが現在は中止している	129	11.1%
	やっていない	767	66.1%
	把握していない	73	6.3%
	無回答	18	1.6%
⑤ 地域の関係者等のつながりや意欲が途切れないよう、連絡や相談を細やかに行っている			
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	569	49.0%
	コロナ禍で新たに取組んでいる	68	5.9%
	やっていたが現在は中止している	92	7.9%
	やっていない	326	28.1%
	把握していない	88	7.6%
	無回答	18	1.6%
⑥ IT等を活用して、本人とつながりをつくっている			
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	16	1.4%
	コロナ禍で新たに取組んでいる	39	3.4%
	やっていたが現在は中止している	16	1.4%
	やっていない	1,007	86.7%
	把握していない	65	5.6%
	無回答	18	1.6%
⑦ IT等を活用して、支援者同士のつながりをつくっている			
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	46	4.0%
	コロナ禍で新たに取組んでいる	74	6.4%
	やっていたが現在は中止している	19	1.6%
	やっていない	937	80.7%
	把握していない	67	5.8%
	無回答	18	1.6%
⑧ これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している			
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	268	23.1%
	コロナ禍で新たに取組んでいる	256	22.0%
	やっていたが現在は中止している	41	3.5%
	やっていない	448	38.6%
	把握していない	129	11.1%
	無回答	19	1.6%

⑨ その他 コロナ禍でも新たな取り組みをしている			
以前からの取り組みを継続/再開してやっている	14	1.2%	1,161
コロナ禍で新たに取組んでいる	136	11.7%	
やっていたが現在は中止している	16	1.4%	
やっていない	550	47.4%	
把握していない	60	5.2%	
無回答	385	33.2%	

### Ⅲ. 推進員活動による変化・成果について

		回答数	割合	
<b>Ⅲ-1. 推進員活動を通じた「認知症の本人の変化・成果」</b>				
<b>① 本人が発症後の早い段階で相談窓口につながり、相談できる相手に出会えるようになった</b>				
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	79	6.8%	1,161	
増えてはいないが、中身が充実してきている	305	26.3%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	167	14.4%		
今年度からみられるようになった	22	1.9%		
まだない	222	19.1%		
把握していない	357	30.7%		
無回答	9	0.8%		
<b>② 本人が発症後の早い段階で受診でき、信頼できる医師や医療関係者に出会えるようになった</b>				
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	77	6.6%	1,161	
増えてはいないが、中身が充実してきている	298	25.7%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	157	13.5%		
今年度からみられるようになった	20	1.7%		
まだない	224	19.3%		
把握していない	377	32.5%		
無回答	8	0.7%		
<b>③ 本人が認知症カフェ等の地域の集い場につながり、仲間や味方に出会えるようになった</b>				
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	66	5.7%	1,161	
増えてはいないが、中身が充実してきている	281	24.2%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	139	12.0%		
今年度からみられるようになった	40	3.4%		
まだない	300	25.8%		
把握していない	326	28.1%		
無回答	9	0.8%		
<b>④ 本人が自分の思いや意見を周囲や地域に向けて発することができるようになった</b>				
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	21	1.8%	1,161	
増えてはいないが、中身が充実してきている	96	8.3%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	37	3.2%		
今年度からみられるようになった	29	2.5%		
まだない	553	47.6%		
把握していない	417	35.9%		
無回答	8	0.7%		
<b>⑤ 本人がなじみの店や行きたいところに安心して出かけられるようになった</b>				
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	8	0.7%	1,161	
増えてはいないが、中身が充実してきている	63	5.4%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	34	2.9%		
今年度からみられるようになった	12	1.0%		
まだない	470	40.5%		
把握していない	566	48.8%		
無回答	8	0.7%		



<b>⑥ 本人が発症後もそれまで勤めていた職場で働きつづけられるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	2	0.2%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	25	2.2%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	11	0.9%	
	今年度からみられるようになった	7	0.6%	
	まだない	493	42.5%	
	把握していない	615	53.0%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑦ 本人が発症後の早い段階で自分が望む社会活動に参加し、地域の中で生き生き過ごせるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	12	1.0%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	85	7.3%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	31	2.7%	
	今年度からみられるようになった	12	1.0%	
	まだない	435	37.5%	
	把握していない	578	49.8%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑧ 本人がスマホや通信機器を使って、他の人と交流できるようになった</b>				1,161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	4	0.3%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	11	0.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	11	0.9%	
	今年度からみられるようになった	15	1.3%	
	まだない	499	43.0%	
	把握していない	613	52.8%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑨ 本人がGPS機器やヘルプカード等を使って、一人で安心・安全に外出できるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	10	0.9%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	42	3.6%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	63	5.4%	
	今年度からみられるようになった	17	1.5%	
	まだない	474	40.8%	
	把握していない	546	47.0%	
	無回答	9	0.8%	
<b>⑩ 本人が状態等の変化時に、必要な医療や介護等の専門的支援にスムーズにつながるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	62	5.3%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	243	20.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	127	10.9%	
	今年度からみられるようになった	23	2.0%	
	まだない	258	22.2%	
	把握していない	440	37.9%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑪ 認知症が進行した人や施設等で暮らす人が、地域の中でつながり、生き生き過ごせるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	10	0.9%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	123	10.6%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	73	6.3%	
	今年度からみられるようになった	12	1.0%	
	まだない	381	32.8%	
	把握していない	554	47.7%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑫ 本人があたりまえのこと(人権)を守られて、自分らしく暮らしつづけられるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	24	2.1%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	166	14.3%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	86	7.4%	
	今年度からみられるようになった	11	0.9%	
	まだない	301	25.9%	
	把握していない	565	48.7%	
	無回答	8	0.7%	

⑬ 本人が次に続く本人のために相談にのったり、支え合うようになった				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	11	0.9%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	59	5.1%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	20	1.7%	
	今年度からみられるようになった	9	0.8%	
	まだない	560	48.2%	
	把握していない	493	42.5%	
	無回答	9	0.8%	
⑭ 本人が推進員とともに認知症施策推進や地域づくりの活動をするようになった				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	11	0.9%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	57	4.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	23	2.0%	
	今年度からみられるようになった	24	2.1%	
	まだない	705	60.7%	
	把握していない	332	28.6%	
	無回答	9	0.8%	
⑮ 若年性認知症の人が、上記①～⑭のいずれかで地域とつながる姿がみられるようになった				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	13	1.1%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	64	5.5%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	20	1.7%	
	今年度からみられるようになった	36	3.1%	
	まだない	569	49.0%	
	把握していない	440	37.9%	
	無回答	19	1.6%	
⑯ その他 本人の変化や成果がみられている				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	26	2.2%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	27	2.3%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	8	0.7%	
	今年度からみられるようになった	5	0.4%	
	まだない	285	24.5%	
	把握していない	327	28.2%	
	無回答	483	41.6%	
Ⅲ-2. 推進員活動を通じた「地域の変化・成果」				
① 住民が本人の声を聴こうとするようになった				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	48	4.1%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	188	16.2%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	104	9.0%	
	今年度からみられるようになった	28	2.4%	
	まだない	296	25.5%	
	把握していない	483	41.6%	
	無回答	14	1.2%	
② 住民が認知症を自分ごととしてとらえ、地域の本人と自然体でつきあう/関わるようになった				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	59	5.1%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	242	20.8%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	143	12.3%	
	今年度からみられるようになった	22	1.9%	
	まだない	245	21.1%	
	把握していない	442	38.1%	
	無回答	8	0.7%	
③ 地域の企業等で働く人たちが、認知症の人への関心を高め、配慮や工夫をするようになった				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	59	5.1%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	173	14.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	116	10.0%	
	今年度からみられるようになった	36	3.1%	
	まだない	307	26.4%	
	把握していない	461	39.7%	
	無回答	9	0.8%	

<b>④ 住民が地域の認知症カフェ等の集い場に参加し、本人と楽しく過ごしたり一緒に活動するようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	50	4.3%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	296	25.5%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	126	10.9%	
	今年度からみられるようになった	36	3.1%	
	まだない	339	29.2%	
	把握していない	303	26.1%	
	無回答	11	0.9%	
<b>⑤ 住民が本人の社会参加活動に加わり、一緒に活動するようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	19	1.6%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	88	7.6%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	43	3.7%	
	今年度からみられるようになった	10	0.9%	
	まだない	496	42.7%	
	把握していない	497	42.8%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑥ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人の声を聴くようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	70	6.0%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	273	23.5%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	93	8.0%	
	今年度からみられるようになった	13	1.1%	
	まだない	192	16.5%	
	把握していない	512	44.1%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑦ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人視点にたつて一緒に支援や連携の改善を図るようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	64	5.5%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	283	24.4%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	94	8.1%	
	今年度からみられるようになった	16	1.4%	
	まだない	203	17.5%	
	把握していない	493	42.5%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑧ 地域ケア会議等で、本人の声と本人視点を重視しながら、本人のよりよい暮らしや地域づくりに関して前向きな検討をするようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	111	9.6%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	393	33.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	87	7.5%	
	今年度からみられるようになった	39	3.4%	
	まだない	257	22.1%	
	把握していない	264	22.7%	
	無回答	10	0.9%	
<b>⑨ 医療・介護等の専門職の人たちが、地域の集い場や社会参加活動に参加したり、取組むようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	43	3.7%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	200	17.2%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	71	6.1%	
	今年度からみられるようになった	21	1.8%	
	まだない	380	32.7%	
	把握していない	437	37.6%	
	無回答	9	0.8%	
<b>⑩ 地域の中で本人と多職種、住民等がいっしょに楽しく活動するようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	28	2.4%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	128	11.0%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	48	4.1%	
	今年度からみられるようになった	9	0.0%	
	まだない	460	39.6%	
	把握していない	479	41.3%	
	無回答	9	0.8%	

<b>⑪ 地域の中で通信機器を活用して、本人とつながるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	4	0.3%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	24	2.1%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	13	1.1%	
	今年度からみられるようになった	14	1.2%	
	まだない	619	53.3%	
	把握していない	478	41.2%	
	無回答	9	0.8%	
<b>⑫ 地域の中での認知症バリアを本人とともに具体的にみつけ、バリアが少しずつ解消されるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	4	0.3%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	52	4.5%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	24	2.1%	
	今年度からみられるようになった	3	0.3%	
	まだない	562	48.4%	
	把握していない	507	43.7%	
	無回答	9	0.8%	
<b>⑬ 住民や関係者が、制度やサービスでは行き届かないことについて、自発的な取り組みをするようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	25	2.2%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	97	8.4%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	27	2.3%	
	今年度からみられるようになった	31	2.7%	
	まだない	487	41.9%	
	把握していない	484	41.7%	
	無回答	10	0.9%	
<b>⑭ 本人の家族が、不安や負担を軽減し、本人との関係や家族なりの暮らしを継続できるようになった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	40	3.4%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	220	18.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	90	7.8%	
	今年度からみられるようになった	16	1.4%	
	まだない	266	22.9%	
	把握していない	514	44.3%	
	無回答	15	1.3%	
<b>⑮ その他 地域の変化や成果がある</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	76	6.5%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	33	2.8%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	9	0.8%	
	今年度からみられるようになった	10	0.9%	
	まだない	233	20.1%	
	把握していない	323	27.8%	
	無回答	477	41.1%	
<b>Ⅲ-3. 推進員活動を通じた施策担当者への「情報の流れや連携に関する変化・成果」</b>				
<b>① 他の行政部署の人から情報が入り、連携しやすくなった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	133	11.5%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	295	25.4%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	229	19.7%	
	今年度からみられるようになった	26	2.2%	
	まだない	344	29.6%	
	把握していない	120	10.3%	
	無回答	14	1.2%	
<b>② 警察関係者から情報が入り、連携しやすくなった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	181	15.6%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	259	22.3%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	275	23.7%	
	今年度からみられるようになった	34	2.9%	
	まだない	284	24.5%	
	把握していない	119	10.2%	
	無回答	9	0.8%	

③ 地域住民から情報が入り、連携しやすくなった				1,161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	145	12.5%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	289	24.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	315	27.1%	
	今年度からみられるようになった	28	2.4%	
	まだない	252	21.7%	
	把握していない	124	10.7%	
	無回答	8	0.7%	
④ 地元の企業等、多様な分野の人から情報が入り、連携しやすくなった				1,161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	69	5.9%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	220	18.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	160	13.8%	
	今年度からみられるようになった	35	3.0%	
	まだない	483	41.6%	
	把握していない	186	16.0%	
	無回答	8	0.7%	
⑤ (他の)地域包括支援センターから情報が入り、連携しやすくなった				1,161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	147	12.7%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	254	21.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	152	13.1%	
	今年度からみられるようになった	15	1.3%	
	まだない	396	34.1%	
	把握していない	172	14.8%	
	無回答	25	2.2%	
⑥ 医療関係者から情報が入り、連携しやすくなった				1,161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	148	12.7%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	309	26.6%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	230	19.8%	
	今年度からみられるようになった	13	1.1%	
	まだない	294	25.3%	
	把握していない	158	13.6%	
	無回答	9	0.8%	
⑦ 介護関係者から情報が入り、連携しやすくなった				1,161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	133	11.5%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	337	29.0%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	230	19.8%	
	今年度からみられるようになった	17	1.5%	
	まだない	288	24.8%	
	把握していない	147	12.7%	
	無回答	9	0.8%	
⑧ 権利擁護の関係者から情報が入り、連携しやすくなった				1,161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	77	6.6%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	223	19.2%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	142	12.2%	
	今年度からみられるようになった	16	1.4%	
	まだない	487	41.9%	
	把握していない	206	17.7%	
	無回答	10	0.9%	
⑨ 他の推進員から情報が入り、連携しやすくなった				1,161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	104	9.0%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	216	18.6%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	110	9.5%	
	今年度からみられるようになった	15	1.3%	
	まだない	488	42.0%	
	把握していない	208	17.9%	
	無回答	20	0.0%	

<b>⑩ 生活支援コーディネーターから情報が入り、連携しやすくなった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	117	10.1%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	240	20.7%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	113	9.7%	
	今年度からみられるようになった	43	3.7%	
	まだない	482	41.5%	
	把握していない	157	13.5%	
	無回答	9	0.8%	
<b>⑪ 本人自身から情報が入り、連携しやすくなった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	35	3.0%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	142	12.2%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	84	7.2%	
	今年度からみられるようになった	19	1.6%	
	まだない	655	56.4%	
	把握していない	218	18.8%	
	無回答	8	0.7%	
<b>⑫ 家族から情報が入り、連携しやすくなった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	112	9.6%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	278	23.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	242	20.8%	
	今年度からみられるようになった	31	2.7%	
	まだない	313	27.0%	
	把握していない	176	15.2%	
	無回答	9	0.8%	
<b>⑬ 必要な時や困った時に、相談して助けてもらえる人が広がった</b>				1161
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	124	10.7%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	330	28.4%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	134	11.5%	
	今年度からみられるようになった	35	3.0%	
	まだない	297	25.6%	
	把握していない	225	19.4%	
	無回答	16	1.4%	
<b>Ⅲ-4. あなたの市区町村での「認知症とともに生きる地域共生」の進捗状況</b>				
<b>① 地域の認知症の本人が、希望をもって自分らしく暮らしてつづけるようになってきている</b>				1161
	年々、拡充してきている	13	1.1%	
	少しずつ進みつつある	463	39.9%	
	今年度から動きだしてきている	44	3.8%	
	今年度はまだだが、来年度から動きだす(予定含む)	228	19.6%	
	まだ動きも予定もない	395	34.0%	
	無回答	18	1.6%	
<b>② 認知症があってもなくても、同じ地域とともに生きる姿が広がってきている</b>				1161
	年々、拡充してきている	21	1.8%	
	少しずつ進みつつある	533	45.9%	
	今年度から動きだしてきている	44	3.8%	
	今年度はまだだが、来年度から動きだす(予定含む)	196	16.9%	
	まだ動きも予定もない	350	30.1%	
	無回答	17	1.5%	

#### IV. 推進員活動(事業)を担当してみたの自分なりの思いや体験

		回答数	割合
<b>IV-1. 推進員活動を担当してみたのご自身の感想や率直な思い</b>			
<b>① 推進員活動(事業)を担当し、やっていて楽しい</b>			
	非常にそう思う	87	7.5%
	そう思う	628	54.1%
	あまり思わない	367	31.6%
	思わない	64	5.5%
	無回答	15	1.3%
<b>② 推進員活動(事業)を担当し、やりがいがある</b>			
	非常にそう思う	148	12.7%
	そう思う	739	63.7%
	あまり思わない	222	19.1%
	思わない	37	3.2%
	無回答	15	1.3%
<b>③ 推進員活動(事業)を担当し、これまではやりたくても十分にできなかったことがやれてうれしい</b>			
	非常にそう思う	49	4.2%
	そう思う	437	37.6%
	あまり思わない	555	47.8%
	思わない	106	9.1%
	無回答	14	1.2%
<b>④ 推進員活動(事業)を担当し、新しいことや未解決のことにチャレンジできておもしろい</b>			
	非常にそう思う	74	6.4%
	そう思う	548	47.2%
	あまり思わない	445	38.3%
	思わない	80	6.9%
	無回答	14	1.2%
<b>⑤ 推進員活動(事業)を担当し、自分の力が引き出されたり、つながりが広がって、自分のためになっている</b>			
	非常にそう思う	107	9.2%
	そう思う	710	61.2%
	あまり思わない	273	23.5%
	思わない	57	4.9%
	無回答	14	1.2%
<b>⑥ 推進員活動(事業)の担当を、今後も継続したい</b>			
	非常にそう思う	108	9.3%
	そう思う	714	61.5%
	あまり思わない	276	23.8%
	思わない	49	4.2%
	無回答	14	1.2%
<b>⑦ 推進員活動(事業)を担当していく上での、負担やストレスが大きい</b>			
	非常にそう思う	100	8.6%
	そう思う	493	42.5%
	あまり思わない	463	39.9%
	思わない	90	7.8%
	無回答	15	1.3%

V. 推進員活動を向上させていく上での課題や必要なことについて

		回答数	割合
<b>V-1. 自分の地域の推進員活動を向上させていく上での課題</b>			
<b>① 推進員として何をやってほしいか、役割・機能についての行政と推進員との具体的な話し合いが必要</b> 1161			
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	389	33.5%
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	547	47.1%
	自地域では大きな課題で、非常に必要	185	15.9%
	必要ではない	29	2.5%
	無回答	11	0.9%
<b>② 自地域のこれからのために、推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について行政と推進員との間で検討し、明確にすることが必要</b> 1161			
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	296	25.5%
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	623	53.7%
	自地域では大きな課題で、非常に必要	203	17.5%
	必要ではない	28	2.4%
	無回答	11	0.9%
<b>③ 推進員としてやるべきこと/やりたいことを主体的にやれるように、活動の自由度を高めることが必要</b> 1161			
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	331	28.5%
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	576	49.6%
	自地域では大きな課題で、非常に必要	155	13.4%
	必要ではない	88	7.6%
	無回答	11	0.9%
<b>④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要</b> 1161			
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	225	19.4%
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	654	56.3%
	自地域では大きな課題で、非常に必要	214	18.4%
	必要ではない	57	4.9%
	無回答	11	0.9%
<b>⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要</b> 1161			
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	222	19.1%
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	586	50.5%
	自地域では大きな課題で、非常に必要	294	25.3%
	必要ではない	48	4.1%
	無回答	11	0.9%
<b>⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじっくりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要</b> 1161			
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	250	21.5%
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	545	46.9%
	自地域では大きな課題で、非常に必要	224	19.3%
	必要ではない	130	11.2%
	無回答	12	1.0%
<b>⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫が必要(増員やフォーメーションづくり等)</b> 1161			
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	211	18.2%
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	539	46.4%
	自地域では大きな課題で、非常に必要	261	22.5%
	必要ではない	139	12.0%
	無回答	11	0.9%
<b>⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員が、それぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫が必要</b> 1161			
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	244	21.0%
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	423	36.4%
	自地域では大きな課題で、非常に必要	141	12.1%
	必要ではない	46	4.0%
	推進員が1人	287	24.7%
	無回答	20	1.7%



⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援が必要				1161
	自地域ですでになされているが、今後も必要	375	32.3%	
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	584	50.3%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	143	12.3%	
	必要ではない	48	4.1%	
	無回答	11	0.9%	
⑩ 施策担当者が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援が必要				1161
	自地域ですでになされているが、今後も必要	355	30.6%	
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	589	50.7%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	158	13.6%	
	必要ではない	41	3.5%	
	無回答	18	1.6%	
⑪ その他 課題がある				1161
	自地域ですでになされているが、今後も必要	116	10.0%	
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	55	4.7%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	31	2.7%	
	必要ではない	139	12.0%	
	無回答	820	70.6%	
V-2. 今後の推進員活動を向上させていくために必要な体制や支援等				
① 全国で行う推進員研修(新任者、現任者)				1161
	非常に必要	226	19.5%	
	必要	704	60.6%	
	必要ではない	217	18.7%	
	無回答	14	1.2%	
② 都道府県で行う推進員研修(新任者、現任者)				1161
	非常に必要	464	40.0%	
	必要	655	56.4%	
	必要ではない	32	2.8%	
	無回答	10	0.9%	
③ 全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク				1161
	非常に必要	219	18.9%	
	必要	792	68.2%	
	必要ではない	140	12.1%	
	無回答	10	0.9%	
④ 都道府県内での推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク				1161
	非常に必要	357	30.7%	
	必要	735	63.3%	
	必要ではない	59	5.1%	
	無回答	10	0.9%	
⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク				1161
	非常に必要	512	44.1%	
	必要	610	52.5%	
	必要ではない	29	2.5%	
	無回答	10	0.9%	
⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク				1161
	非常に必要	416	35.8%	
	必要	544	46.9%	
	必要ではない	169	14.6%	
	無回答	32	2.8%	
⑦ 推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ				1161
	非常に必要	396	34.1%	
	必要	723	62.3%	
	必要ではない	32	2.8%	
	無回答	10	0.9%	

⑧ 施策担当者が推進員活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ				1161
	非常に必要	353	30.4%	
	必要	753	64.9%	
	必要ではない	44	3.8%	
	無回答	11	0.9%	
⑨ 施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会				1161
	非常に必要	394	33.9%	
	必要	725	62.4%	
	必要ではない	32	2.8%	
	無回答	10	0.9%	
⑩ 情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援				1161
	非常に必要	282	24.3%	
	必要	752	64.8%	
	必要ではない	117	10.1%	
	無回答	10	0.9%	
⑪ 全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ				1,161
	非常に必要	306	26.4%	
	必要	787	67.8%	
	必要ではない	48	4.1%	
	無回答	20	1.7%	
⑫ その他				1,161
	非常に必要	44	3.8%	
	必要	53	4.6%	
	必要ではない	125	10.8%	
	無回答	939	80.9%	

## 【推進員調査】の結果

令和2年度厚生労働省老健事業  
認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業  
認知症地域支援推進員活動全国調査  
【推進員用】

◆ 調査対象について

1. 回答者について

1	調査対象者	6,978	人
2	回答者	3,402	人
3	回答率	48.8%	

○推進員の基本情報について

1. あなたが推進員として配置されている自治体

全国

④人口(階級)

	回答数	割合
1万人未満	384	11.3%
1万以上3万未満	531	15.6%
3万以上10万未満	882	25.9%
10万以上20万未満	535	15.7%
20万以上	990	29.1%
無回答	80	2.4%

3,402

⑤高齢化率(階級)

	回答数	割合
25%未満	573	16.8%
30%未満	1,026	30.2%
35%未満	776	22.8%
40%未満	565	16.6%
40%以上	376	11.1%
無回答	86	2.5%

3,402

⑥日常生活圏域数(階級)

	回答数	割合
1圏	892	26.2%
2圏以上5圏未満	626	18.4%
5圏以上8圏未満	588	17.3%
8圏以上11圏未満	350	10.3%
11圏以上13圏未満	127	3.7%
13圏以上15圏未満	88	2.6%
15圏以上	582	17.1%
無回答	149	4.4%

3,402

## ⑦市区町村の推進員配置総数(階級)

	回答数	割合
1人	353	10.4%
2人以上3人未満	354	10.4%
3人以上5人未満	626	18.4%
5人以上7人未満	415	12.2%
7人以上9人未満	299	8.8%
9人以上11人未満	207	6.1%
11人以上20人未満	446	13.1%
20人以上200人未満	588	17.3%
無回答	114	3.4%

3,402

## 2. あなたご自身や推進員としての配置等について

### ①年齢

	回答数	割合
20代	178	5.2%
30代	678	19.9%
40代	1,230	36.2%
50代	957	28.1%
60代以上	341	10.0%
無回答	18	0.5%

3,402

## ②活動に関連する保有資格等

	回答数	割合
医師	1	0.0%
歯科医師	1	0.0%
薬剤師	3	0.1%
歯科衛生士	29	0.9%
栄養士	26	0.8%
保健師	890	26.2%
助産師	15	0.4%
看護師	1,166	34.3%
准看護師	67	2.0%
理学療法士	13	0.4%
作業療法士	30	0.9%
言語聴覚士	8	0.2%
視能訓練士	0	0.0%
義肢装具士	0	0.0%
あん摩マッサージ指圧師	0	0.0%
はり師	5	0.1%
きゅう師	1	0.0%
柔道整復師	5	0.1%
社会福祉士	1,280	37.6%
精神保健福祉士	266	7.8%
介護福祉士	865	25.4%
介護支援専門員	1,862	54.7%
認知症介護指導者	26	0.8%
その他	160	4.7%

3,402

※複数回答の為、分母は回答者数。

### ③推進員として配置された年度

	回答数	割合
平成23年度以前	14	0.4%
平成24年度	30	0.9%
平成25年度	58	1.7%
平成26年度	84	2.5%
平成27年度	290	8.5%
平成28年度	450	13.2%
平成29年度	543	16.0%
平成30年度	671	19.7%
平成31年(令和元年)度	690	20.3%
令和2年度	507	14.9%
不明	28	0.8%
無回答	37	1.1%

3,402

### 配置年数

	回答数	割合
1年未満	507	14.9%
1～3年未満	1,361	40.0%
3～5年未満	993	29.2%
5年以上	476	14.0%
無回答	65	1.9%

3,402

### ④推進員として配置されている組織

	回答数	割合
市区町村役所	374	11.0%
市区町村直営地域包括支援センター	970	28.5%
委託型地域包括支援センター	1,794	52.7%
社会福祉協議会(本体)	86	2.5%
認知症疾患医療センター	31	0.9%
5以外の医療機関	28	0.8%
介護事業所	67	2.0%
その他	37	1.1%
無回答	15	0.4%

3,402

## 配置組織

	回答数	割合	3,402
市区町村役所	374	11.0%	
市区町村直営地域包括支援センター	970	28.5%	
委託型地域包括支援センター	1,794	52.7%	
その他	249	7.3%	
無回答	15	0.4%	

## ⑤市区町村の認知症施策担当と推進員を兼任

	回答数	割合	3,402
している	847	24.9%	
していない	2,274	66.8%	
無回答	281	8.3%	

## ⑥組織の中で何代目か

	回答数	割合	3,402
自分が初めての推進員	1,190	35.0%	
2代目	877	25.8%	
3代目以上	872	25.6%	
不明	330	9.7%	
無回答	133	3.9%	

## ⑦勤務形態

	回答数	割合	3,402
常勤	3,050	89.7%	
非常勤	319	9.4%	
無回答	33	1.0%	

## ⑧推進員としての配置形態

	回答数	割合	3,402
推進員として専任配置（下記⑨の連携担当の役割を兼務する場合も含む）	508	14.9%	
他の業務と兼任配置	2,854	83.9%	
無回答	40	1.2%	



⑨あなたが担っている推進員以外の連携担当の役割

	回答数	割合
初期集中支援チーム員	1,740	51.1%
生活支援コーディネーター	426	12.5%
相談支援包括化推進員	123	3.6%
高齢者の就労的活動のコーディネーター	7	0.2%
在宅医療・介護連携推進に関するコーディネーター	206	6.1%
若年性認知症支援コーディネーター	34	1.0%
その他	604	17.8%

3,402

※複数回答の為、分母は回答者数。

⑩あなたが推進員として担当している区域

	回答数	割合
市区町村全体を担当	1,509	44.4%
一つの地域包括支援センターより広域の区域を担当	137	4.0%
一つの地域包括支援センター区域を担当	1,648	48.4%
一つの市区町村を超えて、広域で担当	5	0.1%
その他	49	1.4%
無回答	54	1.6%

3,402

⑪あなたの全ての仕事の中で推進員業務が占める割合(エフォート)(階級)

	回答数	割合
10%未満	468	13.8%
10%以上、30%未満	1,482	43.6%
30%以上、60%未満	910	26.7%
60%以上	440	12.9%
無回答	102	3.0%

3,402

I. 推進員活動に関する環境整備・体制について

	全国	
	回答数	割合
I-1. 認知症施策担当者と推進員との関係づくりや協働について		
① 実際に会ったり、電話をして、直接話しをしている		
日常的にある	1,690	49.7%
時々ある	1,071	31.5%
あまりない	324	9.5%
(ほとんど)ない	246	7.2%
無回答	71	2.1%
② お互いの気づきや意見を率直に話し合っている		
日常的にある	1,393	40.9%
時々ある	1,172	34.5%
あまりない	483	14.2%
(ほとんど)ない	290	8.5%
無回答	64	1.9%

3,402

3,402

③ 認知症施策担当者が、推進員の個性ややりたいことを大切にしている				3,402
	日常的にある	1,231	36.2%	
	時々ある	1,251	36.8%	
	あまりない	541	15.9%	
	(ほとんど)ない	304	8.9%	
	無回答	75	2.2%	
④ 担当者と推進員と一緒に、地元の認知症の本人の話を聴いたり本人と過ごしている				3,402
	日常的にある	397	11.7%	
	時々ある	844	24.8%	
	あまりない	984	28.9%	
	(ほとんど)ない	1,107	32.5%	
	無回答	70	2.1%	
⑤ 事業や取組みを実際に行う際に、認知症施策担当者と推進員が現場と一緒に協力している				3,402
	日常的にある	807	23.7%	
	時々ある	1,168	34.3%	
	あまりない	672	19.8%	
	(ほとんど)ない	686	20.2%	
	無回答	69	2.0%	
⑥ 推進員が悩んだり困っている時に、認知症施策担当者に相談したり助けを求めている				3,402
	日常的にある	1,088	32.0%	
	時々ある	1,195	35.1%	
	あまりない	598	17.6%	
	(ほとんど)ない	449	13.2%	
	無回答	72	2.1%	
⑦ 認知症施策担当者が悩んだり困っている時に、推進員に相談したり助けを求めている				3,402
	日常的にある	831	24.4%	
	時々ある	1,198	35.2%	
	あまりない	723	21.3%	
	(ほとんど)ない	575	16.9%	
	無回答	75	2.2%	
⑧ 認知症施策担当者が推進員の意見や提案を聴き、それらを計画作り/予算に反映している				3,402
	日常的にある	971	28.5%	
	時々ある	1,310	38.5%	
	あまりない	587	17.3%	
	(ほとんど)ない	444	13.1%	
	無回答	90	2.6%	
I-2. 認知症施策担当者と推進員による、わがまちが目指す姿(ビジョン)の共有				
① 認知症の本人がどんな姿で暮らすようになってほしいか、わがまちが目指す本人の姿を共有している				3,402
	具体的に共有している	449	13.2%	
	ある程度共有している	1,836	54.0%	
	あまりしていない	857	25.2%	
	していない	236	6.9%	
	無回答	24	0.7%	
② 市区町村がどんな地域になってほしいか、わがまちが目指す地域の姿を共有している				3,402
	具体的に共有している	450	13.2%	
	ある程度共有している	1,871	55.0%	
	あまりしていない	833	24.5%	
	していない	223	6.6%	
	無回答	25	0.7%	

I-3. 認知症施策担当者と推進員による現状と課題の共有			
① 本人がどのように暮らしているのか、その現状と課題を共有している			
	具体的に共有している	362	10.6%
	ある程度共有している	1,686	49.6%
	あまりしていない	1,040	30.6%
	していない	287	8.4%
	無回答	27	0.8%
② 認知症をめぐる地域で起きていることの現状と課題を共有している			
	具体的に共有している	386	11.3%
	ある程度共有している	1,861	54.7%
	あまりしていない	892	26.2%
	していない	233	6.8%
	無回答	30	0.9%
I-4. 認知症施策担当者と推進員の、推進員活動の機能・役割の共有			
① 自地域で必要な推進員活動の機能・役割について共有している			
	具体的に共有している	436	12.8%
	ある程度共有している	1,779	52.3%
	あまりしていない	923	27.1%
	していない	236	6.9%
	無回答	28	0.8%
② ①の中でも、今後特に自地域で注力すべき推進員活動の焦点について共有している			
	具体的に共有している	293	8.6%
	ある程度共有している	1,349	39.7%
	あまりしていない	1,375	40.4%
	していない	348	10.2%
	無回答	37	1.1%
I-5. 認知症施策担当者と推進員との、活動方針の共有			
① 事業をこなすことを焦らずに、誰のために、何のために活動するのか、目的を見失わないようにする			
	具体的に共有している	461	13.6%
	ある程度共有している	1,942	57.1%
	あまりしていない	761	22.4%
	していない	211	6.2%
	無回答	27	0.8%
② 認知症を自分事として考え、本人と地域が希望を持てるあり方をともに作りだしていく			
	具体的に共有している	407	12.0%
	ある程度共有している	1,878	55.2%
	あまりしていない	892	26.2%
	していない	200	5.9%
	無回答	25	0.7%
③ 地域の中にある古い認知症観や取組み方を、推進員が活動を通じて転換していく			
	具体的に共有している	335	9.8%
	ある程度共有している	1,714	50.4%
	あまりしていない	1,049	30.8%
	していない	274	8.1%
	無回答	30	0.9%
④ 地元の本人参画、本人視点で事業や取組みを進める			
	具体的に共有している	255	7.5%
	ある程度共有している	1,271	37.4%
	あまりしていない	1,414	41.6%
	していない	435	12.8%
	無回答	27	0.8%
⑤ 地域の特徴やあるものを大切に活かし、自地域ならではの取組みを進めていく			
	具体的に共有している	324	9.5%
	ある程度共有している	1,619	47.6%
	あまりしていない	1,146	33.7%
	していない	286	8.4%
	無回答	27	0.8%

⑥ 推進員が、本人や地域の現状・課題を行政につなぐパイプ役を果たす				3,402
具体的に共有している	374	11.0%		
ある程度共有している	1,675	49.2%		
あまりしていない	1,052	30.9%		
していない	275	8.1%		
無回答	26	0.8%		
⑦ 推進員が企画をたて、行政と協働しながら、自発的な活動を展開していく				3,402
具体的に共有している	381	11.2%		
ある程度共有している	1,363	40.1%		
あまりしていない	1,209	35.5%		
していない	419	12.3%		
無回答	30	0.9%		
⑧ 当初の計画等の枠内でとどまらずに、やりながらよりよい取組みに発展させていく				3,402
具体的に共有している	364	10.7%		
ある程度共有している	1,494	43.9%		
あまりしていない	1,160	34.1%		
していない	357	10.5%		
無回答	27	0.8%		
⑨ 事業や取組みを単発で行わず、その後の継続や展開の仕方を常に考えながら行う				3,402
具体的に共有している	373	11.0%		
ある程度共有している	1,672	49.1%		
あまりしていない	1,022	30.0%		
していない	309	9.1%		
無回答	26	0.8%		
⑩ 事業や取組みをバラバラに行わず、本人視点で事業等をつなげ、統合していく				3,402
具体的に共有している	258	7.6%		
ある程度共有している	1,352	39.7%		
あまりしていない	1,365	40.1%		
していない	391	11.5%		
無回答	36	1.1%		
I-6. 「推進員の活動のしやすさ」への市区町村としての配慮や取組み				
① 推進員の職場の管理者・上司等に、推進員活動の理解や協力を得るための行政からの説明や後押し				3,402
十分にある	626	18.4%		
ある程度ある	1,582	46.5%		
あまりない	857	25.2%		
ない	298	8.8%		
無回答	39	1.1%		
② 関係組織(医師会、自治会、警察、企業等)に推進員活動が進めやすくなるための行政からの説明や後押し				3,402
十分にある	277	8.1%		
ある程度ある	1,296	38.1%		
あまりない	1,381	40.6%		
ない	407	12.0%		
無回答	41	1.2%		
③ 推進員の存在や活動を、行政として地域へ広く発信・周知				3,402
十分にある	233	6.8%		
ある程度ある	1,312	38.6%		
あまりない	1,443	42.4%		
ない	376	11.1%		
無回答	38	1.1%		
④ 推進員が地域連携を進めやすくするための、行政内の分野横断の片内連携				3,402
十分にある	174	5.1%		
ある程度ある	1,010	29.7%		
あまりない	1,625	47.8%		
ない	543	16.0%		
無回答	50	1.5%		

<b>⑤ 推進員が実際の活動上、必要となった具体的な地域連携のための行政としてのつなぎや調整</b>				3,402
十分にある	341	10.0%		
ある程度ある	1,488	43.7%		
あまりない	1,161	34.1%		
ない	365	10.7%		
無回答	47	1.4%		
<b>⑥ 推進員が活動を進める上で必要になった場所や資材、資金等の調整・支援</b>				3,402
十分にある	390	11.5%		
ある程度ある	1,510	44.4%		
あまりない	1,027	30.2%		
ない	427	12.6%		
無回答	48	1.4%		
<b>⑦ 推進員が活動を進める上で必要な情報や参考になる地域・人の情報提供やつなぎ</b>				3,402
十分にある	348	10.2%		
ある程度ある	1,686	49.6%		
あまりない	1,001	29.4%		
ない	322	9.5%		
無回答	45	1.3%		
<b>⑧ 推進員が事業や取組みに踏み出せるための勇気づけや後押し</b>				3,402
十分にある	361	10.6%		
ある程度ある	1,463	43.0%		
あまりない	1,141	33.5%		
ない	395	11.6%		
無回答	42	1.2%		
<b>⑨ 推進員活動を進めながら失敗やトラブルが生じた際、行政と一緒に考え、助力やカバーがある</b>				3,402
十分にある	507	14.9%		
ある程度ある	1,580	46.4%		
あまりない	903	26.5%		
ない	360	10.6%		
無回答	52	1.5%		
<b>⑩ その他「推進員の活動のしやすさ」への行政の配慮や取組み</b>				3,402
十分にある	447	13.1%		
ある程度ある	673	19.8%		
あまりない	907	26.7%		
ない	506	14.9%		
無回答	869	25.5%		
<b>I-7. 推進員同士がつながり、話し合い、学びあう機会等</b>				
<b>① 同じ市区町村内の推進員同士が集まり/つながり、話し合ったり学び合う機会がある ※市区町村内に推進員が一人の場合は、右欄に「0(ゼロ)」をご記入下さい</b>				3,402
十分にある	874	25.7%		
ある程度ある	1,390	40.9%		
あまりない	536	15.8%		
ない	349	10.3%		
推進員が1人	50	1.5%		
無回答	203	6.0%		
<b>② 近隣の市区町村の推進員同士がつながり、話し合ったり学び合う機会がある</b>				3,402
十分にある	133	3.9%		
ある程度ある	662	19.5%		
あまりない	1,229	36.1%		
ない	1,343	39.5%		
無回答	35	1.0%		

③ 情報共有や相談等をしあうための行政関係者と推進員とのメールやライン等のネットワークがある				3,402
	十分にある	706	20.8%	
	ある程度ある	1,083	31.8%	
	あまりない	637	18.7%	
	ない	938	27.6%	
	無回答	38	1.1%	
④ 推進員同士等がつながり学び合うためのネット環境の整備に関して、市区町村の支援や後押しがある				3,402
	十分にある	315	9.3%	
	ある程度ある	792	23.3%	
	あまりない	1,017	29.9%	
	ない	1,236	36.3%	
	無回答	42	1.2%	
⑤ 推進員同士の情報や活動に関する通信を市区町村が出している/推進員が出すのを支援している				3,402
	十分にある	227	6.7%	
	ある程度ある	705	20.7%	
	あまりない	944	27.7%	
	ない	1,486	43.7%	
	無回答	40	1.2%	
⑥ 都道府県や全国の推進員研修や集まりに参加できるよう市区町村の支援がある				3,402
	十分にある	753	22.1%	
	ある程度ある	1,535	45.1%	
	あまりない	631	18.5%	
	ない	448	13.2%	
	無回答	35	1.0%	
⑦ 他地域の推進員の活動や好事例等に関して、市区町村から情報提供がある				3,402
	十分にある	291	8.6%	
	ある程度ある	1,208	35.5%	
	あまりない	1,124	33.0%	
	ない	740	21.8%	
	無回答	39	1.1%	
⑧ その他 推進員同士のつながり等に関する市区町村の取組みがある				3,402
	十分にある	435	12.8%	
	ある程度ある	483	14.2%	
	あまりない	795	23.4%	
	ない	981	28.8%	
	無回答	708	20.8%	
I-8. 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」や「質の評価」等				
① 推進員活動の「PDCA(計画・実践・見直し・改善)」に取り組んでいる				3,402
	認知症施策担当者と推進員と一緒に取り組んでいる	1,086	31.9%	
	推進員同士が自主的に取り組んでいる	353	10.4%	
	推進員が個人で取り組んでいる	553	16.3%	
	行っていない	1,372	40.3%	
	無回答	38	1.1%	
② 推進員活動の「質の評価」に取り組んでいる				3,402
	認知症施策担当者と推進員と一緒に取り組んでいる	629	18.5%	
	推進員同士が自主的に取り組んでいる	291	8.6%	
	推進員が個人で取り組んでいる	469	13.8%	
	行っていない	1,976	58.1%	
	無回答	37	1.1%	
③ 自治体内の推進員活動の取組みの実際や成果等に関する冊子や事例集等を作成している				3,402
	認知症施策担当者と推進員と一緒に取り組んでいる	333	9.8%	
	推進員同士が自主的に取り組んでいる	105	3.1%	
	推進員が個人で取り組んでいる	148	4.4%	
	行っていない	2,777	81.6%	
	無回答	39	1.1%	

④ 推進員活動の取組みの実際や成果等を、自治体等のホームページ(HP)で地域に発信している				3,402
	認知症施策担当者と推進員と一緒に取組んでいる	465	13.7%	
	推進員同士が自主的に取組んでいる	107	3.1%	
	推進員が個人で取組んでいる	164	4.8%	
	行っていない	2,624	77.1%	
	無回答	42	1.2%	
⑤ 推進員活動の実際や成果等を、ホームページ(HP)や報告会以外の方法で地域にPRしている				3,402
	認知症施策担当者と推進員と一緒に取組んでいる	443	13.0%	
	推進員同士が自主的に取組んでいる	170	5.0%	
	推進員が個人で取組んでいる	275	8.1%	
	行っていない	2,474	72.7%	
	無回答	40	1.2%	
⑥ 推進員活動の報告会を開き、活動の向上に関する話し合いを行っている				3,402
	認知症施策担当者と推進員と一緒に取組んでいる	834	24.5%	
	推進員同士が自主的に取組んでいる	194	5.7%	
	推進員が個人で取組んでいる	126	3.7%	
	行っていない	2,201	64.7%	
	無回答	47	1.4%	
⑥-1 報告会を行っている場合、下記の該当する番号を1つ選択して右欄にご記入下さい				3,402
	地域で公開して実施	51	1.5%	
	活動の関係者が参加して実施	452	13.3%	
	推進員のみで実施	492	14.5%	
	その他	227	6.7%	
	無回答	2,180	64.1%	
I-9. 市区町村としての推進員活動が持続発展していくための、行政の配慮・工夫等				
① 推進員が異動せずに継続的に活動できるための調整や働きかけ				3,402
	具体的にある	165	4.9%	
	具体的ではないがある	607	17.8%	
	あまりない	1,053	31.0%	
	ない	1,486	43.7%	
	無回答	91	2.7%	
② 推進員が異動した場合、その人が望む場合は異動先で推進員として活動を続けるための調整や位置づけ				3,402
	具体的にある	54	1.6%	
	具体的ではないがある	278	8.2%	
	あまりない	930	27.3%	
	ない	2,036	59.8%	
	無回答	104	3.1%	
③ 推進員が退職等した場合、その人が望む場合は、活動に参画できるための調整や支援				3,402
	具体的にある	43	1.3%	
	具体的ではないがある	300	8.8%	
	あまりない	873	25.7%	
	ない	2,085	61.3%	
	無回答	101	3.0%	
④ 推進員が交代した場合、前任者が後任者に引き継ぎをするための機会作りや支援				3,402
	具体的にある	225	6.6%	
	具体的ではないがある	881	25.9%	
	あまりない	901	26.5%	
	ない	1,298	38.2%	
	無回答	97	2.9%	
⑤ その他 推進員活動が持続発展していくための配慮や工夫				3,402
	具体的にある	192	5.6%	
	具体的ではないがある	374	11.0%	
	あまりない	886	26.0%	
	ない	1,115	32.8%	
	無回答	835	24.5%	

I-10. 市区町村の認知症施策を推進していくための、推進員の適正な配置と工夫等			
① 市区町村が、推進員として適切な人材を配置できるよう関係機関等との調整や働きかけをしている			
	具体的にしている	407	12.0%
	具体的ではないがしている	981	28.8%
	あまりしていない	1,022	30.0%
	していない	896	26.3%
	無回答	96	2.8%
② 市区町村が、適切な推進員数を検討し、その数の確保のための調整や働きかけをしている			
	具体的にしている	599	17.6%
	具体的ではないがしている	1,099	32.3%
	あまりしていない	926	27.2%
	していない	680	20.0%
	無回答	98	2.9%
③ 市区町村が、効果的な「推進員の配置先」を検討し、配置先の工夫や調整をしている			
	具体的にしている	403	11.8%
	具体的ではないがしている	765	22.5%
	あまりしていない	1,189	35.0%
	していない	936	27.5%
	無回答	109	3.2%
④ 市区町村が、配置している推進員の機能を活かしていくために、推進員とともに活動する人材の配置や活動のフォーメーション作りの工夫をしている			
	具体的にしている	182	5.3%
	具体的ではないがしている	517	15.2%
	あまりしていない	1,382	40.6%
	していない	1,168	34.3%
	無回答	153	4.5%

## II. 推進員活動の実際(プロセス)について

		回答数	割合
II-1. ご自身の活動のしかた(スタンス)について			
① 認知症の人への偏見や先入観をもたずに、「地域の一員」として、本人と自然体で向きあっている			
	日常的にやっている	2,311	67.9%
	時々やっている	674	19.8%
	やりたいがあまりやれていない	351	10.3%
	考えていない	38	1.1%
	無回答	28	0.8%
② 認知症の人が暮らす場や過ごす場に足を運び、時間をともにしながらつきあっている			
	日常的にやっている	765	22.5%
	時々やっている	1,125	33.1%
	やりたいがあまりやれていない	1,427	41.9%
	考えていない	56	1.6%
	無回答	29	0.9%
③ 本人の声(思いや意見等)を聴きながら、認知症とともに生きることや必要なことを、本人から学んでいる			
	日常的にやっている	1,108	32.6%
	時々やっている	1,126	33.1%
	やりたいがあまりやれていない	1,107	32.5%
	考えていない	33	1.0%
	無回答	28	0.8%
④ 活動をする時は、本人の声を聴きながら、本人が活動に参画できるチャンスをつくっている			
	日常的にやっている	651	19.1%
	時々やっている	869	25.5%
	やりたいがあまりやれていない	1,793	52.7%
	考えていない	60	1.8%
	無回答	29	0.9%



<b>⑤ 立場や職種に関わらず、様々な人たちに本人の声を聴くことや本人視点の大切さを伝えている</b>				3,402
	日常的にやっている	1,004	29.5%	
	時々やっている	1,165	34.2%	
	やりたいがあまりやれていない	1,150	33.8%	
	考えていない	53	1.6%	
	無回答	30	0.9%	
<b>⑥ 地域に出向いて多様な住民や地域で働く人に出会い、思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる</b>				3,402
	日常的にやっている	553	16.3%	
	時々やっている	985	29.0%	
	やりたいがあまりやれていない	1,737	51.1%	
	考えていない	98	2.9%	
	無回答	29	0.9%	
<b>⑦ 医療現場や医療職の集まりにできるだけ出向いて、医療関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる</b>				3,402
	日常的にやっている	234	6.9%	
	時々やっている	680	20.0%	
	やりたいがあまりやれていない	2,172	63.8%	
	考えていない	286	8.4%	
	無回答	30	0.9%	
<b>⑧ 介護現場や介護職の集まりにできるだけ出向いて、介護関係者の思いや意見を聴きながら一緒に取り組んでいる</b>				3,402
	日常的にやっている	270	7.9%	
	時々やっている	892	26.2%	
	やりたいがあまりやれていない	2,000	58.8%	
	考えていない	210	6.2%	
	無回答	30	0.9%	
<b>⑨ 権利擁護の現場や関係者の集まりにできるだけ出向いて、関係者の思いや意見を聴き、一緒に取り組んでいる</b>				3,402
	日常的にやっている	213	6.3%	
	時々やっている	635	18.7%	
	やりたいがあまりやれていない	2,205	64.8%	
	考えていない	318	9.3%	
	無回答	31	0.9%	
<b>⑩ 活動を自分や一部の人たちで進めずに、多様な立場や職種の人たちをつながりながら進めている</b>				3,402
	日常的にやっている	512	15.0%	
	時々やっている	1,125	33.1%	
	やりたいがあまりやれていない	1,638	48.1%	
	考えていない	96	2.8%	
	無回答	31	0.9%	
<b>⑪ 事業を単発で考えずに、事業後の展開や事業と事業のつながりをつくることを考えながら取り組んでいる</b>				3,402
	日常的にやっている	663	19.5%	
	時々やっている	1,139	33.5%	
	やりたいがあまりやれていない	1,447	42.5%	
	考えていない	120	3.5%	
	無回答	33	1.0%	
<b>⑫ いきなり大きなことではなく、できる(小さな)ことをみつけ、やってみながら工夫や改善を重ねている</b>				3,402
	日常的にやっている	858	25.2%	
	時々やっている	1,443	42.4%	
	やりたいがあまりやれていない	990	29.1%	
	考えていない	78	2.3%	
	無回答	33	1.0%	
<b>⑬ 楽しいことを考え、事業や活動が楽しくなる工夫をしている</b>				3,402
	日常的にやっている	707	20.8%	
	時々やっている	1,188	34.9%	
	やりたいがあまりやれていない	1,312	38.6%	
	考えていない	140	4.1%	
	無回答	55	1.6%	

II-2. 個別の相談・支援体制作りについて			
① 本人が思いや望みを表せるように、関わり方や環境づくりの工夫をしている			
	日常的にやっている	1,289	37.9%
	時々やっている	1,078	31.7%
	やりたいがあまりやれていない	961	28.2%
	考えていない	40	1.2%
	無回答	34	1.0%
② 本人の声を聴き、本人の力を活かしながら、本人が望む暮らしがかなうための支援・調整をしている			
	日常的にやっている	1,364	40.1%
	時々やっている	1,093	32.1%
	やりたいがあまりやれていない	874	25.7%
	考えていない	42	1.2%
	無回答	29	0.9%
③ 家族の声を聴き、家族の力を活かしながら、家族が望む暮らしがかなうための支援・調整をしている			
	日常的にやっている	1,367	40.2%
	時々やっている	1,234	36.3%
	やりたいがあまりやれていない	734	21.6%
	考えていない	38	1.1%
	無回答	29	0.9%
④ 関わった本人と家族に必要な医療が届くように、医療職等と話し合い、支援・調整をしている			
	日常的にやっている	1,107	32.5%
	時々やっている	1,307	38.4%
	やりたいがあまりやれていない	887	26.1%
	考えていない	72	2.1%
	無回答	29	0.9%
⑤ 関わった本人と家族に必要な生活支援が届くように、多様な関係者と話し合い、支援・調整をしている			
	日常的にやっている	1,243	36.5%
	時々やっている	1,314	38.6%
	やりたいがあまりやれていない	769	22.6%
	考えていない	47	1.4%
	無回答	29	0.9%
⑥ 関わった本人と家族に必要な介護が届くように、介護職等と話し合い、支援・調整をしている			
	日常的にやっている	1,286	37.8%
	時々やっている	1,294	38.0%
	やりたいがあまりやれていない	741	21.8%
	考えていない	52	1.5%
	無回答	29	0.9%
⑦ 関わった本人と家族に必要な支援が一体的に届くように、支援体制をつくるための話し合いや調整をしている			
	日常的にやっている	1,000	29.4%
	時々やっている	1,236	36.3%
	やりたいがあまりやれていない	1,074	31.6%
	考えていない	62	1.8%
	無回答	30	0.9%
⑧ 個別相談で足りない支援や資源があった場合、その個人のために必要な支援や資源を新たに作り出す活動をしている			
	日常的にやっている	243	7.1%
	時々やっている	549	16.1%
	やりたいがあまりやれていない	2,373	69.8%
	考えていない	206	6.1%
	無回答	31	0.9%
⑨ 一人と継続的に関わり、得られたことやつながり等を、他の人や地域に広げる活動をしている			
	日常的にやっている	310	9.1%
	時々やっている	820	24.1%
	やりたいがあまりやれていない	2,040	60.0%
	考えていない	202	5.9%
	無回答	30	0.9%

⑩ 関わった一人をもとに、経過や地域の課題について多様な人たちと話し合い、地域支援の見直し・拡充を図っている				3,402
	日常的にやっている	253	7.4%	
	時々やっている	793	23.3%	
	やりたいがあまりやれていない	2,125	62.5%	
	考えていない	193	5.7%	
	無回答	38	1.1%	
⑪ その他 個別相談・支援体制作りに関して取組んでいること				3,402
	日常的にやっている	300	8.8%	
	時々やっている	219	6.4%	
	やりたいがあまりやれていない	999	29.4%	
	考えていない	387	11.4%	
	無回答	1,497	44.0%	
II-3. 関係機関と連携した事業の企画・調整について				
① 住民等の講座や講演会等が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げる機会になるための企画・調整				3,402
	日常的にやっている	614	18.0%	
	時々やっている	1,413	41.5%	
	やりたいがあまりやれていない	1,213	35.7%	
	考えていない	136	4.0%	
	無回答	26	0.8%	
② 配布物や広報が、認知症への偏見をなくし、共生の理解を広げるためのことばや情報発信となるための企画・調整(チラシ、パンフレット、自治体の広報・ホームページ、動画、メディア等)				3,402
	日常的にやっている	591	17.4%	
	時々やっている	1,399	41.1%	
	やりたいがあまりやれていない	1,205	35.4%	
	考えていない	178	5.2%	
	無回答	29	0.9%	
③ 認知症多職種協働研修等の企画・調整				3,402
	日常的にやっている	127	3.7%	
	時々やっている	372	10.9%	
	やりたいがあまりやれていない	1,898	55.8%	
	考えていない	800	23.5%	
	無回答	205	6.0%	
③-1 多職種協働研修に取り組んでいる場合				3,402
	ライフサポート研修を実施	63	1.9%	
	ライフサポート研修を発展させて実施	149	4.4%	
	独自に実施	492	14.5%	
	無回答	2,698	79.3%	
④ 専門的な相談支援の力量を、関係者が向上させていくための企画・調整				3,402
	日常的にやっている	109	3.2%	
	時々やっている	462	13.6%	
	やりたいがあまりやれていない	1,919	56.4%	
	考えていない	739	21.7%	
	無回答	173	5.1%	
⑤ 地域における困難事例の検討及びその事例の個別支援の拡充を図る企画・調整				3,402
	日常的にやっている	246	7.2%	
	時々やっている	1,062	31.2%	
	やりたいがあまりやれていない	1,538	45.2%	
	考えていない	382	11.2%	
	無回答	174	5.1%	
⑥ 病院・施設等における困難事例の検討及びその事例の個別支援の拡充を図る企画・調整				3,402
	日常的にやっている	104	3.1%	
	時々やっている	424	12.5%	
	やりたいがあまりやれていない	1,831	53.8%	
	考えていない	853	25.1%	
	無回答	190	5.6%	

⑦ 本人ミーティング等本人同士が会い話し合える機会をつくり、そこでの声を取りみや施策に活かしていくための企画・調整			3,402
日常的にやっている	83	2.4%	
時々やっている	264	7.8%	
やりたいがあまりやれていない	2,319	68.2%	
考えていない	549	16.1%	
無回答	187	5.5%	
⑧ 診断直後の本人等が前向きに暮らしていくための、本人によるピアサポートの企画・調整			3,402
日常的にやっている	38	1.1%	
時々やっている	122	3.6%	
やりたいがあまりやれていない	2,278	67.0%	
考えていない	773	22.7%	
無回答	191	5.6%	
⑨ 家族の声や力を活かして、家族によるピアサポートの企画・調整			3,402
日常的にやっている	112	3.3%	
時々やっている	324	9.5%	
やりたいがあまりやれていない	2,108	62.0%	
考えていない	673	19.8%	
無回答	185	5.4%	
⑩ 認知症カフェ等、地域の中での出会い、つながる場づくりの企画・調整			3,402
日常的にやっている	837	24.6%	
時々やっている	1,003	29.5%	
やりたいがあまりやれていない	1,191	35.0%	
考えていない	214	6.3%	
無回答	157	4.6%	
⑪ 地域の子供たちや若い世代が、地域の中で本人と出会い、つながるための企画・調整			3,402
日常的にやっている	71	2.1%	
時々やっている	405	11.9%	
やりたいがあまりやれていない	2,216	65.1%	
考えていない	530	15.6%	
無回答	180	5.3%	
⑫ 地域の企業等、多様な分野の人たちが、本人と出会い、つながるための企画・調整			3,402
日常的にやっている	55	1.6%	
時々やっている	282	8.3%	
やりたいがあまりやれていない	2,280	67.0%	
考えていない	601	17.7%	
無回答	184	5.4%	
⑬ 本人・家族が必要な理解者・支援者とつながり、チームとして支えあう体制づくりの企画・調整			3,402
日常的にやっている	124	3.6%	
時々やっている	354	10.4%	
やりたいがあまりやれていない	2,306	67.8%	
考えていない	391	11.5%	
無回答	227	6.7%	
⑬-1 取組みをしている場合、下記の該当する番号を1つ選択して右欄にご記入下さい			3,402
以前から、すでに地域独自のチームによる支援体制づくりの企画・調整をしてきている	135	4.0%	
すでに地域で育ってきているつながりや仕組みを活かして、チームオレンジの企画・調整をしている	204	6.0%	
チームオレンジのスキームをもとに、新たに企画・調整をしている	134	3.9%	
その他	125	3.7%	
無回答	2,804	82.4%	
⑭ 認知症の有無に関わらず、備えながら健やかに暮らしていくための予防に関する企画・調整			3,402
日常的にやっている	450	13.2%	
時々やっている	1,073	31.5%	
やりたいがあまりやれていない	1,409	41.4%	
考えていない	286	8.4%	
無回答	184	5.4%	

⑮ 若年性認知症の人を主な対象とした取組みの企画・調整			3,402
日常的にやっている	70	2.1%	
時々やっている	218	6.4%	
やりたいがあまりやれていない	2,159	63.5%	
考えていない	767	22.5%	
無回答	188	5.5%	
⑯ 本人の声を活かして自地域に潜むバリアを解消していくための認知症バリアフリーの企画・調整			3,402
日常的にやっている	46	1.4%	
時々やっている	177	5.2%	
やりたいがあまりやれていない	2,303	67.7%	
考えていない	681	20.0%	
無回答	195	5.7%	
⑰ 本人の社会参加活動の機会や体制整備についての企画・調整			3,402
日常的にやっている	33	1.0%	
時々やっている	176	5.2%	
やりたいがあまりやれていない	2,093	61.5%	
考えていない	639	18.8%	
無回答	461	13.6%	
II-4. 医療・介護等の支援ネットワークの構築			
① 認知症ケアパスを本人視点にたって作成/改良			3,402
日常的にやっている	538	15.8%	
時々やっている	1,042	30.6%	
やりたいがあまりやれていない	1,345	39.5%	
考えていない	431	12.7%	
無回答	46	1.4%	
② 認知症ケアパスを住民や専門職等に普及し、活用			3,402
日常的にやっている	883	26.0%	
時々やっている	1,311	38.5%	
やりたいがあまりやれていない	975	28.7%	
考えていない	198	5.8%	
無回答	35	1.0%	
③ 地域の医療職と介護職が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し			3,402
日常的にやっている	305	9.0%	
時々やっている	957	28.1%	
やりたいがあまりやれていない	1,762	51.8%	
考えていない	338	9.9%	
無回答	40	1.2%	
④ 専門職と住民等が、実際に連携・協働を強めていくための調整や後押し			3,402
日常的にやっている	209	6.1%	
時々やっている	880	25.9%	
やりたいがあまりやれていない	1,979	58.2%	
考えていない	293	8.6%	
無回答	41	1.2%	
⑤ 初期に総合的な支援が本人に行き届くために、初期集中支援チームと地域の多様な関係者がつな がって協働していくための調整や後押し			3,402
日常的にやっている	647	19.0%	
時々やっている	1,122	33.0%	
やりたいがあまりやれていない	1,359	39.9%	
考えていない	237	7.0%	
無回答	37	1.1%	
⑥ 本人を地域の多様な人たちで日常的に見守るネットワークづくり			3,402
日常的にやっている	451	13.3%	
時々やっている	1,113	32.7%	
やりたいがあまりやれていない	1,654	48.6%	
考えていない	155	4.6%	
無回答	29	0.9%	

⑦ 行方不明など本人のSOS時に素早く情報を共有し、その本人を協働で守るためのネットワークづくり				3,402
	日常的にやっている	714	21.0%	
	時々やっている	1,036	30.5%	
	やりたいがあまりやれていない	1,416	41.6%	
	考えていない	204	6.0%	
	無回答	32	0.9%	
⑧ 自然災害時などに素早く情報を共有し、地域の認知症の人たちを協働で守るためのネットワークづくり				3,402
	日常的にやっている	160	4.7%	
	時々やっている	499	14.7%	
	やりたいがあまりやれていない	2,282	67.1%	
	考えていない	428	12.6%	
	無回答	33	1.0%	
⑨ ITや通信機器等を活用して、自地域の関係者・多様な人たちのネットワークを拡充する取組み				3,402
	日常的にやっている	85	2.5%	
	時々やっている	254	7.5%	
	やりたいがあまりやれていない	2,119	62.3%	
	考えていない	905	26.6%	
	無回答	39	1.1%	
⑩ 認知症関連以外の他分野の人/組織とつながり、地域での活動や支えあいを広げていく取組み				3,402
	日常的にやっている	177	5.2%	
	時々やっている	559	16.4%	
	やりたいがあまりやれていない	2,175	63.9%	
	考えていない	429	12.6%	
	無回答	62	1.8%	
II-5. コロナ禍の中での推進員活動				
① 相談や認知症カフェなどでつながれた個々の本人の声や様子を、丁寧にとらえている				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	1,449	42.6%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	231	6.8%	
	やっていたが現在は中止している	1,012	29.7%	
	やっていない他	673	19.8%	
	無回答	37	1.1%	
② (三密等に配慮や工夫をしながら) 認知症カフェ等の集まりを行っている				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	803	23.6%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	292	8.6%	
	やっていたが現在は中止している	1,216	35.7%	
	やっていない他	1,059	31.1%	
	無回答	32	0.9%	
③ (三密等に配慮や工夫をしながら) 本人ミーティングや本人同士の集まりを行っている				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	195	5.7%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	110	3.2%	
	やっていたが現在は中止している	510	15.0%	
	やっていない他	2,554	75.1%	
	無回答	33	1.0%	
④ (三密等に配慮や工夫をしながら) 本人が社会参加活動や戸外に出て楽しむ機会をつくっている				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	332	9.8%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	150	4.4%	
	やっていたが現在は中止している	604	17.8%	
	やっていない他	2,280	67.0%	
	無回答	36	1.1%	
⑤ 地域の関係者等のつながりや意欲が途切れないう、連絡や相談を細やかに行っている				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	1,353	39.8%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	362	10.6%	
	やっていたが現在は中止している	526	15.5%	
	やっていない他	1,119	32.9%	
	無回答	42	1.2%	

⑥ IT等を活用して、本人とつながりをつくっている				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	37	1.1%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	89	2.6%	
	やっていたが現在は中止している	136	4.0%	
	やっていない他	3,104	91.2%	
	無回答	36	1.1%	
⑦ IT等を活用して、支援者同士のつながりをつくっている				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	111	3.3%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	238	7.0%	
	やっていたが現在は中止している	142	4.2%	
	やっていない他	2,874	84.5%	
	無回答	37	1.1%	
⑧ これまでの活動をこの機会に振り返り、今後やるべきこと、やめてもいいこと等を考え整理している				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	499	14.7%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	917	27.0%	
	やっていたが現在は中止している	279	8.2%	
	やっていない他	1,661	48.8%	
	無回答	46	1.4%	
⑨ その他 コロナ禍でも新たな取組みをしている				3,402
	以前からの取組みを継続/再開してやっている	43	1.3%	
	コロナ禍で新たに取組んでいる	470	13.8%	
	やっていたが現在は中止している	139	4.1%	
	やっていない他	1,825	53.6%	
	無回答	925	27.2%	

### Ⅲ. 推進員活動による変化・成果について

		回答数	割合		
Ⅲ-1. 推進員活動を通じた「認知症の本人の変化・成果」					
① 本人が発症後の早い段階で相談窓口につながり、相談できる相手に出会えるようになった					3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	203	6.0%		
	増えてはいないが、中身が充実してきている	862	25.3%		
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	776	22.8%		
	今年度からみられるようになった	170	5.0%		
	まだない	1,320	38.8%		
	無回答	71	2.1%		
② 本人が発症後の早い段階で受診でき、信頼できる医師や医療関係者に出会えるようになった					3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	222	6.5%		
	増えてはいないが、中身が充実してきている	817	24.0%		
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	767	22.5%		
	今年度からみられるようになった	168	4.9%		
	まだない	1,352	39.7%		
	無回答	76	2.2%		
③ 本人が認知症カフェ等の地域の集い場につながり、仲間や味方に出会えるようになった					3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	128	3.8%		
	増えてはいないが、中身が充実してきている	739	21.7%		
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	445	13.1%		
	今年度からみられるようになった	201	5.9%		
	まだない	1,809	53.2%		
	無回答	80	2.4%		
④ 本人が自分の思いや意見を周囲や地域に向けて発することができるようになった					3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	34	1.0%		
	増えてはいないが、中身が充実してきている	318	9.3%		
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	225	6.6%		
	今年度からみられるようになった	134	3.9%		
	まだない	2,612	76.8%		
	無回答	79	2.3%		

⑤ 本人がなじみの店や行きたいところに安心して出かけられるようになった				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	23	0.7%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	254	7.5%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	241	7.1%	
	今年度からみられるようになった	108	3.2%	
	まだない	2,686	79.0%	
	無回答	90	2.6%	
⑥ 本人が発症後もそれまで勤めていた職場で働きつづけられるようになった				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	4	0.1%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	70	2.1%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	79	2.3%	
	今年度からみられるようになった	43	1.3%	
	まだない	3,112	91.5%	
	無回答	94	2.8%	
⑦ 本人が発症後の早い段階で自分が望む社会活動に参加し、地域の中で生き生き過ごせるようになった				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	29	0.9%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	253	7.4%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	198	5.8%	
	今年度からみられるようになった	113	3.3%	
	まだない	2,721	80.0%	
	無回答	88	2.6%	
⑧ 本人がスマホや通信機器を使って、他の人と交流できるようになった				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	14	0.4%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	64	1.9%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	71	2.1%	
	今年度からみられるようになった	54	1.6%	
	まだない	3,110	91.4%	
	無回答	89	2.6%	
⑨ 本人がGPS機器やヘルプカード等を使って、一人で安心・安全に外出できるようになった				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	28	0.8%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	148	4.4%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	206	6.1%	
	今年度からみられるようになった	84	2.5%	
	まだない	2,855	83.9%	
	無回答	81	2.4%	
⑩ 本人が状態等の変化時に、必要な医療や介護等の専門的支援にスムーズにつながるようになった				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	191	5.6%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	785	23.1%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	610	17.9%	
	今年度からみられるようになった	171	5.0%	
	まだない	1,564	46.0%	
	無回答	81	2.4%	
⑪ 認知症が進行した人や施設等で暮らす人が、地域の中でつながり、生き生き過ごせるようになった				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	43	1.3%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	463	13.6%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	404	11.9%	
	今年度からみられるようになった	93	2.7%	
	まだない	2,307	67.8%	
	無回答	92	2.7%	
⑫ 本人があたりまえのこと(人権)を守られて、自分らしく暮らしつづけられるようになった				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	69	2.0%	
	増えてはいないが、中身が充実してきている	615	18.1%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	560	16.5%	
	今年度からみられるようになった	135	4.0%	
	まだない	1,932	56.8%	
	無回答	91	2.7%	



<b>⑬ 本人が次に続く本人のために相談にのったり、支え合うようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	33	1.0%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	192	5.6%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	184	5.4%		
今年度からみられるようになった	81	2.4%		
まだない	2,835	83.3%		
無回答	77	2.3%		
<b>⑭ 本人が推進員とともに認知症施策推進や地域づくりの活動をするようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	26	0.8%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	123	3.6%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	95	2.8%		
今年度からみられるようになった	78	2.3%		
まだない	3,008	88.4%		
無回答	72	2.1%		
<b>⑮ 若年性認知症の人が、上記①～⑭のいずれかで地域とつながる姿がみられるようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	32	0.9%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	172	5.1%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	101	3.0%		
今年度からみられるようになった	131	3.9%		
まだない	2,870	84.4%		
無回答	96	2.8%		
<b>⑯ その他 本人の変化や成果がみられている</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	105	3.1%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	93	2.7%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	85	2.5%		
今年度からみられるようになった	53	1.6%		
まだない	1,809	53.2%		
無回答	1,257	36.9%		
<b>Ⅲ-2. 推進員活動を通じた「地域の変化・成果」</b>				
<b>① 住民が本人の声を聴こうとするようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	157	4.6%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	740	21.8%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	561	16.5%		
今年度からみられるようになった	180	5.3%		
まだない	1,672	49.1%		
無回答	92	2.7%		
<b>② 住民が認知症を自分ごととしてとらえ、地域の本人と自然体でつきあう/関わるようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	173	5.1%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	846	24.9%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	686	20.2%		
今年度からみられるようになった	207	6.1%		
まだない	1,411	41.5%		
無回答	79	2.3%		
<b>③ 地域の企業等で働く人たちが、認知症の人への関心を高め、配慮や工夫をするようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	140	4.1%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	577	17.0%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	512	15.0%		
今年度からみられるようになった	224	6.6%		
まだない	1,869	54.9%		
無回答	80	2.4%		
<b>④ 住民が地域の認知症カフェ等の集い場に参加し、本人と楽しく過ごしたり一緒に活動するようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	138	4.1%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	790	23.2%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	456	13.4%		
今年度からみられるようになった	167	4.9%		
まだない	1,772	52.1%		
無回答	79	2.3%		

<b>⑤ 住民が本人の社会参加活動に加わり、一緒に活動するようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	47	1.4%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	335	9.8%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	197	5.8%		
今年度からみられるようになった	109	3.2%		
まだない	2,632	77.4%		
無回答	82	2.4%		
<b>⑥ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人の声を聴くようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	299	8.8%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	928	27.3%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	619	18.2%		
今年度からみられるようになった	125	3.7%		
まだない	1,341	39.4%		
無回答	90	2.6%		
<b>⑦ 医療・介護等の専門職の人たちが、本人視点にたって一緒に支援や連携の改善を図るようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	286	8.4%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	935	27.5%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	587	17.3%		
今年度からみられるようになった	125	3.7%		
まだない	1,380	40.6%		
無回答	89	2.6%		
<b>⑧ 地域ケア会議等で、本人の声と本人視点を重視しながら、本人のよりよい暮らしや地域づくりに関して前向きな検討をするようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	276	8.1%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	1,124	33.0%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	474	13.9%		
今年度からみられるようになった	165	4.9%		
まだない	1,293	38.0%		
無回答	70	2.1%		
<b>⑨ 医療・介護等の専門職の人たちが、地域の集い場や社会参加活動に参加したり、取組むようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	132	3.9%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	645	19.0%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	384	11.3%		
今年度からみられるようになった	154	4.5%		
まだない	2,002	58.8%		
無回答	85	2.5%		
<b>⑩ 地域の中で、本人と多職種、住民等がいっしょに楽しく活動するようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	53	1.6%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	448	13.2%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	225	6.6%		
今年度からみられるようになった	108	3.2%		
まだない	2,488	73.1%		
無回答	80	2.4%		
<b>⑪ 地域の中で通信機器を活用して、本人とつながるようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	12	0.4%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	60	1.8%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	65	1.9%		
今年度からみられるようになった	96	2.8%		
まだない	3,096	91.0%		
無回答	73	2.1%		
<b>⑫ 地域の中での認知症バリアを本人とともに具体的につけ、バリアが少しずつ解消されるようになった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	16	0.5%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	236	6.9%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	180	5.3%		
今年度からみられるようになった	93	2.7%		
まだない	2,800	82.3%		
無回答	77	2.3%		

<b>⑬ 住民や関係者が、制度やサービスでは行き届かないことについて、自発的な取り組みをするようになった</b>				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	71	2.1%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	401	11.8%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	234	6.9%	
	今年度からみられるようになった	176	5.2%	
	まだない	2,438	71.7%	
	無回答	82	2.4%	
<b>⑭ 本人の家族が、不安や負担を軽減し、本人との関係や家族なりの暮らしを継続できるようになった</b>				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	113	3.3%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	830	24.4%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	564	16.6%	
	今年度からみられるようになった	188	5.5%	
	まだない	1,620	47.6%	
	無回答	87	2.6%	
<b>⑮ その他 地域の変化や成果がある</b>				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	326	9.6%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	160	4.7%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	125	3.7%	
	今年度からみられるようになった	78	2.3%	
	まだない	1,480	43.5%	
	無回答	1,233	36.2%	
<b>Ⅲ-3. 情報の流れや連携に関する変化・成果</b>				
<b>① 認知症施策担当者から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	433	12.7%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	1,091	32.1%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	756	22.2%	
	今年度からみられるようになった	182	5.3%	
	まだない	861	25.3%	
	無回答	79	2.3%	
<b>② 警察関係者から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	472	13.9%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	670	19.7%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	949	27.9%	
	今年度からみられるようになった	193	5.7%	
	まだない	1,051	30.9%	
	無回答	67	2.0%	
<b>③ 地域住民から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	516	15.2%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	876	25.7%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	1,067	31.4%	
	今年度からみられるようになった	181	5.3%	
	まだない	693	20.4%	
	無回答	69	2.0%	
<b>④ 地元の企業等、多様な分野の人から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	217	6.4%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	573	16.8%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	555	16.3%	
	今年度からみられるようになった	198	5.8%	
	まだない	1,783	52.4%	
	無回答	76	2.2%	
<b>⑤ (他の)地域包括支援センターから情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
	昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	369	10.8%	
	増えてはいるが、中身が充実してきている	919	27.0%	
	数は増えたが、中身はあまり変わっていない	590	17.3%	
	今年度からみられるようになった	142	4.2%	
	まだない	1,283	37.7%	
	無回答	99	2.9%	

<b>⑥ 医療関係者から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	449	13.2%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	952	28.0%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	924	27.2%		
今年度からみられるようになった	138	4.1%		
まだない	868	25.5%		
無回答	71	2.1%		
<b>⑦ 介護関係者から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	354	10.4%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	979	28.8%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	877	25.8%		
今年度からみられるようになった	138	4.1%		
まだない	977	28.7%		
無回答	77	2.3%		
<b>⑧ 権利擁護の関係者から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	194	5.7%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	632	18.6%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	509	15.0%		
今年度からみられるようになった	114	3.4%		
まだない	1,869	54.9%		
無回答	84	2.5%		
<b>⑨ 他の推進員から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	281	8.3%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	804	23.6%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	414	12.2%		
今年度からみられるようになった	150	4.4%		
まだない	1,658	48.7%		
無回答	95	2.8%		
<b>⑩ 生活支援コーディネーターから情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	265	7.8%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	657	19.3%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	420	12.3%		
今年度からみられるようになった	232	6.8%		
まだない	1,750	51.4%		
無回答	78	2.3%		
<b>⑪ 本人自身から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	92	2.7%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	404	11.9%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	428	12.6%		
今年度からみられるようになった	135	4.0%		
まだない	2,265	66.6%		
無回答	78	2.3%		
<b>⑫ 家族から情報が入り、連携しやすくなった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	344	10.1%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	775	22.8%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	1,021	30.0%		
今年度からみられるようになった	183	5.4%		
まだない	1,003	29.5%		
無回答	76	2.2%		
<b>⑬ 必要な時や困った時に、相談して助けてもらえる人が広がった</b>				3,402
昨年度より中身が充実し、数も増えてきている	435	12.8%		
増えてはいないが、中身が充実してきている	977	28.7%		
数は増えたが、中身はあまり変わっていない	607	17.8%		
今年度からみられるようになった	217	6.4%		
まだない	1,059	31.1%		
無回答	107	3.1%		

Ⅲ－４. あなたの市町村での「認知症とともに生きる地域共生」の進捗状況			
① 地域の認知症の本人が、希望をもって自分らしく暮らしつづけるようになってきている			
年々、拡充してきている	77	2.3%	3,402
少しずつ進みつつある	1,390	40.9%	
今年度から動きだしてきている	118	3.5%	
今年度はまだだが、来年度から動きだす(予定含む)	575	16.9%	
まだ動きも予定もない	1,154	33.9%	
無回答	88	2.6%	
② 認知症があってもなくても、同じ地域でともに生きる姿が広がってきている			
年々、拡充してきている	104	3.1%	3,402
少しずつ進みつつある	1,516	44.6%	
今年度から動きだしてきている	120	3.5%	
今年度はまだだが、来年度から動きだす(予定含む)	531	15.6%	
まだ動きも予定もない	1,040	30.6%	
無回答	91	2.7%	

#### Ⅳ. 推進員活動をやってみての自分なりの思いや体験

		回答数	割合	
Ⅳ－１. 推進員活動をやってみての自分の感想や率直な思い				
① 推進員活動は、やっていて楽しい				
非常にそう思う	225	6.6%	3,402	
そう思う	1,581	46.5%		
あまり思わない	1,297	38.1%		
思わない	244	7.2%		
無回答	55	1.6%		
② 推進員活動は、やりがいがある				
非常にそう思う	415	12.2%	3,402	
そう思う	1,947	57.2%		
あまり思わない	810	23.8%		
思わない	189	5.6%		
無回答	41	1.2%		
③ 推進員活動は、これまでの立場ではやりたくても十分にできなかったことがやれてうれしい				
非常にそう思う	180	5.3%	3,402	
そう思う	1,009	29.7%		
あまり思わない	1,690	49.7%		
思わない	478	14.1%		
無回答	45	1.3%		
④ 推進員活動は、新しいことや未解決のことにチャレンジできておもしろい				
非常にそう思う	219	6.4%	3,402	
そう思う	1,348	39.6%		
あまり思わない	1,418	41.7%		
思わない	374	11.0%		
無回答	43	1.3%		
⑤ 推進員活動を通じて、自分の力が引き出されたり、つながりが広がって、自分のためになっている				
非常にそう思う	400	11.8%	3,402	
そう思う	1,828	53.7%		
あまり思わない	899	26.4%		
思わない	233	6.8%		
無回答	42	1.2%		
⑥ 推進員として、今後も活動を継続したい				
非常にそう思う	318	9.3%	3,402	
そう思う	1,995	58.6%		
あまり思わない	812	23.9%		
思わない	233	6.8%		
無回答	44	1.3%		

⑦ 推進員活動を続けていく上での、負担やストレスが大きい				3,402
	非常にそう思う	367	10.8%	
	そう思う	1,267	37.2%	
	あまり思わない	1,393	40.9%	
	思わない	329	9.7%	
	無回答	46	1.4%	

## V. 推進員活動を向上させていく上での課題や必要なことについて

		回答数	割合	
<b>V-1. 自分の地域で推進員活動を向上させていく上での課題</b>				
<b>① 推進員として何をやってほしいか、役割・機能についての行政と推進員との具体的な話し合いが必要</b>				
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	1,020	30.0%	3,402
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,541	45.3%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	754	22.2%	
	必要ではない	45	1.3%	
	無回答	42	1.2%	
<b>② 自地域のこれからのために、推進員として何に注力すべきか、今後の活動の焦点について行政と推進員との間で検討し、明確にすることが必要</b>				
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	834	24.5%	3,402
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,665	48.9%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	825	24.3%	
	必要ではない	37	1.1%	
	無回答	41	1.2%	
<b>③ 推進員としてやるべきこと/やりたいことを主体的にやれるように、活動の自由度を高めることが必要</b>				
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	895	26.3%	3,402
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,566	46.0%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	649	19.1%	
	必要ではない	247	7.3%	
	無回答	45	1.3%	
<b>④ 推進員活動を効果的に進めていくために、行政自体の発想や動きをより包括的なものに変えることが必要</b>				
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	701	20.6%	3,402
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,665	48.9%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	848	24.9%	
	必要ではない	136	4.0%	
	無回答	52	1.5%	
<b>⑤ 推進員の多様な業務を整理したり分担し、推進員として活動できる時間を確保する体制や配慮が必要</b>				
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	650	19.1%	3,402
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,527	44.9%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	1,046	30.7%	
	必要ではない	134	3.9%	
	無回答	45	1.3%	
<b>⑥ 推進員の異動/就任期限の懸念があるとじっくりと活動しにくいので、継続的に活動できる体制や配慮が必要</b>				
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	640	18.8%	3,402
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,418	41.7%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	860	25.3%	
	必要ではない	429	12.6%	
	無回答	55	1.6%	
<b>⑦ 市区町村における推進員の配置の仕方に関する見直しや工夫が必要(増員やフォーメーションづくり等)</b>				
	自地域ですすでになされているが、今後も必要	595	17.5%	3,402
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,415	41.6%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	986	29.0%	
	必要ではない	354	10.4%	
	無回答	52	1.5%	

⑧ 同じ市区町村内の複数の推進員が、それぞれの特徴を活かして全体として活躍・協働しあえる配慮・工夫が必要				3,402
	自地域ですでになされているが、今後も必要	852	25.0%	
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,369	40.2%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	711	20.9%	
	必要ではない	106	3.1%	
	推進員が1人	293	8.6%	
	無回答	71	2.1%	
⑨ 推進員が知りたいことがあったり悩んだ時に、具体的に相談できる人の確保やつながるための支援・体制が必要				3,402
	自地域ですでになされているが、今後も必要	1,087	32.0%	
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	1,448	42.6%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	722	21.2%	
	必要ではない	84	2.5%	
	無回答	61	1.8%	
⑩ その他 課題がある				3,402
	自地域ですでになされているが、今後も必要	464	13.6%	
	自地域ではまだ不十分で、今後強化が必要	269	7.9%	
	自地域では大きな課題で、非常に必要	158	4.6%	
	必要ではない	352	10.3%	
	無回答	2,159	63.5%	
V-2. 今後の推進員活動を向上させていくために必要な体制や支援等				
① 全国で行う推進員研修(新任者、現任者)				3,402
	非常に必要	641	18.8%	
	必要	2,130	62.6%	
	必要でない	578	17.0%	
	無回答	53	1.6%	
② 都道府県で行う推進員研修(新任者、現任者)				3,402
	非常に必要	1,030	30.3%	
	必要	2,201	64.7%	
	必要でない	133	3.9%	
	無回答	38	1.1%	
③ 全国の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク				3,402
	非常に必要	636	18.7%	
	必要	2,322	68.3%	
	必要でない	404	11.9%	
	無回答	40	1.2%	
④ 都道府県内での推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク				3,402
	非常に必要	859	25.2%	
	必要	2,304	67.7%	
	必要でない	199	5.8%	
	無回答	40	1.2%	
⑤ 近隣市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク				3,402
	非常に必要	1,342	39.4%	
	必要	1,920	56.4%	
	必要でない	102	3.0%	
	無回答	38	1.1%	
⑥ 同一市区町村の推進員同士が情報交換や具体的な相談をしあうネットワーク				3,402
	非常に必要	1,296	38.1%	
	必要	1,606	47.2%	
	必要でない	158	4.6%	
	推進員が1人	279	8.2%	
	無回答	63	1.9%	
⑦ 推進員が活動等について個別に相談ができ、アドバイスを受けられるしくみ				3,402
	非常に必要	1,150	33.8%	
	必要	2,073	60.9%	
	必要でない	136	4.0%	
	無回答	43	1.3%	

⑧ 施策担当者と推進員と一緒に参加し、最新情報や活動に関して学んだり、他地域の人たちと話し合える機会			3,402
非常に必要	1,294	38.0%	
必要	1,976	58.1%	
必要でない	90	2.6%	
無回答	42	1.2%	
⑨ 情報収集やつながりを効果的に行うためのインターネットが使える環境整備の支援			3,402
非常に必要	971	28.5%	
必要	2,154	63.3%	
必要でない	233	6.8%	
無回答	44	1.3%	
⑩ 全国の推進員活動の情報を検索し、必要な情報を入手できるしくみ			3,402
非常に必要	949	27.9%	
必要	2,244	66.0%	
必要でない	156	4.6%	
無回答	53	1.6%	
⑪ その他			3,402
非常に必要	248	7.3%	
必要	254	7.5%	
必要でない	326	9.6%	
無回答	2,574	75.7%	



## 2. 都道府県別データ集約

(全国データと都道府県別データを対比してフィードバックした)

都道府県別【市区町村調査】結果

※1 ページ目のみ抜粋

令和2年度厚生労働省老健事業  
 認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業  
 認知症地域支援推進員活動全国調査  
 【市区町村用】

◆ 調査対象について

1. 回答者について

	全国		〇〇県	
1 調査対象者	1,741	人	[ ]	人
2 回答者	1,161	人	[ ]	人
3 回答率	66.7%		[ ]	

○市区町村の基本情報について

1. あなたの市区町村について

	全国	〇〇県
④ 人口(階級)		

	全国		〇〇県	
	回答数	割合	回答数	割合
1,161				0
1万人未満	263	22.7%		
1万以上3万未満	296	25.5%		
3万以上10万未満	361	31.1%		
10万以上20万未満	124	10.7%		
20万以上	114	9.8%		
無回答	3	0.3%		

⑤ 高齢化率(階級)

	全国		〇〇県	
	回答数	割合	回答数	割合
1,161				0
25%未満	125	10.8%		
30%未満	252	21.7%		
35%未満	285	24.5%		
40%未満	264	22.7%		
40%以上	226	19.5%		
無回答	9	0.8%		

⑥ 日常生活圏域数(階級)

	全国		〇〇県	
	回答数	割合	回答数	割合
1,161				0
1圏	554	47.7%		
2圏以上5圏未満	269	23.2%		
5圏以上8圏未満	178	15.3%		
8圏以上	151	13.0%		
無回答	9	0.8%		

**都道府県別【推進員調査】結果**

※1 ページ目のみ抜粋

令和2年度厚生労働省老健事業  
認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業  
認知症地域支援推進員活動全国調査  
【推進員用】

◆ 調査対象について

1. 回答者について

回答者 全国 〇〇県  
3,402 人 〇〇 人

○ 推進員の基本情報について

1. あなたが推進員として配置されている自治体

全国 〇〇県

④ 人口(階級)

	全国		〇〇県		0
	回答数	割合	回答数	割合	
3,402					
1万人未満	384	11.3%			
1万以上3万未満	531	15.6%			
3万以上10万未満	882	25.9%			
10万以上20万未満	535	15.7%			
20万以上	990	29.1%			
無回答	80	2.4%			

⑤ 高齢化率(階級)

	全国		〇〇県		0
	回答数	割合	回答数	割合	
3,402					
25%未満	573	16.8%			
30%未満	1,026	30.2%			
35%未満	776	22.8%			
40%未満	565	16.6%			
40%以上	376	11.1%			
無回答	86	2.5%			

⑥ 日常生活圏域数(階級)

	全国		〇〇県		0
	回答数	割合	回答数	割合	
3,402					
1圏	892	26.2%			
2圏以上5圏未満	626	18.4%			
5圏以上8圏未満	588	17.3%			
8圏以上11圏未満	350	10.3%			
11圏以上13圏未満	127	3.7%			
13圏以上15圏未満	88	2.6%			
15圏以上	582	17.1%			
無回答	149	4.4%			



令和2年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金  
老人保健健康増進等事業  
『認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の社会  
参加活動の体制整備に関する調査研究事業』  
報告書

発行

社会福祉法人浴風会  
認知症介護研究・研修東京センター

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-12-1  
電話 (03) 3334-2173

発行年月 2021(令和3)年3月